2012 年度

博士学位論文

中米のナワ系言語

―植民地時代の多言語社会におけるリンガ・フランカから消滅の危機言語へ―

神戸市外国語大学大学院

外国語学研究科文化交流専攻博士課程

五十嵐　公子

目　　次

序章 1
1．研究目的 1
2．中米のナワ系言語と多言語社会の概観 2
3．消滅の危機に瀕する中米のナワ系言語 3
4．史料と方法論 4

第１章　中米におけるナワ系言語に関する研究 7
1．言語学的研究 7
1）現代ナワ系言語研究 7
2）古典語研究 10
2．歴史学・民族歴史学的研究 11

第２章　多言語社会中米におけるナワ系言語 15
1．グアテマラ、エルサルバドルにおける先住民言語分布状況 15
1）現在の先住民人口 15
2）征服期から植民地時代の先住民言語分布 16
2．ナワ系言語の分布域 19
3．ナワ系言語のリンガ・フランカとしての機能 20
1）先スペイン期に遡るリンガ・フランカとしての機能 20
2）植民地期におけるリンガ・フランカとしての機能 21
4．植民地時代のナワ系言語文書の分布 22

第３章　ナワ系言語におけるピピル語 25
1．ナワ系言語におけるピピル語 25
2．歴史資料における「ピピル語」とその民族 26
1）歴史記述上のピピル語 26
2）歴史記述上のピピルの人々 27
3．ナワ系言語の言語変種分類とピピル語の位置づけ 27
4．ナワ系言語の文法研究のはじまり 30
5．古典ナワトル語文法概説 32
1）名詞・名詞句/節の構造 33
2）動詞・動詞句/節の構造 35

第４章　グアテマラ総監領エルサルバドルの多言語状況とコフラディア 39
１．グアテマラ総監領エルサルバドルの多言語状況 39
１）サンサルバドルと東部地域 39
２）西部地域とサンタ・アナ市 40
２．植民地時代中米におけるコフラディア 42
１）コフラディアの中米への移植 42
２）コフラディアの経済的機能 43
３）コフラディア台帳 44
４）植民地期サンタ・アナ市のコフラディア 45
５）サンタ・ベラクルスのコフラディアとパヨ・デ・リベラ司教による
コフラディア設立訓令 46

第５章　『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』..... 49
１．サンタ・アナ市カテドラルでの古文書調査 49
２．『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』の構成 51
３．テキスト化とピピル語解読の問題点 52
１）テキスト化の問題点 52
２）ピピル語解読の問題点 52
３）ピピル語文書「リベラ訓令」の書記 53
４）ピピル語文書「幹部任命記録」の書記 56
４．「リベラ訓令」ピピル語テキストと形態統語論的分析 57
１）音声表記の特徴 57
２）「リベラ訓令」写真 57
３）テキスト解読要領 61
４）ピピル語テキスト(f. 56r-59r)と形態統語論的分析 63
５．「リベラ訓令」ピピル語テキストの語彙分析 82
１）スペイン語の導入・借用 82
６．「リベラ訓令」ピピル語テキストの文法的特徴 85
１）音素の特徴 85
２）名詞の特徴 86
３）動詞の特徴 88
７．「幹部任命記録」ピピル語テキストと形態統語論的分析 92
１）人名・役職名などの略語表記 92
２）「幹部任命記録」写真 92
３）「幹部任命記録」ピピル語テキスト(f. 7r-8r)と
形態統語論的分析 94

第 6 章　現代ピピル語 - 危機言語の現状 101
１．現代ピピル語におけるスペイン語の導入・借用 101
１）現代ピピル語テキスト 101
２）スペイン語の混在状況 103
２．国勢調査にみる先住民と言語 104
１）現代エルサルバドルの先住民人口とピピル語の現状 105
２）グアテマラ国勢調査における少数民族シンカ 107
３．ピピル語と先住民文化の保存・復興にむけての取り組み 109

終章 113
１．リンガ・フランカとしてのナワ系言語 113
２．ナワ系言語の複統合語的特徴 114
３．消滅の危機言語へ 115
４．エルサルバドルの少数民族文化・言語の保護と復興の動き 116

参考文献 119

あとがき・謝辞 129

巻末資料 133
１．『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』写真 135
２．『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』テキスト 189
３．ピピル語とナワトル語の比較表（敦賀　2000:282-294） 237

序　章

１．研究目的

本論文は、植民地時代の中米において話されていた、ナワ系言語の一言語変種であるピピル語について、言語学的特性の解明及び、歴史学的・社会言語学的背景の考察を試みるものである。ナワ系言語は多言語社会のヌエバ・エスパーニャの広い地域で、リンガ・フランカ（linga franca　共通語、媒介言語）[1]として機能していた。しかし、ピピル語は、約 300 年にわたる植民地時代とその後の近代国家形成の過程を経て、現在では消滅の危機に瀕している。

本論文では、数少ない植民地期のピピル語資料の一つであるエルサルバドルのサンタ・アナ市カテドラル（大聖堂）所蔵の『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』(以下『台帳』と略記）を取り上げ、調査・研究を進めた。この『台帳』は 17 世紀から 18 世紀にかけてのサンタ・ベラクルスのコフラディア（信徒集団）の運営規則や幹部任命や教会巡察の記録などが収められている。全約 160 頁のうち、約 70 頁がピピル語で書かれており、その中には、ピピル語で記された言語資料としても歴史資料としても貴重な文書が確認された。

さらに、長い歴史を経て、ユネスコによって危機言語の一つとされる現代ピピル語の言語学的特徴、特にスペイン語の影響による言語変容を分析するとともに、社会言語学的状況と少数先住民言語・文化の保存及び復興について考察

---

[1]「リンガ・フランカ」は、異言語集団間の実用的なコミュニケーション手段として、ある時代に特定の地域で（あるいは特定の複数の民族間）で慣習的に確立した共通語を指す概念である（亀井・河野・千野　1996　：1391)。しかし、もともとは、フランク王国の言語であるフランク語を意味し、地中海地域の港で中世から 19 世紀頃まで用いられた交易上の通用語で、イタリア語をもとにしたロマンス諸語と多少のアラビア語的要素が混じり合った地域的共通語を示した（亀井・河野・千野 1992：895)。

なお、社会言語学者のカルヴェは、「リンガ・フランカ」は、異なる言語の民族間を媒介する「乗り物言語（*langues véhiculaires*)」(日本語訳は「超民族語」）の 3 つの総称的な形態（ピジン語、クレオール語、サビール語）のサビール語の特殊形態であるとしている。しかし、アメリカでは、これらの超民族語は全て「リンガ・フランカ」という術語一つで慣用され、それゆえ用語法上の混乱を招いていると述べている（カルヴェ 1996：30－31)。

本論文では、調査地であるメキシコ・中米における現時点での慣用的用語法に従い、「リンガ・フランカ」という用語を、異言語間を媒介する「共通語、媒介言語」として論を進めることにする。なお、「媒介言語」は、「異なる言語を使用する人々と接触する時に使用する言語」という社会言語学者の木村氏による規定に基づく（木村　2009：1)。なお、中米史研究のマシューらは、従来の「リンガ・フランカ」の用語法から脱却し、 *vehicular language* を用い始めている（Mathew & Romero 2012:766)。

ナワ系言語が植民地時代に「リンガ・フランカ」として機能を果たしていたことには、第 2 章で詳しく述べる。

する。

植民地期のピピル語資料のテキスト化と言語学的分析を通じて、無形文化遺産でもある言語の記録と研究にいくばくか貢献できれば幸いと考える。

２．中米のナワ系言語と多言語社会の概観

グアテマラからパナマにかけての中米地域[2]は、古代から南北のアメリカ大陸に源をもつ様々な民族と文化が出会い、交差する場であった。現在でも先住民人口比率が高いのは、グアテマラ中部からメキシコ・チアパス高地に繋がる北部にかけての地域である。また、数ある先住民族グループの中で、古代から現代に至るまで、マヤ系諸族が先住民人口比率の上位を占め、現在も 20 を超えるマヤ系言語が存在する。

マヤ文化圏ともいえる中米地域であるが、古くからこの地域にはいくつかの非マヤ系の先住民言語がモザイク状に分布している。現在、この地域に存在が確認されている非マヤ系の言語の一つが本論文で取り上げるエルサルバドル南西部のナワ系言語のピピル語（pipil）である。ナワ系言語（nahua）[3]は、先スペイン期から植民地期に至るまで、メソアメリカ地域のリンガ・フランカのひとつとして用いられてきた。先スペイン期のメシーカ王国公用語のナワトル語（náhuatl）をはじめとするナワ系言語は、現在でもメソアメリカ地域北部のメキシコ中央高原を中心として数多くの話者がいる。一方、メソアメリカ南部地域に存在していたことが確認できるナワ系言語としては、征服期・植民地期にメキシコ中央高原から導入されたナワトル語、先スペイン期から存在していたと考えられるエルサルバドルのピピル語、植民地期に消滅してしまったとされるニカラグアのニカラオ語（nicarao）の 3 言語がある。

ナワ系言語以外には、南米のチブチャ語（chibcha）との類縁関係が認められるシンカ語（xinca, sinca）がグアテマラ東部にわずかながら分布している。

---

[2] 「中米」は「中央アメリカ」の略である。本来は、スペインからの独立後、1823 年に中米連邦を形成したグアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカの 5 か国を指した。近年は、1903 年にコロンビアから独立したパナマと、旧英領ホンジュラスのベリーズを加えた 7 か国を指す。

[3] キャンベルの分類に従い、メキシコ中央高原やゲレロ州などで話されるナワトル語（náhuatl）、メキシコ高原西部、ワステカ地方、メキシコ湾岸地方、中米などで話されるピピル語やニカラオを含むナワト語（náhuat）などを総称して、ナワ系言語（nahua、英語表記では *nahuan*）と呼ぶことにしたい（Campbell 1997：133-138）。なお、本論文では、植民地時代にリンガ・フランカとして使用されていたナワトル語ともナワト語とも区別しがたい混成言語にも言及するが、これもナワ系言語と呼ぶことにする。なお、ナワ系言語の言語変種分類は、第 3 章－3 で取り上げる。

同じチブチャ語系統のレンカ語（lenca）[4]は、ホンジュラス南部やエルサルバドルの東部に分布している。また、グアテマラ、ホンジュラスの大西洋岸には、18 世紀以降に移住したとされるガリフナ語が分布している。これは、小アンティル諸島の先住民とアフリカ黒人による混血で形成された民族で、言語はアラワク語とカリブ語の混成言語で、系統的にはアラワク語族に入る（八杉　2006：176）。

また、植民地期初期の文献には、マンゲ(mangue)、ポポルカ(popoluca)、ウルア(ulua)、チョンタル(chontal)、チョロテガ（cholotega）などの言語集団名も記載されている[5]。しかし、これらの言語に関しては、植民地中期以降、歴史文献の中で語られることはほとんどなく、また、文字記録や言語学的特徴を示す記述すらもほとんど発見されていない。現在も中米において話されている非マヤ系の言語の大部分は消滅の危機にあるが、これらの言語と同じ運命を辿るかもしれないと危惧される。

３．消滅の危機に瀕する中米のナワ系言語

中米地域は、グアテマラ、ベリーズ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、パナマの７つの独立国から構成されている。英語が公用語であるベリーズを除いた 6 カ国では、公用語はスペイン語となっている。近年の調査によると、グアテマラ以外の 6 か国の先住民人口は、総人口の 5 パーセント前後を占める程度である。それらの言語は残念ながら消滅の危機に瀕しているものがほとんどである。多言語社会の中米の先住民社会や文化について語られる場合、これらの少数言語を母語とする人々は、最大人口のマヤの人々の影にかくれてしまう傾向にある。

中米地域は古くから様々な民族が共存する多言語社会であったが、約 300 年の植民地時代と独立後の近代国民国家形成の過程においては、先住民言語の存続には過酷な時代が続いた。西欧列強の植民地だった中米地域などでは、「先住民の文明化」という大義のもと、「言語同化主義」や「単一言語主義」が推進され、被支配者の言語は社会の周縁へおいやられていた。

現在、中米で現存するナワ系言語は本論でとりあげるエルサルバドルのピピル語のみとなってしまった。その話者は、既に約 200 名程度と言われている。当然ながら高齢化が著しく、消滅の危機に瀕しているのは自明である。エルサルバドルのピピル語は、1930 年代以降の長期におよんだ軍事政権支配、そして

[4] 現地ではポトン語（potón）、カカウィラ語（kakawira）と呼ばれることもある。
[5] 第２章１.「グアテマラ、エルサルバドルにおける先住民言語分布状況」を参照されたい。

1970 年代からの内戦を経て、消滅の危機に瀕する状態になったと考えられる[6]。

現代の言語存続の危機は、特に 19 世紀以降、世界各地で近代国民国家が形成される過程で、国語以外の言語と文化は、近代的発展の障害とみなされ、排除すべきものと考えられてきたことが根本的な要因と考えられる。グローバル化の進む現在、国語や公用語となった言語の拡大によって、少数言語の存続はさらに脅かされている。

ユネスコの「世界無形文化遺産保護条約」第 2 条で、無形文化遺産の定義として「口承による伝統および表現（無形文化遺産の伝達手段としての言語を含む)」と規定され、言語の無形文化遺産としての価値が認められている。そして、危機言語が失われる前に、それを各民族の英知の宝庫として記録し、文化遺産として保護することがうたわれている。本論は、このような観点から、消滅の危機言語の一つとされるピピル語の数少ない歴史的記録の研究に寄与したいと考えるものである。

４．史料と方法論

本論文で主に分析対象とするピピル語史料は、エルサルバドル、サンタ・アナ市のカテドラル所蔵の『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』（*Libro de la Cofradía de la Santa Veracruz,* Archivo de la Catedral de Santa Ana, El Salvador）である。約 160 頁の内、およそ 70 頁がピピル語で書かれた文書で、最も古い文書が 1649 年、最も新しい文書には 1775 年の日付がある。

これまでサンタ・アナ市カテドラルの保管文書は一般公開されていないが、筆者が『エル・サルバドル総合学術調査』（1997 年度－1999 年度）に参加した際、同国文化庁の紹介で、所蔵文書の閲覧・調査を行った。その後も、何度か同カテドラルを訪問していたことから、本論調査・研究のため、特別に文書の閲覧・撮影許可を頂くことが出来た。2007 年 3 月・8 月に、同台帳全体のデジタル写真撮影を行い、2008 年 8 月には、撮り直し箇所のみ撮影することが出来た。

まず写真画像からピピル語テキストを起こす作業を行った。その後、ピピル

---

[6] ユネスコのホームページで 1996 年から公開されている『世界の危機言語地図』によると、約 6000 の世界の言語のうち 2473 の言語が危機言語とされている。危機状況の低いものから、「不安定（vulnerable)」、「決定的な危機状態（definitely endangered)」、「重大な危機状態（severely endangered)」、「きわめて危機的な状態(critically endangered)」「消滅した（extinct)」の 5 段階で分類され、エルサルバドルのピピル語は、消滅の一歩手前の第４段階とされている。
（ユネスコ『世界の危機言語地図』http://www.unesco.org/culture/languages-atlas/）

語テキストの言語学的分析、特に各単語の形態統語論的分析を中心に解読を行った。同時に、補助資料として重要なスペイン語の頁のテキスト化を行った。

古典ピピル語の辞書や文法書などの基本参考書は残念ながら存在しない。したがって、植民地期のピピル語文書の解読には、メキシコ中央高原で編纂された古典ナワトル語の辞書や文法書を使用せざるを得ない。辞書としては、主に16世紀メキシコ盆地で編纂されたモリーナ（Fray Alonso de Molina）のナワトル語辞書、植民地時代の言語学研究を基に文献上の引用分析を加えたカトゥーネン（Frances Karttunen）編纂の辞書を使用した。また、文法書としては、16, 17世紀にオルモス（Fray Andres de Olmos）やカロチ（Horacio Carochi）が作成した古典ナワトル語文法書、それらを基にして編集されたミシェル・ロネ（Michel Launey）やスリバン（Thelma Sullivan）らのナワトル語に関する文法研究書を用いた。さらに、メキシコ国立自治大学並びにメキシコ社会人類学高等調査研究所（CIESAS）の古典ナワトル語研究に従事する先生方から意見や指導を受けることもできた[7]。

形態統語論的分析に際しては、筆者も1998年10月から2003年2月まで参加したCIESASの古典ナワトル語講座が提案した形態統語論を軸とする解読方法（Herrera, Peralta, Von Mentz, Rockwell 2007:149-184）に準じて分析を行った。

言語学的分析の枠組みの構成にあたっては、メキシコ国立自治大学先住民言語研究所の言語学者デイキンがリンガ・フランカであるナワ系言語で書かれた書簡集*Nuestro Pesar Nuestra Aflicción*(『我々の悲しみ、我々の苦痛』[8]）の分析で採用した手法を参考とした。すなわち、本論文では、テキストの形態統語論的分析と解読、スペイン語からの借用語などを含む語彙論、名詞（句)、動詞（句）の特徴、などを中心に取り上げる。

分析するピピル語テキストが植民地期の古典語とはいえ、言語学的特徴は現代語と通じている部分もある。そのため、現代ピピル語に関するシュルツ・ヘナやキャンベルなどの研究、および筆者が1998年から3年間エルサルバドルのソンソナテ県とアワチャパン県で行った調査で収集したデータ（敦賀[9]2000　巻末資料 3）も、部分的に参考にする。

---

[7] グアテマラの16世紀ナワ系言語文書の言語分析を行ったメキシコ国立自治大学先住民言語研究所のカレン・デイキン博士をはじめ、CIESAS古典ナワトル語講座のホセ・アントニオ・フローレス・ファルファン先生と同前研究員メディナ・リマ先生に心から御礼を申し上げる。

[8] この書簡集は16世紀グアテマラ市（現在のアンティグア・グアテマラ市）近郊の先住民らがリンガ・フランカとして機能していたナワ系言語を使ってスペイン王に宛てたものである(Dakin y Lutz 1996)。

[9] 筆者の業績は全て旧姓「敦賀」で発表している。

第１章　中米におけるナワ系言語に関する研究

１．言語学的研究

１）現代ナワ系言語研究

中米のナワ系言語についての言語学研究は、1883 年にスイス人医学博士のストールがグアテマラのバハ・ベラパス県サラマ市において行った、ナワ系言語の言語変種の一つであるピピル語の調査にはじまる（Stoll 1958:19-33)。彼は調査方法や話者人口などには言及しておらず、また、言語学的分析までは行っていないが、約 220 語の単語リストと約 130 の短文を残している。そのリストの中にはマヤ・キチェ語(maya k’qiche’)からの借用語 5 例見られる。同地域は先スペイン期からマヤ文化圏であり、その中で、ピピル語は少数民族言語であった。現在もマヤ・キチェ語やマヤ・ケクチ(maya q’eqchi’)語の話者が多く居住している。現在サラマ市はバハ・ベラパス県の県都であるが、ピピル語は 20 世紀早々に消滅しただろう現地では推測されている。

ストールの後、あまり知られていないが、1924 年に、エルサルバドルのソンソナテ県ナウイサルコ村在住の教員アラウス氏が当時の教育省からの依頼を受け、ピピル語による伝承と語彙及びピピルの歴史概要をまとめた著作を記している。アラウス氏は言語学者でもピピル語話者でもなかったが、ナウイサルコに長年居住し、学校教育に携わっていた[1]。しかし、彼の調査・研究の成果が、エルサルバドル文化省から *El Pipil de la Región de los Itzalcos*（『イサルコ地方のピピル語』）として出版されるのは 35 年以上も後の 1960 年だった。

４部構成の著作の第２部には、動植物の挿絵があり、それにピピル語とスペイン語の意味が添えられている。また、単語から短文へ、そして長文へ、と段階を追う形で、ピピル語とスペイン語の対訳の文章が書かれている。第３部では、数字や簡単な算数の表などがピピル語とスペイン語で示され、第４部はピピル語－スペイン語、スペイン語－ピピル語の単語リストとなっている。

このような構成から、彼の著作は、ピピル語話者へのバイリンガル教育のテキストであると同時に、スペイン語話者向けのピピル語習得用テキストとして作成されたものだと推測できる。

1930 年代、ドイツ人地理・歴史学者のシュルツ・ヘナは、グアテマラのキチェ県におけるマヤ語の調査と並行する形で、エルサルバドルの現代ピピル語の

[1] 筆者の 1999 年の聞き取り調査によれば、ナウイサルコには、若干名の高齢のピピル語話者が存在するということであった。

言語学調査と伝承の収集に従事していた[2]。彼がソンソナテ県イサルコで調査を行ったのが 1930 年であるが、筆者が現地で聞いたところ、当時、イサルコではすでに話者人口の減少が始まっていたとのことである。

彼の研究調査の成果は、1935 年にドイツで *Indiana II-Mythen in Muttersprache der Pipil Von Izalco in El Salvador*（『エルサルバドル・イサルコのピピル語の神話』）として発表された。シュルツ・ヘナの研究は、指導を受けたフランツ・ボアズの影響もあり[3]、言語と文化の相関関係を追及する言語人類学的研究である。

約８千語にものぼる単語集の作成、文法分析とともに、ピピル語の伝承の記録・翻訳が行われている。その伝承は、生業である農業に関連するとうもろこしやフリホール豆、大地と水、太陽と月の話などから、ピピルの道徳観や共同体の生活、ヨーロッパ文化との接触によって生じた新しい社会的要素など、多岐にわたっている。伝承の分析においては、メキシコのアステカの神話との比較が試みられている。ピピル語話者が減少していたとはいえ、まだ十分存在していた時代に収集したこれらの資料は大変貴重な記録である。

この 1930 年代のシュルツ・ヘナの研究成果のエルサルバドルでの翻訳版は、1977 年の *Mitos y Leyendas de los Pipiles de Izalco*（『イサルコのピピルの人々の神話と伝承』）と、1982 年の *Gramática Pipil y Diccionario Analítico*（『ピピル語文法と分析辞書』）の２部構成で刊行された。

1920 年代のアラウスの調査、並びに 1930 年代のシュルツ・ヘナの調査研究の成果がエルサルバドルにおいて出版されるのが半世紀近くも遅れている。その背景には、軍事政権による農民弾圧があったことは明白であり、1932 年、ついに軍による西部ソンソナテ県で農民大虐殺[4]が起こった。虐殺された農民の多くはピピルの人々であり、この事件を機に先住民はアイデンティティー隠蔽のため、彼らの言語の使用と民族服の着用を自主的に控えるようになった[5]。

---

[2] 彼の調査はアメリカ合衆国先住民言語調査審議会とドイツ学術調査支援協会の支援のもと、ドイツ生まれでアメリカ合衆国人類学者フランツ・ボアズの理解と指導をえて行われたという（Jena 1982:17-18）。

[3] ボアズは、1912 年にメキシコ・オアハカ州太平洋岸のポチュトラで、消滅の危機にあったナワ系言語変種ポチュテコ語の調査を行っていた（Boas 1917）。

[4] マルティネス軍事政権打倒のために立ち上がったファラブンド・マルティ共産党書記長に賛同し、ソンソナテ県やアワチャパン県などの西部コーヒー農園地帯の先住民・農民も土地を奪回するために蜂起した。しかし政府軍の弾圧で、数万人の犠牲者を出す同国史上最悪の惨事となった。詳しくは第６章２－1）　参照されたい。

[5] 1998 年にソンソナテ県で筆者が行った聞き取り調査の証言による。また、「メキシコ・中米・カリブ自主的先住民組織第２回集会決議」（1980 年）において中米の先住民らが弾圧について述べている（小林　1986:159-178）。

シュルツ・ヘナの研究がエルサルバドルで翻訳・刊行されたのは、中米紛争が先鋭化し、エルサルバドルでも内戦が始まった頃である[6]。この時期、既にピピル語話者人口は相当減少していたと思われるが、二人の貴重な研究成果は、軍部に対する反対勢力がようやく表れた時期に発表されたと言える。

内戦勃発の直前の 1970 年から 1976 年にかけて、アメリカ人言語学者のキャンベルは、断続的にソンソナテ県を中心に調査を行っている。1932 年の先住民虐殺は都市部に近い地域ほど深い傷跡を残したようで、ソンソナテ県やアワチャパン県でも山深い小さな集落に行かないとピピル語話者の存在は確認できなかったとされる。若年層では流暢に話せる者は皆無で、話者の高齢化が懸念された（Campbell 1985：2)。彼の研究によると音声がスペイン語的になり、語彙にはスペイン語の単語が相当数入り始めていたようである。つまり、既に消滅の危機に向かっていたのである。

ソンソナテ県の 12 か村で行った調査の成果は博士論文としてまとめられ、1985 年に *The Pipil Language of El Salvador*（『エルサルバドルのピピル語』）という 900 頁に及ぶ大作として出版されている。同論文において、サント・ドミンゴ・デ・グスマンとクイスナワットの二つの村で収集した単語と短文の聞き取り調査を基にして、ピピル語に関する音声学、語彙論、形態論の詳細な分析が行われている。さらにピピル語の民話を 7 話収集し、形態統語論的に行われた英訳を添えている。添付されたピピル語－英語－スペイン語辞書には約 4500 語が収められている。

上記の 4 つの現代ピピル語研究のうち、ストールのサラマ市を除いた 3 つの研究の調査地は、いずれもエルサルバドルのソンソナテ県である。

この他、エルサルバドルでは、国立エルサルバドル大学の言語学者のジェオフォリー・リーバスが同国に数多く残っているナワ系言語の地名を解説した地名辞典、*Toponimía Nahuat de Cuscatlán*(『クスカトランのナワト語地名』1961)がある。

1990 年代になって内戦が終結すると、国立エルサルバドル大学の言語学者らの指導の下、最後のピピル語話者世代と目されている人々によって、ピピル語の文法書や語彙集を作成が進められた。

2003 年にはドン・ボスコ大学言語センターがナワト語（ピピル語）[7]復興プ

---

[6] エルサルバドルでは、1980 年に民主革命戦線とファラブンド・マルティ民族解放戦線（FMLN）の２つの組織が結成され、事実上の内戦状態に陥った。

[7] 2000 年頃からエルサルバドルでは、言語名は「ナワト語（náhuat)」、民族名を「ピピル（pipil)」と区別して呼ぶようになった。本論では、従来のとおり「ピピル語」と呼ぶことにしたい。

ロジェクトを打ち出した。これは、ピピル語を調査・記録するだけではなく、ピピル人の生活状況の改善や社会におけるピピル人とその言語の威信の奪回、さらに、小中学校におけるピピル語教育をめざそうというものである（カステジャノス 2012：28-29)。その後、ピピル語教育のための教員養成や教科書作成などが行われ、今現在ソンソナテ県のいくつかの学校でピピル語授業が行われている。

２）古典語研究

一方、古典語の言語学的研究の歴史は、史料自体が未発掘であることから、まだまだ浅いといってよい。メキシコ国立自治大学の言語学者デイキンは 2009 年に、植民地時代におけるナワ系言語のリンガ・フランカとしての機能に着目し､メキシコ南部から中米にかけて発掘された 14 のナワ系言語で作成された文書の分布とその言語学及び文献学的特徴についてまとめている(Dakin 2009)。その内、本論で取り上げるエルサルバドルのピピル語文書以外は、ミヘ語やマヤ諸語やシンカ語など、もともとナワ系ではない言語民族の居住地域において作成された文書である。それゆえ、デイキンは植民地時代にナワ系言語はグローバル言語の役割を担っており、またそれは、先スペイン期からその機能を有していたと仮説を立てている（ibid:267）[8]。

ナワ系言語で記された文書を用いた古典語研究としては､デイキンが行った、16 世紀末に先住民らがスペイン王に宛ててナワ系言語で書かれた書簡集の研究 *Nuestro Pesar Nuestra Aflicción*(『我々の悲しみ、我々の苦痛』)（Lutz y Dakin 1996）が唯一のものであるといってよい。21 通からなるこの書簡集は、グアテマラ市（現在のアンティグア・グアテマラ市）近郊の先住民共同体のカビルド（市町村会）幹部らが、先住民らの劣悪な処遇の改善を求めるため、スペイン王に直訴したもので、歴史学者のルーツが歴史学的解説を加えている。

これらの書簡はスペイン語力のない先住民が、先スペイン期からこの地方のリンガ・フランカであったナワ系言語で書いたものとされる。デイキンの分析によれば、書簡の書記はマヤ・カクチケル語を母語としていたとされる（ibid ：171 ）。興味深いのは、その言語にはメキシコ中央高原のナワ系言語、すなわちナワトル語と中米のピピル語の両方の特徴が認められることである。

彼女は多くの脚注を付して､これらの書簡を丁寧にスペイン語に訳している。さらに語彙論、形態論からの分析を行うとともに、マヤ語の影響が認められる要素も示している。中米において、リンガ・フランカとして機能していたナワ

[8] デイキンの研究については、本論第 3 章で詳述する。

系言語の最も古い記録に関する貴重な研究と言える。

古典語については、メキシコ社会人類学高等調査研究所（CIESAS）の民族歴史学者のレジェス・ガルシアがチアパス州で発見された 16 世紀から 18 世紀にわたる短いものも含め約 30 編のナワ系言語文書をテキスト化し、スペイン語に訳した小論がある（Reyes García 1961）。このナワ系言語の多くもまた、リンガ・フランカとしてマヤ語圏でも通用していた。

この他、メキシコ国立自治大学の歴史学者レオン・ポルティーリャが 17 世紀グアテマラのミスコで書かれた土地所有に関するナワ系言語文書を発表している（León-Portilla 1978）。また、アメリカの人類学者のフェルドマンがエスクイントラやグアサカパンの教会などで発見された数頁の 17 世紀のピピル語文書をスペイン語に訳した小論もある（Feldman 1974）。いずれも、1 頁程度の短いテキストであるので、十分な言語学的諸相を見出すのは困難である。

２．歴史学・民族歴史学的研究

植民地時代の歴史については、副王領の中心地域であったメキシコやペルーと比べると、中米は文献史料自体が極めて限られていることが、中米のナワ系民族の歴史研究に支障をきたしている[9]。

現在まで発表されている先住民がナワ系言語で記した文書は、先述のデイキンが解読・分析した 16 世紀の書簡集や、レジェス・ガルシアなどの研究で提示された各地の教会や役場の古文書として保存されている断片的な文書だけである。ナワ系民族の歴史学・民族歴史学的研究で用いられてきた文献のほとんどはスペイン語で記述されたものであるが、それも、他の地域と比較すると非常に少ない。

その理由について、スペイン人による中米の征服活動に同行したナワ系言語のトラスカラ人[10]の足跡を研究しているメキシコ人歴史学者のゴンサレス・アコスタは、次のように説明している。「メキシコ北部の植民地化に寄与したトラスカラ移民の史料は豊富で様々な研究があるが、中米への移民に関して具体的な一次資料が希少で研究も少ない。この差異は二つの事業の評価の差に起因す

[9] スペインのインディアス古文書館とメキシコ国立古文書館以外の関係古文書館の整備が遅れていることにも原因がある。グアテマラの中米古文書館をはじめ、中米各国の古文書館は、政治的、財政的事情から、文書の整理・保存状態が良好ではない。さらには、長年の内戦によって、古文書館はかなりの損傷を受け、また、経済状況悪化の中、水面下で相当数の貴重な史料が海外へ流出したと言われる。

[10] 第 3 章 2－１）「歴史記述上のピピル語」でも述べるが、トラスカラ人の言語はメシーカと同様ナワトル語である。

るという。トラスカラ人の南部への移民はアルバラード率いる征服活動に伴う私的事業であり、北方への移民が植民地体制下の公的事業という根本的な違いがあった。またスペイン王にとって、南部の征服は残虐非道な負の勝利、北部の「野蛮人」チチメカ人の平定は植民地経営に寄与した栄誉であった。こうした差異が現存の文献量の大きな格差につながる」と指摘する（González Acosta 2001:117-119）。

中米、特にグアテマラ総監領のナワ系言語民族の歴史学的研究の最も古いものは、1970 年に歴史学者のシェルマンによって発表された小論、“*Tlaxcalan in Post-Conquest Guatemala*”（「征服後のグアテマラのトラスカラ人」）である。彼はインディアス古文書館の文書と主なクロニカを使用して、スペイン人の征服活動に同行し、グアテマラに残留したトラスカラ人やメシーカ人の 16 世紀後半までの植民地統治下での生活を記述している。当初は、カビルドを運営し植民地政府に忠誠心をもって貢献したが、植民地政府の厳しい貢納や労役に不平をつのらせていたとしている。

このような征服活動に同行したトラスカラ人やメシーカ人の歴史については、アメリカ人歴史学者のマシュー（Matthew, Laura.E）が 2004 年に *The Mexican Indian Conquistadors of Colonial Guatemala*（『植民地期グアテマラのメキシコの先住民征服者』）で、大きく発展させている。彼女はインディアス古文書館、中米古文書館、グアテマラ司教区古文書館、アンティグア・グアテマラやシウダ・ビエハなどの教会などの約 800 にも及ぶ古文書を取り上げている。その多くが先住民に関しては、間接的な記述であるにもかかわらず、ていねいに読み取り、そこから当時の先住民社会を組み立てている。これらの先住民は、被征服民でありながらも、スペイン人統治者に抵抗を続けていたマヤの人々と統治者の間で仲介的役割を果たしていたことから、反体制的先住民に対する「征服者」でもあった。彼らはまさに、ラディーノ[11]の先がけ的存在でもあったとマシューは解釈している。なお、ナワ系言語で記述された文書については、デイキンが翻訳・分析した書簡集を引用している。また、研究対象地域のアンティグア・グアテマラ周辺は、もともとマヤ・カクチケルの人々の居住地域でピピルの人々が存在しなかったためか、ピピルに関してはほとんど言及していない。

民族歴史学の研究では、メキシコの歴史学者レオン・ポルティーリャが 1972

[11] 語源的には、ラテン人（latino）に由来し、白人征服者を意味したが、現在グアテマラではラディーノ（ladino）は非先住民のことであるとする定義が一般的であり、メスティソ（混血）とほぼ同義であるとされる。また、民族的出自が先住民でも、支配側と見なされればラディーノと呼ばれる。同国で一般的に用いられる「先住民」と「ラディーノ」は、エスニックな対立項という感覚と実際の定義づけの曖昧な様相との対照性により、この二つが相互的に規定されていることが反映されている（小泉 1994：63-66）。

年の論文、*Religión de los Nicaraos*（「ニカラオ人の宗教」）の中で、先スペイン期に遡るナワ系民族の中米への移動について解釈を試みている。彼は、フランシスコ会神父フアン・デ・トルケマダやトリビオ・デ・Ｂ・モトリニアなどの 16 世紀のクロニカにしばしば記されている、「ニカラオ人（ニカラグアのナワ系民族）はメキシコから南下した」という記述をもとに、ヒメネス・モレーノの考古学研究などを加えて仮説を立てている。それによると、８世紀半ばから末期にテオティワカン[12]になんらかの関係があったとされるナワ系民族の中米への南下があったとしている（León-Portilla 1972:34)。さらに、1996 年に発表した *El Destino de la Palabra*（『言葉の行方』）で、資料やメキシコの絵文書や先住民文書などの解釈を加え、その起源の分析をさらに深めている。

この他、2004 年にオランダのアセルベルグ(Asselbergs, Florine G.L.)がメキシコのプエブラ市の副王領博物館に所蔵されている *Lienzo de Cuauhquecholan*（『クアウケチョランの布絵地図』）の図像を解読して、中米への征服軍に同行したトラスカラ人の足跡を読み取ろうとした研究 *Conquered Conquistadors*(『征服された征服者たち』)を発表した。この絵地図は、従来はメキシコのプエブラ地域の歴史でのみ取り上げられてきたものであるが、地名に関する図像を解読し、グアテマラの地名と照合させることで、中米への遠征の記録として新たな解釈を提示している。

アメリカ人考古学者・歴史学者フォーラーは、1989 年に *The Cultural Evolution of Ancient Nahua Civilizations- The Pipil Nicarao of Central America*(『古代ナワ文明の文化的発展－中米のピピルとニカラオ』)を発表した。彼は、エルサルバドルのクスカトラン遺跡などの発掘調査をもとに、ピピルとニカラオの先スペイン期の歴史を解明しようとした。また、植民地時代初期のクロニカやインディアス古文書館並びに中米古文書館所蔵の文書、さらに現代の民俗資料を使用し征服後の歴史を記述している。興味深いのは、インディアス古文書館（AGI）所蔵の 1549 年から 1599 年にかけてのグアテマラからエルサルバドルの租税査察の膨大な記録（AGI　Guatemala 128）を使って、当時のピピルやニカラオ集落の自然環境、農業、動物との関わり、宗教、社会組織などの復元を試みていることである。こうした歴史学的分析から、最終的には先スペイン期の文化様相に発展させようと試みている。また、歴史学、言語学、考古学資料から、メキシコから中米へのナワ系民族の移動は、900 年から 1350 年頃と考えられはするが、今後さらなる考古学的調査・分析が必要であるとしている（Fowler 1989:49)。

---

[12] 紀元 300－800 年に盛えたメキシコ盆地北部に位置する大都市遺跡。

第２章　多言語社会中米におけるナワ系言語

１．グアテマラ、エルサルバドルにおける先住民言語分布状況

１）現在の先住民人口

中米地域において、ナワ系言語の存在が確認されているのは、植民地時代にヌエバ・エスパーニャ副王領南部にあったグアテマラ総監領に属していたグアテマラとエルサルバドルである。この二国における現在の先住民の存在は、表１に示した通り、かなり対照的なものである。グアテマラでは人口の半数近くを先住民が占めているのに対して、エルサルバドルでは先住民人口は 1%にも達していない。なお、いずれの国勢調査も、帰属先住民グループについては、各回答者の自己定義によるもので、母語や言語運用能力を問うものはなかった[1]。

表１　エルサルバドル、グアテマラの先住民人口

国名	エルサルバドル共和国			グアテマラ共和国		
人口	5,749,863 人（2007 年国勢調査）			11,237,196 人（2002 年国勢調査）		
人種構成		人口	%		人口	%
	メスティソ	4,962,132	86.3	先住民	4,610,440	41
	白人・ヨーロッパ系	730,233	12.7	非先住民	6,626,756	59
	先住民	11,500	0.2			
	黒人	5,750	0.1			
	その他	40,249	0.7			
先住民グループ別	カカウィラ[2]	3,600	31.3	マヤ系	4,411,964	99.5
	ナワ・ピピル	3,059	26.6	シンカ	16,214	0.36
	レンカ	1,737	15.1	ガリフナ	5,840	0.13
	その他	3,105	27.0			
公用語	スペイン語			スペイン語		

この先住民グループ別人口のうち、グアテマラのマヤ系民族以外は、言語学的には消滅の危機に瀕している。エルサルバドルの現地関係者によると、話者人口は、ナワ・ピピル語で約 200 名、カカウィラ語で約 300 名だという。一方グアテマラのシンカ語話者は、現在若干名で、全員スペイン語とのバイリンガルで、高齢化が進んでいるという。また、ガリフナの言語はアラワク語とカリブ語の先住民語との混成言語とされ[3]、また、ユネスコの

[1] 第６章－2.「国勢調査にみる先住民と言語」で詳しく述べる。

[2] カカウィラとレンカの言語は、言語学的には同言語で、南米のチブチャ語と類縁関係が認められる。筆者が現地で聞いたところ、モラサン県カカオペラ市に居住するレンカの人々が文化的独自性を主張し、他の地域のレンカと区別してカカウィラと呼ぶようになったという。なお、レンカはホンジュラスにも約 10 万人居住すると言われるが、言語は消滅したという（杓谷 2004：170－171）。

[3] 17 世紀にカリブ海東部のセント・ヴィンセント島で難破した奴隷船に乗っていた黒人が、すでにその

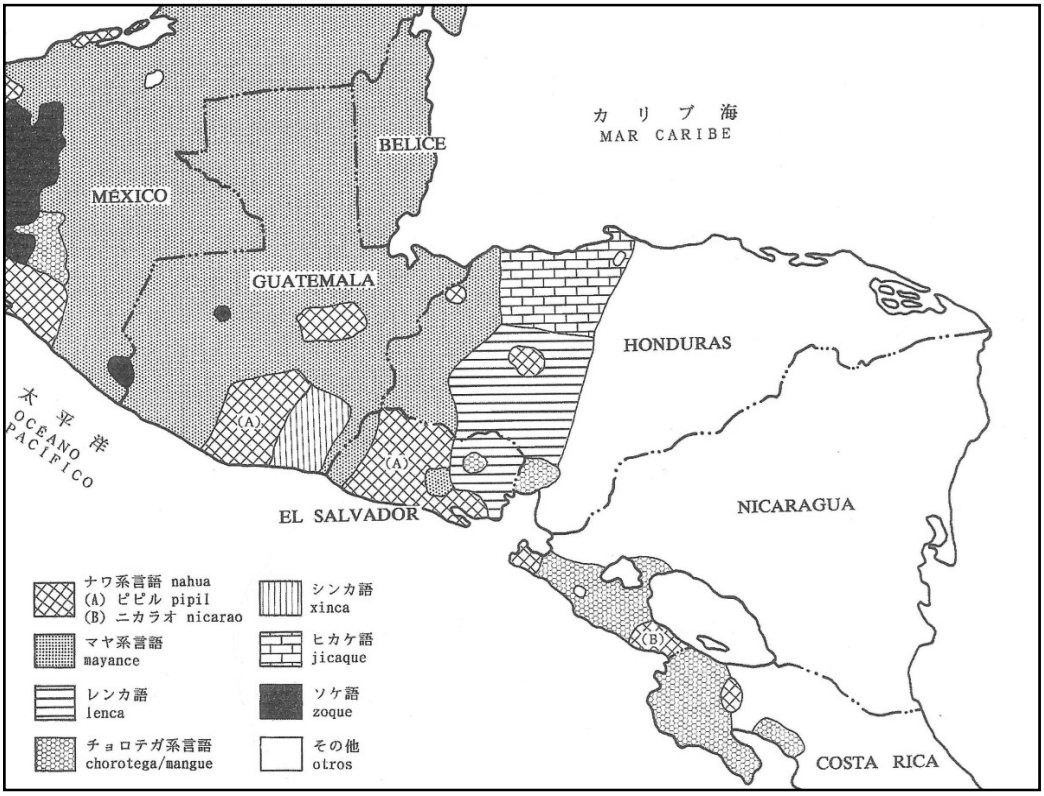
ホームページの『世界の危機言語地図』によると、危機言語の一つと数えられてはいるが、その危機度は、５段階分類の内、最も低い「不安定（vulnerable）」と記されている[4]。

これらの言語状況は植民地期以降の大きな社会的変動の過程で生み出されたもので、歴史をさかのぼれば、異なった様相が現れてくる。

２）征服期から植民地時代の先住民言語分布

スペイン統治以前の先住民言語分布は、従来、征服期から植民地時代の文献上の先住民に関する記述を基に、しばしば先スペイン期の考古学資料の研究が加えられて復元され、次の地図１のように、面的に分布を概観するものがよく知られてきた。

地図１　征服期の言語分布[5]



出典：大井 2000：9

しかし、文献の記録は、集落ごとに記されている上に、当然ながら、全く記録のない

島に先住していた南米起源のアラワクとの間で混血したのがはじまりで、その子孫が 1797 年にイギリス人によってホンジュラスのロアタン島に遺棄され、そこからガリフナとして中米のカリブ海沿岸地帯にひろがった(杓谷 2004：171－172)。

4 ユネスコ『世界の危機言語地図』（http://www.unesco.org/culture/languages-atlas/）　より。

5 地図中の言語の内、ヒカケ語は非メソアメリカ言語とされる（Campbell 1997: 362）。高齢の話者がわずかに確認される（ibid: 160）。ソケ語は、メソアメリカの 11 語族の一つであるミヘ・ソケ語族の一つで、オルメカ文明を築いた民族の言語であるという説もある（ibid:161-162）。チョロテガ系言語は、同じく 11 語族の一つであるオトマンゲ系言語に分類されるが、既に消滅した言語とされる（ibid:158）。

地点も多い。さらに、集落によっては、複数言語の存在がうかがえる記述も少なくない。このような観点から、ここでは、本研究の調査地エル・サルバドルを中心に、文献記述から言語分布の再考を試みる。

スペイン人は、征服時から植民地時代にかけて、彼らにとっての「他者」であり「被征服民」である先住民について、多様な観察を記している。当然、言語に関する記述もしばしば見られる。

たとえば、中米の征服者、ペドロ・デ・アルバラードの *Papeles Relativos A.D. Pedro de Alvarado*（『ペドロ・デ・アルバラードの書簡集』）や、彼が率いる政府軍の兵士ベルナル・ディアス・デル・カスティーリョが記した *Historia Verdadera de la Conquista de la Nueva España*（『ヌエバ・エスパーニャ征服の真実の歴史』）などの記録に、各地の先住民言語について記されている。

植民地時代は「被征服民」である先住民を制度的に区分し把握するために、 戸口・人口・資産など各種の調査が実施されていた。それらは、布教や集住政策をはじめ、その後、領内の住民に対する徴税政策などにも使用された。

1570－1580 年代、スペインの植民地全域で、スペイン国王の勅令により、現地の役人らが各集落の民族と言語、地理、産業、宗教などに関する総合的な聞き取り調査を行い、報告書をスペイン本国に送付することが要請されていた[6]。その報告書は *Relaciones Geográficas*（『地理報告書』　以下 RG と略記）と呼ばれ、当時の社会を知る重要な史料として利用されてきた[7]。

また、先住民の集住政策が始まった 16 世紀末から 18 世紀末にかけても、教区の巡察記録が数多く作成されている。こうした巡察記録でも、教区の民族、言語、男女の別や年齢層を注記した人口などが記されている。中米については、16 世紀末にフランシスコ会師アロンソ・ポンセに随行したシウダ・レアルが記した紀行文 *Tratado Curioso y Docto de las Grandezas de la Nueva España*（『ヌエバ・エスパーニャの偉大さに関する奇妙にして博識なる書』）が最も古い。また、18 世紀末にグアテマラ教区を視察したペドロ・コルテス・イ・ララスが記した *Descripción Geográfico-Moral de la Diósesis de Goatemala*（『グアテマラ教区の地理・民俗誌』）　には、各教区の先住民族とその言語、信徒の民族構成やその男女別人口などが記されている。

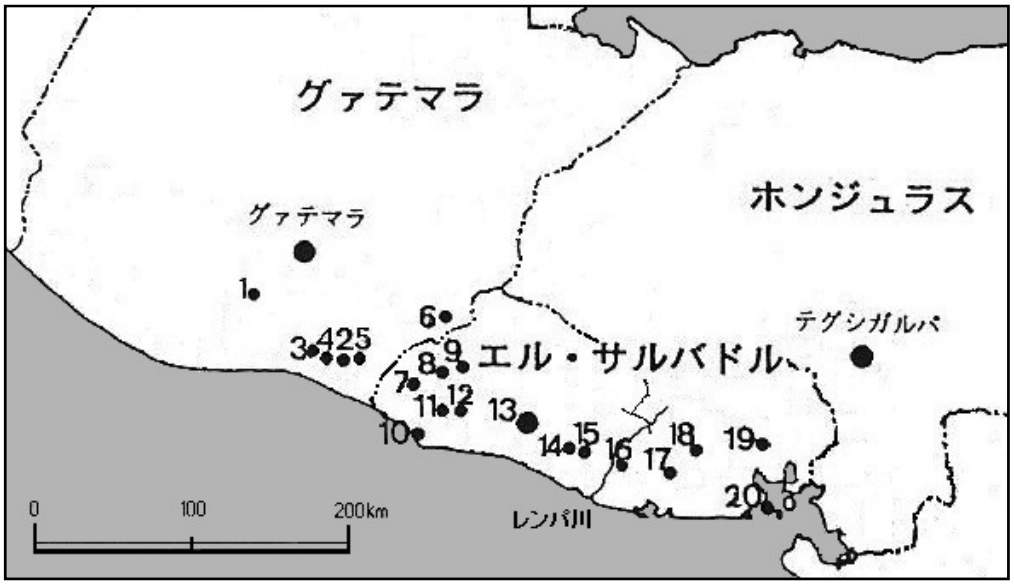
これらの文献の記録から、グアテマラ南部からエルサルバドルにかけてのナワ系言語分布地域を中心に民族・言語名を地図に記したたものが、次の地図 2 である。これらの集落の中には、特に植民地期に複数言語が話されていたところが多くある。特にサンサルバドルよりも西部は、ほとんどの集落でピピル語が話されており、さらにマヤ系言語やシンカ語やポポルカ語などが併用されていた集落がある。このような複数言語が使用されていたことを示す、いくつかの具体的事例を文献記述上から見ていくことにしたい。

---

[6] 巡察官フアン・デ・オバンド・イ・ゴドイ（Juan de Ovando y Godoy）が始め、1577 年にロペス・デ・ベラスコ（López de Velasco）が再編した 50 の質問事項を活版印刷で刷られたものが新大陸へ送られた。（ RG. 1982：7-11）

[7] ヌエバ・エスパーニャ副王領では、メキシコ、オアハカ（アンテケラ）、ミチョアカン、トラスカラ、ユカタン、グアダラハラ、グアテマラなどからの報告があり、現在、マドリッド歴史アカデミ ーとテキサス大学で所蔵されている。メキシコ国立自治大学から『16 世紀地理報告書（Relaciones Geográficas del Siglo XVI）』として出版された。

地図２　グアテマラ東部からエルサルバドルの言語分布：16 世紀と 18 世紀



＊地図中の各地点の言語状況は下記表のとおり。

（●ピピル　○メシーカ語（ナワトル語）▲シンカ　◆マヤ系　■ポポルカ　△ポトン（レンカ）　◎その他）

地　名	16 世紀	18 世紀	地　名	16 世紀	18 世紀
1．エスクイントラ	●	●	12. イサルコ	●○■	●■
2．グアサカパン	●■	▲	13. クスカトラン（サンサルバドル）	●◆◎（チョンタル[8]）	
3．アティエパク	▲				
4．タシスコ		▲	14. ノノアルコ	●	●
5．ロス・エスクラボス	●		15. サカテコルカ	●	
6．ミタ		●◆	16. オシュカル	△	
7．アワチャパン	●◆	●	17. エレウアイキン	△	
8．チャルチュアパ	●	◆	18. サン・ミゲル	○◎（ポコン、タウレパ、ウルア[9]）	
9．サンタ・アナ	●	●			
10. アカフトラ	●		19. ニコモンゴヤ	◎（マンゲ[10]）	
11. ソンソナテ		●	20. コンチャグイタ島	△	

出典：　敦賀 1996：131 を修正

例えば、1576 年にグアテマラ総監領の聴訴官、ガルシア・デ・パラシオは、スペイン王

8 チョンタル（chontal）はナワトル語で「よそ者」を意味することから、この地域にもともと存在しない言語を指すと推測される。したがって、具体的な言語名は不明である。

9 ポコンは、マヤ・ポコマンの別称でもあるが、この場合、その可能性は不明である。また、タウレパは、筆者が現地で聞いた情報によると、ウルアの別名で、ホンジュラスやニカラグアに分布していたレンカと同系の言語だという。

10 マンゲはオトマンゲ語族の一言語だと思われる。

に宛てた書簡の中で、「イサルコとグアサカパンの海岸地方では、ポポルカ語とピピル語が話されていた... 通常はピピル語が使用されていたが、本来の彼らの言語はポポルカ語である」と伝えている（R.G.1982：264-266）。また、グアサカパンについては、18 世紀末のグアテマラ大司教コルテス・イ・ララスは教区視察の際、「先住民らの母語はシンカ語で、多くの人々がスペイン語を理解する」と報告している（Cortés y Larraz 1958 II :225-226）。

なお、このポポルカ語は、ナワトル語で「野蛮」を意味し、「文明語」とされていたナワトル語を話す人々は、異言語集団をこの名で呼ぶことが多かった。したがって、先述のパラシオの言うポポルカ語とは、18 世紀にコルテス・イ・ララスが報告する、彼らの母語のシンカ語だと解釈することも可能だろう。そう考えると、16 世紀のパラシオが報告しているピピル語は、リンガ・フランカとして集落の外との接触などに使用されていたと考えられる。なお、この地域のポポルカ語については、言語学者のストールは、メキシコ・オアハカ地方のミヘ語に属する言語だと言っている（Stoll 1958:31）。

また、グアテマラとの国境に近いエルサルバドルのアワチャパンについて、1549 年にトマス・ロペスがスペイン王室辺境聴訴院あての書簡に、「男はクスカトランの人（ピピル）のように話しているが、女はチャルチュアパの人（マヤ・ポコマン）のように話している」と報告している（Larde y Larin 1975:49）。しかし、18 世紀のコルテス・イ・ララスの記録には、同村の言語はピピル語であるが、皆スペイン語を解する」としている（Cortés y Larraz 1958 I:66）。

このケースをどう解釈出来るだろうか。16 世紀の記録によると、男性よりも家内作業に従事する女性の方が文化的に保守的であることから、マヤ・ポコマン語が母語であり、男性が話すピピル語は異言語民族との接触時に使用する、リンガ・フランカであったと推測することも可能であろう。

しかし、18 世紀のコルテス・イ・ララスの報告は、マヤ・ポコマン語については言及していない。その頃既に、スペイン人教会関係者とは、誰もがスペイン語を使用していたが、時折先住民の間でピピル語が話されたということだろうか。これだけの断片的な記述だけで判断は難しいが、マヤ・ポコマン語は既に限られた場でのみ使用される言語となっていたので、巡察官の記録には記されなかったのかもしれない。

この記述から推察される状況は、ある言語が別の言語にとって代わった、別の言い方をするならば、他の言語に吸収され、さらには、消滅する過程の一例と見ることも可能だろう。

２．ナワ系言語の分布域

16 世紀初頭の征服期の中米では、ナワ系言語はパナマを最南端として分布していただろうと推定されている（Campbell 1985：2）。当時の人口を割り出すのは史料が限られて大変難しいが、フォーラーは 16 世紀のスペイン人租税査察官の文書などの分析から、少なくとも、エルサルバドル中央部から西部にかけてのピピル人口は約 35 万人、グアテマラ南東部のピピル人口は約 10 万人と推定している（Fowler 1989：139-151）。

21 世紀初頭では、エルサルバドルのソンソナテ県のサント・ドミンゴ・デ・グスマン、クイスナワット（Cuisunahuat）、イサルコ（Izalco）、そしてアワチャパン（Ahuachapan）

県のタクバなどに、高齢のピピル語話者が約 200 名存在し、そのほとんど全員がスペイン語とのバイリンガルである[11]。ニカラグアのニカラオ語やグアテマラの太平洋岸地域のナワ系言語[12]の消滅時期に関しては、確たる資料はないが、20 世紀初頭には既に消滅していたと思われる。

一方、カルヴェが言うように、地名から諸民族の広がりを検証する方法からナワ系言語の分布域を復元することも考えられる（カルヴェ 2006：120）。広くマヤ諸族が居住しているグアテマラでは現在も数多くのナワ系言語の地名が存在し[13]、中米の他の地域でもナワ系言語の地名は少なくない。こうしたナワ系の地名は、場所を表す接尾辞-co、-pa(n)、-tan など、あるいは都市を示す接尾辞-tenango（tenamit 城壁+-go（co）場所）などがあることで判定できる。

特にピピル語の方言特徴を示す接尾辞のひとつが-tan であるが、メキシコ中央高原のナワトル語では、この接尾辞は-tlan となる。例えば、エルサルバドルの大手銀行の名前になっているクスカトラン Cuscatlan は、征服者に同行したトラスカラ人やアステカ人らによるナワトル語による呼び方である。しかし現地では、ピピル語の接尾辞で、クスカタン Cuscatan（cuscat 宝石＋-tan）と呼ばれていた（Memorial de Sololá 1950 :127）。この地名は、もともと現地のピピル語で呼ばれていたが、メシーカ王国の拡大、あるいは征服軍に同行したトラスカラやメシーカなどの人々が、自分たちのナワトル語で読み変え、それが公的な地名として現在に至っていると考えられる。

このほか、エルサルバドルでは山のある場所＝集落を示す - tepeque（tepet 山+-que(co) 場所)という接尾辞を持つ地名も少なくない。メキシコ中央高原のナワトル語では、この接尾辞は - tepe*c* となる。例えば、コアテペケ Coatepeque(coat 蛇+-tepeque)、コフテペケ Cojutepeque（coj(y)ut コヨーテ+tepeque）、オコテペケ Ocotepeque（ocot 松+tepeque）、センスンテペケ Sensuntepeque（cemtzont400、多数+tepeque）などがある。

これらの地名をもつ集落において、どの時代にナワ系言語民族がどのような状況で存在したのか、もしくは関係していたのかは明確に知ることはできないが、言語分布域の復元には有効な資料だと考えられる。

３．ナワ系言語のリンガ・フランカとしての機能

１）先スペイン期に遡るリンガ・フランカとしての機能

ナワ系言語は植民地期のヌエバ・エスパーニャ全域でリンガ・フランカを形成する言語として機能していた[14]。16 世紀のフランシスコ会司祭メンディエタは、「地方によって実に様々な言語があるが、このメシーカ語（mexicano）[15]はヌエバ・エスパーニャ全土で通

---

[11] 第６章２−１）「現代エルサルバドルの先住民人口とピピル語の現状」を参照されたい。

[12] 征服時の文献記述からピピル語だと思われる（Fuentes y Guzmán 1932 II:72-73）。

[13] マヤの人々は、古くからのマヤ諸語の呼び名を使用しているケースも多い（八杉 2006:27-29）。代表例はケサルテナンゴ Quezaltenango（quezal ケツァル鳥+tenango 城壁の場所）で、現地ではシェラ（フ）（Xelaju）とマヤ語で呼ばれている。このような地名から、ナワ系言語がリンガ・フランカとして通用していた地域であったと推測することが可能であろう。

[14] 「リンガ・フランカ」の用法については、序章 1.「研究目的」を参照のこと。

[15] 「メキシコ盆地もしくはメシーカ王国の言語」を意味する。すなわちナワトル語を指す。

じる言語である。どこでもメキシコ語の通訳がいる。つまりヨーロッパにおけるラテン語のごとくすべての地方で通じる言語である」（Mendieta 1980:552）と述べている。

ナワ系言語は中米でも同様の機能を果たしていた。征服期から植民地期の文献にはこの事実を裏打ちする記述がしばしば現れる。例えば、1524 年グアテマラ太平洋岸の町、エスクイントラにおけるスペイン征服軍と先住民との戦闘について、フエンテス・イ・グスマンは、「…メシーカ語とピピル語がほとんど同じなので、イスクイントラ（エスクイントラ）人の攻撃に備えて、トラスカラ人を征服軍に加えた…スペイン軍がナワトル語の通訳を介して首長に降伏を勧めた…」（Fuentes y Guzmán 1932 II:72-73）と記している。

この言語がリンガ・フランカとして征服当初から機能していた理由は、先スペイン期に遡ることができる。メシーカ王国第８代王アウィソトルの時代（1486－1503 年）、メキシコ・チアパス州太平洋岸地方のソコヌスコが支配下に編入され、メシーカ語と現地言語との通訳が配置された。また、それに先立った形で、複数言語に通じた広域商人ポチテカがテワンテペック地峡部以南で活動していたからである。

中米はメシーカ王国の直接支配を受けなかったが、現在のサンサルバドル近くのクスカトラン王国ではピピル語、ニカラグアのニカラオ王国では、同じくナワ系言語の一つであるニカラオ語が話されていたとされる。中米にはアステカ王国の支配拡大以前から、これらのナワ系言語が存在していたとされ[16]、これらの王国はチアパスのソコヌスコを介し、メキシコ中央高原と関係していたことが考古学や民族歴史学などの研究から指摘されている（Fowler 1989:51-70）。スペイン征服当時、メシーカ王国と敵対関係にあったトラスカラ人がスペイン征服軍にいち早く同盟し、通訳として中米への征服に同行した後、遠征先に残り、植民地政府設立に貢献していた。トラスカラ人の「トラスカラ語」はメキシコ語とほぼ同義で記されていた。

２）植民地期におけるリンガ・フランカとしての機能

16 世紀後半の植民地統治下において、サンティアゴ・デ・グアテマラ（現在のアンティグア・グアテマラ市）のマヤ・カクチケルの市参事会幹部が植民地政府の圧政をスペイン王に直訴した書簡は、征服以前からリンガ・フランカとして使用していたナワトル語とピピル語の両方の特徴をもった言語で書かれている（Lutz y Dakin：1996）。さらに、スペイン人宣教師らはスペイン語の習得を拒否するマヤの人々には、ナワ系言語を習わせたという記録もある（Matthew 2004:174-175）[17]。

スペイン征服前から、中米の先住民の間で広く用いられてきたナワ系言語は、植民地期において、特に植民地政府側に対する反乱が絶えることのないマヤの人々を統治するため、征服者と被征服者の間の仲介言語として重要な役割を担っていた。その背景には征服直後からメキシコ中央高原で、聖職者らが布教目的のためにナワトル語の辞書や文法書を編纂

---

[16] カルヴェは、「800 年から 1100 年にかけてのトルテカ人支配の痕跡」としている（カルヴェ 2006：119 - 120）。また、言語年代学による分析ではピピル語の発生は 900 年頃とされる（Lutz y Dakin　1996：175-176）。

[17] 現代のマヤ社会でもリンガ・フランカとしてのナワ語の形跡が散見される。グアテマラ北部サン・マルコス県のマヤ・マムの居住地サンタ・エウラリア村では、20 世紀前半まで伝統的祈祷師が存在し、教会のミサにおいて村に伝わるナワ語で書かれた祈祷文書を読み上げたという(La Farge 1994:175-177)。

していたことや、数ある先住民語の中でもナワ系言語は、言語体系、特に音声体系が他の先住民語よりもスペイン人に馴染み易いものであったことが有利に働いたと推測できる[18]。

４．植民地時代のナワ系言語文書の分布

言語学者デイキンは、歴史学者マシューによるグアテマラ総監領のナワ系先住民の歴史分析による 3 グループに加え、第 4 のグループの存在を指摘している（Dakin 2009:265）。マシューが分類した 3 グループは、①リンガ・フランカとして使用されていたナワトル語、②ピピル語、③スペイン人征服者に同伴して中米へやってきたナワトル語母語話者（メシーカ人やトラスカラ人）である。デイキンは、メキシコ南部から中米の植民地時代に作成されたナワ系言語文書の言語学的分析を通して、リンガ・フランカとして、ナワトル語とピピル語との混成語（以下、「ナワ・ピピル混成語」と略記）の存在を指摘している。これは、例えばナワトル語の tlacatl（人、男）にピピル語の特徴、ナワトル語の/c/が/g/となり、/tl/が/t/に変わる特徴が加わり、tagatl や tlagat などになるものである。

地図 3 に示す通り、本来マヤ語圏であるグアテマラやメキシコ・チアパス州においてもナワ系言語で書かれた文書が確認されている。グアテマラでは、デイキンの訳した「スペイン王にあてたナワ語書簡集」（Lutz y Dakin 1996）が、またチアパスのソコヌスコ、コミタン、シウダ・レアル市（現チアパス州サンクリストーバル・デ・ラス・カサス市）などの集落ではレジェスが訳した 16 世紀から 18 世紀にわたるナワ語文書などが発見されている（Reyes 1961）。いずれもマヤ語を母語とする人々によって、リンガ・フランカとしてのナワ・ピピル混成語で書かれたものと考えられる。この他、現在でもグアテマラ高地のマヤ諸語には、ナワ系言語からの貸借語が少なからず確認される（Campbell 1977, La Farge 1994）。

地図 3 は、デイキンによる、メソアメリカ南部において現在まで確認された植民地時代以降のナワ系言語文書（Dakin 2009[19]）に、筆者がサント・ドミンゴ・ミスコ（グアテマラ）、コンチャグア（エルサルバドル）、ディリンバ（ニカラグア）の事例を加えたものである。これら 16 か所のうち、ナワ系言語がかつて話されていたと確認できるのは、メキシコ・チアパス州ソコヌスコ(4)、エルサルバドルのサンタ・アナ（13）、ニカラグアのディリンバ(16)の３か所である。

ソコヌスコは先スペイン期からメシーカ王国の支配を受け、支所のような機能をもっていた地域だったので、ナワ系言語話者がいたのは納得できる。ニカラグアの事例は、ユネスコの無形文化遺産に認定されているグエグエンセ（Gueguense）と呼ばれる舞踊劇のテキストで、1867 年に採録されたものである。テキストの約 8 割がスペイン語で、散見されるナワ系言語の単語は少ないが、ナワトル語ではなく、ピピル語に近いもののようである（Eduardo Arellano 1984:103-156）。

---

18 メキシコや中米の他の先住民語は、子音体系が複雑なものが多く、その上、オアハカのサポテカ語やミステカ語の他マヤ諸語には音調もあり、ナワ系言語と比較するとアルファベット表記化がより難しく、スペイン人にとっては馴染みにくい言語であったと思われる。

19 チアパス州では、現在まで、ナワ系言語文書が数多くみつかっているが、デイキンの研究(2009 年)では、主な文書のみ取り上げられている。

残りの 13 か所では、現地で主に話されている先住民言語がナワ系言語とはなっていない。グアテマラ東部のサンタ・マリア・イシワタン(12)は、デイキンによるとナワトル語とシンカ語が使用されていたらしい[20]。しかし、先述のとおり、18 世紀末のコルテス・イ・ララスの教会視察記録では、同村があるサンタ・ロサ県の県庁所在地グアサカパンやタシスコは、人口の 6 割から 7 割が先住民で、母語はシンカ語と記されている（Cortés y Larraz 1958 II:225-226）[21]。

このようなナワ系言語で書かれた文書は、基本的にはメキシコ国立古文書館やスペインのインディアス古文書館に所蔵されることはほとんどない。その理由は、これらの文書は植民地政府の要請ではなく、ローカルな必要性で作成されたからだと思われる。あるいは、租税・労役緩和要請のように、本来植民地政府へ伝えるべき直訴文であっても、スペイン人が理解できない先住民言語であるため、中央政府へは送られずに、現地に留まったと考えられる。

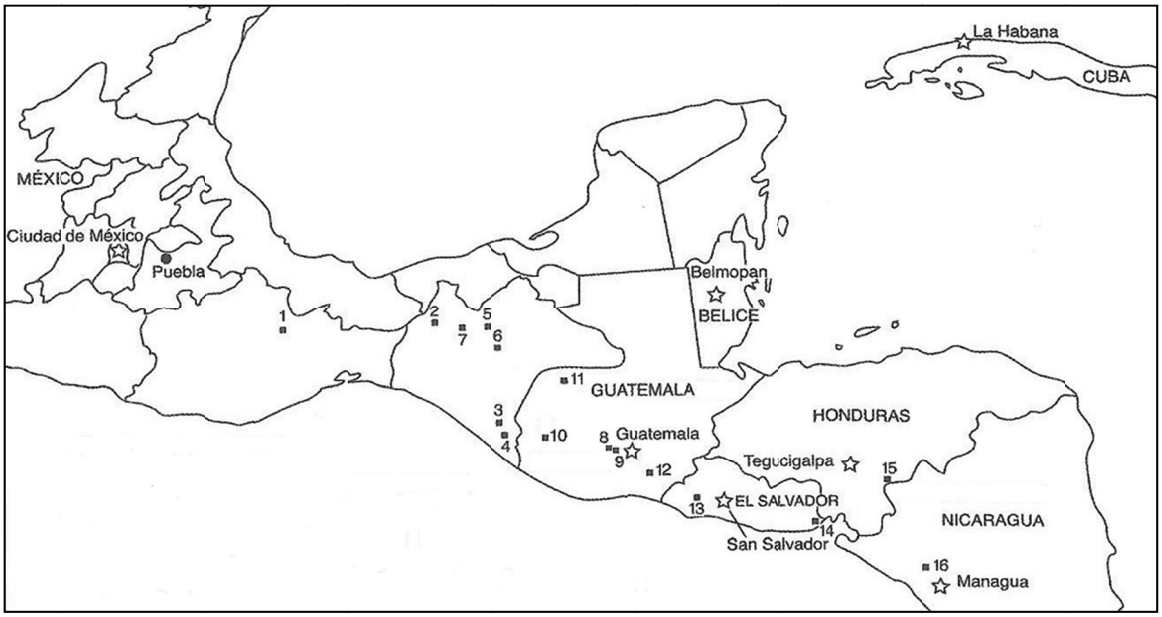
しかしながら、サンチアゴ・デ・グアテマラ(8)で作成された書簡集は、本論文第 1 章においても言及したが、例外的にインディアス古文書館に所蔵されている。なぜなら、この書簡集には、フランシスコ・ブリセニョ元グアテマラ総監領長官による「私はナワ語を少々解するものの、翻訳出来るほどではないので、このまま送ることにする。先住民の処遇の改善を求める」という表書きが添えられ、インディアス諮問会議へ届けられたからである。ブリセニョは、1565 年から 1569 年までグアテマラで勤務の経験があり、この書簡集を何者かを介してセビーリャで受け取ったという（Luz y Dakin 1996: 2）。グアテマラで布教に従事していたフランシスコ会やドミニコ会の宣教師の配慮により、彼のもとへ届けられたのかもしれない。

---

[20] イシワタンの文書は現在メキシコ自治大学の研究者らによって解読・分析中で、未発表である。今後の報告に期待したい。

[21] 筆者の現地訪問（2006 年 8 月）では、現在イシワタンにはシンカ語話者はいないということであった。グアサカパンには高齢のシンカ語話者が 2，3 人いるということであった。シンカについては、敦賀 2008 を参照されたい。

地図 3　メキシコ南部から中米にかけてのナワ系言語文書分布



＊地図中の各地点の言語状況は下記表のとおり。*Oax.: オアハカ州、Chi.: チアパス州[22]

	作成地	現地語	作成年代	内容
1	Totontepec, Oax.	Mixe	不明	遺言書
2	Quechula, Chi.	Zoque	1674 年	租税削減要請
3	Tuzantán, Chi.	Mochó(tuzanteco[23])	1561 年	市参事会設立
4	Soconusco, Chi.	Náhuatl	1565 年	労役緩和要請
5	Chenalhó, Chi.	Maya Tzotzil	1714 年	納税確認
6	Amatenango, Chi.	Maya Tzeltal	1679 年	?
7	San Gabriel, Chi.	Maya Tzeltal	1674、1681 年	?
8	Santiago de Guatemala	Maya Kaqchikel	1572 年	租税、労役緩和要請
9	Santo Domingo Mixco	Maya Kaqchikel	1637 年	土地相続証書
10	Mazatlán	Maya Mam	不明	?
11a	Santa Eulalia	Maya Q'anjob'al	1607 年	?
11b	Santa Eulalia	Maya Q'anjob'al	1932 年	教会祈祷文
12	Santa María Ixhuatán	Náhuatl/Xinca	16, 17 世紀？	権原証書？
13	Santa Ana	Nahua Pipil	1666－1775 年	コフラディア台帳
14	Conchagua	Lenca	1979 年?	征服の踊りのテキスト
15	Jícara	Lenca o Sumo	1834-1848？	?
16	Diriamba	Nahua Nicarao	1867？年記録	舞踊・劇のテキスト

出典：Dakin　2009　に加筆

22 チアパス州のこれらの文書はディキンの研究（2009 年）に基づくが、同州では、これら以外にも、レジェスの研究（Reyes García 1961）以来、多くのナワ系言語文書が見つかっている。

23 マヤ・カンホバル語に分類される。（Campbell 1997: 163）

第３章　ナワ系言語におけるピピル語

１．ナワ系言語におけるピピル語

ナワ系言語(nahua)は、ユト・アステカ語族(uto-azteca)、別名ユト・ナワ語族(uto-nahua)に属する。最近のメキシコ国立先住民言語研究所（INALI）の資料によると、メキシコ国内でこの語族に属する言語は表１に示すとおりである。この中で、最大人口をもつ言語は、メキシコ中央高原を中心にメキシコ湾岸地方などにも分布が認められる「ナワトル語」（náhuatl)であるが、この言語名は、近年、メキシコ・ワステカ地方以南のナワ系言語(nahua)の総称として用いられる。従来、名詞接尾辞の特徴から、ナワトル語（náhuatl）とナワト語（náhuat）と二分され、両者を総称してナワ系言語（nahua）と呼ばれていた。これらの名称の使用は、研究者や話者の間でもかなり恣意的となっている。

INALI によると、このナワトル語（ナワ系言語）には、メキシコ国内に 30 変種があるとされ、それに中米で唯一残っているエルサルバドルのピピル語（ナワ・ピピル語）を加えると、31 変種となる。なお、メキシコも中米も近代化の波におされ、地方人口の国内大都市や北米への流出が著しく増加しているため、言語分布図の作成は容易ではない。

表１　メキシコ国内におけるユト・ナワ語族の言語人口

言語民族	2000 年	2005 年	言語民族	2000 年	2005 年
náhuatl（nahua）	1,448,936	1,376,026	yaqui	13,317	14,162
tarahumara	75,545	75,371	tepehuano del norte	6,173	6,809
huichol	30,686	35,724	guarijío	1,671	1,648
mayo	35,490	32,702	pima	741	738
tepehuano del sur	19,188	24,782	pápago	141	116
cora	16,410	7,086	その他	183	90
合計	1,648,481	1,585,254			

出典：メキシコ先住民言語研究所（INALI）　＊2005 年国勢調査に基づく

表１によると、メキシコ国内のナワ系言語（ナワトル語）人口は約 140 万人とされている。一方、エルサルバドルのナワ系言語であるピピル語人口は、2007 年の国勢調査[1]では、第2章の表１に示したように3,059名と報告されている。「ピピル」という歴史的民族名が、言語名として長く使用されてきたピピル語民族に替わり、人類学や言語学研究が進む中で、2007 年の国勢調査ではナワ・ピピル（nahua-pipil)、すなわち、ナワ系ピピルというカテゴリーが与えられた。なお、近年エルサルバドルでは、「ピピル」は民族名を、「ナワト」は言語を指す用語として区別されることが一般的だとされる（カステジャノス 2012：24-25)。

メキシコ、エルサルバドルの国勢調査の数字は、いずれも回答者各々の自己申告に基づ

[1] エルサルバドルの国勢調査史上初めて、帰属民族名が質問項目に加えられた。

いており、個人の言語運用能力の度合いは問題にされていない。現在のエルサルバドルにおけるピピル語話者数は、レムスによると、2003 年時点で、200 名ほどであるという（Lemus 2004：17）。したがって、この国勢調査の先住民人口は、そのほとんどが母語はスペイン語でも、先住民グループに帰属意識をもつ人々の人口だといえる[2]。

２．　歴史資料における「ピピル語」とその民族

１）歴史記述上のピピル語

16 世紀の史料の中では、ピピル語は首都サンサルバドルの西に隣接していたクスカトラン王国、グアテマラの太平洋岸エスクイントラの先住民の言語として記録されている。植民地時代初期の記録では、メキシコ中央高原の「メシーカ語（mexicano）」や「トラスカラ語(tlaxcalteco)」[3]と区別され、ピピル語は「なまったメシーカ語（mexicano corrupto）」と記されることもある。従来、「ピピル」という名称は、“pilli”（貴族）に由来すると説明されてきたが[4]、後述の言語学的特徴から、メキシコ中央高原の言語と比べると「なまった」ように聞こえるので、“pipilpipil”（子供）が語源とする説（Juarros 1981：254）にも一理あるかもしれない。

メキシコ中央高原のナワ系言語の一般的名称「ナワトル」、「ナワト」は、「耳触りのよい、はっきり聞こえる言葉」を意味する。ピピル語が、メシーカ語（ナワトル語）に対して、「なまったメシーカ語」と歴史文書に記されたのは、ピピル語が有する主に次の 2 点の言語学的特徴に起因すると考えられる。

第一点は、ナワトル語の/u/や/w/音が、ピピル語では摩擦音化し、/gu/音になることである。例えば一人称主格代名詞「私は」にあたるピピル語 ne**guat** は、ナワトル語では、ne**huatl** となる（表２－左欄）。

表２　ピピル語とナワトル語の言語比較

ピピル語	ナワトル語	日本語	ピピル語	ナワトル語	日本語
/γ/	/u/, /w/		/t/	/tl/	
ne**gu**at ye**gu**antin xi**gu**it	ne**hu**atl ye**hu**antin xi**hu**itl	私 彼・彼女ら 年	negua**t** xigui**t** chinami**t** **tata**catsin **tata**ni **ta**manti	nehua**tl** xihui**tl** chinami**tl** **tlatla**catzin **tlatla**nia **tla**manti	私 年 町、村、地区 人（尊敬形） 問う、罪を問う 数える

[2] エルサルバドルの先住民人口の大幅な減少の要因に関しては、第 1 章 1－1)「現代ナワ系言語研究」および、第 6 章 2－1)「現代エルサルバドルの先住民人口とピピル語の現状」を参照されたい。

[3] 「トラスカラ語」はメシーカ王国と敵対していた王国、トラスカラ王国の言語である。トラスカラ人はスペイン征服軍に同盟し、メシーカ王国をはじめ、各地の征服活動に貢献した。言語学的特徴はメシーカ語とほぼ同じである。

[4] 1992 年以降、先スペイン期起源の民族アイデンティティを復興するため、教育現場や各地の催し物で先住民文化を称揚する動きが目立つが、そこでは「貴族」が語源とされている。

第２点は、ナワトル語は名詞接尾辞などに表れる二重子音［tl］がはっきりと発音されるが、ピピル語では[t]となることである。例えば、ピピル語の「年」を表すxiguitはナワトル語では xihuitl、尊敬すべき人（偉大なる人）を指すピピル語 tatacatsin は tlatlacatzinとなる（表２ －右欄)。この特徴はピピル語だけでなく、本章第３節で示すラストラの分類における東部周縁地域でも見られる。

２）歴史記述上のピピルの人々

ピピル語が「なまっている」という記述は、スペイン人がいち早く接したメシーカ語やトラスカラ語が標準言語とされたこと、ならびに中米の植民地化に貢献したトラスカラ人やメシーカ人など、ナワトル語の話者がピピル語の先住民に抱いていた違和感や優位性の表れと考えることができよう。

一方、スペイン人が書き残した、征服活動や植民地統治の目的で記された文献には、ナワ系言語を母語とする人々に関して直接的に語られることはほとんどなく、また「先住民」（indio, indígena）と一般化されるケースがほとんどである。もしくは、中央高原のメシーカ人と同じ母語だと判断されると、先述の通り「メシーカ人」(mexicano）と記される。しかし、「ピピル人」(pipil）と明記されるケースはごくわずかで、その一例は次にあげる1522 年のグアテマラ太平洋岸のエスクイントラでの戦いにおける征服軍側の描写に見られる。

「**ピピル**と呼ばれる人々が住む南部海岸地方の征服に乗り出した。…イツクインテペケ（エスクイントラ）には邪悪な人々が住んでおり、征服軍に危害を与えた」(Días del Castillo 1982：461)

「メキシコ語と**ピピル**語がほとんど同じなので、イスクイントラ人の攻撃に備えてトラスカラ人を征服軍に加えた」(Fuentes y Guzmán 1932 II：72-73)

グアテマラ総監領の聴訴官、ガルシア・デ・パラシオが 1576 年に作成した地理報告書には次のような記述がある。

「イサルコとグアサカパン[5]の海岸地方では、ポポルカ語と**ピピル**語が話されていた」(R. G. Ⅰ1982:264)

いずれの記述にも、先住民言語そのものについては、詳しく記述されていない。

３．ナワ系言語の言語変種分類とピピル語の位置づけ

1970 年代にメキシコの言語学者ラストラらが７年の歳月をかけて、メキシコを中心に92

[5] イサルコは現在のエルサルバドル西部ソンソナテ県の集落で、20 世紀前半までピピル語話者が存在していた。グアサカパンはグアテマラ東部のエルサルバドルと国境を接する町である。ピピル語話者は20 世紀初頭には既にいなかったが、現在では、最後のシンカ語話者が存在する町として知られている。

村[6]において、現代ナワ系言語変種調査を行った。メキシコ北部から中米にかけてのナワ系言語方言は多種多様で的確に分類するのは極めて難しいが、おおむね４地域に分けることができるとしている（表3）。その分類では、ピピル語は東部周縁地域に属している。一方、リンガ・フランカを形成していた中心的言語で、中米でも通用していたのは、「メキシコ中央部」の言語である。

一方、ナワ系言語の起源（proto　nahua）からの言語発達を研究するデイキンの分類は下記表４である。それによると、原始ナワ系言語から西部ナワ系言語と東部ナワ系言語に大きく分かれて発達したとしている。ピピル語は東部のワステカ地方、ゲレロ州中部、プエブラ州山岳部、テワンテペック地峡部と同じグループに分類している。

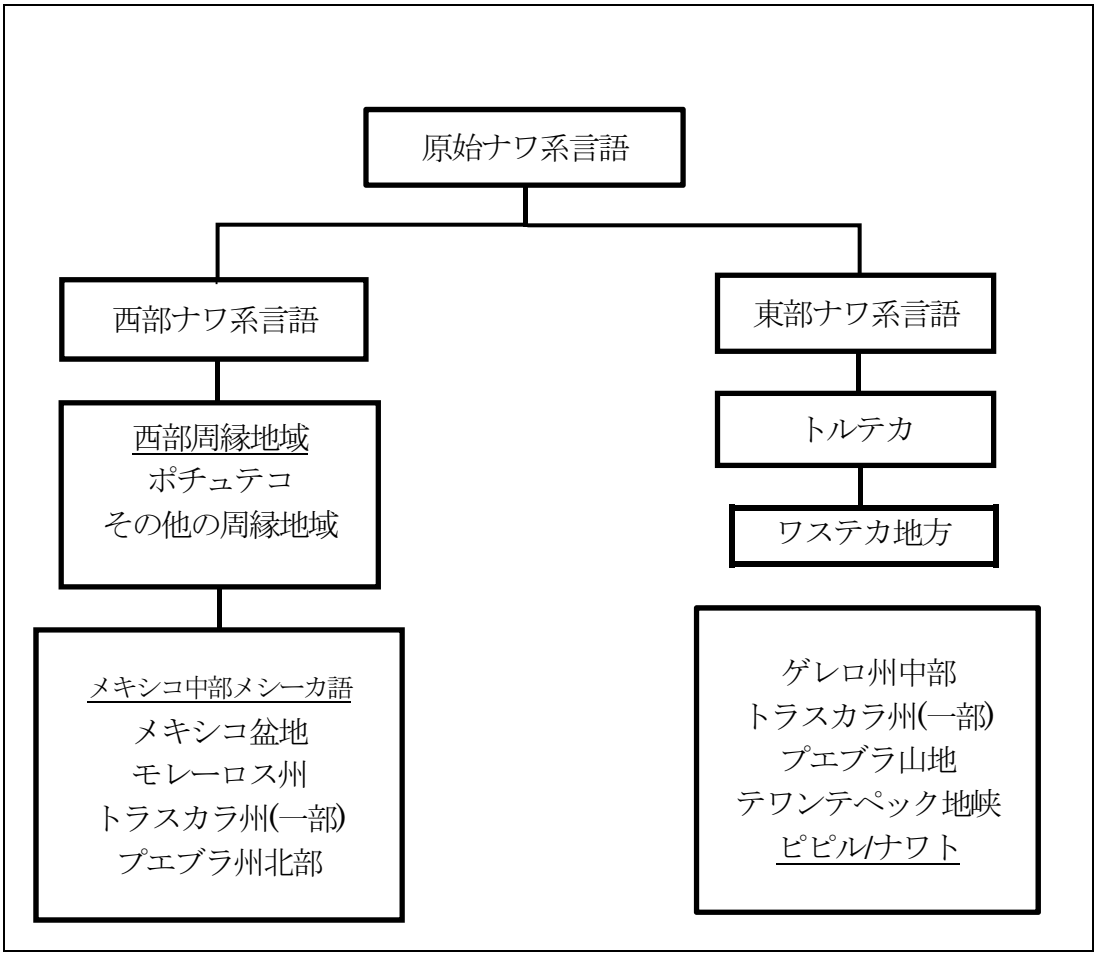
6 この内、91 村がメキシコ内、1 村がエルサルバドルのサント・ドミンゴ・デ・グスマンである。

表３　ラストラのナワ系言語変種分類[7]

	地域	分布
1	西部周縁地域	西部海岸地方、メキシコ州西部、ドゥランゴ州、ナヤリ州
2	東部周縁地域	プエブラ州山岳部、テワンテペック地峡地帯、中米のピピル語
3	ワステカ地域	ベラクルス州北部、プエブラ州北部、サンルイスポトシ州、イダルゴ州北東部
4	メキシコ中央部	メキシコ市周辺、プエブラ州、トラスカラ州、ゲレロ州

出典：Lastra 1986：189-190

表４　デイキンのナワ系言語分類[8]



出典：Dakin 1996：175

[7] ラストラはメキシコの分類用語に従い、ナワ系言語の総称として“náhuatl”を使用しているが、本論文では、中米の言語状況を述べる都合上、「ナワ系言語」とする。

[8] デイキンもまた、メキシコの分類用語に従い、ナワ系言語の総称として“náhuatl”を使用しているが、本論文では、中米の言語状況を述べる都合上、「ナワ系言語」とする。なお、デイキンによれば、メキシコ中央高原、特にトラスカラは西部ナワ系言語と東部ナワ系言語がちょうど出会う場所であるとしている(Lutz　y Dakin 1996:175)。

４．ナワ系言語の文法研究のはじまり

ナワ系言語研究の草創期について少し説明をすることにしたい。スペイン国王カルロス一世は、当初、植民地統治政策の基軸として先住民のキリスト教化を掲げ、そのためスペイン語の普及を重要視していた。植民地では、フランシスコ会やドミニコ会の修道士らが、その具体的な活動を先導したが、彼らは、ルネッサンスの人文主義の影響を強く受けており、布教のためには修道士自らが先住民言語を習得することが不可欠であることを本国へ伝えた。こうした現地からの要請を受け、カルロス一世は布教のための一時的な手段として、先住民言語の使用を認めた。1536 年、メンドサ副王のもとに、文法書作成要綱が届き、各地で先住民語の研究が始まった。

1536 年、メキシコ市内トラテロルコ地区に、フランシスコ会運営のサンタ・クルス王立学院が開校し、メシーカ王国の貴族の子弟をキリスト教義の担い手として育成するエリート教育が開始された。この学院では、修道士らは先住民教育の傍ら彼らの言語を学んだ。その過程で、修道士らは、メシーカの言語であるナワトル語がリンガ・フランカとして征服以前から多言語社会であるメソアメリカで重要な機能を果たしていたことを知り、布教活動に最も有効な言語であることを認識したようである。1539 年に初めてのキリスト教本がスペイン語 - ナワトル語のバイリンガルで出版された（Suárez 1995:24）[9]。

同学院の教師アンドレス･デ・オルモスは、1547 年にナワトル語の最初の文法書 *Arte de la Lengua Mexicana*（『メシーカ語文法』）を発表した。修道士の先住民言語習得の試みの手引書となったのは、15 世紀末の言語学者ネブリハの業績であった[10]。ネブリハの研究書は、新大陸の言語にそのまま応用はできなかったが、手本として重用されていたことが伺える。オルモスは、『メシーカ語文法』で次のように述べている（Olmos 1993:15）。

> 「この言語には、ラテン語と同じく、名詞、代名詞、動詞、分詞、前置詞、感嘆詞、接続詞が存在する。…ラテン語文法はネブリハのものが最良であるので、それに従って編纂している。しかし、この言語にはラテン語文法項目にはないものが沢山あり、文法的規則性が保たれておらず、また、膨大な種類の語形変化や動詞の派生形がある一方で、アクセントなどはない。従って、ネブリハ文法の項目や形式に従っていなくてもやむを得ない」

1571 年には、フランシスコ会士アロンソ・デ・モリーナが編纂した『カスティーリャ語・メシーカ語、メシーカ語・カスティーリャ語辞典』が刊行された[11]。両親に伴いヌエバ・エスパーニャに移住したモリーナは、カスティーリャ語とナワトル語のバイリンガルとし

---

[9] 1534 年に新大陸初の印刷機がもたらされ、それによって印刷された初めての出版物であったが、現存しないという。

[10] アントニオ・デ・ネブリハの『ラテン語入門』（Introductiones latinae　1481 年）や『カスティーリャ語文法』（Gramática de la lengua catellana 1492 年）は、16 世紀にアメリカ大陸へ渡ったフランシスコ会やドミニコ会の修道士が、先住民への布教のために編纂した先住民語文法書の原典となった（岡本 2002：66-67）。

[11] モリーナ自身は 1555 年にナワトル語彙集小冊子を作成し、1569 年には『メシーカ語-カスティーリャ語告解手引き書』を記している（León-Portilla 1988:25）。

て育った（León-Portilla 1988:24）。彼の研究について、アメカメカ[12]の先住民貴族の末裔のチマルパインは、『第 7 報告書』で次のように評価している（Chimalpahin 1998:253）。

「（モリーナ司祭は）私達の言語についての多くの知識で数多くの語彙をアルファベットで綴って整理し、メキシコ市で印刷した。それによって、何人もの修道士が（ナワトル語を）習得し、我々を宣教し、また、教本をナワトル語に翻訳した」

表 5　16，17 世紀ヌエバ・エスパーニャにおける言語政策略年表

1492	［アントニオ・デ・ネブリハ　『カスティーリャ文法』発表］
1536	植民地の宣教師らの要請により、メンドサ副王へ先住民語文法書作成要綱が届く。
1539	メキシコ市トラテロルコにサンタ・クルス王立学院開校。メシーカのエリート子弟のキリスト教英才教育開始。
1542	カスティーリャ語とナワトル語によるキリスト教理の抜粋本完成（現存しない）
1547	［インディアス新法］
1548	Andrés de Olmos（フランシスコ会士）ナワ語の初めての文法書 *Arte de la lengua mexicana*（『メシーカ語文法』）を編纂
1549	Fray Domingo de Ara（ドミニコ会士）がグアテマラの修道会へ訪問した際、カクチケル語の辞書と文法書の編纂を命じる。
1571	巡察使 Fray Juan de Torres（ドミニコ会士）は、グアテマラの各教区で先住民語の講義をするよう命じる。
1580	Alonso de Molina（フランシスコ会士）*Vocabulario de Lengua Castellana Mexicana y Castellana y Mexicana*（『カスティーリャ語・メシーカ語、メシーカ語・カスティーリャ語辞典』）編纂
1595	フェリペ II 世の勅令により大学で先住民言語の講座創設を命じる。初期はアウグスティヌス会主導
1595	Antonio de Rincón（イエズス会士）　*Arte Mexicana*（『メシーカ語文法』）編纂
1611	フェリペ II 世の勅令「布教には先住民語では不十分で、カスティーリャ語で行うのが最良であるが、先住民村落には先住民語が話せる宣教師のみを派遣すること。また、先住民のカスティーリャ語習得は強制ではなく、彼らの自発性を尊重すること」 Pedro de Arenas, *Vocabulario manual de las lenguas castellana y mexicana*（『スペイン語・メシーカ語語彙辞典』）編纂
1620	フェリペ III 世の勅令「（僻地の先住民集落への布教は、バイリンガルのサクリスタンやフィスカルに任せられていたが）キリスト教に精通したスペイン人宣教師を現地に送ること」
1627	フェリペ IV 世の勅令「最も広く使用される先住民語の講座を大学教育で強化」
1645	Horacio Carochi（イエズス会士）　*Arte de la lengua mexicana*（『メシーカ語文法』）編纂
1688	オアハカの宣教師らがカスティーリャ語教育の必要性を訴える書簡を本国へ提出
1690	カルロス II 世の勅令「先住民集落での法的・行政的な手続きでカスティーリャ語使用を義務付けること」

＊ Cifuentes 1998 より作成

[12] メキシコ市南部、イスタシワトル火山の麓の町。

このモリーナの辞書は、植民地時代末期までには第７版まで刊行され、19 世紀にも新たに２版刊行された（León-Portilla 1988:25）。

この他、17 世紀末までに編纂、刊行された主なナワトル語の文法書や辞書は表５に記したとおりである。

先述のオルモスの指摘どおり、植民地期に作成されたこれらの参考書は、あくまでスペイン語の文法と語彙を基に書かれたもので、その範疇から外れるナワトル語独自の言語システムに関する分析と理解が不十分であることは否めない。また、当時これらの参考書作成に協力したのは、限られた先住民貴族であったと想像される。したがって、このような背景に十分留意の上、ナワ系言語文書の解読に当たらなければならないであろう。なお、これらの文法書や辞書はいずれもメキシコ盆地で作成されたもので、その他の地域のナワ系言語の研究はほとんど確認されていない。しかし、これらの参考書は、ナワ系言語に共通する、基本的文法構造や語彙の理解には十分有効であり、現在も、各地で発掘されるアルファベットで書かれたナワ系言語文書の解読に使用されている。

５．古典ナワトル語文法概説

前節で述べたとおり、ナワ系言語の中で、最も研究の進んでいる古典ナワトル語の文法を概説することにしたい。

ナワトル語は、名詞や動詞の語幹の前後に様々な形態素が付加され、名詞または述語動詞でありながら、まるで１文を成すかのような特徴がある。この特徴について、19 世紀にヴィルヘルム・フォン・フンボルトは、「抱合性（incorporation）」[13]という概念に基づいて説明している（亀井・河野・千野　1992 第６巻:1297）。一方、サピアが提唱した類型論における、一語にどれだけの概念、語彙的形態素が盛り込まれるかという「統合度」に照らし合わせると、ナワトル語は複統合的言語だと言える。

しかし、「抱合」や「複統合」の表れ方は言語によって様々であり、定義や概念規定も難しいようである。また、言語によっては両方の特徴をもつものも存在している。本節の目的は、ナワトル語が抱合語か複統合語かを断定することが目的ではなく、ナワトル語の文法的概要を提示することである。

いずれにせよ、ナワトル語では、一単語を形態素と統語という二つの側面から分析することが不可欠となる。

名詞（名詞句/節）と動詞（動詞句/節）は、品詞としてはおおむね明確でありながら、その関係性は極めて曖昧なものである。特に名詞（名詞句）は、主語か目的語か、曖昧なケースが少なくない。一方、他動詞の場合、動詞（動詞句/節）の中に具体的な直接目的語の存在を示す接辞-c（que-）、あるいは不特定の直接目的語を示す接辞である tla-（事物を指す：「何かを」）、te-（人：「誰かを」）が、動詞語幹に先行することがある。しかし、実際の文中ではそれが明記されていない場合が少なくない。その上、語順もかなり自由であ

[13] 抱合とは、動詞と統語的にかかわる名詞や副詞などを一つの動詞として形態法的に合体させる、いわば動詞に名詞や副詞を抱き合わせる語形成の一つで、語幹合成（語幹複合）の一種とみなすことが出来る（亀井・河野・千野　1992 第６巻:1297）。

るので、主語・目的語・述語の関係が一層わかりにくく、多くの場合、文脈からその関係性を的確に判断せざるを得ない。そのため、文書が作成された状況や当時の文化・社会背景を把握した上で、解読することが有効となる。

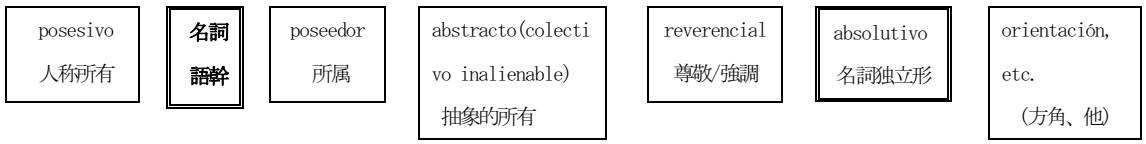
こうした単語の関係性を示す役割を担っているのが、前置詞、冠詞、指示詞、接続詞などに相当する豊富な不変化詞（partícula）である。しかし、不変化詞も、いくつかの形態素が組み込まれ、用法が広く、話者によっても使い方が様々である。

このように、ナワトル語には十分説明されていない研究の余地がある問題がたくさん残されている。このような問題を踏まえ、以下に古典ナワトル語の文法の根幹をなす名詞（名詞句/節）と動詞（動詞句/節）の形態素の複統合的構造の特徴、すなわち形態・統語論的構造を、簡単に要約して示すことにする。例示するテキストは、筆者が 1997 年から 1999 年まで参加したメキシコ国立自治大学人類学研究所言語学者レオポルド・バリーニャスの古典ナワトル語解読クラスで使用されたテキスト[14]を用い、講義ノートに基づき概説する。

なお、以下の用例に使用する音声表記は、植民地時代の文献の表記法に従って、アルファベットのみで記すことにする。

1）名詞・名詞句/節の構造

名詞句/節の構造は、おおむね下記の図の通りである。
（二重線囲み部分が必須要素）



	単数	複数	-hua	-yo	-tzin	単数	複数	-e
1 人称	no-	mo-	-uh	-lo	-ton	-tl	-me,h	-pan 他
2 人称	to-	amo-	-e		-pol	-tl	-tin	
3 人称	i-	im-	-φ		-zol	-li		
					-pil	-in	-huan	
						-an	-que	
						-φ	-φ 他	

①名詞独立形の数

〈単数形〉		〈複数形〉
citlal-in	星	citlal-tin
cone-tl[15]	息子	cone-me
chan-tli	家	chan-me, tin

[14] テキストは、オルモス(1547)やカロチ(1645)などの植民地時代初期の文法書やミシェル・ロネ（Michel Launey 1992）、テルマ・スリバン（Thelma D. Sullivan 1983）など現代の言語学者の研究を中心に組まれたものである。

[15] conetl は、次の②で見るように、基本的に所有接辞が伴って使用される。

名詞独立形単数は、語根が母音で終わると -tl、/l/以外の子音で終わると -tli、/l/の後で-li となる。さらに、起源の古い名詞によくみられる-in がある(Sullivan 1983 : 29)。名詞複数接辞は、基本的に、単数語尾が -tl は -me, その他の -tli, -li, -in は -tin となるが、地域によってしばしば異なる。

このほかにも、語幹の第一音節を重複させて、複数形にすることもある。例えば、ci-citlal-tin（複数の星、星々）などとなる。

このほかにも、名詞を地名化したり、所在を表すための接尾辞がある。例えば -pan（～で、～の上に）、 -tlan（～で、～の下で）、-can や -co（～が沢山いる場所）, -itic（～の中）, -tech（～のそば）などがあるが、ここでは詳細は省略する。

② 所有接頭辞が伴う場合

〈単数形〉		〈複数形〉
no-cone-uh, φ	私の息子	no-cone-huan
i-chan-φ	彼/彼女の家	in(m)-chan-huan

所有接頭辞が伴うと、多くの場合、語幹の後に所属接辞が伴う。語幹が母音で終わる語幹では-uh(単数)、-huan（複数）、子音で終わる語幹では、単数、複数ともφとなるのが一般的である。また、複数の場合、あえて -huan を付して集合名詞的に示す場合もある。

③尊敬（honorífico）・強調形

ナワトル語、特に古典では文化的に重要な表現の一つである。尊敬や愛情を表したり、価値評価を強調して表すものであるが、他の言語に訳すのは難しいことが多い。

〈単数形〉		〈複数形〉
tlaca-tl	人、男	tlaca-tin
tlaca-tzin	尊敬する人（男性）	tlaca-tzin-tin
to-tlaca-tzin	私達の尊敬する人（男性）	to-tlaca-tzin-huan

-tzin をもつ名詞の複数接尾辞は -tin となる。また、所有接辞が伴うと -huanとなる。

このほか強調形としては、親しみや愛情をこめた -ton-、軽視の意味の -pol、否定、老化などの意味の -zol、小さいものを意味する -pilなどがある。

④ 所属形（～を持っている人）

〈単数形〉		〈複数形〉
coyo-hua	コヨーテ（coyo-tl)を持っている人	coyo-hua-que
chan-e	家（chan-tli)に居住している人	chan-e-que

⑤抽象形

例えば、mexica-tl（メシーカ人）が mexica-yo-tl となると、「メシーカ的な」という意味になる。同様に、cihua-tl（女性）が cihua-yo-tl となると「女性的な」という意味

になる。この形は名詞独立形接辞が欠落すると集合的な意味に転じる。例えば、mexica-yo は「メシーカ人気質、メシーカ人精神」、cihua-yo は「女性らしさ」を意味する。

⑥同定文的用法

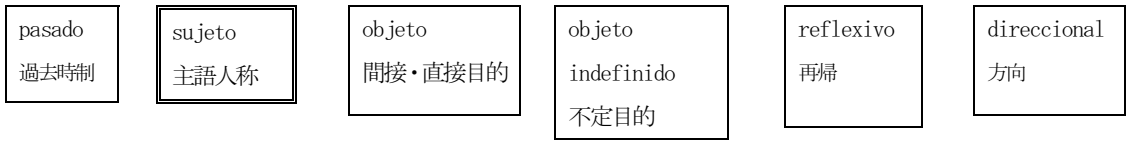
次に述べる動詞の主語人称接辞（私は ni-，あなたは ti-，彼、彼女は ϕ-，私達は -ti，あなた方は am-、彼らはϕ-）を伴って、名詞節が同定文的構造となる。

ア．ni- mexica-tl
　1S.SG-mexicano-ABS.SG 「私はメキシコ人である/メキシコ人である私」
イ．ϕ- mexica-h
　3S.PL-mexicano-ABS.PL「彼らはメキシコ人だ/メキシコ人である彼ら」

２）動詞・動詞句/節の構造

動詞句/節は、「語頭部分+語幹+語尾部分」という構造となる。語頭部分と語尾部分の形態素の構成は、おおむね次の図のとおりである。

［語頭部分］（二重線囲み部分が必須要素）



o-

	単数	複数
1 人称	ni-	ti-
2 人称	ti-	am-
3 人称	ϕ-	ϕ-

	単数	複数
1 人称	me-	tech-
2 人称	te-	amech-
3 人称	qui-	quim-

人	te-
非人物	tla-

	単数	複数
1 人称	no-	to-
2 人称	mo-	mo-
3 人称	mo-	mo-

遠くへon-
近くへhual-

［語尾部分］（二重線囲み部分が必須要素）

-tia
-ltia
-itia
-huia
-a

-ilia
-lia
-huia

-lo
-o
-ohua

結合
-ti-
-to
-co
-ti
-qui
etc.

	単数	複数
現在	-ϕ	-h
完了過去	-c	-queh
不完了過去	-ya	
未来	-z	-zqueh
過去完了	-ca	
可能形	-zquia	
習慣	-ni	

単数 -ϕ
複数 -que

注：図中の複数接尾辞の語尾ｈは、メキシコ中央高原のナワトル語に顕著な帯気音（saltillo）である。
発音が弱い地域では表記されていない場合も少なくない。

次に具体的な動詞を使用しての用例を示す。

表５　以下の例文で使用する文法用語略語凡例

略語		スペイン語	略語		スペイン語
1	１人称	primera　persona	OH	目的語（人）	objeto　animado
2	２人称	segunda　persona	OI	目的語（非人物）	objeto　inanimado
3	３人称	tercera　persona	PL	複数	plural
ABS	名詞独立語尾	absolutivo	POS	所有	posesivo
APL	適用	aplicativo	PRES	現在	presente
DET	特定	determinante	PRET	完了過去	pretérito　perfecto
DIR	方向	direccional	REFL	再帰	reflexivo
FUT	未来	futuro	S	主語	sujeto
HON	尊敬	honorífico	SG	単数	singular
OP	直接目的語	objeto primario			

［自動詞 choca(泣く)の場合］

① 現在時制

ni-choca-φ　　「私は泣く」
1S　泣く　　PRES.SG

②過去時制

語幹に先行する過去接辞 o-は必須接辞ではないが、語幹の後の完了過去接辞 -c，queh などは必須要素である。

o-ti-choca-c　　「あなたは泣いた」
PRET 2S　泣く　PRET.SG

ti-choca-c　　「あなたは泣いた」
2S　泣く　PRET.SG

③未来時制

ti-choca-zqueh　　「私達は泣く」
2S.PL　泣く　FUT.PL

④方角接辞

方角接辞の hual- は「こちらへ～しにやってくる」という意味である。また、on- は「遠くへ～しに行く」という意味で使用される。

am-　hual-choca- h　「あなた方はこちらへ泣きに来る」
2S.PL　DIR　泣く　PRES.PL

［他動詞　maca（与える）の場合］

①特定の目的語を示す場合
動詞語幹の前に間接・直接目的接辞を前置する。

ni-quim-maca　in[16] xochi-me　「私はそれらを,花(複)を与える」
1S　OP.PL　与える　DET　花　PL

この場合、特定の目的語接辞 -quim-（それらを　直接目的）を補足し、名詞 xochime が付加されている。しかし、この文では、-quim-は「彼らに（間接目的)」ととることも可能であり、その場合は、「私は彼らに、それらの花（複）を与える」という意味である。

② 不特定目的語を示す場合
他動詞には、目的語が不特定な場合、tla-(非人物),te-（人）が前置され、目的語が飽和される。
ni-tla-maca-c　「私は何かを与えた」
1S　OI　与える　PRET.

③再帰

ti-　mo-　maca「あなたはあなたに与える」
2S　2REF　与える

④主語か目的語か不明瞭な用例

ϕ-qui-tlazotla in pilli
3S　OP　愛す　DET　子供

この場合、in pilli は主語とも、目的語ともとれる。つまり「彼はその子供（in pilli）を愛す」とも、また「その子供（in pilli）は彼を（それを）愛す」とも解釈することが可能である。このような場合、文脈で判断することになる。先にも述べた通り、背景となる文化や社会を適切に把握しながら解読すること、並びに不変化詞を分析することが必要である。なお、この tlazotla はこれだけで語幹をなすもので、語頭の tla は、非人物目的語を飽和する tla-ではない。

16 名詞/名詞節の前によく置かれる不変化詞で、「冠詞」のように特定や強調の意味で使用される。

第４章　グアテマラ総監領エルサルバドルにおける多言語状況とコフラディア

グアテマラ総監領においては、16 世紀末になると、植民地統治構造の基盤がほぼ固まった。スペイン人植民者が居住する都市やアシエンダ（大農園）を取り囲むように、貢納とレパルティミエント（労働割り当て）制に縛られる先住民共同体が存在していた。先スペイン期からの伝統的な先住民レプブリカ（共同体）をスペイン人のレプブリカが支配する二重構造社会が形成されたと言える。

本章では、『サンタ・ベラクルスのコフラディア文書』が記録された植民地時代のグアテマラ総監領エルサルバドルの多言語状況、および文書を作成した組織であるコフラディアの状況ついて概観したい。

１．グアテマラ総監領エルサルバドルの多言語状況[1]

１）サンサルバドルと東部地域

ペドロ・デ・アルバラード率いる征服軍は、1524 年にはグアテマラのマヤ・カクチケルの都、イシムチェ（Ixmché）を掌握した。その後、サンサルバドル近くに栄えたピピル人のクスカトラン(Cuzcatlán)王国の平定に２年の歳月を要したが、1526 年 8 月の合戦を最後に、ホルヘ・デ・アルバラード[2]によりサンサルバドルが建設された。1532 年『マロキン報告書』は、征服時の同王国には「1 万 2000 軒の先住民の家屋があり、王国の支配下には 59 集落があった」としている(Historia de El Salvador 1994:43)。スペイン人建設の都市の規模としては、サンサルバドル市は、グアテマラ総監領で、シウダ・レアル市（現チアパス州サンクリストバル・デ・ラス・カサス市)、グアテマラ市（現アンティグア・グアテマラ市）に次ぐ規模であったという。

「サンサルバドルではピピル語とチョンタル語が話されていた」(R.G.1982:264)という記述が、1576 年に聴訴官ガルシア・デ・パラシオが作成した地理報告書に見られる。チョンタル（chontal）はナワ系言語で「よそ者」を意味するため、ナワ系以外の言語だと思われる。

一方、1589 年から約５年間、フランシスコ会アロンソ・ポンセ司祭の教会視察旅行に随行したシウダ・レアルは、次のように、ピピル語が主要語であるが、同時にマヤ・アチ語も話されていたという報告を残している(Ciudad Real1993Ⅰ:201, 246)。

---

[1] 第 2 章地図 2「グアテマラ東部からエルサルバドルの言語分布：16 世紀と 18 世紀」を参照されたい。

[2] グアテマラを征服したペドロ・デ・アルバラードの弟。

「これらのピピル・インディオは敬虔なる信徒である。…彼らは崩れたメシコ語を話し、サンサルバドル市に多く居住している。…サンサルバドル周辺には多くのピピル・メシーカ人が住んでおり、アチ語を話す者もわずかにいるが、彼らはピピル語も話す」

これらの記述から、ガルシア・デ・パラシオが報告するチョンタル語は、マヤ・アチ語であった可能性が考えられる。いずれにせよ、少なくとも二つの先住民言語が話されていたことは確実である。

1790 年当時、サンサルバドルの全人口 12,059 人のうち、先住民はわずか 585 名だったという（Juarros 1981:263)。先住民人口の大幅減少の要因は、征服戦争だけでなく、度重なる大規模な地震[3]によるものと推測される。上記の 1576 年の地理的報告書でも、1557 年にサンサルバドルを襲った大地震で先住民の家屋はすべて倒壊したと記されている（R.G.1982:274)。

サンサルバドルの東部、ヒボア川、ウイスコヨタパ川など太平洋に注ぐ大小の河川が入り組んだ地域に、サンティアゴ・ノノアルコ、サンフアン・ノノアルコ、サンペドロ・ノノアルコいうノノアルコ（Nonoalco）という名のついた３村が隣接する地域がある。ノノアルコはメキシコ湾岸やマヤ圏の先住民文書にしばしば現れる集団名で興味深い[4]。16 世紀はこれらの集落にもピピル人が住んでおり、18 世紀末のコルテス・イ・ララスの報告でも、「サンティアゴ・ノノアルコは、全人口 2,363 人のうち 346 名が先住民で、母語はピピル語ながら、スペイン語が通じる」とされている（Cortés y Larraz　1958 Ⅰ :138)

ピピル語の境界はエルサルバドルのほぼ中央を南北に縦断するレンパ川だったようである。16 世紀末のシウダ・レアルによると、現在のラ・リベルタ県の県庁所在地サカテコルカにはピピル人が居住していたという（Ciudad Real 1993 I:202)。一方、レンパ川の東岸にあるオシュカル（Oxúcar）のインディオたちは、「ポトン（potón）というピピル語とは異なった言語を話していた。この言語はオシュカルからエレウアイキン(Ereuaiquín)に至る地域で話されていた」とされる(ibid:203)。歴史家のラルデ・イ・ラリンは、このポトンはレンカ語[5]と解釈している（Larde y Larin 1975:44)。

２）西部地域とサンタ・アナ市

グアテマラ国境に近いエルサルバドルの西部地域は、現在のサンタ・アナ県、ア

---

[3] 1575 年、1593 年、1625 年、1656 年、1798 年にも地震があったという（Juarros 1981:264)。

[4] ノノアルコに関しては敦賀（1997）を参照されたい。2010 年のエルサルバドル第 1 回先住民会議で、ノノアルコ地域は中央部先住民居住地域と認定され、代表者を審議会へ派遣している。

[5] レンカ語は「はじめに」及び第 2 章 1「グアテマラ、エルサルバドルにおける先住民言語分布状況」で述べたとおり、メソアメリカ圏の言語ではなく、シンカ語と同様、南米コロンビアのチブチャ語に類縁関係が見いだせる言語である。

ワチャパン県、ソンソナテ県の 3 つの県で構成される。サンタ・アナ県の県都サンタ・アナ市は、現在人口約 24 万人（2007 年）で、エルサルバドル第２の都市である。

サンタ・アナ市は 1560 年頃にグアテマラ教区へ編入されたが、それ以前には、シワテワカン（Cihuatehuacan）[6]というナワ系言語地名をもっていたようである（Barón Castro 2002 Lámina LXXXI)。1569 年、ベルナルディーノ・ビジャルパンド（Bernardino Villalpando）司教によりサンタ・アナ市と命名され、現在の教会の母体が出来た。

サンタ・アナの住民について、16 世紀末のシウダ・レアルの報告には、「先住民はピピルである」と記されている（Ciudad Real 1993 I:199)。

サンサルバドル市などのアルカルデを務めたマヌエル・デ・ガルベス・コラルの 1740 年の記録では、サンタ・アナには「265 名の先住民、23 名のスペイン人、617 人のムラート（mulato）[7]がいた」とされる（Relaciones Geográficas e Históricas del siglo XVIII del Reino de Guatemala:196)。一方、1768－1770 年にこの地方を視察したコルテス・イ・ララス大司教は、「サンタ・アナの先住民の共通語（lengua común）はスペイン語であるが、母語はメシーカ語である。…また全人口 4,741 人のうち、先住民は 635 人で、残りはいくらかのスペイン人を含むラディーノの家族である」と報告している（Cortés y Larraz 1958, I:227-228)。また、1796 年の官報 *Gazeta de Guatemala* によると、サンタ・アナ県全体の人口は 11,001 人で、先住民人口は 7,129 人とされ全体の約 7 割弱を占めているが、中心地サンタ・アナ市のデータは不明である（Barón Castro 2002:236)。

18 世期半ば以降の２つ報告書の作成主体は行政や教会と異なり、居住単位の範囲や住民区分のカテゴリーも別基準であり、単純な比較はできない。しかし、1740 年代には 30％弱だった先住民人口の割合は、1770 年前後には 13％に減少している。サンタ・アナの住民の大多数がラディーノ、すなわちスペイン語を話す非インディオであったことがわかる。

一方、グアテマラ国境に近いアワチャパン（Ahuachapan）について、トマス・ロペスは 1549 年の聴訴院宛て書簡で、「男はクスカトランの人のように話しているが、女はチャルチュアパの人のように話している」（Larde y Larin 1975:49）と、興味深い報告をしている。先述の通り、クスカトランではピピル語、チャルチュアパでは後述の通り、マヤ・ポコマン語が話されていたと解釈できる。おそらくアワチャワパンの住民の母語はマヤ・ポコマン語で、男は村外との商取引のためリンガ・フランカとしてピピル語を使用していたと推測できる。しかし、18 世紀のコルテス・イ・ララスの視察記録では、「メシーカ語（ピピル語と思われる）が話されている

---

[6] 形態統語論的には、Cihuat（女性）+hua（所有）+can（場所）と分析され、「女性がいる場所、女性になる場所」という意味だと考えられる。

[7] ムラートは白人と黒人の混血を指すが、この地域にアフリカ系住民が住んでいた事実は確認できない。おそらく褐色の肌をした先住民言語を話さない住民を指すものと推測される。

が、誰もがスペイン語を解するので、教会運営にはインディオの言語は必要ない」（Cortés y Larraz 1958 Ⅰ :66）とあるが、マヤ･ポコマン語については言及されていない。

サンタ・アナ市に隣接する先スペイン期の遺跡がある町、チャルチュアパに関して、前述の 16 世紀半ばのトマス・ロペスの記録では、マヤ・ポコマンの居住地とされている。しかし 16 世紀末のシウダ・レアルの報告では、住民はピピル人とされている（Ciudad Real 1993 I:199)。一方、18 世紀のコルテス・イ・ララスの報告では「スペイン語が共通語であるが、母語はポコマンである」とされている（Cortés y Larraz1958 Ⅰ :232)。これらの記述から、チャルチュアパの住民の母語はマヤ・ポコマンで、外部との接触にはピピル語を使用していたと推定できる。また、コルテス・イ・ララスは、全住民 1262 人のうち、先住民は約半数の 662 人だと伝えている。

また、サンタ・アナ県の北は古くからマヤ・チョルティの人々の居住地で、今もホンジュラスとグアテマラに接する地域に、その末裔が生活している。

このように、サンタ・アナ市は、西はマヤ・ポコマンの居住地と隣接し、北はマヤ・チョルティの居住地へつながる位置にあった。この地域の政治・経済的中心都市サンタ・アナ市は、もともとピピルの人々が住んでいた町だと思われるが、これらのマヤの人々も行き交う多言語社会であったことが想像される。

２．植民地時代中米におけるコフラディア

１）コフラディアの中米への移植

13 世紀を境に、ヨーロッパのキリスト教においては、信徒としての組織的かつ自発的な活動が目立つようになる。そのひとつがコフラディア(cofradía)である。コフラディアはコフラデ（cofrade : 信徒、兄弟）から派生している[8]。スペインでは、12 世紀にコフラディアが誕生したとされるが、当時のグレミオ（同業者組合）の一部であり、グレミオの守護聖人像の世話とその祝日に経済的支援をすること、コフラデ（団員）の葬式の互助を役割としていた。13 世紀に誕生したイタリアのコフラディアは、指導者としての聖職者を直接関与させない信徒の自発的運営の宗教共同体だった。発足当初のコフラディアは今日の宗教的団体とは傾向を異にしていた（桜井 1998:20-21)。

コフラディアは、16 世紀までに西ヨーロッパで発展をとげた信徒組織の総称であった。ヨーロッパ中世後期の社会的変動の中、教会共同体の質が変容するにつれ、信徒組織は教会の重要な核を形成していった（川村 2003:15)。定員制のコフラディアは会則を定め、イタリアのコミューンを模倣した組織をもち、リーダーは会員から短期交代を原則に互選された。構成員も一般庶民から貴族まで、老若男女を問わず幅広く構成されていた。枢機卿などの名誉顧問もあったが、組織運営は基本的

[8] コフラデは、ラテン語の cum（スペイン語前置詞 con）と frade（スペイン語 hermano:兄弟）が語源とされる（Rojas1988:41)。

に信徒に任されていた（ibid:25-26）。ヨーロッパのコフラディアも祝祭などの共同体的な行事を運営する機能を果たし、付随する会食、団欒、娯楽活動も担うことで、共同体の結束を育んでいく役割を持っていた。

グアテマラ総監領の最も古いコフラディアは、グアテマラ市のスペイン人らによって 1527 年に設立されたものである。1534 年創設のグアテマラ教区でも、16 世紀末になると、先住民からなるコフラディアが誕生するようになった。先住民人口の多い地域では、先スペイン期から受け継がれてきた宗教儀礼組織を核とする先住民村落自治の中心的機構として、コフラディアが広く受け入れられるようになる。先住民の伝統的文化と融合するなか、コフラディアの「土着化（indigenización）」現象がみられるようになった（Rojas1988:6）。現在でも観察できる土着化の例として、グアテマラ、エルサルバドルの先住民文化を色濃く受け継ぐ地域に受け継がれる伝統的祭祀グアチバル（guachival）をあげることができる[9]。植民地期の教会巡察記録によると、グアチバルでは、非公式のコフラディアのような信徒組織によって、故人の命日を家族で祝う祭礼が執行されていた（Ruz 2002 II:478）。

２）コフラディアの経済的機能

コフラディアには、信徒からの献金や共有地からの収益[10]を保管するカハ（caja）と呼ばれる共同財産金庫があり、その基金をもとに祭礼の運営が行われていた。ドミニコ会が導入したカハは、住民から積立金を徴収する共済制度としても機能していた（MacLeod 1973:231）。中米では、カハの管理には、コフラディアだけでなく、各教会の聖職者も当たっていた。

各種祭礼のミサ執行などの代金は、カハから徴収されていた。聖職者にとってはコフラディアの数が多いほど収入が増大する仕組みであった。地方の集落では聖職者が唯一のスペイン本国の代表であり、彼らは共同体と植民地政府との仲介役という立場を利用し、蓄財していたケースもある（Webre1993:178）。こうした不正を取り締まるため、司教区本部は管轄下の教会の巡察を頻繁に行い、聖職者らを監視していた。

巡察では、各教区の人口と民族構成、地理などの情報を収集し、教会と地方行政局との関係、教会活動、住民の生活状況などの把握につとめた。それらの記録には、レパルティミエント（強制労働割り当て制）、カハ、納税、献金などが適切に機能しているかどうかが記されている。また、巡察使の訪問の機会に、住民たちは、しばしば教会当局や行政当局との争議について申し立てた（Ruz 2002 I:26-28）。

カハとその管理・運営に携わるコフラディアは、植民地統治で最も重要な組織であったと、経済史研究者マクロードは指摘している。カハとコフラディアがうまく

---

9 グアチバルの名称の由来は不明だが、ナワ系言語と思われる。グアチバルの日に聖像に衣服を着せ、歌い踊ったという習慣（桜井 1998：23）から推察すれば、quachtli（綿布）が摩擦音化、すなわちピピル語的な音声となった可能性が考えられる。

10 中米では、スペイン人らに皮革、食肉、乳製品を供給するため、共有地の一部を利用して牧畜が行われた。それは信徒の無償労働で行われた（Fonseca Corrales 1993:115）。

機能したため、教会は先住民にスペイン本国の宗教体系を強要することなく、先住民の伝統的な音楽や踊りなどの芸能や生活習慣を容認したと指摘している。そのため、現在も、先住民文化とスペイン文化の融合という形でコフラディアは各地で存続しているという（MacLeod 1973:327-328）。グアテマラとエルサルバドルでコフラディアを調査した桜井は、征服後の伝統的社会の破壊で自己喪失に陥っていた先住民にとって、コフラディアは精神的補償という機能を果たし、教会側にとっては団員の献金で教会運営が円滑に行われ、記録も残る有益な手段であったと指摘している（桜井 1998：22）。

３）コフラディア台帳

コフラディアが作成していた記録台帳は、各地の教会などに保管されている。台帳の記録内容は、コフラディア成員の規則・訓令、役員選挙と名簿、毎月の収入・支出記録などが主なもので、大司教による教区訪問の際、それらの記録に基づいて管理・運営について監査が行われていた。このような台帳は、教会活動の整備と教区の先住民の管理にも役立っていた。台帳の記録項目、記録用紙紛失を防ぐため、装丁法まで、司祭によって指示されていた。紛失されたものも少なからずあるものの、このような台帳の重要性により、一定の保管状況で発見されるものが多い（Palomo Infante 2009：31）。

16 世紀から 19 世紀のチアパス各地のコフラディア文書を分析したパロモ・インファンテの研究（Palomo Infante 2009）は、グアテマラ総監領のコフラディア台帳の特徴を次のように指摘している。

台帳の最も重要な構成要素は、規則・訓令（constituciones, ordenanzas）で、本来冒頭にあるべきだが、そうでないケースや写しのケースもある。記載内容は、設立目的や主旨、構成員、コフラデ（団員）の義務と役割、コフラデの恩恵、設立者などであるが、教会視察使による判断で内容が追加・変更されることもある。

経済組織としてのコフラディアの側面も台帳に表れている。コフラディアの資金・所蔵品の記録、献金記録だけでなく、祭祀や洗礼・葬儀などの儀式の経費記録、さらに、共同体の土地などの不動産資産の記録が含まれることも少なくない。宗教上の催事の記述があるが、彼らの生活の実態や文化的変容が具体的に語られることはない。そのため、先住民の価値観や宗教観まで読み取るのは非常に難しいが、中には信徒らの熱心な献身の状況、あるいは異教徒で偶像崇拝的と認識されていた状況が伺える記録もある。

多くの台帳から推察できるのは、コフラディアと教会、あるいはカビルド（市町村会）との関係は、必ずしも良好ではなかったことである。コフラディアの自治性や独立性と同時に、スペイン人司祭による管理状況なども記述されている。17 世紀初期のコフラディアは完全に宗教的な組織で、司祭らが活動や機能を厳しく管理し、財源を掌握し、役員（oficiales）を任命していた。しかし、18 世紀半ばには、司祭の管理は継続するものの、コフラディアは自治性を強くするようになった。カビルドの参加も記録され、彼らが新しい幹部を選ぶようになった。この傾向は 19 世紀まで続くが、1856 年から 1857 年のレフォルマ（改革）で、コフラディアとい

う協会（asociación）は消滅し、台帳は作成されなくなる。

このような台帳は、コフラディアが、歴史の変遷の中で、社会・経済・政治的組織として、どのような目的を果たそうとしたのか、また、どのように先住民に受け入れられ、定着したかが読み取れる重要な史料である。同時に、集落の民族構成、人口推移などもわかり、先住民のラディーノ化への過程を推測することも可能である（ibid：32-35）。

4）植民地時代サンタ・アナ市のコフラディアと台帳

サンタ・アナのコフラディアについては、ウンベルト・ルース編纂のグアテマラ大司教区古文書館所蔵『教会巡察記録』に収められた 1714 年 4 月 7 日の報告がある（Ruz 2002 II: 324-342）[11]。それによると、13 のコフラディアが存在し、サンタ・ベラクルスを含む 8 つのコフラディアは先住民、5 コフラディアはラディーノで構成されていた（表 1）。また、60 年後の 1774 年には、グアテマラ教区大司教がまとめた各地区の教会のコフラディアの組織運営や守護聖人、信者の献身に関する調査報告が作成されている。サンタ・アナ市では 16 のコフラディアが報告されているが（表２）、サンタ・ベラクルスは欠落している（Montes 1977, I: 61-62）。しかし、サンタ・ベラクルスの記録には 1775 年までの文書が所収されていることから、1774 年には少なくとも 17 のコフラディアがあったと考えられる。二つの時期を単純に比較できないが、ラディーノの聖カルメンのコフラディアが潤沢な資金面で際立っている。

現地で確認したところ、サンタ・アナ市カテドラルには、サンタ・ベラクルスのほかにも、聖カルメン 2 冊（1655－1748 年, 1774－1777 年）、聖ロサ及び聖マリア（1673 年）、聖ロサ（1786 年）、聖秘蹟 2 冊（Santísimo Sacramento1710 年、1784 年）、聖アナ及び聖カルメン（1712 年）、聖ロサリオ 2 冊（1710－1784 年、1732 年）、サンペドロ・コアテペケの聖アスンシオン（1726 年）[12]など、17 世紀半ばから 18 世紀末の記録台帳が 11 冊の保管されている[13]。この中でピピル語での記録が見られるのは、サンタ・ベラクルスだけである。

現在、サンタ・アナ市カテドラルには信徒らの各種活動組織はあるが、コフラディアはない。サンタ・アナ県内では、チャルチュアパのコフラディアがよく知られている（桜井 2000）。

---

11 グアテマラ大司教フアン・バウティスタによる巡察報告。コフラディアの財産や収支、役員選挙などを確認したとのことである（Ruz 2002 II:331）。

12 サンペドロ・コアテペケはサンタ・アナ市東部に位置する属邑の一つである。

13 台帳が作成されなかったコフラディアが存在した可能性も考えられる。また、教会の承認を得ていないコフラディアも少なからず存在していたとも考えられ、その場合は、当然ながら、カテドラルに台帳が保管されていない。現在も、グアテマラやエルサルバドルでは、コフラディアが独自に記録を保管していることも珍しくない。

表１　1714 年のサンタ・アナ教区巡察記録のコフラディア

コフラディア	構成民族	資金	牛	馬	コフラディア	構成民族	資金	牛	馬
聖秘蹟	ラディーノ	30P	-	-	聖キリストの名	ラディーノ	0	-	-
聖秘蹟	先住民	39P	256	3	聖ロレンソ	先住民	33P4R	-	-
聖ロサリオ	ラディーノ	49P	-	-	聖ロサ	ラディーノ	39P	-	-
聖ロサリオ	先住民	21P4R	-	-	聖フアン	先住民	40P	-	-
聖ナティビダ	先住民	7P6R	16	3	聖ベラクルス	先住民	30P4R	-	-
聖カルメン	ラディーノ	60P	31	11	聖バルバラ	先住民	26P	-	-
聖セバスティアン	先住民	12P4R	-	-					

出典：Ruz　2002, II: 331-332　　資金の単位：　P=ペソ、R＝レアル、１ペソ＝８レアル

表２　『グアテマラ司教区コフラディア報告書(1774 年)』のサンタ・アナ市のコフラディア[14]

コフラディア	資金	牛	雌馬	雄馬	ラバ	ロバ	コフラディア	資金	牛	雄馬	雄馬	ラバ
聖カルメン	1590	502	81	28	7	1	聖ニコラス・オビスポ	204	-	-	-	-
聖秘蹟	807	-	-	-	-	-	聖ホセ	198	-	-	-	-
聖カンデラリア	470	-	-	-	-	-	聖ペドロ	150	502	15	9	4
聖ロサ	216	-	-	-	-	-	我らカンデラリア	145	-	-	-	-
聖ニコラス・オビスポ	220	-	-	-	-	-	聖アントニオ	110	38	-	-	-
カリダ	366	-	-	-	-	-	聖ルシア	100	-	-	-	-
聖ホセ	340	-	-	-	-	-	聖秘蹟	20	52	2	1	-
聖アスンシオン	265	-	-	-	-	-	聖ロサリオ	0	-	-	-	

出典　Montes 1977: 61-62.

５）サンタ・ベラクルスのコフラディアとパヨ・デ・リベラ司教によるコフラディア設立訓令

サンタ・ベラクルスのコフラディアは、グアテマラ司教パヨ・デ・リベラ[15]による設立許可と訓令（以下「リベラ訓令」と略記）に基づき、1666 年に設立されたものである。グアテマラ総監領の一地方都市、サンタ・アナ市の植民地時代の社会状況については、断片的な史料しか確認されていない。しかし、17 世紀に入ると、コフラディアは、村落自治の中心組織として広く受け入れられ、また、スペイン人にとっても植民地統治側と被統治者側の仲介役を担うものであった。さらに、地方の教会にとっては外部の干渉なしに利益を得られる好都合な制度として各地で増加していたと推測される。

1660 年にアウディエンシアの税務官吏ペドロ・フラソがグアテマラを巡察した

[14] 聖ニコラス・オビスポと聖ホセがそれぞれ二つある理由について、報告には説明はない。1714 年の報告（表 1）のように、ラディーノと先住民がそれぞれ同じ聖人のコフラディアを設立していた可能性が考えられる。

[15] エンリケ・パヨ・デ・リベラ（1612－1685 年）はセビーリャ生まれのアウグスティヌス会修道士で、グアテマラ司教（在 1659～1668 年）、メキシコ大司教（在 1668～1680 年）に就任し、1673 年からは第 27 代ヌエバ・エスパーニャ副王も兼任した。大司教退任後、スペインのクエンカ司教職とインディアス枢機会議長就任を辞退し、リスコの所属修道院に戻った（Juarros 1981:154）。

際、リベラ司教は、納税者数削減を命じる勅令を無効にするよう懇願書を提出している。その理由は、グアテマラ司教区には、教会や修道院、聖職者数が非常に多く、運営に見合うだけの税収の確保、すなわち、納税者数の維持が不可欠であるというものだった[16]。一方、1662 年のニカラグアを訪問した税務官吏フラソは、人口 100 名余りの集落に 10 から 12 ものコフラディアがあることに驚き、コフラディアの数を制限するよう命じたが、効果は薄かったとされる(Fonseca Corrales 1993:114)。

1666 年のサンタ・ベラクルスのコフラディアへのリベラ訓令も、5 章でテキスト内容を示すとおり、コフラディアを適切に管理するようリベラ司教が直々に発令したものと思われる。このようなコフラディアを規制するため、1681 年にはコフラディア数を制限する勅令が出されている。

[16] AGN Hospital de Jesús, Vol. 67. exp.2, fol.1 y 5. その他、1661 年のグアテマラ市参事会文書に、税務官吏ペドロ・フラソによる先住民のレパルティミエント削減指導に対し、続行を正当化する記録が残っている (Ortiz y Torres et al. 1984: 117)。

第５章　サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳

１．サンタ・アナ市カテドラルでの古文書調査

筆者は 1997 年から 1999 年にかけて「エル・サルバドル総合学術調査」（故大井邦明京都外国語大学教授監修）に参加した。その際に、歴史学者サンチアゴ・モンテス著 *Etnohistoria de El Salvador*（『エルサルバドルの民族史』1977 年）に、本論文で取り上げる、サンタ・アナ市のサンタ・ベラクルスのコフラディアのピピル語によるパヨ・デ・リベラ・グアテマラ大司教による訓令（以下「リベラ訓令」と略記）のファクシミリ版を見つけた。

モンテスの研究には、所蔵される教会は記されていなかったが、まずは同市のカテドラルに古文書の閲覧を申請し、『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』（以下『S.V.台帳』と略記）に「リベラ訓令」が収められているのを確認出来た。地方の教会所蔵の古文書のほとんどがそうであるように、同カテドラルの古文書も一般公開されていないが、1999 年 8 月に同国文化庁からの照会状により、特別に古文書調査の許可を頂いた。写真撮影は、教会の物品管理担当のサクリスタンの立ち会いのもと実施された。

同カテドラルの古文書所蔵庫（写真 2）には、17 世紀から 19 世紀までの洗礼、葬礼、婚姻の記録とともに、先述のとおり、本論で取り上げるコフラディアを含め 11 冊保管されている。1999 年当時は、デジタルカメラや一般的なコンピュータでの画像取り込みが簡易ではなかったため、一眼レフカメラで撮影した。時間的制約のため、ピピル語文書を中心に撮影し、その写真を拡大コピーして解読に使用した。筆者の古文書解読能力の限界と調査の時間的制約のため、「リベラ訓令」の一部のみ解読し、現代語調査と共に報告した（敦賀 2000）。

2005 年に神戸市外国語大学博士課程に入学し、かつての調査で不完全であった『S.V.台帳』のピピル語を研究テーマとした。2007 年の 3 月に、かつてサンタ・アナ市カテドラルに勤務され、現在は同市内のカルバリオ教会におられるアストゥル・ギロア神父に、カテドラルでの文書の写真撮影の便宜を図って頂いた。デジタルカメラもコンピューターも格段に性能がよくなり、限られた日程と時間で、台帳 1 冊全てを撮影することが出来た。その後、2007 年 8 月、2008 年 8 月にも訪問し、コフラディア台帳の調査ととり直し部分の撮影を行った。

写真１　サンタ・アナ市カテドラル

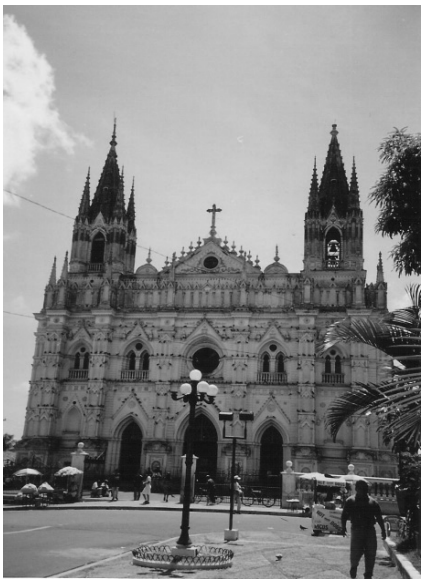


写真２　カテドラルの古文書所蔵庫

写真３　カテドラル所蔵のコフラディア台帳

写真４　『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』

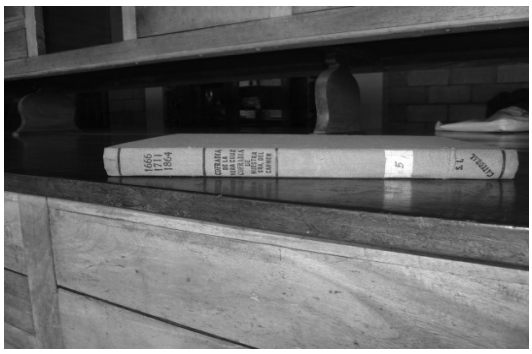


写真５『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』f1.r

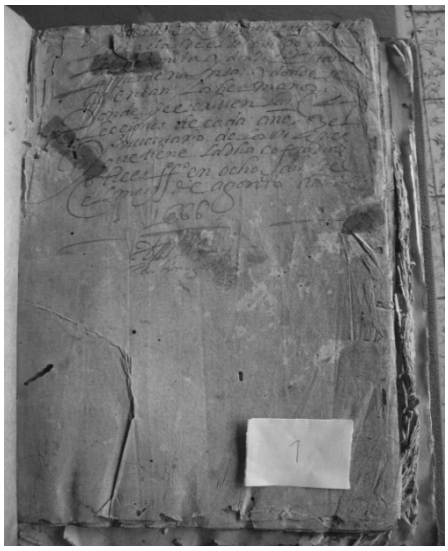
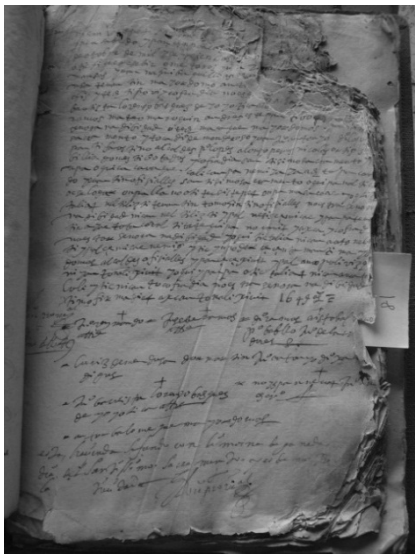


写真６『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』f 85.r



２.『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』の構成

『S.V.台帳』は、下記表１の構成となっている。現代になって何かの目的で整理した際に付されたと思われる鉛筆書きの頁（folio）番号が見られる頁もあるが、統一性がなく錯綜しているようであった。そのため、表 1 の頁番号は、筆者が写真撮影の際に、番号メモを置いて第１頁（f.1）から紙葉（folio）を数え上げたものである[1]。

表１　サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳の頁構成

頁（f.）	内　　容
f.1r	表紙？（1666 年 8 月 8 日）
f.2r	コフラディア設立承認文書(1666 年 2 月 23 日)
f.3r-4r	『リベラ訓令』(1666 年 2 月 23 日）の西語原文
f.5r-6	上記『リベラ訓令』＊ピピル語版の一部？（f.6 は破損大)
f.7r-25	コフラディア幹部任命記録＊ピピル語・西語(1711-1722 年)
f.26r	*洗礼記録（1655 年）*
f.27r	*コアテペケの visitador の記録（1638 年）*
f.27v	*洗礼記録（1649 年？）*
f.28r	コフラディア幹部任命記録(西語）（1722 年の続き？）
f.28v-43	コフラディア幹部任命記録(西語)(1723-1731 年)
f.44r	*洗礼記録*
f.45-52	コフラディア幹部任命記録(1736-1745 年)
f.53r-55r	『リベラ訓令』　西語版（1666 年原文の写し：1753 年作成)
f.56r-59r	『リベラ訓令』＊ピピル語版（1666 年 2 月 23 日）
f.59v-74	枝の主日（Domingo de Ramos）記録 ＊ピピル語　(1713-1748 年？) 〈f.75- 82 は白紙頁〉
f.83r-84	1775 年 Petronina Martines によるリベラ訓令（＊1666 年ピピル語の写し)
f.85r-140?	*1649 年の日付。破損大により頁を触るのも困難。解読不可。*
f.140?- ?	*Acta de Cofradía de Nuestra Señora de Carmen（聖カルメンのコフラディア記録）*

＊斜体字の部分は、サンタ・ベラクルスのコフラディアとは無関係の内容だと思われる。

[1] 筆者が「エル・サルバドルのピピル語今昔」(2000 年）において一部報告した『リベラ訓令』は、頁の数え間違いがあったため、この folio 番号と少々のずれがある。

年間を通じて高温の気候のためか、多くの頁でインクの薄色化が進行し、また、著しく破損している頁もある。写真 3、4 のように、布張りの厚い表紙が施されて製本されているが[2]、その際、紙葉が接合部分に閉じ込まれたために、解読不可能な部分や、縁が人工的に切られたり、破られた頁も少なくない。さらに、後半部分の f.85-140？は、写真 6 の通り破損がひどく、もはや頁をめくるにも絶えない状態であったため、筆者の判断による暫定的な頁数である。

また、製本した段階で、紙葉が錯綜されたのか、サンタ・ベラクルスのコフラディアとは関係のない、断片的な洗礼記録やサンタ・アナの枝村のコアテペケの巡察記録、また、聖カルメンのコフラディア記録などが混在していることが確認された。

３．テキスト化とピピル語解読の問題点

１）テキスト化の問題点

『S.V.台帳』の中で、同コフラディアには直接関係のない断片的な洗礼記録や破損の大きい頁（f.85-140）、および他のコフラディアに関する用件（f.140-など）の頁を除いた部分のデジタル画像からテキストを起こした。スペイン語部分も補助資料として重要なものもあるので、同様にテキストを起こした。

リベラ司教による設立承認文や訓令の西語原文、また、1700 年代後半の日付があるものなどは文字が比較的明瞭である。しかし、その他の 17 世紀の文書や 1711 年から 1745 年まで毎年行われる幹部交代・任命記録などは、スペイン語であれ、ピピル語であれ、かなり読みづらい文字である。また、ピピル語の部分はもとより、スペイン語部分においても、アルファベット表記法は統一性に欠ける部分が多く、テキストを起すにあたり困難をきたした。

これは、『S.V.台帳』の大部分が記された 17 世紀から 18 世紀前半までの時代は、スペイン語の正書法が確立されていなかったことに起因すると考えられる。1713 年に王立スペイン語アカデミーが創設され、1741 年に『カスティーリャ語正書法』第一版が刊行された。それまでは、文筆に携わる文人・知識人がそれぞれ固有の表記を行い、独自の正書法案が提示されたが、決して規範が落ち着くことはなかった（岡本 2011:147-148）。さらに、一般庶民の発音であれ教養人による発音であれ、必要性に応じて、いずれも表記されたことが、その時代の文書のテキスト化を難かしくしているという（AGN 1978:69-71）。

２）ピピル語解読の問題点

[2] 製本された時期や目的など、関係者に聞いても不明であった。

ピピル語文書の解読は「序章 4. 史料と方法論」で述べた通り、言語学的分析、特に各単語の形態統語論的分析を基に行った。まず、『S.V.台帳』の中で最も重要で、かつ最も古い 1666 年という古い日付のある「リベラ訓令」から解読を始め、次に 1711 年から記録のある「幹部任命記録」を解読した。ここで解読に際しての問題点について述べることにしたい。

先住民語文書の解読は、なるべく近い時代・地域において類似の主旨で書かれた文書を参考としながら進めるのが望ましいが、17 世紀後半のナワ系言語文書の研究は、未だ数少なく、その上、メキシコ中央高原以外の周辺部のローカルな用件に関する文書の研究は近年始まったばかりである。したがって、今回の解読は、概ねメキシコにおいて古典ナワトル語解読に採用されている方法論に準じた。

第 3 章－5 でも述べた通り、ナワ系言語は複統合的言語であるので、解読には各単語の形態・統語論的分析が基本となる。そこで問題なのは、「リベラ訓令」並びに「幹部任命記録」のピピル語テキストは、単語の区切りが不適切な部分が多く、さらに、文末のピリオドがほとんど無いことである。古典ナワトル語文書にも、同様の特徴がしばしば見られるが、これは、書記がアルファベットで口述筆記したためだと思われる。

また「リベラ訓令」の場合は、原文はスペイン語であるが、ピピル語に的確に訳しきれず、不明瞭な部分が少なからず残された[3]。例えば、名詞（句）は、主語であるのか、目的語であるのか、的確な形態素や不変化詞がわかりにくい場合が多い。さらに、動詞（句）においては、他動詞の場合、目的語が不定か特定かを示す形態素（-c-,-tla-,-te-）がほとんど使用されていないため、目的語の識別をなお困難にしている。この点に関しては、書記のピピル語運用能力が影響している可能性も考えられる。

当然ながら、標準文法や正書法がなく、表記方法や単語の用法には、エルサルバドル地域特有の使い方があったとも考えられ、いくつかの用例では、現代ピピル語研究が参考となった。

以上のような状況により、今回の分析・解読には、疑問や不明瞭な点が少なからず残されているが、それらは今後の研究課題としたい。

3）ピピル語文書「リベラ訓令」の書記

[3] ロックハートも、メキシコ・トゥーラのコフラディアのナワ語訓令について、「スペイン語からナワ語へのおおざっぱな訳である」と述べている（Lockhart 1999:314-317）。またカートゥーエンとの共著において、17 世紀初頭メキシコ・チアパス州で書かれたナワ系言語文書は、メキシコ中央高原のナワトル語文書と比べると「ピジン的である」と述べている（Karttunen & Lockhart 1976: 34）。

『S.V.台帳』に収められているピピル語文書の書記[4]について若干の考察を行いたい。

この台帳の表紙の次にサンタ・ベラクルスのコフラディア設立承認文があり（f.2)、それに続いて、同コフラディアの管理・運営規則を記した「リベラ訓令」(ordenanza）のスペイン語原文が収められている（f.3-4)。いずれも、最終頁の文末には1666年2月23日の日付で、当時グアテマラ司教であったパヨ・デ・リベラ司教と、その秘書、フランシスコ・ヒメネス(Francisco Gimenes)[5]の署名が記されている（写真8)。

ヒメネス秘書は、この文書以外にも、リベラ司教の秘書として文書を作成し署名していた。1660年2月1日付グアテマラ東部のチキムラ・デ・シエラの教会人事に関する書簡（AGCA, A1.11.3, Leg.6057, Exp.53710, f.1-3.）や 同年7月20日付けのリベラ大司教からスペイン本国宛の納税者削減に関する書簡の写し（AGN Hospital de Jesús, Vol. 67. exp.2,f.7）などに、ヒメネス秘書の署名が確認できる。

それに続く頁には、ピピル語による文書（f.5-6）があるが、f.6は破損が大きく、その上、日付の頁はない。残存部分の解読から判断すると、おそらく「リベラ訓令」のピピル語版ではないかと想像されるが定かではない。

しかし、f.56-59rには同訓令ピピル語版があり、文末には1666年2月23日の日付及び、当時のグアテマラ司教区のリベラ司教の命によって、彼の秘書フランシスコ・ヒメネスが書いたものであることが、ピピル語で訳され記されている（写真７)。しかし、ここには署名はない。おそらくスペイン語原文のピピル語訳だと考えて間違いないだろうが、訳者名は記されていない[6]。

16、17 世紀に先住民書記によって書かれた文書の場合、ブロック体に近い文字で書かれることが多いと一般的に言われるが、実際は、比較的なめらかな筆記体で書かれたものもある[7]。「リベラ訓令」の字体もまた、比較的なめらかな筆記体であり、書記はスペイン人とも先住民とも、いずれの可能性も考えられる。なお、ピピル語訳は、スペイン語原文と概ね照合しているようではあるが、十分に訳しきれていない、または省略されたと思われる箇所も確認された。

---

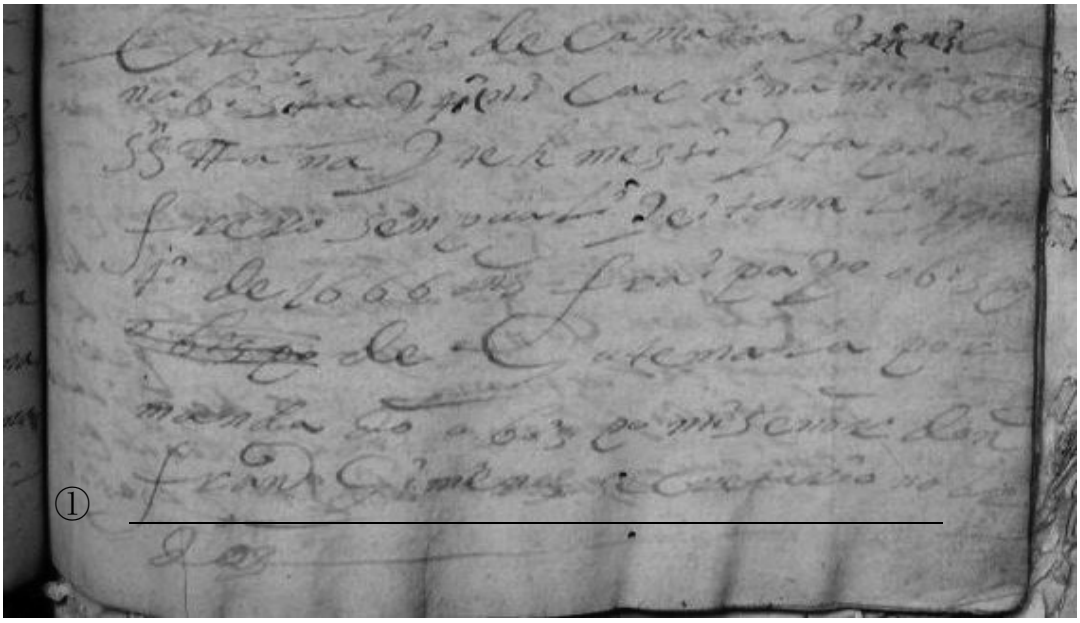
[4] 行政部門においては、グアテマラ総監府に市参事会が設置された1524年から、市当局付の職業としての書記(escribano)が存在し（Luján 1982:125）17 世紀初頭には、notario(公証人)という役職も導入され、細かい規定のもと、世襲制で長く維持されたという。

[5] 『ポポル・ブゥフ』の記録者フランシスコ・ヒメネス（Francisco Ximenez　1666－1729、1688年グアテマラ着）とは別の人物である。

[6] 先住民語によるコフラディアの訓令が各地の教会やコフラディアに所蔵されていることが確認されているが、多くはスペイン語原文からの訳になっている（Lockhart 1999:318)。また本訓令のピピル語訳については、訳者名に加えて、訳された日付もまた不明である。

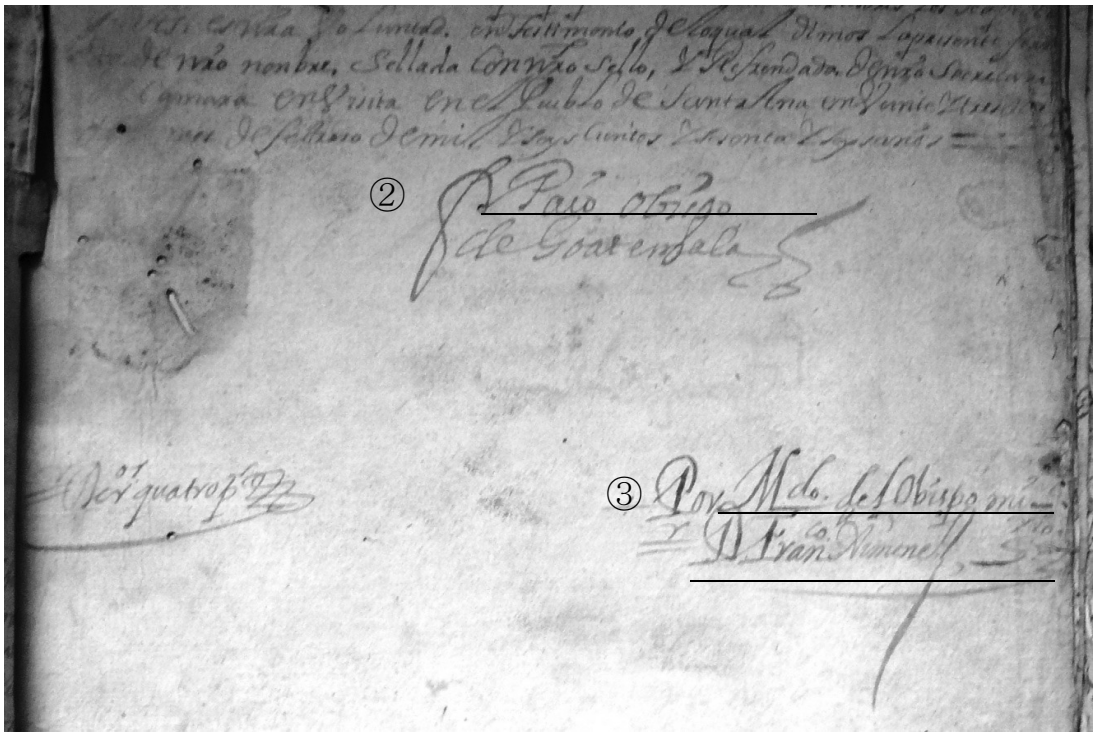
[7] メキシコ・トラスカラ州立古文書館所蔵のナワトル語による訴訟記録（Fondo Colonia caja 2.exp.1,1562）は先住民書記ながらも、書きなれた字体で記されている。

写真７　『リベラ訓令』（ピピル語版）最終頁（f.59.r）



①“Francisco Gimenes, Secretario”(フランシスコ・ヒメネス、秘書)

写真８『リベラ訓令』スペイン語原文最終頁（f.4. r）



②“Fray Paio, Obispo de Goatemala”（パヨ師、グアテマラ司教）署名

③“Por el Mando del Obispo, Don Francisco Ximenez”（司教の命により、ドン・フランシスコ・ヒメネス）署名

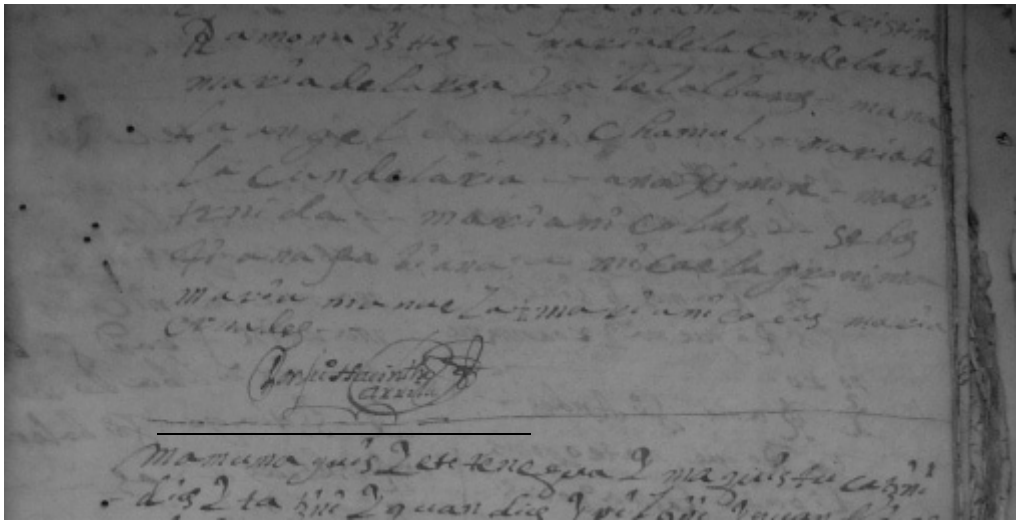
いずれにせよ、第４章－２でも言及したとおり、このコフラディアの成員はピピル語を使用する先住民であり、彼らに対して、スペイン語とピピル語に通じていた人物が、リベラ訓令をピピル語に訳したのではないかと推測される。ただし、どの程度ピピル語に通じていたかは不明である。

４）ピピル語文書「幹部任命記録」の書記

『S.V.台帳』の中で、幹部任命関係の記録は、1711 年から 1745 年まで、約 40 紙葉 80 頁にわたって確認された。その内、ピピル語の文書が見られるのは、1711 年から 1722 年までの 11 年間で、それらは全て末尾にカリージョ・ロバト（Carrillo Lobato）司祭の署名がある。1714 年 4 月 5 日付のフアン・バウティスタ・アルバレス・デ・トレド・グアテマラ大司教によるサンタ・アナ教区巡察記録[8]に、カリージョ司祭について次のような記述がある（Ruz 2002, II:325）。

「…ミサの後、今回の巡察が挙行されることが読み上げられ、私は説教壇へ上ると、教区主任司祭のカリージョ・ロバト師によってカスティーリャ語とメシーカ・ピピル語でその旨公示された」

写真９　『幹部任命記録』f.9r



カリージョ・ロバト司祭の署名

1717 年にも同グアテマラ司教がサンタ・アナを訪れているが、その際も、「カリージョ・ロバト教区主任司祭がカスティーリャ語とメシーカ・ピピル語でグ

[8] この巡察では、洗礼・結婚・葬礼台帳、財務状況記録と金庫、所蔵品、コフラディア（第 4 章表 1）などについて確認された（Ruz　2002, II :326-334）。

アテマラ司教の巡察を伝えた」(Ruz 2004, III: 58) と記している。カリージョ・ロバト司祭はスペイン人だと思われるが、ピピル語に通じていた人物であったようである。ただし、どの程度の言語運用力であったかは定かではない。

一方、歴史学者ルースは、『グアテマラ司教区教会巡察記録　第 4 巻』の序論で、1731 年から 5 年間のゴメス・デ・パラダ司教の記録に記された、サンタ・アナの先住民らの苦情について言及している。教区主任司祭もその助手の司祭もピピル語が出来ないので、先住民に告解も説教も出来なかったということである (Ruz 2008, IV:23)。

『S.V.台帳』 の「幹部任命記録」と照らし合わせると、確かに、カリージョ・ロバト司祭の以降の、フアン・シルベストレ・サンチェス司祭 (1722－1731 年) やヨセフ・ギジェン司祭 (1736－1739 年)、イシドロ司祭 (1740－1742 年)、ヨセフ・ロムアルド司祭 (1743－1745 年) などは、スペイン語でのみ記録している。

４．「リベラ訓令」のテキストと形態統語論的分析

１）音声表記の特徴

「リベラ訓令」および「幹部任命記録」のピピル語文書の音素表記で、スペイン語と異なる特徴的なものは概ね下記の通りである。

音素	テキスト表記	例	「リベラ訓令」文章番号	「幹部任命」文章番号
/v/	b	berapas, beracruz, llabe	1, 10 etc	2、5
/c/	qu	quenta[9]	4, 13, 16 etc.	5
/h/	-	ermandad, ermanos	2, 8, 11, 17, 18etc.	6
/t/	tt	ttagui, ttamanti etc.	9, 12, 13, 17 etc.	2
/x/	x	caxa, Xorge	9, 11, 23 etc.	

２）「リベラ訓令」の写真

「リベラ訓令」は、次の写真 10～16 の全 7 頁から成る。

[9] 「リベラ訓令」文章 No. 9 には cuenta とある。

写真 10　f. 56. r

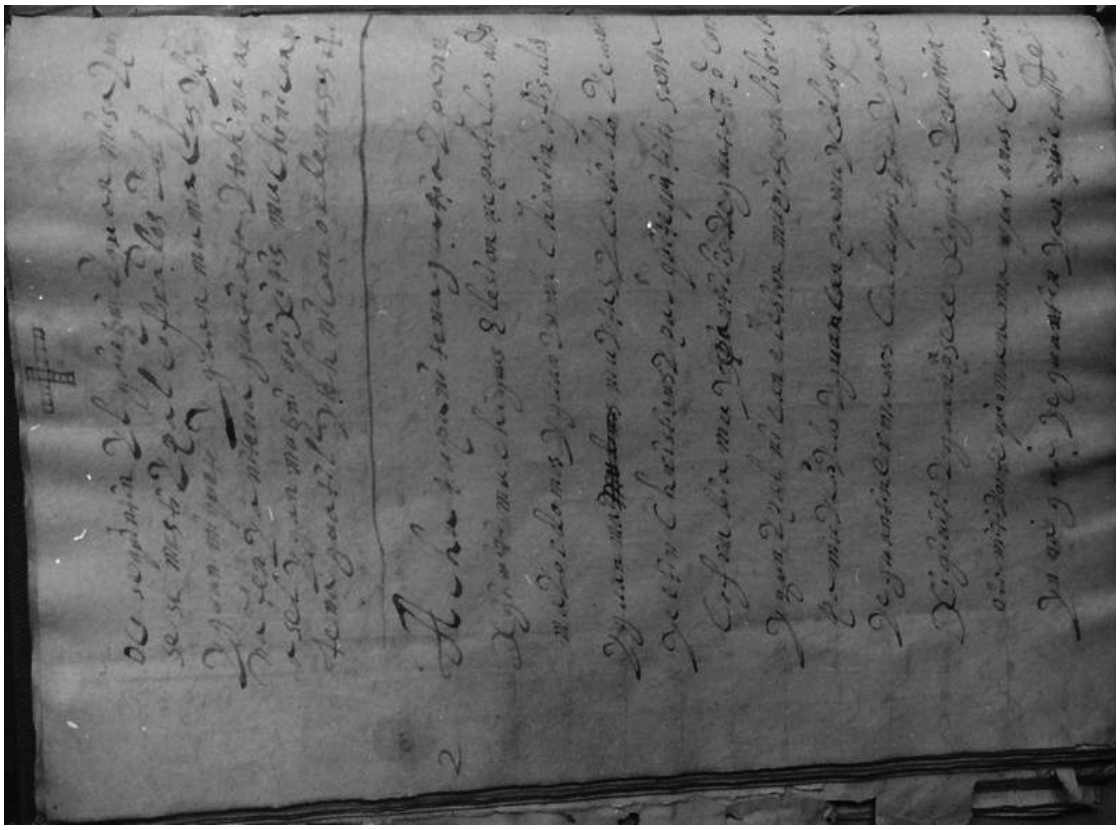


写真 11　f. 56v

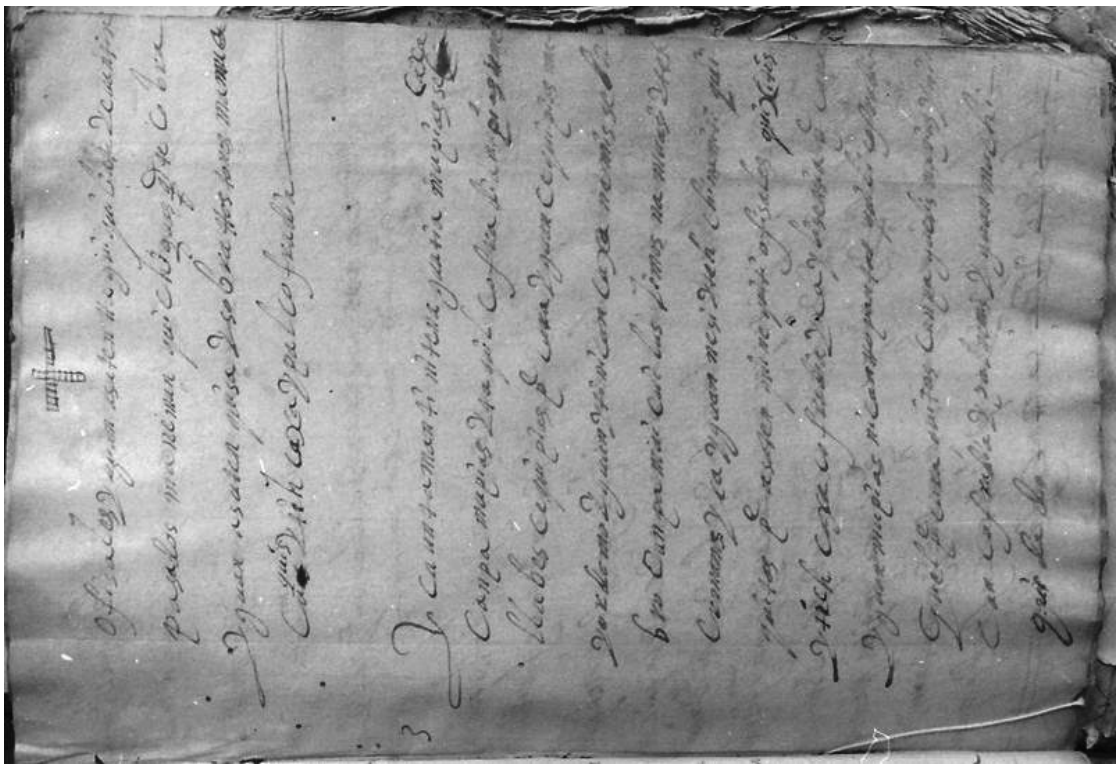


写真 12　f. 57r

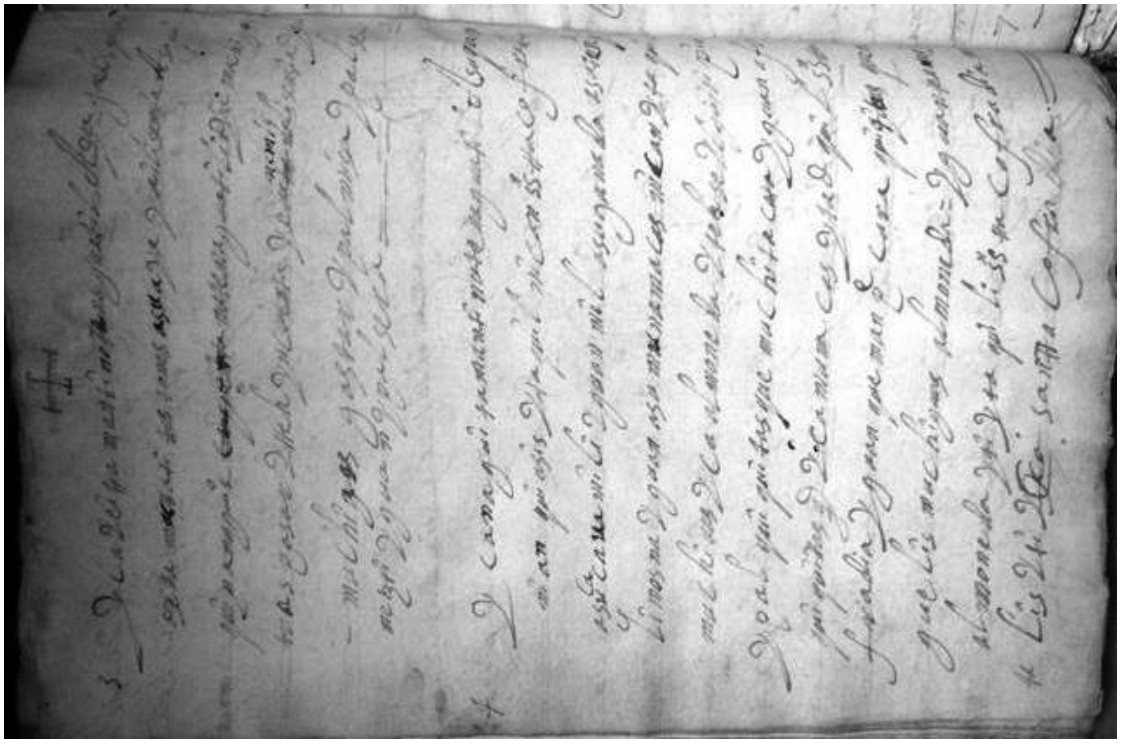


写真 13　f. 57v

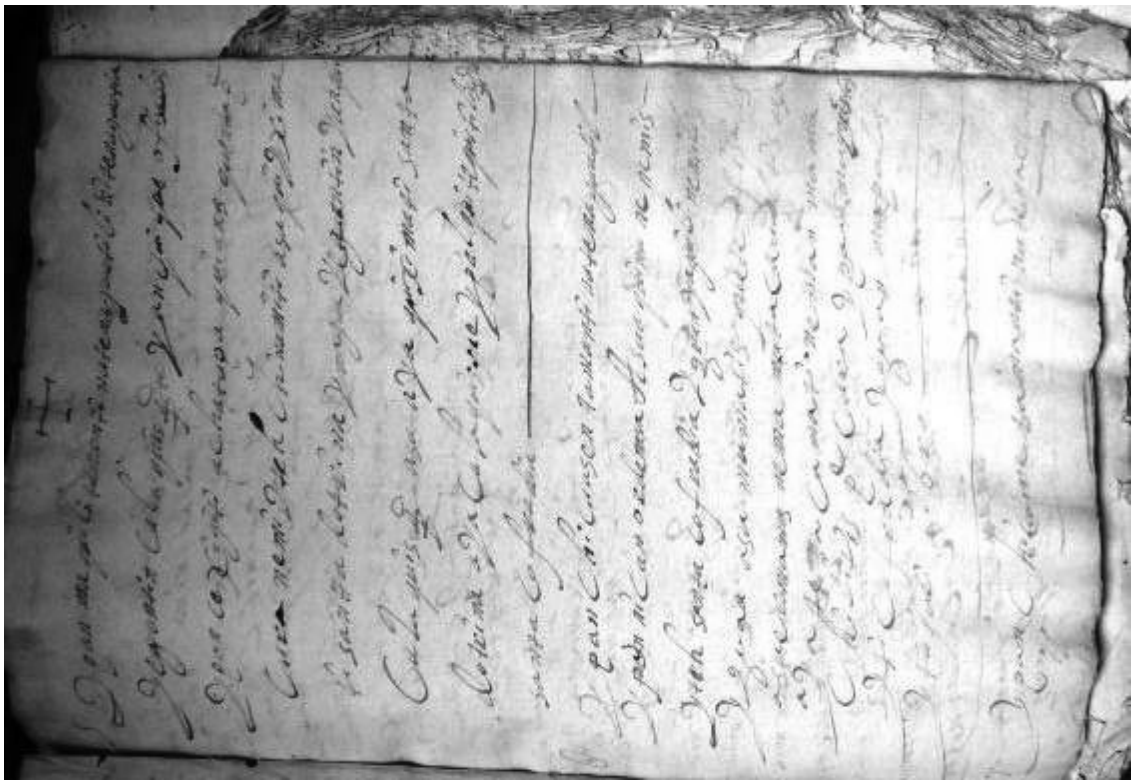


写真 14　f. 58r

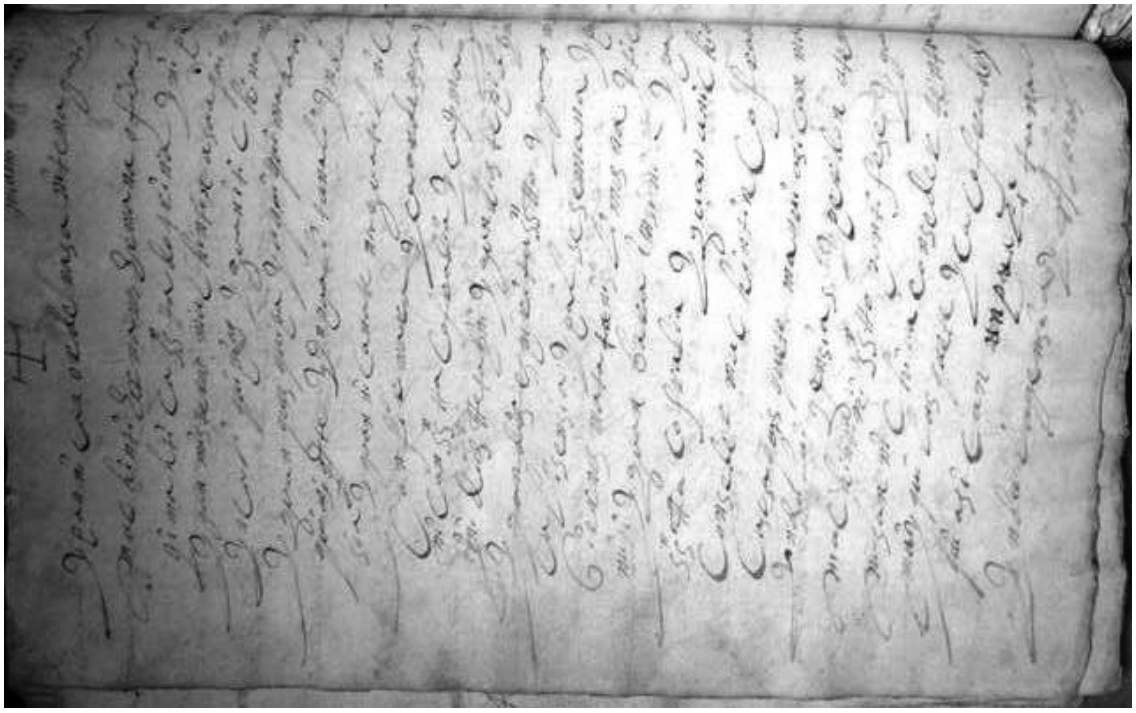


写真 15　f. 58v

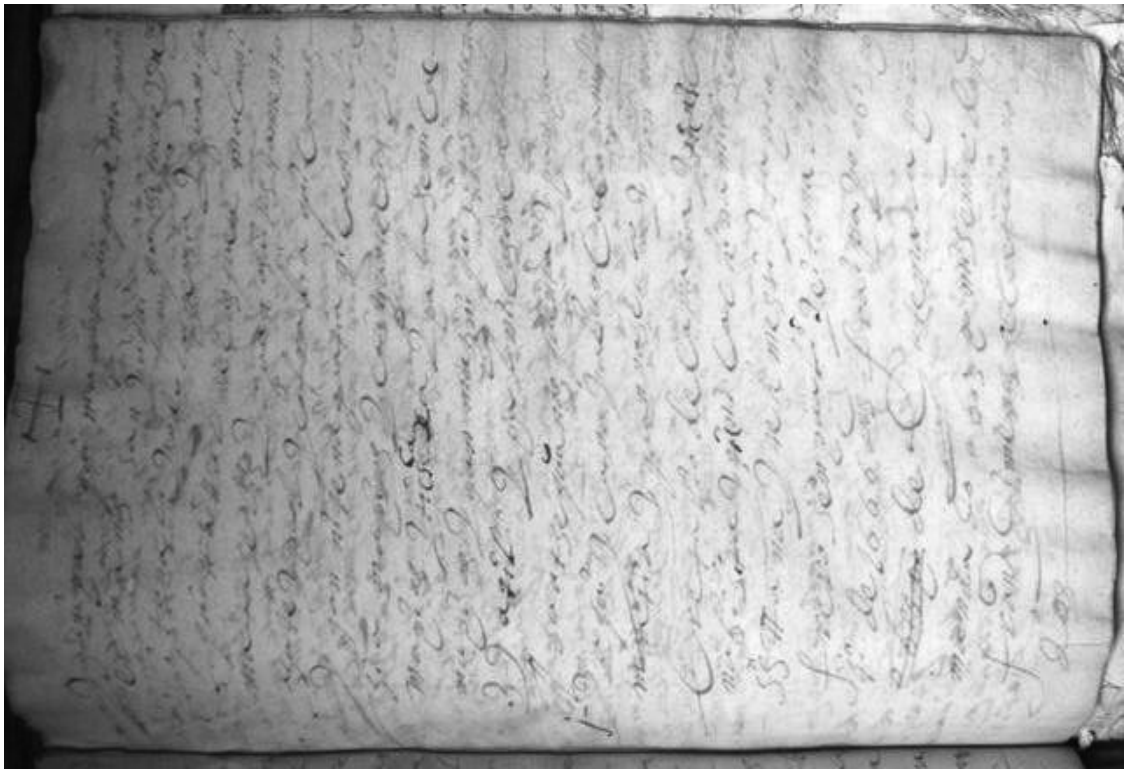


写真 16　f.59r

３）テキスト解読要領

「リベラ訓令」のピピル語テキストを解読するにあたって、筆者が 1999 年 10 月から 2003 年 2 月まで参加していた、メキシコ社会人類学高等調査研究所（CIESAS）の古典ナワトル語研究セミナーで提示した形態・統語論的分析の要領に準ずる（Herrera, Peralta, Von Mentz, Rockwell 2007）[1]。なお、不変化詞の体系だった言語学的研究はいまだなく、辞書や同セミナー講義ノートなどを参考にした。

テキストの解読要領は下記のとおりである。

① 最初にテキストを提示する。原文にはコンマ、ピリオドなどがほとんどないので、筆者の判断で適宜文を切り、ピリオドを付け、(　)に文章番号を付加した。

[1]近年まで、スペイン語や英語での古典ナワトル語文書の解読は、どこまでが訳者の意訳であるのか、また、その訳文はどのような言語学的根拠に基づいているのかが不明瞭なまま、発表されるケースが多かった。また、研究者のほとんどが、孤立語的性格の強いスペイン語や英語を母語とし、複統合語特有の柔軟性、言い換えれば、不明瞭な表現に適応しきれていない部分も少なくないように思われた。1990 年代末頃から、メキシコの言語学者や文献学者らが、より原文に基づいた解読法と翻訳を提示すべく、形態・統語論的分析が徐々に採用されるようになってきている。

② スペイン語からの借用語は斜体字で表記した。
③ 形態統語論的分析説明の行の構成：
　1 行目：原文の単語ごとに形態統語論的分解をハイフンでしめす。
　2 行目：各形態素を上記文法用語略語凡例にしたがって示す。なお、これらの略語はスペイン語の文法用語が基となっている。名詞・動詞の語幹部分、不変化詞にはスペイン語の訳を適宜添える。
　3 行目：仮訳
④ 次に筆者による意訳を添えるが、まだ検討の余地が少なくない。
⑤ 参考として、同訓令の 1753 年作成のスペイン語版テキスト(f.53－55r)を添える。本来ならば 1666 年の原文を添えるべきであるが、インク薄色化、製本による頁の端の部分の解読不可な箇所も多いので、1753 年の写しを提示する。
⑥　その他
　(　)：テキスト中の文字を適宜修正した部分
　(...)：解読不明な部分
　[　]：欠落部分などを加筆した。
　[sic]：テキスト化不可
⑦形態統語論的分析に使用する略語は次の凡例に基づく。

［形態統語論的分析略語凡例］

1	1 人称	primera persona
2	2 人称	segunda persona
3	3 人称	tercera persona
ABS	名詞語尾	absolutivo
APL	適用	aplicativo
CAUS	原因	causativo
COPRET	不完了過去	copretérito
DET	断定	detrminante
DIM	縮小	diminutivo
DIR	方向	direccional
EXH	希求	exhortativo
FUT	未来	futuro
HON	尊敬	honorífico
LOC	地名	locativo
NEG	否定	negación
NMZ	名詞化	nominalizador
NUM	数化	numeral
OP	目的語	objeto primario
OH	目的語（生物）	objeto animado
PAS	受動	pasivo
PL	複数	plural
POS	所有	poseesivo
PRET	過去	pretérito
PRET.PERF	過去完了	pretérito perfecto
R	反復	reduplicación
REFL	再帰	reflexivo
S	主語	sujeto
SG	単数	singular
φ	省略（３人称主語 他）	

４）ピピル語テキスト（f.56r-59r）と形態統語論的分析

(1)(f.56r) Neguat *maestro Don frai Payo de Rivera orden* ypal *San Agustin* ycayque titilis tatta *Dios* yguan *santa sede apostólica obispo* ypal *Guatemala* yguan *Berapas* ypal *consejo* tuguei tatacatzin *Rey* ypanpa se *petision* mupuac nuyxpan ytte[c]hpa *cofrades Santa beracruz* yti[c] nican chinamit *señora Santa Ana*.

【形態統語論的分析】

Neguat *maestro Don frai Payo de Rivera orden* y-pal *San Agustin* y-ca y-que
1SG.S(*yo*) 3POS-*por* 3POS-*con* 3POS-*eso*
私、聖アウグスティヌス会による司祭、パヨ・デ・リベラは、

t-iti-li-s tata *Dios* y-guan *Santa sede apostólica obispo*
1S.PL-ver -APL-FUT .SG padre 3POS-con,y
私達が、我らが父、神を拝し、我らが尊敬する王の（インディアス）諮問会議による

y-pal *Guatemala* y-guan *Berapas* y-pal *consejo* tu-guei ta-taca-tzin *Rey*
3POS-para 3POS-con,y 3POS-por 1PL.POS-antiguo R-señor-HON
グアテマラとベラパスの司教区本部の司祭であるが、

y-panpa se *petision* ϕ-mu-pua-c[2] nu-yxpan ytte[c]hpa
3POS-porque 1 3S-REF-leer-PRET 1POS-cara-LOC junto a

cofrades Santa Beracruz yti[c] nican chinamit *señora Santa Ana*.
dentro de aquí barrio
それによって、この町、サンタ・アナ市のサンタ・ベラ・クルスのコフラデ（信徒）らが私の面前で、いっしょに、ある懇願書が読み上げられた。

［意訳］「私、サン・アウグスティヌス会師であるパヨ・デ・リベラは、主イエス・キリストならびに我々の偉大なる王の命によるインディアス諮問会議のグアテマラ･ベラパス県の聖なる司教区の司教でありますが、ここサンタ・アナ市で私の面前において、この町のサンタ・ベラクルスのコフラディアの立会いをもって、ある懇願書が読み上げられた。」

(2) Yguan quituatta ycayeman tunali quipiata nican *devosion* yca *ermandad* ypal guelis ytic nican chinamit yguan ypal guelis muscallis y guan mutequitilis

[2] 完了過去の語尾は、単数か複数かは不明。ナワトルでは、複数は-queh と語末は破裂音（saltillo）となるが、ｈはしばしば明記されないこともある。

tutecuyo *dios.*

【形態統語論的分析】

Y-guan　ϕ-qu-itua-tta[3]　y-ca　ye-man tuna-li　ϕqui-pia-ta[4]　nican
3POS-con,y　3S-3OP-decir-PRET.PERF　3POS-con　ya-ahora　día-abs　3S-3OP-tener-PRET .PERF　aquí

devosion　y-ca　*ermandad*　y-pal　ϕ-gueli-s　y-tic　nican　chinamit
3POS-con　3POS-por　3S-poder-FUT.SG　3POS-dentro　aquí　barrio

そして、(それは) 今日この町の信徒団からここに献身があったと報告され、

y-guan　y-pal　ϕ-gueli-s　ϕ-mus-calli-s　y-guan
3POS-con,y　3POS-por　3S-poder-FUT.SG　3S-REFL-levantar casa-FUT.SG　3POS-con,y

ϕ-mu-tequitili-s　tu-tecu-yo *dios.*
3S- REFL-trabajar-FUT. SG 1PL.POS-señor-ABS.

そしてそれによって(コフラディアの)家が設立されるということですが、(その作業は)我々の主のための奉仕労働として行われるとのことである。

［意訳］「そして、その懇願書によると、本日この町の信徒団からここに献身があったと報告された。それによると、コフラディアの家の設立を希望しているが、それは、神への労働奉仕として行われるとのことである」

(3) yguan ypal guelis quitatanisquete *limosna* yguan ypal quimatisquet ten *gracia yndulugencias* quichiuasquete *ganar* yeguantin *cofrades.*

【形態統語論的分析】

y-guan　y-pal　ϕ-gueli-s　ϕ-qui-ta-tani-squete　*limosna*　y-guan　y-pal
3POS-con　3POS-por 3S- poder-FUT.SG　3PL.S-3OP-R-preguntar, pedir-FUT.PL　3POS-con,y　3POS-por

そして、そのために献金が求められ、それによって

ϕ-qui-mati-squet ten[5]　*gracia*　*yndulugencias*　ϕ-qui-chiua-squete *ganar*
3S-3OP-saber-FUT.PL　?　3S-3OP-saber-FUT.PL

yeguan-tin *cofrades.*
3S-ABS.PL

---

[3] 主語は３人称ではあるが、単数か複数かは不明。
[4] 主語は３人称ではあるが、単数か複数かは不明。
[5] ϕ-qui-matis-quette(n) (彼らはそれを知らされる)の可能性あり。

コフラディアの団員である彼らが何らかの恩恵と免償にあずかることが知らされる。

［意訳］「そして、そのために献金が行われ、コフラディア団員らは恩恵と免償にあずかるとのことである」

(4) yguan ypapa *ya* niquita muchi *recaudos* yguan *quenta* quixpantiquet noyxpan ypanpa axtaxcan nicchigua *mandar* mamuscalis nican santa *cofradía.*

【形態統語論的分析】

y-guan ypapa *ya* ni-qu-ita[6] muchi *recaudos* y-guan *quenta*

3POS-con,y porque 1S.SG-OP-verPRE(PRET.PERF?) todo 3POS-con,y

ϕ-qu-ixpanti-[s]quet no-yxpan

3S-3OP-declalar,presentar- FUT.PL 1POS-frente-LOC

そして、私は私の前に提出された全ての収支の明細を見たので、

ypanpa axcan ni-c-chigua *mandar* ma-mus-cali-s nican *santa cofradía.*

porque ahora 1S.SG-3OP-hacer EXH-REFL-levantar-FUT.SG aquí

本日ここに聖コフラディアの家を設立することを命じるものである。

［意訳］「そして、私は提出された全ての収支明細を確認したので、本日ここに聖コフラディアの家を設立することを命じる」

(5) yguan yeguantin *mayordomos* yeguantin axcan nemis yguan ocsequintin gual calaquisquet maquil quiquextisquet ylguitzin ypan ytunali ic[sic] xiguit yguan (f.56.v)ocsequintin ylguitzin yguan *misa* ypal sese mesti ypal *cofrades* yolque yguan miquete yguan mumacas y *limosna*.

【形態統語論的分析】

y-guan yeguan-tin *mayordomos* yeguan-tin axcan ϕ-nemi-s y-guan

3POS-con,y 3S-ABS.PL 3S-ABS.PL ahora 3S-aparecer,vivir-FUT.SG 3POS-con,y

そして、彼らマヨルドモ（コフラディアの財産管理員）らが、今ここに参上し、さらに、

ocsequin-tin gual ϕ-calaqui-squet maquil ϕ-qui-quexti-squet ylgui-tzin

otro-ABS.PUL DIR 3s-entrar-FUT.PL 5 3s-3OP-escuharse-FUT.PL fiesta-HON. 3POS-en

[6] ni-qu-i-ta（PRET.PERF）（私はそれを見た） の可能性あり。

その他今後就任する５名が毎年恒例の祭りを行うこと、

y-pan y-tunali ic[sic] xiguit y-guan ocsequin-tin ylgui-tzin y-guan *misa*
3POS-día ? año 3POS-con,y otro-ABS.PL fiesta-HON 3POS-con,y
さらに現在のコフラデ並びに他界したコフラデたちのために、毎月祭りとミサを行う

y-pal sese mesti y-pal *cofrades* yolque y-guan miquete
3POS-por cada mes 3POS-por vivos 3POS-con,y muertos
こと（が義務づけられること）になり、

y-guan ϕ-mu-macas y-*limosna*.
3POS-con,y 3s-dar-FUT.SG 3POS
そのために献金がされる。

[意訳]「そして、ここにマヨルドモ（コフラディアの財産管理員）らが参上し、彼らと新任の５名が毎年恒例の祭りを執り行うとともに、現在のコフラデ（コフラディア団員）と故人となったコフラデのために、毎月儀式とミサを行うこととなり、そのために献金が行われることとする」

(6) tenya nitenaguatiata yteh nu arca sel yguan maz niquixitis muchi nican tenaguatis yteh nican *ordenansas*.

【形態統語論的分析】
tenya ni-te-naguatia-ta yteh nu axca sel yguan ma [sic]
Ya 1s.SG.yo-OH.,a alguien-mandar-PRET.PERF junto, con ? 3POS-con,y ?
もうすでに、私は命じ（...）

ni-qu-ixiti-s muchi nican ϕ-te-naguati-s yteh nican *ordenansas*.
1s.SG.yo-3OP-estar visto-FUT.SG todo aquí 3S-OH,alguien-mandar-FUT.SG junto, con aquí
全てこの訓令の中に明記されることを確認する。

[意訳]「私はすでに...を命じた。...ここに全てこの訓令の中に明記されることを確認する」

[西語版テキスト　(1) - (6)]
Nos el Maestro don Frai Payo de Ribera, del orden de San Augustin por la divina gracia y de la Santa Sede Apostolica, Obispo de Guathemala y de la Berapas, del Consejo de su magestad por quanto por peticion que ante nos se presento por parte de los hindios naturales del pueblo de Santa Ana. se nos iso relacion diciendo que de largo tiempo a esta parte

por la de mucho numero de dichos fieles se ha bibido en hermandad la debosión de la Santa Cruz sita en su hermita desde dicho pueblo y exercitado en el serbicio y sagrado culto de dicha su deboción, y que de presente lo era, y para poderlo asi aser en debida forma, se nos pidio y suplico fuesemos serbidos, erigirles dicha ermandad en Cofradía consediendoles por ordenansas de ella, la observancia del gobierno, y cuentas que ante nos thenian presentadas, a bista de todo lo cual se observaría perpetuamente con las demas ordenanzas que por nos les fuesemos consedidas y se acudiria los gastos necesarios, para lo referido, consediendoles, como lo suplicaban, juntamente nuestra lisencia para pedir lilmosna en dicho su pueblo unn dia en cada semana, y las gracias indulgencias que ayan de gosar, como en estas cosas se observan, y en todo como fuere nuestra voluntad, todo qual recibiran bien y mersed, y por nos bisto dicho pedimento lo tubimmos por bien y por bista de dichos recaudos y quantas presentados, mandamos se les vicitase y despachasen en forma conbeniente, y para el efecto de lo asi pedido, por los subsos dichos a dicha fundación de dicha Cofradía dimos la presente por tanto en dicha conformidad, desde luego eriximos y criamos y fundamos la dicha ermandad en Cofradía en toda forma y consedemoscon calidad y obligación y aplicasión mas sufragios de dicha Santa Cofradía, por todos los Cofrades vibos y difuntos, de ella dara su limosna y derechos aconstumbrados, conforme por nos dispuesto en dihco Obispado con los demas estatutos y ordenansas siguientes:

(7) 2[1] Achatupa nitenaguatia ynpan se[se] xiguiti muchiguas *ele[c]sión* nepatalus *alcaldes mayordomos* yguan yu muchintin *ofis[i]ales.*

【形態統語論的分析】

Achatupa	ni-te-naguatia	y(n)pan	se[se]	xiguiti		ϕ-mu-chigua-s	
Primero	1s.SG.yo-O,a alguien-mandar-PRES	3POS-en	cada	año		3s-REF-hacer-FUT.SG	

ele[c]sión nepata-lus[7] *alcaldes mayordomos* yguan yu muchin-tin *ofis[i]ales.*

poner otro encima de-ABT　　3POS-con,y　así　todo-ABS.PL

まず、毎年、アルカルデ、マヨルドモ、そして全オフィサレスの改選を行うことを命じる。

［意訳］「一、毎年アルカルデ、マヨルドモ他全てのオフィサレス（役員）の改選を行うことを命じる」

(8) yguan ma[sic] muytas y*cabildo* yeuantin yeetin *christianos* ypal quitequitilis *santa cofradía* muixpantilis yeguan ta tu*padre cura* yguan ypal nican *ele[c]sión* mupias se *libro* canpa muycuiylus yguan canpa muyculosquette yeguantin *ermanos* calaquisquete ypan se xiguiti.

【形態統語論的分析】

[7] nepanua vt, poner otro encima(Campbell 1985:366)

y-guan ma[sic] ϕ-mu-ytas y*cabildo* yeuantin yeetin *christianos*
3POS-con,y EXH ? 3s-REF-ver-FUT.SG 3POS-*cabildo* 3S-ABS.PL 3
そして...3名のあれらのキリスト教徒からなる市参事会によって承認されるものとし、

y-pal qui-tequit-ili-s *santa cofradía* ϕ-mu-ixpant-ili-s yeguan
3POS-por O-trabajar-APL-FUT.SG 3s-REF-estar en frenter-APL-FUT.SG 3s él
それによって聖コフラディアの任務を遂行するとともに、

ta tu-*padre*[8] *cura* y-guan y-pal nican *ele[c]sión* ϕ-mu-pia-s
? 1POS-padre 3POS-con,y 3POS-por aquí 3s-REF-tener-FUT.SG
我らの司祭の立会いのもと、ここで選挙によって得られる、

se *libro* canpa ϕ-mu-(y)culo-s y-guan canpa mu-(y)culo-squette
1 donde 3s-REF-pintar-FUT.SG 3POS-con,y donde 3s-REF-pintar-FUT.PUL
（その結果は）台帳に記録され、

yeguan-tin *ermanos* ϕ-calaqui-squete y-pan se xiguiti.
3S-ABS.PL 3s-entrar-FUT.PL 3POS-en 1 año
新しく入る１年務める団員たちの名が記される。

［意訳］そして、それらの新任の団員たちは、3 名のあれらのキリスト教徒からなる市参事会によって承認されるものとし､その承認をもって聖コフラディアの任務を遂行するとともに我々の司祭の立ち会いのもと、その改選結果による新任者の名を台帳に記される。

(9) yguan p[sic] sece xiguit yeuantin otamitiyolte quionia nema quianas *cuenta* ynnagua yeguantin yanquic *alcaldes* (f.57r) *ofis[i]ales*. yguan asuten ttagui quiliata yeguantin *pasados* ma neman quichiguasquete *cobra* yguan asuten quisa y*sobra* ttostones ma[sic] caquis yte[c] h *caxa* ypal *cofradía*.

【形態統語論的分析】
y-guan p[sic] sece xiguit yeuan-tin ϕ-o-tami-ti-yol-te quionia nema
3POS-con,y ? cada año ·3S-PL 3S-PRET-concluir-LIG-NMZ-PL ? paso a paso

ϕ-qui-ana-s *cuenta* yn-nagua yeguan-tin yanquic *alcaldes* *ofis[i]ales*.
3s-O-crecer-FUT.SG 3pos-claro 3S-PL nuevos

[8] Tata padre の可能性もある。Tata はナワ語で父の意味。

そして（...）毎年彼らは任期を終え、ひとつひとつ明確な会計を新任のアルカルデやマヨルドモらに引き継ぐ。

y-guan asu-ten ϕ-tta-guiqui-lia-ta yeguan-tin *pasados* ma neman
3POS-con,y si-PL 3s-O algo-traer- APL-PRT 3S-PL EXH pronto
そして、もし前任者らがいくらかとったら、すぐに、

ϕ-qui-chigua-squete *cobra* y-guan asu-ten ϕ-quisa y-*sobra* ttostones
3s-o-hacer-FUT.PL 3POS-con,y si-PL 3s-salir 3POS- dinero
取り立て、そして、もし、余剰金が出たら、

ma[sic] ϕ-caqui-s yte[c] h *caxa* y-pal *cofradía*.
EXH 3s-escuchar-FUT.SG 3POS-junto, con 3POS-por
コフラディアのカハに入れるものとする。

［意訳］「そして（...）彼らは一年ごとに任期を終了し、ひとつひとつ会計を明らかにし、新任のアルカルデやマヨルドモに引き継ぐ。もし、前任者が不正を行っていたら、すぐに取り立てる。また、余剰金があれば、コフラディアのカハに入金することとする」

［西語版テキスト (7)-(9)］
Lo primero que por cada unn año se aga elección de satisfaccion combeniente, con asistencia del padre Cura Doctrinero, las cuales elecciones se tendra un libro donde se rejistre aparte los Ccofrades que se fueren alisstando en dicha Cofradía. Y dichas elecsiones se firmara por dicho padre Cura y todos los años se les tomen quenta y si alguna debiere le cobren, y se ponga en la Caxa de deposito de dicha Santa Cofradía.

(10) Yca un tamanti nitenaguatia mupias se *caxa* canpa mupias ytaquil *cofradía* mupias se me*llabes* ce quipias *padre cura* yguan ce quipias *mayordomo*.

【形態統語論的分析】
Yca un(ome) tamanti ni-te-naguatia ϕ-mu-pia-s se *caxa*
3POS-con 2 cosa 1s.SG.yo-3OH,a alguien-mandar-PRES 3s-REF-tener-FUT.SG 1
第二番目は、私は、1 つのカハ（金庫）を設けられるよう命令する。

canpa ϕ-mu-pia-s y-taquil[9] *cofradía* ϕ-mu-pia-s ueme *llabes*
donde 3s-REF-tener-FUT.SG 3POS-tapado 3s-REF-tener-FUT.SG 2

[9] tlaquilli：漆喰をかける（Molina1992:134）。

そこには、コフラディアはその厳封のため２ヶの鍵を作り、

ce ϕ-qui-pia-s *padre cura* y-guan ce ϕ-qui-pia-s *mayordomo*.
1 3s-O-tener-FUT.SG 3POS-con,y 1 3s-O-tener-FUT.SG
一つは司祭が管理し、もう一つはマヨルドモが管理することを命ずる。

[意訳]「二、私はカハを一つ設けるよう命じる。それには、厳封のため鍵を２ケを作り一つは司祭が、もう一つはマヨルドモが管理することとする」

(11) yguan yti[c] nican *caxa* nemis se *libro* canpa muicuilus *limosna* muasi ytech *ermanos* yca yguan nesi yteh chinamit quin quitas *padre* asuten quinequiti *ofis[i]ales* quixitis ytech *caxa cofradía* yca y*lisensia padre cura*

【形態統語論的分析】
y-guan yti[c] nican *caxa* ϕ-nemi-s se *libro* canpa ϕ-mu(i)-cuilu-s
3POS-con,y 3POS-dentro aquí 3s-vivir-FUT.SG 1 donde 3s-REF-escribir-FUT.SG
そして、そのカハの台帳をここに一冊用意し、そこに教区の信徒から届く献金が記録
Limosna ϕ-mu-asi ytech *ermanos* yca y-guan ϕ-nesi yteh
3s-REF-llegar-PRES -? junto, con en 3POS-con,y 3s-aparecer PRES. junto, con
されるものとし、

chinami-t quin ϕ-qu-ita-s *padre* asuten ϕ-qui-nequiti *ofis[i]ales*
barrio ABS pronto 3s-O-ver-FUT-SG si 3s-O-querer, gastar PRES-?
オフィサレスがそれを使用する（した）かどうかは、

ϕ-qu-ixiti-s ytech *caxa cofradía* yca y*lisensia padre cura*
3s-O-estar enfrente-FUT.SG junto, con en 3POS
直ちに司祭が確認する。司祭の権限（許可）のもと、コフラディアの立ち会いのもと司祭の面前でカハとそれを行う。

[意訳]「そして、そのカハには台帳を１冊用意し、教区の信徒から届く献金を記録するものとする。そして、オフィサレスらがそれを費やしたかどうか、司祭がその権限によって、カコフラディアとともにカハを確認する。

(12) yguan mupias nican ttopan t[sic]quili *cofradía* gual *padre cura* quitas canpa guelis mupias ynican *cofradía* ypalnemis yguan muchiquis *dado* .

【形態統語論的分析】

y-guan ϕ-mu-pia-s nican ttopan t(a)quili *cofradía* guel

3POS-con,y 3s-REF-tener-FUT.SG aquí lugar 3POS-tapado bien

そして、ここでコフラディアが（カハを）閉め、

padre cura ϕ-qu-ita-s canpa ϕ-gueli-s ϕ-mu-pia-s y-nican *cofradía*

3s-O-ver-FUT-SG donde 3s-poder-FUT.SG 3s-REF-tener-FUT.SG 3POS-aquí

司祭がそれをよく確認(検査)した上で、そこで、ここの現職コフラディアが、

y-pal ϕ-nemi-s y-guan ϕ-mu(a)chiqui-s *dado* .

3POS-por 3s-vivir,estar-FUT.SG 3POS-con,y 3s-ser conocido-FUT.SG

カハを保管し、間違いないことを確認する。

[意訳]そして、ここにおいて、コフラディアがカハを閉め、司祭が厳重に確認した上で、現職のコフラディアがカハを間違いなく保管することを確認する。

[西語版テキスト(10)-(12)]

Lo segundo que para le mejor guarda y custodia el caudal de dicha Cofradía, se a de tener una Caja con dos llabes diferentes y las cuales ayan de estar la una, en poder de dicho Pdre Cura, y la otra en poder de mayordomo, en dicha Caja se a de tener otro Libro donde asienten todos los gastos y limosnas que se recojieren firmando siempre el padre Cura y el escrivano de dicha Cofradía y Mayordoo yabero asentando las limosnas que se recojieron cada dos meses en la forma dicha con el seguro que dicho padre Cura le pareciere combeniente.

(13) (f.57v) 3 yca yei ttamanti netanaguatil Aya guelis quixtta m[ac]ttati tostones asuaya yai*lisensia* Asaqui quipanaguis nutenaguatilia yic muchig[uas] *traspasar* ytte(c)h yn *cuenta* yca nemis nu*lisensia* y[sic] muchiguas *gastar* ypal *misa* ypal se mezti yguan y*palsera*.

【形態統語論的分析】

3 yca yei ttamanti ne(i)-ta(e)-naguati-l Aya[c] ϕ-gueli-s ϕ-qu-ixt-ta

En 3 cosa 1s.SG.yo-3OH,a alguien-mandar-ABS ninguno 3s-poder-FUT.SG 3s-3OP-estar frente-PRET.PERF

第三番目に命じることは、

m[a]ttati *tostones* asu aya *ya* i-*lisensia* Asa(u) ϕ-qui-panagui-s

10 si ninguno 3POS- Si 3s-3OP-pasar-FUT.SG

金額が 10 トストン[10]に満たなく、もし、

nu-tenaguati-lia yic ϕ-mu-chigua-s *traspasar* ytech yn *cuenta* yca
1POS-mandar-APL 3s-REF-hacer-FUT.SG junto,con la en
許可がなく、もし会計(口座)の中に移され、

ϕ-nemi-s nu*lisensia* y[sic] ϕ-mu-chigua-s *gastar* y-pal *misa*
3s-vivir-FUT.SG 1POS- ? 3s-REF-hacer-FUT.SG 3POS-por
それが私の許可をもって、1 か月のミサとロウソクに費やされる。

y-pal se mezti y-guan ypal *sera.*
3POS-por 1 mes 3POS-con,y 3POS-por

[意訳]「三、10 トストン以下で、もし、許可なく、会計に移されたのなら、
私の権限をもって、それは一か月のミサとロウソク代として使われるもとする」

［西語版テキスト (13)］
Lo tercero que dicho Causal no se hayan de gastar arriba de dies tostones sin nuestra lisencia expresa y de nuestros subsesores obispado pena de que no se les pasara en quenta lo que en otra manera se gastare eseptos los gastos forsosos de limosnas y misas y festibidades de dicha Santa Cofradía y sera necesaria para su celebrecion que dichos gastos se podran aser siempre en lo Preciso y no en mas.

(14)Yca nagui tamanti nutenaguatil asuga nican quiasis ytequil nican *Santa Cofradía* asuca caua mili yguan mil a su *ganado* asuten *limosna* yguan asu munamacas nican ytaquil muchiuas yca *al moneda* ytech se ylguiti pia ypal quiquitasque muchi ta *cura* yguan *ofis[iales]* quiquitasque yca muna(ma)cas ytaqui *Santa [Co]fradía.*

【形態統語論的分析】
Yca nagui tamanti nu(o)-te-naguati-l asuga nican ϕ-qui-asi-s
En 4 cosa 1s.SG.yo-3OH,a alguien-mandar-ABS si aquí 3s-OP-llegar-FUT.SG
第四番目に私が命じることは、もし、ここに聖コフラディアの奉仕（業務）が

y-tequil nican *Santa Cofradía* asuca ϕ-caua mili y-guan mil
3POS-trabajo aquí si 3s-dejar, llevar-PRES sementera 3POS-con y maiz
遂行され、もし、畑のとうもろこしや

10 1 tostón は 50 セントに相当する。

a su *ganado* asuten *limosna* y-guan asu ϕ-mu-namaca-s nican y-taquil
si？ si 3POS-y, con si 3s-REF-vender-FUT.SG aquí 3POS-verdura
家畜が売られ、ここでその野菜（収穫物）が

ϕ-mu-chiua-s yca *almoneda* ytech se ylguiti ϕ-pia ypal
3s-REF-hacer-FUT.SG en junto, con 1 fiesta ϕ-tener por
祭りの日に換金され、

ϕ-quiqu-ita-sque muchi ta *cura* y-guan *ofis[iales]* ϕ-quiqu-ita-sque
3s-OP.R-ver-FUT-PL todo nuestro 3POS-y, con 3s-OP.R-ver-FUT-PL
我らが司祭と役員全員の承認の上、献金とされる。

yca ϕ-mu-na(ma)ca-s y-taquil *Santa [Co]fradía.*
en 3s-REF-vender-FUT.SG 3POS-verdura
聖コフラディアにも野菜(収穫物)が売られる。

[意訳]「四、コフラディアの奉仕活動が行われ、畑のトウモロコシや家畜が売られたり、野菜などの収穫物が祭りの日に売られた場合は､我々の司祭とオフィシアレス全員の承認をもって献金とされる」

(15)yguan queman *padre cura* qui[sic]itasque[sic] guelis muchiguas *al moneda*. Yguan tenmiq[sic] *al moneda* yti yta quilis *santa cofradía* m[sic]talis yti yca *santa cofradía.*

【形態統語論的分析】
y-guan queman *padre cura* ϕ-qui[sic]-ita-sque ϕ-gueli-s ϕ-mu-chiua-s
3POS-y, con aveces 3s-OP.R-ver-FUT-PL 3s-poder-FUT.SG 3s-REF-hacer-FUT.SG
そして、時々司祭が正しく競売されているか確認する。

almoneda. Y-guan tenmiq[sic] *almoneda* yti(ch?) ϕ-yta-qui-li-s
3POS-y, con aveces ? dentro 3s-ver?-
そして、...競売...コフラディアで確認する。

santa cofradía m[sic]talis yti(ch?) yca *santa cofradía.*
dentro en

［意訳］「そして、時々司祭が適正価格で販売されているか確認する。そして、...換金...聖コフラディアが確認する」

［西語版テキスト(14)-(15)］

Lo quarto que siempre ue dicha Santa Cofradía se allare con algunos frutos o esquilmos como de otras cualesquier especie de ganado o milpas sementeras o de otra manera abiendose de bender los tales frutos aya de ser en almoneda publica señalando para la tal almoneda en dia festivo procurando siempre a los tiempos que el dicho Padre Cura doctrinero y Oficialees les paresca mas conbeniente y lo prosedido de dicha almoneda se ponga siempre en la caja del deposito.

(16) (f.58r) ypan maquili tamanti nutenaguatili nitenaguatia yeguantin calaquisquete yanquique *ofisiales* ypan ce xiguiti achtupa quianos *quenta padre cura* nemi yteh chinamiti asuqui ysimati *santta dotrina* ynagua yeguantin yanqui calaquisque asu aya quisimati *santa dotrina* aya calaquisque ypal quitequitiliste *Santa Cofradía.*

【形態統語論的分析】

y-pan maquili tamanti nu-te-naguati-li ni-te-naguatia yeguan-tin
3POS-en 5 cosa 1s.SG.yo-3OH,a alguien-mandar-ABS 1s-3OH-mandar-PRES 3S-PL
第五番目の私の命令、（つまり）私が命じるのは、

ϕ-calaqui-squete yanquique *ofisiales* y-pan ce xiguiti achtupa ϕ-qui-ano(a)s
3s-entrar-FUT.PL nuevos 3POS-en 1 año primero, antes 3s-OP-crecer-FUT.SG
彼ら、新任の役員らは、1 年目に、

quenta padre cura ϕ-nemi yteh chinamiti asu ϕ-qui-ysimati
3s-vivir-PRES. dentro pueblo, barrio si 3s-OP-conocer, reconocer-PRES
この地区に住む司祭に（カハの）収入残高を明らかにし、聖教義を明確に

santta dotrina y-nagua yeguan-tin yanqui ϕ-calaqui-sque asu aya
3POS-claro 3S-PL nuevo 3s-entrar-FUT.PL? si todavía no
理解するのなら、彼らは新しく入団し、もし、まだ聖教義を理解しないのならば、

ϕ-qui-isimati *santa dotrina* aya ϕ-calaqui-sque y-pal
3s-OP-conocer, reconocer-PRES todavía no 3s-entrar-FUT.PL? 3POS-por

ϕ-qui-tequit-ili-s(que)te *Santa Cofradía.*
3s-OP-trabajar-APL-FUT.PL

聖コフラディアに入団して業務を遂行出来ないものとする。

[意訳]「五、新任の役員らは最初の年に、この教区担当の司祭にカハの残高を明らかにする。また、聖教義を正しく理解するのなら、この聖コフラディアに新しく入団し、しかし、理解していないのなら、入団して業務を遂行出来ないものとする」

［西語版テキスト　(16)］
Lo quinto que para ser recividos en esta Santa Cofradía hayan de ser examinados por el Padre Cura doctrinero de dicho pueblo en la doctrina christiana y no sabiendolo lo preciso por lo menos de dicha doctrina, no sean recividos por Cofradías.

(17)　6. ypan chicuasen tamanti nutenaguatil ypan nican *ordenansa* Asu aquina nenemis yteh *santa cofradia* yguan yaquili nemilis　yguan asu mumatisquete *ofisales a su ermanos* nima mutacaualtis asu aya te ttacamati neman mama chilitis *padre cura* ypal maquiste yti *cofradía* yeguan mupalos y tu uei *libro.*

【形態統語論的分析】
6. y-pan chicuasen tamanti　nu-te-naguati-l　　y-pan nican *ordenansa*
3POS-en　　6　　cosa　1s.SG.yo-3OH,a alguien-mandar-ABS　3POS-en　aquí
第六番目にこの訓令で命じることは、

Asu　aquina　ϕ-nenemi-s　yteh *santa cofradia* y-guan　ϕ-yaqui-li
Si　alguen, quién　3s-R vivir-FUT.SG dentro　　3POS-con, y　3s-renovar-ABS
もし、聖コフラディアとして生き、今後も（新たに）生きるのなら、

ϕ-nemili-s　　y-guan　asu ϕ-mu-mati-squete *ofisales a su ermanos*
3s- vivir-APL-FUT.SG　3POS-con, y　si　3S-REF-saber-FUT.PL
彼らの兄弟（信者,団員）の（悪行）をオフィサレスらに知られ、

nema　ϕ-mu-ta-caualti-s　　asu aya　　ϕ-te-ttacamati　　neman ϕ- mama
luego　3s-REF-OI-abandonar-FUT.SG　si　todavía no　? 3s-OH- ser rico y próspero　luego　3s-llevar
そのため、どこか他所に連れられ、それ以降何も恩恵をもたらさないなら、

ϕ-chiliti-s *padre cura* y-pal　ϕ-maqui-ste　yti(c) *cofradía*
3s-hacer enojar-FUT.SG　　3POS-por　　3s-escaparse-　　dentro
司祭の怒りを買うことになる。それ故、コフラディアを去り、

yeguan ϕ-mu-palo-s y tu uei *libro.*
él 3s-REF-perder, destruir-FUT.SG nuestro antiguo
我々の尊ぶべき古き本（台帳）から除名されるものとする。

［意訳］「六、聖コフラディアの中で生き、これから先も生きるつもりなら、オフィサレスにコフラディア団員の悪行を知られると、コフラディアから追放される。その後、コフラディアに何の恩恵ももたらさないなら、司祭の怒りをかい、それゆえコフラディアを去り我々の尊ぶべき古き本（台帳）から除名されるものとする」

［西語訳テキスト　(17)］
Lo sexto que si algun cofrade bibiere escandalosamente, se de cuenta por dichos cofrades a dicho padre Cura para que lo corrija y reprehenda y abiendolo asi echo y no se enemendare sea borrado de los libros y excluido de dicha Santa Cofradía.

(18) 7. ypan chicome tamanti nutenac (f.58v) ypan nican *ordenansa* nitenagutia muchinti *ermanos ermana ofisales* ma qimahti ca *santa dotrina* ynipan yguan *mi[ni]ster[i]os* muchintin asuaqui no [sic] yncali quipias yguan iti chinamit yguan ques quipa ya[n]qui quima[sic] quiasiquete yonpuali tunali *yndulgensia.*

【形態統語論的分析】
7. y-pan chicome tamanti nu-te-na(gua)c y-pan nican *ordenansa*
3POS-en 7 cosa 1pos-OH-mandar-ABS? 3POS-en aquí
第七番目にこの訓命で私が命じることは、

ni-te-nagutia muchin-ti(n) *ermanos ermana ofisales* ma ϕ-qi-mahti ca
1s-3OH-mandar-PRES todo-ABS.PL EXH 3s-OP-saber estar
全ての信徒兄弟、姉妹、オフィサアレス）は、聖教義及び職務をここにおいて

santa dotrina y-nipan y-guan *mi[ni]ster[i]os* muchin-tin asu aqui no [sic]
3POS-aquí 3POS-con, y todo-ABS.PL Si alguen, quién ?
周知するものとし、そして役職全員、もし誰かが(...)

yn-cali ϕ-qui-pia-s y-guan iti(c) chinami-t y-guan ques quipa
3POS-casa 3s-OP-tener-FUT.SG 3POS-con, y dentro barrio- ABS 3POS-con, y cada vez
町の中の彼らの家庭でそれを説くと、その度に

ya[n]qui quima[sic] ϕ-qui-asi-que-te y-on-puali tuna-li *yndulgensia.*
nuevos ? 3s-OP-llegar-PRET- 3pos-2-20 día-ABS

新たに(...)40 日間の免償にあずかるものとする。

[意訳]「七、全ての信徒、兄弟、姉妹、オフィサレスは、聖教義及び職務に精通するものとし、全ての役職の者たちは、もし、誰か教区内の家で、その教義を説くと、その度に、新に...40 日間の免償にあずかるものとする」

(19) yguan nican tenaguatil nich[iua] *confirmara* yca *ordenansa* y [sic] nican *santa cofradía* ycaymaqui[sic] *dios* ttotatzin yguan *dios* tepitzin yguan *dios espiritu santo.*

【形態統語論的分析】

y-guan nican te-naguati-l ni-ch[iua] *confirmara* yca *ordenansa* y [sic]
3POS-con, y aquí OH,a alguien-mandar-ABS 1s-hacer-PRES estar

そして、ここに命じること。私はこの訓令とこの聖コフラディアを確認し、

nican *santa cofradía* yca ϕ-ymaqui[sic] *dios* tto-ta-tzin y-guan *dios*
aquí estar ? 3s-respetar-? 1PL.POS-padre-HON 3POS-con, y

我らが父なる神と息子なる神と聖霊を敬うことを命じる。

tepi-tzin y-guan *dios espiritu santo.*
pequeño, hijo-HON 3POS-con,y

[意訳]「以上、私の訓令である。私はこの訓令と聖コフラディアを承認し、我らが父なる神と神の息子（キリスト）と精霊を敬うことを命じる。」

(20) yguan nican ca *lisensia* ypal se *semana* ypan *biernes* mutatanis *limosna* ytic[sic] ni yguan *caxa* [sic] ypal *santa cofradía.*

【形態統語論的分析】

y-guan nican ca *lisensia* ypal se *semana* y-pan *biernes* ϕ-mu-tatani-s
3POS-con, y aquí estar 3POS-por 1,cada 3POS-en 3s-REF-pedir-FUT.SG

そして、ここに毎週金曜日に聖コフラディアによって献金を

limosna ytic[sic] ni y-guan *bara*[11] [sic] ypal *santa cofradía.*
dentro 3POS-con, y 3POS-por

11 Vara 官杖、権威を指す。

（...）官杖をもって、請求する許可を与えることとする。

［意訳］「そして、ここに毎週金曜日に聖コフラディアによって、献金が請求されること（私の）権限で認めるものである」

(21) yguan nichia *conseder* muchintin *cofrade* calaquisquete maqui asican a[sic] *yndulgensias* y*perdon* utema muchintin *santo pontifese* yguan nusan nichiua *conseder* tent[sic] muyquilosquete yca *cofrades*[sic] qui asican unpuali tunali *yndulgensia* y[sic]

【形態統語論的分析】

y-guan ni-chia *conseder* muchin-tin *cofrade* ϕ-calaqui-squete ϕ-maqui
3POS-con, y 1S-hacer-PRES todo-ABS.PL 3s-entrar-FUT.PL 3s-escapar-PRES
そして、私は今、全ての新旧の団員に聖ローマ教皇による免償と免罪

asican a[sic] *yndulgensias* y-*perdon* utema muchin-tin *santo pontifese* y-guan
ahora ? 3POS- ? todo-ABS.PL 3POS-con, y
を確認する。そして、

nusan n-ichiua *conseder* tent[sic] ϕ-mu-yquilo-squete yca *cofrades*[sic] qui
todavía 1S-hacer-PRES ? 3s-REF-escribir-FUT.PL ?
私は本日それらの団員に（...）40 日の免償が記されることを確認する。

asican un-puali tuna-li *yndulgensia*[sic].
ahora 2-20 día-ABS

［意訳］「また、私は全ての信任・前任の団員に、聖ローマ教皇による免償と萬座愛を確認する。さらに、私は本日それらのコフラデたちに...40 日の免償...が記されることを確認する」

(22) (f.59r) yguan nipal qumaquitaisquete maqua *ermanos* sanyuqui quiasiquete on[pua]l itunal *yndulgensia* yguan nep[sic] li quitatal macasquete maca[sic] mataselis yguan asu *testamento* asuten ypal y*cofradia* quicauas.

【形態統語論的分析】

y-guan ni-pal ϕ-qu-maqu-itai-squete[12] ϕ-maqua[13] *ermanos* san yuqui

[12] ϕ-qu-maqu (ti)-itai-squete とも考えられる。結合詞 ti が欠落していると考えられる。

3POS-con, y 1SG-por 3S-OP-dar-ver-FUT.PL 3S-dar sólo así
そして、この方法によってのみ信者らに

ϕ-qui-asi-(s)quete on[pua]l ituna-l *yndulgensia* y-guan nep[sic] li
3S-OP-llegar-FUT.PL 2-20 día-ABS ?
40 日までの免償が認められ与えられ、そして

ϕ- qui-tatal ϕ-maca-squete maca[sic] ma ϕ-taseli-s y-guan
3s-OP-pedir 3s-entregar, tomar-FUT.PL ? EXH 3s-comulgar-FUT.SG 3POS-con, y
さらに（...）聖体を拝領するよう、

asu *testamento* asuten ypal y*cofradia* ϕ-qui-caua-s.
Si si por 3S-OP-dejar-FUT.SG
そして、もし、コフラディアによる遺言があれば託される。

[意訳]「そして、この方法によってのみ信者らに、40 日の免償が与えられ、さらに...聖体を拝領するよう...そして、コフラディアによる遺言があれば託される」

(23) yguan nitenaguatia nican no*li[cen]sia* mupias ycan [sic] *libro* mupias ytic se *caxa* ypal semicac mupias yguan ma zi niquixitis nutena[sic][sic] ypal ni ca[sic] *cuenta* asuu se quianas *quenta* ypanpa yuqui ycana yalua cacapalilia matia.

【形態統語論的分析】
y-guan ni-te-naguatia nican no-*li[cen]sia* ϕ-mu-pia-s y-can [sic] *Libro*
3POS-con, y 1s-OH-mandar-PRES aquí 1POS- 3S-REF-tener-FUT-SG 3S-en
そして、私はここに私の許可を言い渡す。それは、

ϕ-mu-pia-s ytic se *caxa* y-pal semicac ϕ-mu-pia-s y-guan
3s-REF-tener-FUT-SG dentro 1 3POS-por eternamente 3S-REF-tener-FUT-SG 3POS-con, y
カハの中に常に台帳を保管すること。そして

mazi ni-qu-ixiti-s nu-tena[sic][sic] y-pal ni ca[sic] *cuenta* asu se
? 1s-OP-ver, observar-FUT.SG 1POS-? .... 3POS-por si 1
ここに、私が必ず残高を確認するものとし、もし、

3S-OP-dar,tomar medida-ver-FUT.PL
[13] maca（dar 与える） だと思われる。

ϕ-qui-ana-s *quenta* ypanpa yuqui ycana yalua ϕ-cacapalilia ϕ-matia.
3s-OP-tomar-FUT-SG porque así alugn lugar otro día, ayer 3S-engañar-APL 3S-saber
(...) 残高がとられるなら、それなら、後日その偽りがあった、知らせるものとする。

[意訳]「そして、私はここに規則を言い渡す。カハの中に常に台帳を保管すること。そして私が...残高を確認するものとし、もし、残高に不足があって、偽わられて報告がある...後日...」

(24) yguan mu*sellos* yguan nu*secretario de camara* ytic nican nu*bisita* ytic nican chinamiti *señora Santa Ana* yteh mesti ytapual *f[eb]rero* senpuali yei tunali ilguit de 1666 años. *Fray Payo obispo de Guatemala por mandado obispo mi señor don Francisco Gimenes Secretairo* nobre[sic] do.

【形態統語論的分析】
y-guan m(n)u-*sellos* y-guan nu-*secretario de camara* ytic nican nu-*bisita*
3pos-con, y 1POS- 3pos-con, y 1POS- dentro aquí 1POS-
そして、私の訪問時にこのサンタ・アナ市において、

ytic nican chinami-ti *señora Santa Ana* yteh mesti y-tapual *f[eb]rero*
dentro aquí barrio-ABS dentro mes 3POS-contado
私の私設秘書と共に、ここに署名する。1666 年 2 月 23 日。

sen-puali yei tunali ilguit de 1666 años.
1-20 3 día año

Fray Payo obispo de Guatemala por mandado obispo mi señor don Francisco Gimenes Secretairo nobre[sic] do.
グアテマラ司教　パヨ司祭　秘書フランシスコ・ヒメネス

[意訳]そして、私の訪問の際に、ここサンタ・アナ市において、私の私設秘書と共にここに署名する。1666 年 2 月 23 日。グアテマラ司教　パヨ司祭　秘書フランシスコ・ヒメネス

[西語訳テキスト　18-24]
Lo septimos que tengan obligacion los Cofrades de enseñar a sus hijos y demas de sus familias la Doctrina Christiana, y instruirlos en los ministerios de Nuestra Santa Fe, y cada ves que asi lo isieren ganaran qurenta dias de indulgencias, y en dicha

conformidad consedeos la dicha fundacion con los estatutos, y ordenansas que quedan referidas las cuales asi confiramos por tales ordenanzas de dicha Santa Cofradia en toda forma. En el nombre del Padre y del ijo y del espiritu Santo; Y para la conserbacion y ayuda a dichos gastos les consedemos Licencia a los dichos mayordomos y oficiales para que puean pedir limosna con la bara insignia de ella los biernes de cada semana en dicho su pueblo. Y para que en mayor forma se asienten a los ejercicios de ordenanzas consederemos a todos los cofrades que en todo tiempo fueren sean capases de gasar las gracias indulgencias y pribilejios que por participacion, o en otra manera estan consedidas por los santos sumos pontífises a semejantes confraternidades y asi mismo por lo que toca a nuestro oficio y dignidad episcopal, les consedemos que el dia que se asentaren por hermano y por yndulgencias ganen las beses que bisitaren algun cofrade enfermo, y le socorran con alguna Limosna para ayuda y consuelo de su enfermedad y le histaren y solisitaren el que reciva los santos sacramentos y siempre que exercitaren alguna charidad con algun Cofrade pobre, en orden al aumento de dicha Santa Cofradia y mandamos que esta Nuestra Lisensia y fundasion, se ponga por Cabeza del Libro, como queda dicho de estar dentro de dicha caxa para que asi guarde en debida forma y en todo tiempo conste de dicha fundasion para que asi de quenta de todo lo alla tocante siempre que por nos o nuestros subsesores les sea pedido, que así es nuestra voluntad y en testimonio de lo qual dimos la presente firmada de nuestro Nombre, sellada con nuestro sello, y refrendadda de nuestro Secretario de Camara en bista, en el pueblo de mmi señora Santa Anna en beinte y tres de mes de febrero de mill seis sientos y sesenta y sehis años fray Paio de Ribera, Obispo de Guathemala. Por mandado deo Obispo mi señor Don Francisco Ximenes, Secretario. Año de 1666.

５．「リベラ訓令」ピピル語テキストの語彙分析

１）スペイン語の導入･借用

植民地統治によって導入された新しい概念が導入されたことによる言語変容という観点から、ピピル語テキストからスペイン語からの借用語とスペイン語との混成語を抜き出し一覧を示した（表 2)。

ナワ系言語文書に見られる新しい概念や単語そのものを受容していく過程に関するロックハートの研究によると、メキシコにおいては 16 世紀早々から、多くのスペイン語名詞が導入されたが、動詞については、意味は拡大しながらも、一部の動詞を除いて、導入はかなり遅かったとのことである（Lockhart 1999:467)。

このコフラディア台帳の主旨からして、教会やコフラディア関係の用語、特に名詞が多く現れるのは当然であるが、いくつかの単語にナワ語の所有の接頭辞や数詞が付加されるくらいで、それ以外はスペイン語がそのまま借用されている。それらの名詞は、先住民社会に新しく導入された、キリスト教化やスペイン支配に有用な概念であったことが推察できる。

表１の語彙の中で、ナワ語文法で reverencial あるいは honorífico と呼ばれる尊敬や敬愛を表す語尾-tz(s)in が付加された名詞に注目したい。スペイン王が、toguey tataca**tsin** *Rey*(我らの偉大な尊敬すべき王)[1]、神は *dios* tota**tzin**(我らが尊敬すべき父である神)，キリストは、*dios* tepi**tzin**（尊敬すべき神の息子）と、３例認められる。また、神は、先住民らが古くから尊ぶ「貴族、首長」を意味する totecuiyo[2]が伴い、toecuiyo *dios* という用例もみられる。

その他、重きをおかれていると思われるのは、カハ（共同財産金庫）の台帳で、to uei（我らの古き/尊ぶべき)という形容詞が伴っている。

「司祭」は、tata cura と書かれている。この tata はナワ語では「父」を意味し、スペイン語の神父 padre を直訳したものと思われるが[3]、尊敬を表す接尾辞-tzin は付加されていない[4]。その他、アルカルデ（alcalde）やマヨルドモ（mayordomos）や役人（oficiales)、などの役職名などはピピル語には訳されず、スペイン語からの借用語となっている。これらの用語には、「司祭」と同じ

---

[1] to(私達の)-guey(偉大な、長老の)。 tatacatzin はナワトル語では tlatlacatzin（尊敬すべき主君)であるが、ピピル語方言化したもの。

[2] to(私達の)-tecu-yo。ナワトル語で、貴族、首長を意味する tecutli の語尾が、その性質を強調す-yo に変わったもの。

[3] 現代ピピル語では、padre(父親)は tecu, tegu という（敦賀 2000:318)。

[4] 16 世紀末にグアテマラでマヤ先住民らによってナワ系言語で書かれた納税緩和を要求する書簡集には、聖職者に対して to（私達の）-tlazomauiz（敬愛する）-ta（父/神父）-tzin, to（私達の）-ta（父/神父）-tzin などの用例がみられる。(Lutz y Dakin 1996:159)。行政官による厳しい税を取り立てに対し、聖職者らは先住民を擁護していたという。

く敬称は付加されていない。

本訓令は、リベラ・グアテマラ司教によってスペイン語で書かれた原文が、先住民向けにピピル語に訳されたものと考えられる。第 4 章で述べたとおり、当時、地方の集落ではコフラディアが増加し、その管理運営にあたる聖職者らが立場を利用して、蓄財を不当に増やしていたことが問題となっていた。「リベラ訓令」のピピル語訳にみられる上記の敬称表現による差別化には、グアテマラ司教区当局のコフラディア管理に対する政治的な意図が反映されたものととることも可能であろう。同時に、先住民らに対して、この訓令においては、スペイン統治以前からの彼らの王国の王はスペイン王に、そして宗教生活の中での神はキリスト神に置き換えられたように思わせる効果がうかがえる。

また、彼らの帰属意識が最も高い集落や居住地区（スペイン語は barrio）を表すピピル語の chinamit は、サンタ・アナ市に相当する行政単位に用いられている。モリーナの辞書によれば、ナワトル語の chinamitl は「柵もしくは籐[5]の近く」を意味するが、メキシコ盆地南部のチャルコやモレーロスでは地区の意味で 16 世紀からしばしば見られる単語だという(Schroeder 1991:219; Reyes1996:45)[6]。なお、グアテマラでは、chinamit は植民地時代からキチェ、カクチケル、ツトゥヒルなどのマヤ語に導入され、現在でも barrio の意味で使用されている。一方、シュルツ・ヘナやキャンベルの現代ピピル語辞書には barrio は barrio と登録されており、エルサルバドルではほとんど使用されていない。

また、ナワ語文法とスペイン語文法の混成表現として、「行う」を意味する動詞 chigua(ナワトル語では chihua)にスペイン語動詞の不定詞を伴う表現が特徴的である。しばしば目的格（qui,-c-）を伴って使役の助動詞としても使用されるが、これはスペイン語の動詞 hacer（行う、作る）と同様の用法である。

ナワトル語には元来使役の接尾辞（-tia, -ltia）があるが、リベラ訓令では chigua がよく使用される。ロックハートによれば、メキシコ中央高原では 16 世紀に既にこれに似た表現がわずかに現れるものの、スペイン語本来の hacer を用いた使役用法に準じた“chigua＋スペイン語動詞の不定詞”が頻繁に使用され始めるのは 17 世紀になってからだという（Lockhart 1999:430-431,467)。

また、「リベラ訓令」で用いられている使役用法のスペイン語動詞の不定形は、ganar, mandar, cobrar, gastar など、いずれも統治者側による、コフラディアに対する政治・財政的管理に関わる語彙である。これらの動詞の導入は、その概念がピピル語にはなかったため、というよりも、むしろ、「リベラ訓令」の発信者であるスペイン側の強い意図を示すものではなかろうか。

---

5 中米では、籐は竹に近い植物で、柵によく使用される。

6 レジェスは 1539 年のモレーロスの文書に使用され、支配者によって管理される領土を表すが、calpulli と同格であるとは言えないと解説している（Reyes1996:45)。

表 2　スペイン語の導入・借用による語彙の変容一覧

＊(　)「リベラ訓令」のテキスト番号

1.植民地統治制度関係	
[ピピル語＋スペイン語]	[訳]
tuguey tatacatsin *Rey* (1)	nuestro gran señor muy honorable Rey (我らの偉大な尊敬すべき王)
[スペイン語]　*consejo*(1)　*alcaldes*(7,9)　*oficiales*(7,9,11,14,etc.)　*cabildo*(8)	
2.教会・コフラディア関係	
[ピピル語＋スペイン語]	[訳]
①キリスト神	
tata *dios* (1)	padre dios
totecuiyo *dios*(2)	nuestro gran señor dios
dios totatzin(19)	dios nuestro padre honorable (我らが尊敬すべき神)
dios tepitzin(19)	dios hijo honorable(尊敬すべき神の息子)
②司祭関係	
Tatu *padre cura*(8)	padre cura
nu *secretario de camara*(24)	mi secretario de cámara
nu *bisita*(24)	mi visita
③コフラディア、カハ関係	
i*sobra* tostones(9)	su sobra de dinero
(o)me *llab(v)es*(10)	dos llaves
se *libro*(8,11)	un libro
to uei *libro*(17)	nuestro antiguo y honorable libro(我ら古き尊敬すべき台帳)
se *caxa*(23)	una caja
se *peticion*(1)	una petición
no*licensia*(13,23)	mi licensia
y*cabildo*(8)	su cabildo,ese cabildo
yeguantin *pasados*(9)	Ellos pasados (前任者)
[スペイン語] *al moneda*(14,15), *biernes*(20), *cax(j)a* (9,11,23), *christiano* (8), *cobra*(9), *c(q)uenta*(4,9,13,16,etc), *cofrades*(1,3,4,14 etc), *devocion*(2), *dios espiritu santo*(19), *eleccion*(7.8), *gracia*(3), *[h]ermandad*(2), *[h]ermanos*(8,11,18,22), *[h]ermanas*(18), *indulgencias*(3,18,21,22), *licensia*(11,20),*limosna*(3,11,14,20), *mayordomos*(5,7,10), *misa*(5,13),*mi[ni]ster[i]os*(18), *obispo*(1,24), *orden*(1),*ordenanzas*(6,17,18), *padre cura*(10,11,12,14 etc.), *padre*(11,14), *petision*(1), *perdon*(21), *recaudos*(4), *santa doctrina*(15,17), *santa sede apostólica*(1), *testamento*(22), *su [h]ermanos* (17) *sellos*(24)	
3.行政単位	
Chinamiti *Señora Santa Ana* (1,24)	pueblo o ciudad de Santa Ana
4.その他	
Se *semana*(20) *f[eb]rero*(24) *ganado*(14)	una semana
5. ナワ語文法とスペイン語文法の混成	
quichiuasquete *ganar*(3)	lo harán ganar
nicchigua *mandar*(4)	yo lo hago mandar
quichiguasquet *cobrar*(9)	lo harán cobrar
muchiguas *gastar*(13)	se hará gastar
nich[ihua]*confirmar*(19)	yo hago confirmar
nichia *conseder*(21)	yo hago conseder

植民地統治によってもたらされた新しい概念は、具体的なスペイン語の語彙の導入や借用による変容のみならず、ナワ語本来の形態統語上の柔軟性のため、ナワ語の語彙そのものや構文にも表れている。これについては今後さらに詳細な言語学的分析を行いたいと考える。

６．「リベラ訓令」ピピル語テキストの文法的特徴

次に文法的特徴の分析を述べるが、各用例をまとめた表には解読の便宜上筆者が付した「リベラ訓令」の文章番号を記した。なお、ナワトル語の表記は、モリーナやカロチの辞書や文法書に基づいた標準的ナワトル語に従うものとする。また、現代ピピル語の表記は、キャンベルの研究と筆者の現地調査の資料に基づいている。

１）音素の特徴

形態・統語論的分析の説明に入る前に、「リベラ訓令」に見られるピピル語表記に現れる主な音素の特徴について触れることにしたい。

「リベラ訓令」のピピル語、現代ピピル語とも、ナワトル語の/w/や/u/音が、/γ/音に対応している。また、ナワトル語の単数名詞の接尾辞や不特定目的格などに特徴的な二重子音の[tl]は、[t]になる特徴がある。この特徴が明らかな主な名詞、動詞を下記にまとめる。

① /γ/ (pipil) : /u/, /w/ (náhuatl)

PIPIL	文章番号	NAHUATL	日本語訳
ne**gu**at	1	ne**hu**atl	私
ye**gu**antin	3.5.8.9 etc.	ye**hu**antin	彼ら、彼女ら
xi**gu**it	5,7,8,9,16 .	xi**hu**itl	年

② /t/ (pipil) : /tl/ (náhuatl)

PIPIL	文章番号	NAHUATL	日本語訳
negua**t**	1	nehua**tl**	私
xigui**t**	5,7.8,9,16.	xihui**tl**	年
chinami**t**	1,11,16, 18, 19	chinami**tl**	町、村、地区
tatacatsin	1	**tlatla**catzin	人（尊敬形）
(qui)**tata**ni(squete)	3	**tlatla**nia	問う、罪を問う
tamanti	10,13,14,16	**tla**manti	数える

この２つの音素の特徴は、植民地時代の記録に「なまったメシーカ語（ナワトル語)」と記された要因とされているものと同じである。しかし、これらの音素

特徴は、昔も今もメキシコ中央高原以外では、さほど珍しくない現象である[7]。また、アルファベットでの記録の分析なので、実際の全音素を正確に表記することには限界があることは否めない。

２)「リベラ訓令」における名詞の特徴

①単数・複数の普通名詞

前述したように、ナワトル語では普通名詞の接尾辞は、-tl や-tli が典型的である。しかし、次の事例に示した neguat(私)、chinamit(町、村、地区など)、xiguit(年)などのように、「リベラ訓令」では普通名詞の接尾辞は、-t となる。

単数名詞接尾辞 -t

PIPIL	文章番号	NAHUATL	日本語訳
neguat	1	nehuatl	私
chinamit	1,2,11,16, 18, 19	chinamitl	町、村、地区
xiguit	5,7,8,9,16	xihuitl	年

この他には、ナワトル語と同様に、tunali(日)、mili(農地、トウモロコシ畑)など、接尾辞－li も散見する。しかし、本訓令の主旨がスペイン統治者からコフラディアに対して管理・運営についての規則を言い渡した訓令という主旨のためか、あるいは作成年代が 17 世紀後半のためかは断定できないが、名詞についてはピピル語よりもスペイン語からの借用語の方が多く見られる（敦賀 2009：42-44)。

また、複数名詞の接尾辞は、ナワトル語では古典語も現代語においても一般的に-tin もしくは-me であるが、「リベラ訓令」では、下記の事例（文章番号: ３,5,7 他）に示したように-tin の使用を確認することができた。なお、現代ピピル語では、語頭部分の反復（reduplicación）によって複数を表すことが多い（Campbell 1985：51-53）[8]。例えば兎（単数：tuchit）の複数形は、tuhtuchin、また鹿（単数：mazat）は mahmazat となっている（敦賀 2000：319-320　巻末資料３参照)。また、現代ピピル語では、人に関する複数名詞には、-met がしばしば見られる。例えば人称代名詞１人称複数は tahamet(私達)，３人称複数は yehemet（彼ら）となる（Campbell 1985：51-53, 敦賀 2000:324　巻末資料３参照)。しかし、本訓令では、下記のように-tin が確認されたが-met の使用は見られなかった。

[7] グアテマラで 16 世紀末にナワ系言語で書かれた文書では、/tl/音が見られるとともに、/w/や/u/音が/ɣ/音になる音素も確認されている。ディキンによれば、不完全に習得したナワトル語と土着のピピル語が混合し、リンガ・フランカとして使用されたためだとされる(Dakin y Lutz 1996:171)。

[8] ナワトル語でもしばしば用いられている。

複数名詞の接尾辞 -tin

PIPIL	文章番号	日本語訳
yeguan**tin**	3,5,8,9,etc.	彼ら、彼女ら
ocsequin**tin**	5	その他
muchin**tin**	7,18,21	全員
yee**tin**	8	３名

②尊敬を表す接尾辞　-tz(s)in

尊敬を表す接尾辞 -tz(s)in は、ナワ系言語の先スペイン期からの伝統と考えられている。

本章５－１）「スペイン語の導入・借用」でも述べたとおり、敬称や敬語に相当する接尾辞 -tz(s)in は、下記の表にまとめたとおり、スペイン王や神、神の子（キリスト）などのスペイン語名詞に伴って用いられている。

この他、「祭り」を意味するピピル語名詞 ylgui-tzin（崇敬な祝祭）にもみられ、先住民にとって祭りが有していた重要性が伺われる。16 世紀末にグアテマラで記された書簡集には、uey iluitl という用語が使用されているが、これは、uey（古い、尊ぶべき）という形容詞で祭りの重要性を表したものである。ディキンは、キリスト教の教会組織や暦に関しての用語は、「祭り」以外はほとんどスペイン語からの借用語が導入されていることを指摘している。従って、この「祭り」を尊ぶことは先スペイン期からの伝統であろうと分析している（Lutz y Dakin 1996:160)。

なお ilguit には、「祭り」という意味以外に、「日」の意味もある。しかし、次の事例のように、単なる「日」の意味で用いられる場合には、尊敬の接尾辞は見られない。

尊敬を表す接尾辞 **-tz(s)in**

PIPIL	文章番号	日本語訳
(tuguey)		（我らの偉大なる）
tataca**tsin** *Rey*	1	尊敬する主人（スペイン王）
dios tota**tzin**	19	我らの尊敬/敬愛する神
dios tepi**tzin**	19	尊敬/敬愛する神の子
ylgui**tzin**	5	崇敬な祝祭

③所有を表す接頭辞

ナワトル語の人称は、スペイン語と同じく、１人称･2 人称・3 人称の単数・複数に区別される。各人称に対応する所有接頭辞としては、no-(私の)、 mo-（あなたの)、 i-（彼/彼女の)、to-（私達の)、amo-（あなた方の)、im-（彼ら/彼女らの）という 6 種類がある。「リベラ訓令」では、no(u)-(私の)、to(u)-（私達の)、i-(彼の、その)の 3 種類の所有接頭辞が確認される。これはナワトル語

の標準的な用法であると思われる。主な用例を次の表にまとめる。

所有を表す接頭辞　no(u)- 私の、to(u)- 私達の、i(y)- 彼の、その、etc.

PIPIL	文章番号	NAHUATL	日本語訳
no- i(y)xpan	1,4	noixpan	私の-面前で
tu-guei	1	tohuey	我々の-偉大な
tu-tecuio *dios*	2	totecuiyo *dios*	我々の-主、イエス・キリスト
y(i-)tunali	5	itonalli	その-日
y-*sobra*	9	i*sobra*	その余剰金
nu-tenaguatil	13,14,16,17	notenahuatilli	私の-命令

メキシコ中央高原では、所有接頭辞の後に母音がくる場合、しばしば後の母音が強調され、所有接頭辞の母音は消える傾向（proclítico）がある。例えば、16 世紀後半にトラスカラで記述された裁判文書には、noixpan（私の面前）は nixpan に、toixpan（我々の面前）は tixpan となっている（Herrera, Peralta, Von.Mentz y Rockwell　2007：152-153)。しかし、「リベラ訓令」では母音は消えず、明確に発音されるようである。この特徴は現代ピピル語でも見られるものである（敦賀 2000:318-319)。

３）「リベラ訓令」の動詞の特徴

本節では、「リベラ訓令」のピピル語における動詞の時制の特徴について述べることにしたい。「訓令」という内容のため、動詞のほとんどが未来時制となっている。この他、現在完了と思われる時制と現在時制がいくつか認められるが、過去時制は一用例だけである。

なお、ナワトル語には、他動詞の場合、目的格に相当する形態素が伴い、動詞によっては、語尾に受身や要因・使役などを表示する形態素が伴うという特徴がある[9]。「リベラ訓令」においては、目的格については、ナワトル語同様、-qui-が用いられる用例がしばしば見られるが、その他の目的格については、不明である。また、動詞語尾については、現段階ではまだ不明で、今後の分析課題としたい。

① 過去時制

過去時制は次の１箇所のみ認められた。

PIPIL	文章番号	NAHUATL	日本語訳（西語訳）
ϕ-mu-pua-c 3S-REFL-読む-PRET	1	mo-pua-c	読まれた (se leyó)

[9] 第３章５－２）「動詞・動詞句/節の構造」を参照されたい。

語尾の -c は、ナワトル語の完了過去形と同じ用法であると思われる。なお、ナワトル語の過去時制にしばしば見られる接頭辞 o-は、ここでは見られない。

② 現在時制

現在時制であることが断定できるのは下記の２用例である。いずれもナワトル語と同じ使い方だと思われる。

PIPIL	文章番号	NAHUATL	日本語訳(西語訳)
ni-te-**naguatia** 1S-0-命じる PRES	7,10,16,18,23	ni-te-nahuatia	私は（～に）命じる（yo les mando)
ni-**chiua** 1S-行う PRES	4,21	ni-chihua	私は行う/させる(yo hago)

③ 現在完了と思われる接尾辞 -ta

現在完了と思われる動詞は下記の３箇所に見られる。ディキン博士によると、これらの現在完了とみなされる動詞の接尾辞は、複数人称主語の現在形接尾辞 -t に、完了を意味する不変化詞 ya が付加されて、-ta となったと考えられるということであった。なお、現在形接尾辞 -t は、メキシコ中央高原では見られないが、プエブラ州やオアハカ州でしばしば認められるとのことである[10]。

しかし、表に示した ni-te-naguatia-ta は、主語が一人称単数であるにもかかわらず、同じ語尾-ta が付加されている。なお、現代ピピル語の場合、現在完了の語尾は、単数主語で -tuk、複数主語で -tiwit となる (Campbell 1985:67)。また、ナワトル語の場合では、それぞれ、-toc, -toqueh となるのが一般的である。いずれの場合も、現在完了と完了過去の違いは、それほど明白ではない。この接尾辞を現在完了であると断定するには、さらに用例を分析する必要があり、今後の課題としたい。

現在完了(?)接尾辞 -ta(単数？複数？主語)

PIPIL	文章番号	NAHUATL	日本語訳
φ-qu-itua-**tta** 3S-0-言う-PRES.PERF	2	qu-itoa-toqueh	それが言われた（lo han dicho)
φ-qui-pia-**ta** 3S-0-持つ、ある-PRES.PERF	2	qui-pia-toqueh	それがあった(lo han tenido)
ni-te-naguatia-**ta** 3S-0-命じる-PRES.PERF	6	ni-te-nahuatia-toc	私は（～に）命じた（yo le he mandado)

10 ディキン博士から直接伺った説明である(2003 年 2 月)。

④未来時制

「リベラ訓令」では、下表に示す未来形が確認された。単数主語の接尾辞は、ナワトル語と同じく -s/ｚであるが、複数主語の接尾辞は -squete となっている。メキシコ中央高原のナワトル語の複数主語の未来形、-squeh の帯気音/h/（saltillo）が/te/となる傾向があると考えられる。以下いくつか具体的な用例を引用する。

未来形の接尾辞 -s(単数主語)、-squete（複数主語）

PIPIL	文章番号	NAHUATL	日本語訳（西語訳）
①-s(単数主語)			
φ-gueli-s 3S-出来る-FUT.SG	2,3,12,13,15etc.	hueli-z	出来るだろう (podrá)
φ-mus-cali-s 3S-REF-家を建てる-FUT.SG	2	mo-cali-z	家が建てられる (se construirá casa)
φ-mu-tequitili-s 3S-REF-働く-FUT.SG	2,8	mo-tequitili-z	仕事がされる (se trabajará)
φ-nemi-s 3S-現れる-FUT.SG	5,12	nemi-z	現れる (aparecerá)
φ-te-naguati-s 3S-O-命じる-FUT.SG	6	te-nahuati-z	（～に）命じる (le mandará)
φ-mu-chigua-s 3S- REF-行う-FUT.SG	7,12	mo-chihua-z	作られる,行われる (se hará)
φ-mu-yta-s 3S- REF-見る-FUT.SG	13,14,15	mo-itta-z	見られる (se verá)
φ-mu-pia-s 3S- REF-持つ-FUT.SG	8,12,17	mo-pia-z	所持される、用意される (se tendrá)
φ-mu-(i)cuilo-s 3S- REF-書く-FUT	8,10,12,23	mo-cuilo-z	記される (se escribirá)
φ-mu-namaca-s 3S- REF-売る-FUT.SG	8,11	mo-namaca-z	売られる (se venderá)
φ-mu-tatani-s 3S- REF-問う-FUT.SG	14	mo-tlatlani-z	問われる (se preguntará)
②-squete（複数主語）			
φ-qui-tatani-squete 3S-O-問う-FUT.PL	20	qui-tlatlani-zqueh	それを問う (lo preguntarán)
φ-qui-mati-squet 3S-O-知る、解る-FUT.PL	3	qui-mati-zqueh	それを知る (lo sabrán)
φ-qui-chiua-squete 3S-O-出来る-FUT.PL	3,17,21	qui-chiua-zqueh	それを行う,させる (lo harán)
φ-qui-qu-ita-**sque** 3S-O-O-見る、確認する-FUT.PL	3,9,	qu-ita-zqueh	それを確認する (lo verán)
φ-gualcalaqui-squete 3S-O-～へ入る-FUT.PL	14	hualcalaqui-zqueh	～へ入る (entrarán para acá)
φ-mu-(y)cuilo- squete 3S- REF-書く-FUT.PL	8,5,16,21	mo-cuilo-zqueh	記される (se escribirán)

訓令という法的内容により、先住民コフラディアに対して規則を言い渡すために未来時制を多用していることがわかる。さらに、３人称再帰代名詞 mo-が無人称・受動態の意味で使用されている。元来、古典ナワトル語の再帰代名詞は、スペイン語のそれとほぼ同じ意味と用法であるとされてきた(Launey 1992:59)。このため、スペイン語原文の訓令を伝える好都合な文法機能であったとも考えられる。

この他、この「リベラ訓令」では、chiua（行う）を使役の助動詞として使い、その後に、スペイン語の不定詞（ganar, mandar, cobrar, gastar　等）を付加するという混成用法が見られる。例えば、上記文章番号３の quichiua**squete** *ganar*（lo harán ganar）などのように、とくに未来時制において、この混合用法の例が多くみつかった。ナワトル語には、使役の接尾辞として、-tia, -ltia があるが、この用法も訓令という主旨と具体的内容を確実に伝えようとする意図が伺える（敦賀 2009：44)。

16 世紀半ば、スペイン王の命による先住民への納税や労役などに関する法的主旨で書かれたメキシコの「1559 年クアウティンチャン訓令」(Reyes García 1988:180-215）においても、未来形を多用することによって規則の言い渡しが行われている。しかし、「リベラ訓令」のような無人称・受動態の意味の再帰代名詞の使用はほとんどなく、動作主格が明示された未来形で法的主旨を伝えている。古典ナワトル語には、命令を表す形態素 xi- +動詞 [11]が存在するが、未来形や再帰代名詞の使用で、緩やかな言い回しとなっているようである。

[11] 現代ピピル語にも同様の表現がある。

７.「幹部任命記録」ピピル語テキストと形態統語論的分析

『S.V.台帳』には、1711 年から 1745 年まで、毎年聖ベラクルスの日（5 月 2 日）あたりの日付で、コフラディア幹部任命記録が残されている。本章３－４）で述べたとおり、このうち、1711 年から 1722 年はカリージョ司祭の署名でピピル語での記録が収められている。

ここでは、最も古い 1711 年のテキストと形態統語論的分析と仮訳を提示するが、不明な部分が多く残っている。それらは、1712 年以降の記録の解読と言語学的分析を進めることで、明らかになる可能性がある。それらは今後の研究課題とし、ここでは、テキストの形態統語論的分析と仮訳を紹介するのみにとどめることにしたい。

なお、解読要領や形態統語論的分析の略語凡例は「リベラ訓令」に準ずる。

１）人名・役職名などの略語表記

「幹部任命記録」には、スペイン語の様々な略語が見られる。特に人名や役職名は、下記の略語で表記されている。

略語	標準表記	略語	標準表記
1. 人名		**3. その他**	
Fran	Francisco	Cr^{+}	cruz
Ju^{0}	Juan	$m\,a\,g^{d}$	magestad
J^{0}	José	$m^{d,}$ md	merced
Lorns	Lorenzo	$\tilde{q}$	que
Ma	María	P^{0}	pueblo
$P^{0,}$ P^{e}	Pedro	Xto	Christo
$\tilde{X}$	Xavier, Javier		
Xpbal	Christobal		
2. 役職名			
allde, alldes	alcalde		
$\overset{o}{M}$	maestro		
Pa, P^{a}	padre		

２）「幹部任命記録」の写真

幹部任命記録の最も古い 1711 年 5 月 2 日付の文書は下記 3 頁である。

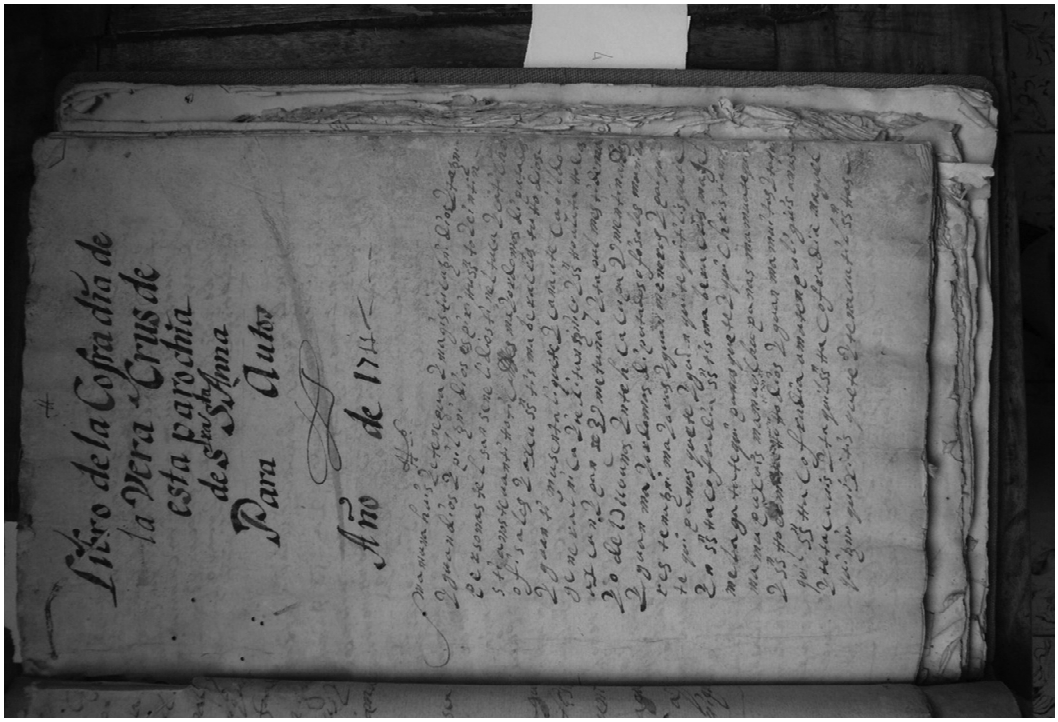


写真 17　f. 7r

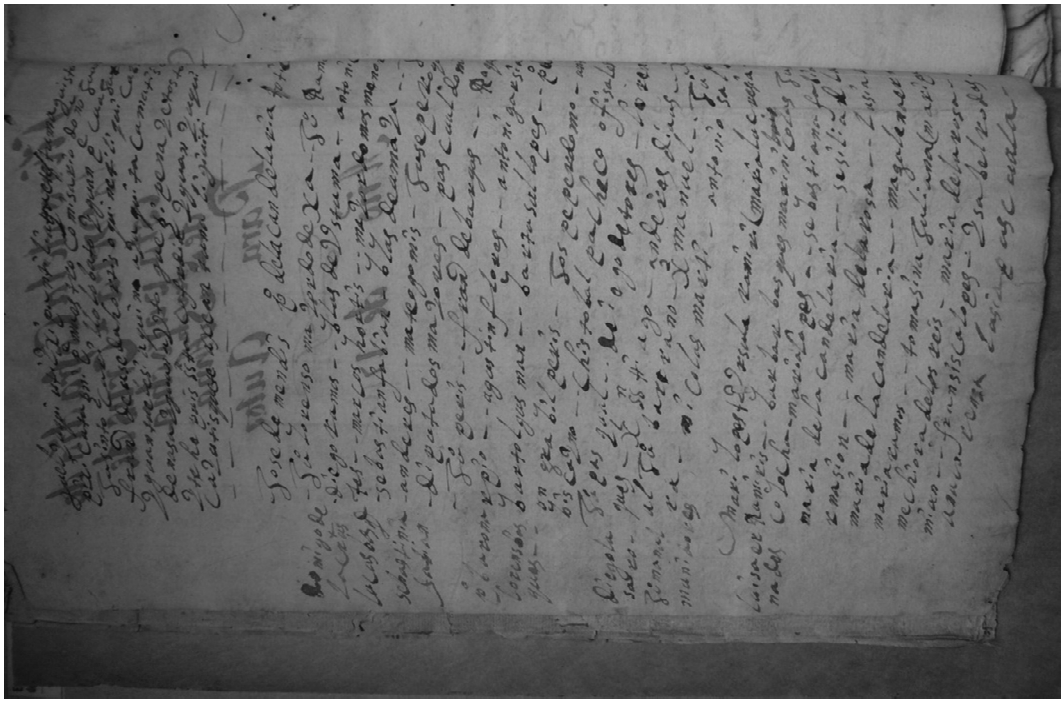


写真 18　f. 7v

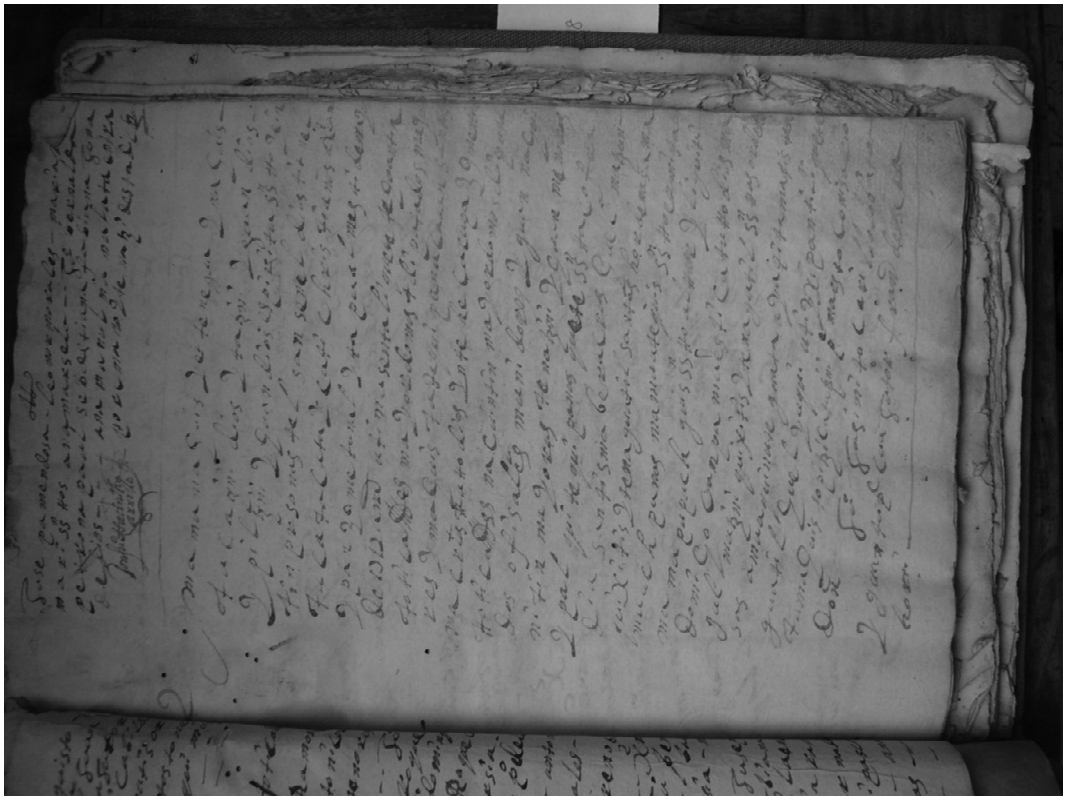


写真 19　f.8r

３）「幹部任命記録」ピピル語テキスト（f.7r-8r）と形態統語論的分析

（1）（f.7r）Libro de la Cofradía de la Vera Cruz de esta parrochia de señora Santa Anna para Autos Año de 1711

Mamanahuis yete negua y y*magista*cazni*dios*　ytazni　yguan dios ypiltzni *dios espiritu santo* yeintin *personas*

【形態統語論的分析】

Mamanahui-s[1]　yete　negua　y　y-*magis*-taca-zni　*dios*　y-ta-zni
arodillar-FUT.SG　ya　1SG.S.(yo)　y　3POS-magestad-hombre-HON　3POS-padre-HON

y -guan　*dios*　y-piltzni　*dios espiritu santo* yein-tin *personas*
3POS-con,y　3POS-niño-HON　3-ABS.PL

私は、陛下、敬愛なる父、神と神の子、精霊、三位一体（父、子、精霊）の前に誓います。

[1] Mamana（ arodillar, humillar）だと考える。

［意訳］「私は国王陛下、敬愛なる父なる神とキリスト、精霊の前に誓います。

(2)tel san se neli *dios* tineltuca yca ti*christianos* teuanti ttotic a*lcaldes mayordomos diputados ofisales* y axcan *santísima Beracruz* tata *dios*.

【形態統語論的分析】

tel san　se neli　*dios*　ti-neltuca　yca　ti-*christianos*　teuanti
Solamente　1 verdadero　1PL.S-creer-PRES.PL con　1PL.S　1PL.S
唯一の神を信じる私達キリスト教徒は、

t(o)-toti-c　*alcaldes mayordomos diputados ofisales* y axcan
1PL.REF-decir-PRET　ahora
本日ここに、父、神の御前で、聖ベラクルスのアルカルデ、マヨルドモ、ディプタード、

santísima Beracruz　tata　*dios*
padre
オフィサレスを任命した。

［意訳］ 唯一神を信じる私達キリスト教徒は、本日ここに、父なる神の御前で、聖ベラクルスのアルカルデ、マヨルドモ、ディプタード、オフィサレスを任命しました。

(3)yguan timusentali[s]quete yca naute *cabildo general* nica(n) yie xitaniznico y *santo* a la tato *dios* axcan ypan umetunal ytapal *mes*ti *de mayo del 1711 años*

【形態統語論的分析】

y-guan　ti-mu(to?)-sentali-[s]quete　yca　naute *cabildo general*
3POS-con,y　1S.PL-REF-congregar-FUT.PL　3POS-con　4
そして、私達は 4 名のカビルド・ヘネラルと集まり、

nica(n)　yie xitaniznico　y- *santo a la* tato *dios* axcan　y-pan
aquí　3　?　3POS　padre　ahora　3POS en
ここで... 今、我らが父である神の...

um-tunal　ytapal *mes*ti　*de mayo del 1711 años*
2 día　3pos-por　mes-ABS
1711 年 5 月 2 日に

[意訳]「そして、私達は 4 名のカビルド・ヘネラルと　3...父なる神の(前に)1711 年 5 月 2 日に（報告するために）集まるものである」

(4)ynteh cacapa　vmentin *alcaldes* yguan *mayordomos diputados ofisales munidores* tenazni *mayores* yguan *menores*　ypal quitequipanusquete

【形態統語論的分析】

ynteh　cacapa vmen-tin　*alcaldes*　y-guan　*mayordomos diputados ofisales*
junto, con　donde　2-ABS.PL　3POS-con,y
二人のアルカルデ、マヨルドモ、ディプタドス、オフィサレス、ムニドーレス、

munidores [2] te-na-zni[3] *mayores* y-guan *menores*　y-pal　ϕ-qui-tequipanu-squete
1POS.PL- mujer,madre- HON　3POS-con,y　3POS-por　3S.PL-OPSG-trabajar-FUT.PL
テナツィニ・マヨーレス、テナツィニ・メノーレスがいっしょにその場で職務を行う

[意訳]　二人のアルカルデ、マヨルドモ、ディプタド、オフィサレス、ムニドーレス、テナツィニ・マヨールとテナツィニ・メノールが」いっしょに、その任務を行います。

(5) yguan quitequitilis *quenta* yn santa cofradía *santísima bera crus* magel melagata tequipanosquete　yqui christianos

【形態統語論的分析】

y-guan　ϕ-qui-tequitili-s　*quenta*　yn *santa cofradía santísima bera crus*
3POS-con,y　3S.SG-OPSG-trabajar-FUT.S
そして、聖ベラクルスの聖コフラディアが予算を

ma-gel　ϕ-melaga-ta[4]　ϕ-tequipanos-quete　yqui *christianos*
EXH-bien　3S.SG-declalar-PRET.PERF　3S.PL-OPSG-trabajar-FUT.PL　?
健全に運営したと宣誓したことをキリスト教徒らに対して確認する

[意訳]そして、聖ベラクルスの聖コフラディアが予算を健全に執行したと宣言したことをキリスト教徒らに対して確認するように。

---

[2] コフラディアの世話人、連絡係。動詞 muñir（呼び寄せる、集める）から派生した。
[3] コフラディアの女性幹部としてスペイン語版にもよく出てくるナワ語名の役職。
[4] ナワトル語の melahua（exponer y declalar la escritura）の可能性もあると思われる。

(6) ma mupuxuis mamuachupanasma muatequis y santo ermita tata dios

【形態統語論的分析】

ma -mu-puxui-s[5] ma-mu-achupana-s[6] ma ϕ-mu-a-tequi-s

EXH-REF-enojar-3S.FUT ? EXH 3S.SG-REF-NEG-trabajar-3FUT.S.

父、神の聖なる教会[において]、咎められ(...) 奉仕(...)

y- *santo ermita* tata dios

3POS-*santa* padre

聖なる教会が... 我らが父、神...

[意訳]「父なる神、あなた様の聖なる教会において、(キリスト教徒らは)(罪を)咎められ、また、奉仕されまるように。」

(7) yguan mamuitas ytaquiquil *s(a)nta cofradía* amaten puliguis anas ytetacan(u?)is ytaquil *santa cofradía*

【形態統語論的分析】

y-guan ma-mu-itas y-taquiqui-l *s(a)nta cofradía* amaten

3POS-con,y EXH.-REF.-ver-3S.FUT 3POS-vestido-ABS papel,libro

そして、 その衣服を聖コフラディアが確認し、

ϕ-puligui-s ϕ- ana-s yte(ch) tacan(u?)i-s y-taqui-l

3S.SG-desaparecer-3FUT.SG 3SSG-tomar-3s.FUT dentro? emplear-3S.FUT 3POS-R.vestido-ABS

台帳に明記されていないか、無くなっていないか確認されるように。

santa cofradía

[意訳]「そして、その衣服を聖コフラディアが確認し、台帳に、それが明記されていないか、紛失されていないか確認されるものとする。」

(8)maguel quiznia quixitisquete ytenauatil *santas* guel yuqui utiyxipantilia t[...]etel tu *maquista* pixi catazni padre *maestro comisario don Juan Jasinto*

---

[5] ナワトル語の pozonia (enojar) だと考えられるが、訳文は不明。

[6] Ma(EXH) - mu(REF) a(o?)(NEG)- chu(a)pana(echar en el suelo?)-s(3S.FUT)の可能性が感がられる。

Carrillo Lobato yguan *padre cu[r]a ju...Fran(cisco) de Useda Hortis* oquinetiliqui

【形態統語論的分析】

Ma-guel ϕ-quiz-nia ϕ- qui-ixiti-squete y-tenauati *santas*

EXH—bien OP.SG- salir-CAU 3S.PL- OP.SG- despertar-3PL.FUT. 3POS-orden

しかと提出させ、規則を確認するように..

(f.7v) guel -yuqui ut-iyxipan-tilia t[...]etel tu -*maquista* pixi catazni

bien ? ?-hacer enfrente-CAU ? 1POS.PL-majestad ?

面前において、.... 陛下の命により....

padre maestro comisario don Juan Jasinto Carrillo Lobato y-guan

3POS-con,y

フアン・ハシント・カリージョ・ロバト審議会司祭そして

padre cu[r]a ju...Fran(cisco) de Useda Hortis o-qui-netili-qui

PRET-OP-verificar-PRET

フランシスコ・ウセダ・オルティス司祭は、それを確認した。

[意訳]「そのことを、しかと報告させ、規則を確認するように... 我々の陛下の命によって、フアン・ハシント・カリージョ・ロバト審議会司祭とフランシスコ・ウセダ・オルティス司祭は、それを確認した。」

(9) *cabi[ldo]* yguan tuelisi aquin aya quita camatiz *ordena[n]sa* yguan *auto* guezi *pena* ye tosto[nes] ytech puis Santa Cofradía yguan yuqui m[sic]cayutisquete axcan tanatigiuiti

【形態統語論的分析】

cabildo y - guan tuelisi aquin aya ϕ-qui-tacamati-z *ordena[n]sa*

3POS-con,y ? después no 3s-OP-obedecer-3FUT.SG

カビルドそして ...その後、訓令に従わなければ、

y-guan *auto* guezi *pena* ye tosto[nes] [7] y-tech ϕ-pui-s Santa Cofradía

3POS-con,y poder? 3 tostones 3POS-con 3s-contar-3FUT.SG

[7] tostón 50 セント硬貨

そして、審査(の上)　３トストネスの罰金を聖コフラディアに課すこととする。

y-guan　　yuqui m[sic]cayutisquete axcan tanatigiuiti
3POS-con,y　　？　　？　　ahora　　？
そして、...

[意訳]「カビルドと、そして...その後、訓令に従わない場合は、３トストネスの罰金を聖コフラディアに課すもとのする。」

(10) (＊ 以下人名)
José de mendis padre de la Candelaria totic Juan Lorenso mayordo[mo] de Xa[vier] Juán Ram(om) Diego Ramos _ Blas de Ustama _ antonio_Tes_ marcos ortis_ mayordomos meno(res)/Sebastian fabian - Blas de amaya[sic] Diputados mayores_ pascual domi[ingo] Lopes_efran de Bargas_ _ Raqu[sic]/rpio[sic] agustin flores_ antoni garsía[sic]Bartol gusman_ _ bartasal lopes- -p[sic]/On grabil peris_ Jospe perdomo Biscayno - christobal pacheco ofisales Ja pasqual_ diego de tores_ lore[nso]ques_ X[vier] santiago_ anderes dias[sic]al Juan barrerano_emanuel _Ju[sic]/ra_nicolas marti_ antonio sal[sic] mari lopes [sic],Ursula Ramires Maria Lacpe[sic] Ramires_ barba vasques mari nicolasJ[sic]/Colocha_ maria lopes [sic]sebastiana fabian..Maria de la candelaria [sic]Sesilia [sic]rnasion_ maria de la rosa- - lusia[sic]/maria de la candelaria[sic] mag[d]alena er...maria ramos [sic]tomasina Juliana mari[a]/ mechiora de los reies_ maria de la rosa mirn[sic]francisca lopes[sic] Ysabel rodas[sic]ana lorenso Lusia Pascuala/(F. 8 r)jose pa[sic] mendosa_ Leonor morales_ maria mari santos ana marsela _juan bernal de petrona paul sebastiana fabian bernal de dias [sic] ana manuel [sic] mulata entra

Jacintho Carrillo　(ハシント・カリージョの署名)
por emano yte natzi de sar..dic..

第６章　現代ピピル語－危機言語の現状

中米は 1821 年にスペインから独立した後、近代国民国家形成をめざすクリオージョやラディーノ主導の政権のもと、「非文明の先住民の文明化」という大義によって、先住民の歴史ある言語や文化は社会の周縁においやられることになる。植民地時代はリンガ・フランカであったナワ系言語の一言語として機能していたピピル語も、その機能は、公用語・国語となったスペイン語に大きく移行し、少数言語となっていく。

20 世紀に入ると、中米は長期軍事政権と反政府ゲリラとの内戦時代に進み、先住民も紛争に巻き込まれざるを得ない時代となる。エルサルバドルでは 1992 年、グアテマラでは 1996 年に内戦が終結し、民主化への取り組みと、先住民の権利を見直す世界的な潮流も助けとなって、少しずつその存在が認識されるようになっていく。しかし、エルサルバドルにおいては、先住民言語は、既に「消滅の危機」状態となっている[1]。

この章では、現在のエルサルバドルのピピル語の具体的な用例を示し、スペイン語の影響など、その特徴を提示する。次に国勢調査にみる民族・言語名の取り扱いの変化から、先住民とその言語の社会的重要性の変化を考察する。最後に、現在のピピル語話者とその言語を取り巻く政策や社会的活動について述べることにしたい。

１．現代ピピル語におけるスペイン語の導入・借用

1666 年の『リベラ訓令』において、植民地統治によって導入された新しい概念が、スペイン語で導入された用例を見たが、ここでは、キャンベルが収集したピピル語テキストから現代ピピル語におけるスペイン語の導入の用例を紹介したい。

１）現代ピピル語テキスト

下記テキストは、キャンベルが 1975 年にソンソナテ県サント・ドミンゴ・デ・グスマン村で収集したテキスト「La Siguanaba(老婆)」(Campbell 1985：878)の前半部分である。キャンベルによる形態統語論的分析（英語）とともに、第５章４－４）に示した凡例に従い、筆者の補足説明を付加している。さらに、キャンベルによる英訳と筆者による和訳を添える。

（*斜体：スペイン語　C.訳：キャンベルによる訳　和訳：筆者による訳）

[1] 第２章 1－1)参照のこと。

・nu-*amiguh* i-*gustuh* na ni-k-chiwa *kontar*
My-*friend* his-*pleasure* I I-him-do *tell*
1POS.S *amigo* 3POS.S-*gusto* 1S 1S-OP-hacer *contar*

cuentos de cosas ke ϕ-chiw-ki *suseder* nin tik nu-techan...
stories of things that do-PRET *happen* here in my-town
cuentos de cosas que 3S.SG hacer PRET *suceder* aquí.

C.訳：My-friend his pleasure I him do tell stories of things that do-PRET happen here in my-town…
（和訳：私の友人、彼の楽しみ、私は彼にここ、私の町で起こったこと、物語を語らせた）

・ya nech-ilwi-h ka nitik tu-te:chan
He me-told that here in our-town
3S.SG 1SG.OP.hablar PRET que aquí 1PL.POS pueblo

Kah *de mala suerte* ki-mu:tia-t.
That *from bad luck* him-scare-PL.
que *de mala suerte* 3OP REF tener miedo-PL

C.訳：he me told that here in our town that from bad luck him scare-PL.
（和訳：彼は私にここ、私たちの町には、不幸なことに、恐ろしいことがあったと話した）

・ki:sa se: *animal* ke yehemet k-ilwia-t “tsun-tekumna-t”.
Leave an *animal* *that* they it-say-PL skull-ABSOL.
Salir 1 *animal* *que* 3S.PL OP.SG-hablar-PL craneo-ABS

C.訳:leave an animal that they it-say-PL “skull-ABSOL”
（和訳：それは、“骸骨“ と呼ばれる動物が出たというのだ）

・yahika nu-tatanoy nech-chiw-ki *akonsehár* kah
Therefore my-grandfather me-do-PRET *counsel* that
Por eso 1SG.POS. abuelo 1SG.OP hacer PRET *aconsejar* que

te: ma: ni-nehnemi tayuwa *porké* ta-mu:tia-t.
not that I-walk night *because* somthing-scare-PL.

? NEG 1SG.S andar noche *porque* OI[2]-REF-tener miedo-PL.

C.訳：therefore my-grandfather me-do-PRET counsel that not that I-walk night because something-scare-PL.
（和訳：それで、私のおじいさんは私に、怖いから夜に出歩かないように、と忠告した）

2）スペイン語の導入・借用

上に示したテキストは短い文ではあるが、*amigo*(友人)、*gusto*(好み)、*cuento de cosas*(物語)、*mala suerte*(悪運)、*animal*(動物)など、身近な語彙まで、スペイン語から導入された単語が用いられている。これらの単語は、主旨の異なる植民地時代のコフラディア文書に現れることが想定しにくい語彙であるので、17 世紀においてもピピル語で頻繁に使用されていたかどうか容易に確認することはできない。

しかし、モリーナの『スペイン語-メシーカ語（ナワトル語)、メシーカ語-スペイン語辞書』(Vocabulario en Lengua Castellana y Mexicana y Mexicana y Castellana）（Molina1992）には、*amigo*：teicniuh (ibid:10)、*gusto*: tlayeyecoliztli, tlapalolizili (ibid:68)、 *cuento*：tlatolli(ibid:33), *animal*：yulqui, manenemi(ibid:11)が記載されている。したがって、16 世紀のナワトル語には、それらの概念を示す単語が存在しており、スペイン語から新しく導入されたものではないことは明らかである。

その他、スペイン語の接続詞 *porque*(なぜなら)も使用されている。これも、モリーナの辞書には yehica ypampa(ibid:98)が登録され、また、17 世紀の「リベラ訓令」のピピル語テキスト（文章番号 4 など)にも用例が確認されている。

また、17 世紀の文書に既に見られた使役・強調構文、“chiw(u)a(西：hacer, 行う、作る)+スペイン語動詞の不定形”の形は、このテキストにもいくつか見いだせる。ni-k-chiwa *kontar*(私は話をさせる、語らせる)、ϕ-chiw-ki *suseder*（ひきおこさせた)、強調用法 nech-chiw-ki *akonsehár*（私に忠告することを行う）が確認され、現代ピピル語にも定着していると考えてよいようである。さらに、スペイン語の関係詞 que （ピピル語では ke）が接続詞の機能を持つような形で多用され、長文を作っている。

一方、キャンベルは現代ピピル語に見られる言語変容において、スペイン語シンタックスからの借用を下記の用例を示しながら指摘している。

ne siwa:t *mas* galá:na *ke* taha.

西訳 esa mujer es *más* linda *que* tú.

英訳 That woman is prettier than you are.

---

[2] 不定非人物目的接辞。メキシコ中央高原の tla-はピピル語では ta-となる。(第 5 章 5. 文法的特徴を参照)

キャンベルは、ピピル語には、先スペイン時代には、独自の比較表現があったと想定している。しかし、スペイン語との接触によって、スペイン語の比較表現 *más…que* を借用するようになったと推測している。このようなシンタックスの借用は言語変容の過程でしばしば生じる重要な要素であるという（Campbell 2004:288)。

なお、筆者が 1997 年から 1999 年にアワチャパン県タクバ村で実施した現代語語彙調査では、動物に関する語彙がしばしばスペイン語で使用されていることが確認されている。たとえば、犬は pelu(西語:perro, ナワトル語:itzkuintl)、カエルは sapo（西語：sapo,ナワトル語：tamazolin)、巻貝は karacol（西語：caracol,ナワトル語：tecismama, cili）などである。もちろん、鹿（mazat)、フクロウ(tekult, tegulut)、兎(tukxhti, tuhtuchin)、豚(cuyamet, guyamet)、ネズミ(kimichin, guimichin)、魚(michin)など、ピピル語のままで使用している語彙も多く確認された（敦賀 2000:282-287、巻末資料 3 参照）[3]。

筆者の調査当時、タクバ村は既にピピル語話者が５名という消滅の危機に瀕した状況であった。それに対して、同時期に調査したソンソナテ県サント・ドミンゴ・デ・グスマン村は話者が 70 名存在した。この 2 村における単語調査では、総単語数 226 の内、スペイン語もしくは不明であった単語数は、タクバ村では 43 単語、それに対してサント・ドミンゴ・デ・グスマン村では、13 単語であった（敦賀 2000:282-287、巻末資料 3 参照)。

タクバ村のインフォーマント（男性　当時 82 歳）は、同世代のピピル語話者であった友人のほとんどが既に他界しており、さらに、同居している長女ともスペイン語で話していた。それに対して、サント・ドミンゴ・デ・グスマン村のインフォーマント（男性　当時 65 歳）は息子たちとはスペイン語で話しをするが、ピピル語話者である妻や、同年代の友人と日々ピピル語で話していた。

２．国勢調査にみる先住民と言語

多言語社会を概観する際、国勢調査の人種・民族や言語の分類法や人口が基本的指標となる。人類学者の青柳は、国家がその領内の住民を把握するために施行する国勢調査における分類は、その時々の政治的状況によって分類の枠組みが自在に変更され、国家による分類は、より固定的な制度的区分とみなされ、個人の生活全般を規定するほど意味を持つと述べている（青柳 2004：1-2)。

本論文においても植民地時代のピピル語とその話者について言及する際に、

[3] なお、犬については、先スペイン期からこの地域に犬（itzkuintl）は存在していたが、ヨーロッパ人が持ち込んだ犬とは別の種類であり、スペイン語の perro が定着し、ピピル語には r がないため、pelu となったという。(Campbell 2004:204)

スペイン人統治者による「他者」である先住民の民族・言語区分やその人口に関する史料を提示してきた。それらの多くは「被征服民」である先住民を制度的に区分し把握するために行われた調査であり、布教や集住政策、徴税などに使用する目的で行われていた。

次節では、国勢調査における民族・言語区分とその人口を通して、ピピルをはじめとする先住民とその言語に関する政治・社会的状況や国家の認識の変化を考察する。

1）現代エルサルバドルの先住民人口とピピル語の現状

人類学者アダムスによると、1920 年代には総人口の約 20 パーセントが先住民であったと推計できるという。先住民人口統計の公表は 1930 年を最後に途絶えているが、それによると 1930 年当時の総人口の 5.6 パーセントにあたる約 8 万人の先住民が確認されている。その 70 パーセントがアワチャパン県及びソンソナテ県という西部に居住していたという（Adams 1993:172-177)。一方、エルサルバドルの人口史の研究者バロン・カストロは、1940 年の人口（推計）で、総人口の 22.5 パーセントが先住民という数字を出している（Barón Castro 2002:460)。

独立以降の人口調査では、「先住民 (indios)」、「メスティソ (mestizos)」、「白人（blancos)」、「外国人（extranjeros)」という民族区分が採用され、詳しい個別の先住民族集団名は使用されていない（ibid:457-460)。しかも、ほとんどの数値は「estimada(推計)」としてしか提示されていない。1980 年代以降の国連や世界銀行などによって発表された統計調査でも、総人口に対する民族別人口が一般に使用されていた。これには、個別の先住民族名はなく、「先住民」という分類しかない。また、総人口に占める先住民人口比率は、1930 年の 5.6 パーセントが長く使用されてきた。

2007 年、エルサルバドルでは初めて帰属民族名がアンケートの質問項目に加えられた国勢調査が行われた。このアンケートの回答は自己定義によってなされ、言語運用能力を基準とするものではなかった。表 1 のとおり、先住民人口は、総人口のわずか 0.2 パーセントであるが、ナワ-ピピル（ピピル)、カカウィラ、レンカという民族名が記された。

現地の言語学者によると、2004 年現在、一定水準の言語運用能力のあるピピル語の話者は約 200 名（Lemus 2004:17)、カカウィラ語の話者は約 300 名で、これらの話者は、全員がスペイン語とのバイリンガルの高齢者だとされる[4]。したがって、表 1 の民族別人口は、十分な言語運用能力は伴わないが、それぞれの民族に帰属意識がある人々が大部分を占めていることを意味する。

長期にわたる圧政のもと、「見えない存在」として周縁に追いやられ、生きた

[4]ドン・ボスコ大学のレムス博士より伺った。

母語を保持できる環境にいなかった人々が、ようやく自分達のアイデンティティを主張し始めたのかもしれない。

表１：エルサルバドルの先住民人口

総人口 5,749,863 人（2007 年国勢調査）					
人種構成	人口	%	先住民グループ別	人口	%
メスティソ	4,962,132	86.3	カカウィラ	3,600	31.3
白人・ヨーロッパ系	730,233	12.7	ナワ・ピピル	3,059	26.6
先住民	**11,500**	**0.2**	レンカ	1,737	15.1
黒人	5,750	0.1	その他	3,105	27.0
その他（外国人など）	40,249	0.7			

出典：2007 年エルサルバドル国勢調査（エルサルバドル経済省ホームページ）

この国勢調査は、和平合意（1992 年）以降の民主化の過程で、政府がようやく先住民問題に具体的に取り組む姿勢の表明だと考えられている。この調査と結果は、長年の政治的弾圧により社会の周縁においやられた少数民族が存在していることを広く社会的に認知させるものであった。

2007 年の調査結果が発表された後、「先住民人口の総人口比 0.2 パーセント」という数字について、多くの批判がおこり、政府のホームページでは、12 パーセントと仮修正され、近いうちに調査をやり直すということまで予告された[5]。

2007 年 8 月に現地で関係者に聞いたところ、調査官が帰属民族に関する質問をしなかったケースが相当あったという事実が判明したからだという。実際、1935 年の大虐殺以降、先住民は「見えない存在」となって暮らしてきたので、外見上はメスティソとしか見えない。そのような社会的常識に染まりきっていた調査官が質問しなかったことも無理のない話なのかもしれない。

先住民人口が 1 パーセント以下にまで減少した最大の直接的な要因は、1932 年の政府軍による西部コーヒープランテーション地域の農民の大虐殺である。1930 年の世界大恐慌によるコーヒー価格の暴落が引き金となり、労働争議が多発した。ファラブンド・マルティ共産党書記長を指導者とする反政府勢力が、当時のマルティネス軍事政権打倒のために立ち上がり、西部地域の農民たちも収奪され続けてきた土地を奪回するために蜂起した[6]。その農民の大半がピピルの人々であったが、政府軍による鎮圧による犠牲者は推定 3 万から 5 万人とも言われる。

大虐殺事件以降、長年の軍事政権時代と内戦時代を通して、自己防衛のため、

---

5 エルサルバドル大統領府:http://www.presidencia.gob.sv/(閲覧日 2010 年 10 月 15 日)

6 エルサルバドルでは、コーヒー産業拡大のため、1881 年に先住民共有地廃止令が公布され、先祖代々の土地から追い出された農民は、土地なし農民としてコーヒー大農園の労働力となった（Browning 1975:334-341)。

言語、習慣、民族服など文化的象徴を放棄し、人目につかないように「見えない存在」とならざるをえなかった。1998 年に現代語調査を行ったタクバ村とサント・ドミンゴ・デ・グスマン村で筆者が住民から聞いた話では、この大虐殺事件以前は村人のほとんどがピピル語を話し、女性は民族服を着ていたという。

２）グアテマラ国勢調査における少数民族シンカ

グアテマラの和平合意は､エルサルバドルより 4 年遅い 1996 年に締結された。しかし、詳細な民族名を挙げて国勢調査が実施されるのは 2002 年であった。この調査では、1995 年に締結された「先住民族のアイデンティティと諸権利に関する合意（以下「先住民族合意」）で先住民族として認定されたマヤ諸族 21 グループに、ガリフナ、シンカという非マヤ系先住民族の 2 グループを加えた 23 クループの分類が採用されている。「先住民族合意」に明記された「多民族・多文化・多言語社会としての国家建設」という基本理念を受けたものである。

この分類で注目すべきは、人口の約半数を占めるマヤ民族を言語変種に従って 21 グループに分け、マヤ諸族の陰で無視されてきた少数民族のガリフナとシンカも加えられていることである。ガリフナはカリブ海域から 18 世紀末に中米の大西洋岸に移り住んだアフリカ・カリブ海系黒人の人々で、ホンジュラス、グアテマラ、ベリースにまたがり居住する[7]。彼らの言語と舞踏と音楽は、2001 年にユネスコの「人類の口承および無形遺産の傑作」に登録された。

一方、シンカは先スペイン期からグアテマラ南東部のエルサルバドルとの国境近くに居住していた。シンカ語はメソアメリカ圏では言語学的類縁関係はみられず、南米のチブチャ語と遠い類縁関係が認められる言語である。言語学者の間では、シンカ語は、随分前から死滅した言語と認識されていた(Campbell 1997:166)。

2002 年の国勢調査において、先住民言語に関する項目を抜き出したものが表 2,3 である。これらの表には、グアテマラの複雑な多言語社会の状況が映し出されているが、特に注目したいのはシンカの状況である。表 2 によれば、シンカを帰属民族と答えた人は、16,214 人で、第一言語がシンカ語であると答えた人が 1,283 人となっている。さらに表 3 に示したように、その内 788 名がモノリンガルであった。

いずれにせよ、既に消滅したと考えられていたシンカ語の話者が少なからず存在したこと、そして言語運用能力はないものの、シンカに帰属意識を持っている人がその 10 倍を超える数であったことは、人類学者や言語学者の間でも驚きであった。

---

7 第 2 章１－１）を参照のこと。

表２：グアテマラ国勢調査における先住民言語状況

	人口	%	第一言語[8]　（３歳以上を対象とする）			
総人口	11,237,196		言語	男女合計人口	男性	女性
非先住民	6,626,756	59	スペイン語	7,080,909	3,457,989	3,622,920
			その他	23,248	11,407	11,841
先住民	4,610,440	41				
マヤ系	4,411,964	99.5	マヤ諸語	3,174,383	1,555,022	1,756,454
シンカ	16,214	0.36	シンカ語	1,283	696	667
ガリフナ	5,840	0.13	ガリフナ語	3,564	1,542	1,922

出典：2002 年グアテマラ国勢調査(グアテマラ国立統計院)pp.33 - 34

表３：第一言語以外に使用する言語[9]単位：人　＊３歳以上を対象とする

	3 歳以上人口	第一言語				
		マヤ語	シンカ語	ガリフナ語	スペイン語	その他
総数	10,283,387	3,174,383	1,283	3,564	7,080,909	23,248
バイリンガル	2,181,021	1,790,524	495	2,686	374,308	13,008
マヤ語	259,331	55,660	176	87	202,790	618
シンカ語	2,121	675	―	8	1,429	8
ガリフナ語	2,302	983	9	―	1,295	15
スペイン語	1,744,555	1,729,587	279	2,457	―	12,342
その他	172,602	3,618	31	134	168,794	25
モノリンガル	8,102,366	1,383,859	788	878	6,706,601	10,240

出典:2002 年グアテマラ国勢調査(グアテマラ国立統計院) p.35

しかし、2001 年のグアテマラ国立統計院プロジェクトでは、サンタ・ロサ県チキムリジャ村にシンカ語話者が 18 名いたと報告されている（Richards 2003:88-89)。また、筆者が 2006 年 8 月と 2007 年 8 月にサンタ・ロサ県グアサカパンのシンカ団体を訪問したところ、言語運用能力のある話者は、グアサカパンの他にも、同県サン・フアン・テクアコ村に若干名存在し、いずれも 80 才を超える高齢者であるとのことであった。この他、サンタ・ロサ県のタシスコ、サンタ・マリア・イシワタン、フチアパ県のフチアパ、ユピルテペケなどにも高齢の話者がいるとのことであった。

2007 年 8 月、グアサカパンのシンカ団体関係者を訪問した際、エルサルバド

[8] 原文は “idioma en que aprendió a hablar” となっている。両親が先住民言語話者でも、子供の言語獲得がスペイン語で行われるケースも多いため、「母語」という項目名は使用されていない。ここでは、「第一言語」と訳出する。

[9] 原文は “otro idioma que habla” となっている。

ルの先住民とよく似た抑圧の体験を聞くことができた。1931 年から 1944 年のウビコ軍事政権のもと、土地を没収され、安価な労働力として搾取され、民族服着用やシンカ語使用、伝統的祭祀の実施などは禁止されたという。その状況は改善されることなく政治的混乱と内戦に巻き込まれていったという。実際、グアテマラ東部のシンカの集落を訪れると、マヤ地域とは対象的に、民族服や先住民言語など文化的象徴は見られない。一見、ラディーノ社会のように見うけられる。

シンカという存在がグアテマラ社会に再登場することに至ったのは、「先住民族合意」のおかげである。独自の文化的象徴が薄れ、外見的に「ラディーノ化」したのは、決して彼らの意思ではなく、権力者の暴力に起因すると認められたのである。そして、全ての先住民とその文化は、本来の形で存続出来る空間と社会的理解を得る権利がある、ということが確認されたのである（Zuleta, C.Nassar y F. Gamarro 2003:83）[10]。

国勢調査の調査方法に少なからず不備はあったと思われるが、これらの数字から彼らの現実を読み取ることができる。「先住民族合意」によって、長期にわたる抑圧の歴史の過程で言語運用能力は保持していないものの、シンカに帰属すると自認している人々が登場し、自らの民族的アイデンティティを主張し始めたことを物語っているのではないだろうか。

中米の先住民に関する政策や活動に関しては、マヤ系先住民が人口の約半数を占めるグアテマラが主導的立場を果たしている。このようなグアテマラにおける動向が、抑圧の歴史を経て消滅の危機にある隣国エルサルバドルの少数先住民の人々や関係当局に影響を与え、2007 年のエルサルバドルの国勢調査にもその影響が反映されたのではないか。現在シンカの人々は先住民として様々な権利を要求する活動を始めている[11]。

３．ピピル語と先住民文化の保存・復興にむけての取り組み

ユネスコによる「世界無形文化遺産保護条約」第 2 条では、「口承による伝統および表現（無形文化遺産の伝達手段としての言語を含む）」と、言語の無形文化遺産的価値が認められている[12]。各民族の英知の宝庫としての言語が失われる前に、危機言語を急いで記録し、文化遺産として保護することが謳われている。

---

[10] 人類学者のレトニア・スレタによれば、「ラディーノでなければ先住民である」という対立項関係で帰属民族グループを自己定義するならば、この地域における先住民人口 70,000 人を数えるという（ibid: 83）。

[11] 2012 年 4 月に土地奪回を求めてマヤの人々とデモ行進を行い（Prensa Libre 紙 2012 年 4 月 10 日 ）、同年 8 月にも教育省に対し、シンカの伝統的文化教育を認めるよう支援を求める（Prensa Libre 紙 2012 年 8 月 29 日）など、シンカの活動は同国の主要紙で報道されている。

[12] ユネスコ無形文化遺産保護の条約：http://www.mext.go.jp/unesco/009/003/016.pdf.

このような動きを受け、内戦終結早々の 1992 年、全国先住民審議会（Consejo Coordinador Nacional Indígena Salvadoreño、CCNIS）が設立された。その後、国立エルサルバドル大学やドン・ボスコ大学において、先住民言語調査が始まり、復興・保存の取り組みが始まるようになる（カステジャーノス　2012:26-34）。

2009 年に就任した、元反政府ゲリラの政党 FMLN（ファラブンド・マルティ民族解放戦線）から出馬した穏健左派のマウリシオ・フネス大統領は、大統領府社会包摂局（Secretaría　de Inclusión Social）に先住民課を設置した。その担当業務は、①国連の ILO169 号条約など先住民関連条約の批准を推進すること、②先住民文化、伝統、習慣を認め、国家レベルで奨励し、必要な政策を主導すること、③先住民の生活向上のため、市民権を守り、さらに政治・経済・社会・文化面の支援を行うことなどである[13]。

先住民課の主催で、2010 年 10 月に第１回先住民会議（Primer Congreso Nacional Indígena）が開催された（写真１）。この先住民会議開催の目的として次の 5 点が挙げられている。

① 住民の様々な表現活動へ便宜を図る。
② 先住民の現状を把握する。
③ 先住民の活動のコンセンサスを求める。
④ 先住民と政府の対話の場を設ける。
⑤ 2012 年実施予定の国勢調査で先住民関連の質問事項担当部署を設ける。

数日間の会議で、全国の先住民から国家審議会メンバー６名が選出された。西部（ナワ－ピピル）２名、中央部（ノノアルカ、チョルティ[14]）２名、東部（カカウィラ、レンカ）２名という構成で、具体的な作業部会を行うことになった[15]。

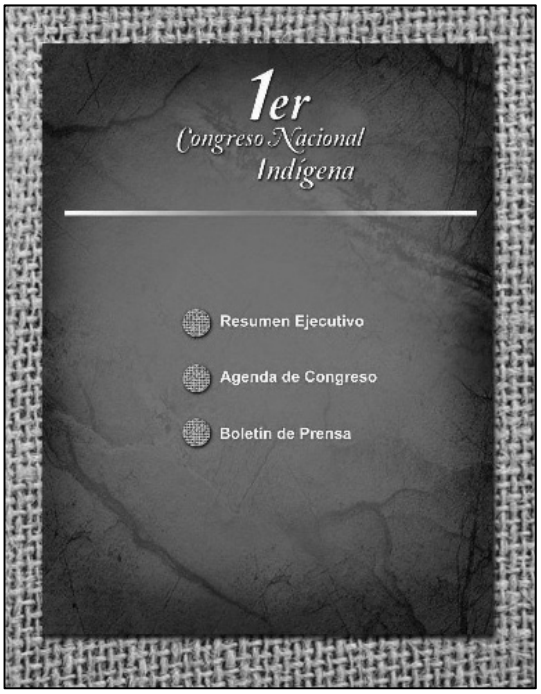
---

[13] エルサルバドル大統領府:http://www.presidencia.gob.sv/(閲覧日 2010 年 10 月 15 日)。

[14] 現在エルサルバドルでは、地域的分類が民族名に反映される傾向がある。ノノアルカは、エルサルバドル中央部、ラパス県サン・フアン・ノノアルコとサンテイィアゴ・ノノアルコの民族を指すが、言語学的にはナワ‐ピピル語に分類される。また、チョルティは、マヤ・チョルティを指し、2007 年の国勢調査の先住民グループ別においては「その他」に分類されたと思われる。

[15] なお、2012 年 4 月以降の大統領府社会包摂局のホームページには、その後の先住民会議の進展に関する情報はない。現在の主な政策課題としては、食の安全、女性に対する支援、青少年に対する支援、の 3 点があげられているが、先住民関係の記述は見られない。この点に関して、今後さらなる追跡調査が必要である。

写真１　第１回先住民会議パンフレット表紙



出典　エルサルバドル大統領府ホームページ（閲覧日 2010 年 10 月 15 日）

終　章

本論文において、植民地時代のグアテマラ総監領南部（現在のエルサルバドルに相当する地域）で話されていたナワ系言語であるピピル語の言語学的、歴史学的、社会学的特性の解明と考察を試みた。ピピル語は、リンガ・フランカとして多言語社会のヌエバ・エスパーニャ全域で機能していたナワ系言語の最南端の言語変種の一つであった。しかし、植民地時代、その後の近代国民国家形成の過程、長期の内戦時代を経た現在、ピピル語は消滅の危機に瀕している。

本論文では、数少ない植民地時代のピピル語史料であるエルサルバドルのサンタ・アナ市カテドラル所蔵の『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』を取り上げた。書記言語として機能していた古典ピピル語を提示するとともに、形態統語論的分析を通じて言語の根幹を分析した。

この論文を締めくくるにあたり、長い歴史の中で、中米におけるナワ系言語が多言語社会で、どのように変遷したのか、この研究で取り上げた次の 4 つの論点からまとめることにしたい。

１．リンガ・フランカとしてのナワ系言語

メシーカ王国の言語で現在もメキシコ中央高原を中心に話されるナワトル語（náhuatl）に代表されるナワ系言語は、先スペイン期には広域商人の活動やメシーカ王国拡大にともない、多言語社会であるメソアメリカの広範囲でリンガ・フランカとして機能していた。植民地期には、その機能を統治活動に利用しようと、スペイン人がナワトル語を研究・習得したため、支配者と被支配者の間における媒介言語としての役割を担っていた。

第 4 章で見たとおり、植民地時代、エルサルバドルにはマヤの人々も住んでいた。16 世紀半ばの同国西部のアワチャパンでの記述のように、母語はマヤ語であるが、外部との接触の際は、ピピル語を使用していたと思われる事例がある。また、サンタ・アナ市に隣接するチャルチュアパも、古くはマヤ・ポコマンの人々が住んでいたが、18 世紀の記録によると、彼らはピピル語も話せたようである。マヤの人々にとって、ナワ系言語であるピピル語は多言語社会で生きるためのリンガ・フランカとして機能していたことがわかる。

植民地時代に入り、スペイン語とそれによる新しい概念が加わった中米においては、ナワ系言語のこのような機能は、スペイン人側にとって先住民らを統治するための有益な媒体として機能していた。18 世紀にエルサルバドルを訪問したコルテス・イ・ララスは、「メシーカ語（ナワ系言語、ここではピピル語を指す）を母語とする人々は、スペイン語も既に習得しているが、それ以外の言

語（マヤ諸語）を母語とする人々は、未だスペイン語を介さない」と記している（Cortes y Lárraz1958：41)。植民地政府への抵抗を止めなかったマヤの人々に対する統治やキリストの布教にも、ナワ系言語は媒介言語として機能していた。歴史学者のマシューは、征服以降、グアテマラに残留したメシーカ王国やトラスカラ王国の人々は、早くからスペイン語を受容し、スペイン人社会に柔軟に対応していたことを立証し、いわゆる「ラディーノ」の先がけであったとしている（Matthew2004:188-189)。

このようにナワ系言語は、支配者と被支配者の間を媒介するリンガ・フランカとして機能していたがゆえに、植民地統治や布教目的で、広い地域においてナワ系言語で文書が記された。本論文でとりあげたピピル語文書のように、植民地統治中心地から遠隔の地で、ローカルな必要性によって作成されたものも少なくない。これらの文書は当時の言語資料として貴重であるばかりではなく、各地方史の発展に寄与するものである。

２．ナワ系言語の複統合語的特徴

第 5 章でリベラ・グアテマラ司教によるサンタ・ベラクルス運営のための規則、「リベラ訓令」のピピル語テキストの言語学的分析を行った。そのテキストには、スペイン語の要素が多く導入されており、スペイン語の新しい概念を受容していることを確認した。原文はスペイン語であるが、1753 年作成のピピル語文の写しが存在することから、同訓令は約 100 年にわたってピピル先住民の間で効力を発揮していたと考えられる。

ナワ系言語は植民地時代末期までリンガ・フランカとして、ヌエバ・エスパーニャで通用していたが、その理由として、先述の先スペイン期からのリンガ・フランカとしての機能の他に、植民地政府がナワトル語圏の心臓部とも言えるテノチティトラン（現在のメキシコ市）に置かれたことも挙げられる。第 3 章で述べた通り、修道士らはメシーカの貴族や子弟をキリスト教義の担い手として育成し、修道士らもまたメシーカの言語を学び、数々の文法書や辞書が編纂された。

一方ナワ系言語の言語学的本質に着目すると、複統合的特徴によって、新しい概念に柔軟に応じる機能が備わっていることもまた、リンガ・フランカとして使用された理由だとも考えられる。

第 5 章で取り上げた語彙論的分析の結果、このテキストにおいては、植民地統治によってもたらされた新しい概念が、スペイン語からの借用語として導入され、ピピル語とスペイン語の混成表現も少なからず見られることが判明した。それらの用例には、コフラディアの運営に関するグアテマラ司教区側の政治的

意図も反映されたものもあると思われる。

一例をあげると、先住民が重要視してきた尊敬の接尾辞-tzin は、スペイン王とキリスト神には見られるが、コフラディア役職名になっている植民地体制の役職名や聖職者の役職名には見られない。また、コフラディアの金庫を管理する帳簿（libro）は、to uei *libro*（我らの古き尊敬すべき‐帳簿）とナワ系言語の敬意を表す形容詞が付けられていた。当時、遠隔地のコフラディア運営の不正が問題となっていたが、このようなナワ系言語本来の形態統語上の柔軟性を利用して、リベラ司教の政治的意図が訓令に巧みに組み込まれた用例だと考えられる。

使役表現としては、ナワ系言語はもともと動詞語幹に使役の接尾辞、－tia,-tia を付加させる機能があるが、第 5 章で示したとおり、スペイン語の使役表現「hacer(させる、行う、作る)＋動詞不定詞」に、ナワ系言語動詞の chiua（行う、作る）を適用し、「chiua ＋スペイン語動詞不定詞」が効果的に使用されていた。ロックハートによれば、この用例が頻繁に使用されるのは 17 世紀からだという（Lockhart 1999:430-431,467)。

この他、第 2 章でも少し言及したが、ナワ系言語は音声体系が他の先住民語よりもスペイン人に馴染み易く、アルファベットで比較的困難なく表記できるものであったことも、リンガ・フランカとしての機能を維持するために有利に働いたと推測される。マヤ諸語やオアハカ地方のミステカ語やサポテカ語は、子音体系が複雑な上に音調があり、アルファベット表記化が困難だとされる。

したがって、ナワ系言語は、スペイン人にとって、スペイン語の概念を導入させやすい複統合語的性質であったことに加え、音声学的にも馴染み易い言語であったため、植民地時代末期に至るまでリンガ・フランカとして機能していたと考えられる。

３．消滅の危機言語へ

1821 年にスペインから独立した後、中米諸国では、「非文明の先住民の文明化」という近代国民国家形成をめざす新政権が掲げたという大義によって、先住民族の歴史ある言語や文化は、社会の周縁に追いやられることになった。植民地時代には、リンガ・フランカとして一定の機能を果たしていたピピル語は、その機能を、公用語・国語となり、やがて先住民にとっても母語となっていくスペイン語に取って代わられ、少数言語となっていった。

鉱物資源に乏しい中米は、植民地時代から近代に至るまで農業が主要産業であるがゆえに、「土地」とそれを耕す「労働力」が利益の源であった。「独立」が先住民に与えた最も大きな影響は、植民地時代にはスペイン王室の命によっ

て確保されていた、先住民と彼らの共有地に対する保護が一挙に失われたことである。その結果、クリオーリョがその巨大な農地を手中に入れ、先住民はその新しい地主の下、主要産業・農業の安価な労働力として、近代国家形成に組み込まれていくこととなる。

ピピルの人々にとって最大の惨事は、第 6 章で述べた 1932 年の西部コーヒー農園地帯における政府軍による大虐殺であった。それを境に、彼らは言語、習慣、民族服などの文化的象徴を自ら隠蔽して「見えない存在」となって生活することとなった。20 世紀の後半には、中米は長期軍事政権と反政府ゲリラとの内戦時代に進み、先住民も紛争に巻き込まれざるを得ない時代となる。

エルサルバドルでは 1992 年に内戦が終結し、民主化政策と、先住民の権利を見直す世界的な潮流も助けとなって、先住民の存在が、徐々に社会的に認識されるようになっていく。しかし、その時既に、先住民は少数民族となっており、その言語は消滅の危機に瀕していた。2007 年に同国史上初めて民族名を記して実施された国勢調査において、先住民人口は総人口に対して、わずか 0.2 パーセント（11,500 名）であった。さらに、生きた言語、話者人口としては、ピピル語は約 200 名、カカウィラ語は約 300 名とされる。これらの数字は、先住民が生きてきた長い抑圧の歴史を物語っているのは明らかである。

母語としての機能はスペイン語に代わったとしても、0.2 パーセントという国勢調査結果は、先住民文化やその言語にアイデンティティーを見出す人々が、ようやく「見える存在」として姿を現し始めたことの表れではないか。さらに、この国勢調査によって、長年にわたって社会の周縁においやられた少数民族の存在を広く社会に認知させた意義は大きいと考える。

メキシコは 1900 年代初期から言語を主軸に国勢調査を行ってきた。当然先住民を、スペイン語を国語とするメスティーソ社会へ統合しようとする国策が働いたものであるが、研究者や関係者の先住民言語への高度なこだわりもあり、少なくとも多文化共生に国をあげてこだわってきた証拠である（黒田　2004：297)。それに対して中米は 2000 年代に入るまで、民族グループの分類は、先住民－非先住民という 2 項のみであった。すなわち、政府は個々の先住民とその言語を無視して統合しようとしてきたと言える。もしくは、エルサルバドルなどは、長きにわたる抑圧の過程で、先住民らが「見えない存在」となるために、表面的にバイリンガル化やスペイン語化の道を選んだからかもしれない。

４．エルサルバドルの少数民族文化・言語の保護と復興の動き

ユネスコの「世界無形文化遺産条約」第 2 条で「口承による伝統および表現（無形文化遺産としての伝達手段としての<u>言語</u>を含む)」（下線部強調筆者）と

定義され、言語の無形文化遺産としての価値が認められている。それを受けて、現在、世界各地の少数言語が消滅する前に、言語を文化遺産として記録し、保護しよう、さらには復興させようとする活動が行われている。

エルサルバドルでは、2009 年に就任した穏健左派のフネス大統領が、2010 年に大統領府に先住民課を設置し、国連の先住民関連条約の批准の推進、文化、習慣、伝統の奨励、生活向上と市民権の確保、などに積極的に取り組む姿勢を示している。同年 10 月には、第 1 回先住民会議を開催し、政府と先住民の対話の場を持った。

フネス大統領は、内戦終結後の民主化政策の中で、一番後回しにされてきた先住民問題に、具体的に着手しているようである。現在同国の様々な関係機関の主導により先住民言語保存・復興活動や先住民文化啓蒙活動が盛んに行われているが、これもまた同国の民主化進展の一つの証である。またそれは、厳しい時代を生き、高齢になった今もなお、母語や文化の継承に熱意を注ぐ、話者の存在なしには実現出来なかったことでもある。さらに、言語は失われても人と文化は、時代に適応しながら存続する。国勢調査で大多数を占めた「メスティーソ」の人々も、たとえ言語学的出自は先住民語に見出していなくとも、その伝統文化をいくらか継承していることには変わりないだろう。

2012 年は和平合意調印からちょうど 20 周年の節目の年である。和平合意締結記念日の同年 1 月 16 日、フネス大統領は内戦中最も多くの犠牲者を出した東部のモソテ村での式典において、歴代の大統領としては初めて、内戦の政府の責任を認め、国民に謝罪した。

いったん消滅の危機に瀕した言語を復興するのは、一般的には至難の業だとされるが、民族の無形文化遺産である言語を記録し、未来へ伝えていく取り組みが今後進展することを願ってやまない。

植民地時代に先住民言語で書かれた文献は、一部を除き、オーラル言語をアルファベットで書き取ったものである。そのため、主語、述語、直接・間接目的語などの関係を見極める形態統語論的解読を行う上で、大きな支障であるが、それを克服することが古典ナワ系言語文書研究の課題でもある。

本論文で取り上げた『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』のピピル語文書のテキスト化と解読には、かなりの忍耐と時間と労力を要した。しかしながら、形態統語論的分析を示すことによって、不明な部分を残しながらも、現在消滅の危機に瀕しているピピル語の植民地時代の言語学的実像の一端を提示することができたように思う。

ピピル語テキストの解読では、古典ナワトル語文法書や辞書の他、現代ピピ

ル語研究から貴重な手がかりを得ることができた。また、言語学的考察に留まらず、その言語の発話者らが生きた時代と社会により深い洞察をめぐらせる視点が不可欠であることは言うまでもない。本論文の舞台となった中米は、発表されている史料自体未だ少ない地域であるが、16 世紀末から 18 世紀にスペイン人が記した『地理報告書』や『教会視察記録』などの「他者」（先住民）に関する記述や、関連の歴史学研究が大きな助けとなった。

しかしながら、現段階では、時間と筆者の能力的限界により、多くの疑問や分析が足りない部分が残されている。それらは今後の課題として、今後も研究を続けて行きたい。

参　考　文　献

【略語凡例】

AGCA　Archivo General de Centroamérica, Guatemala.
AGN　Archivo General de la Nación, México.
CONCULTURA Consejo Nacional de Cultura y Arte, El Salvador.
CIESAS　Centro de Invetigaciones y Estudios Superiores en Antropología Social, México.
FCE　Fondo de Cultura Económica, S.A., México.
FLACSO　Facultad Latinoamericana de Ciencias Sociales.
INAH　Instituto Nacional Antropología e Historia, México.
INI　Instituto Nacional Indigenista, México.
UNAM　Universidad Nacional Autónoma de México, México.

〈未刊行文書史料〉

Libro de Cofradía de la Santa Veracruz , Archivo de la Catedral de Santa Ana, El Salvador.
AGN, Hospital de Jesús, Vol. 67. exp.2,
AGCA, A1.11.3, Leg.6057, Exp.53710, folio.1-3,
（Asociación para el Fomento de Estudios Históricos en Centroamérica,
http://afehc-historia-centroamericana.org/　（最終閲覧日 2010 年 7 月 15 日）

〈一次資料〉

Carochi, Horacio
1983　*Arte de la Lengua Mexicana,* UNAM, México.
Ciudad Real, Antonio de
1993　*Tratado Curioso y Docto de las Grandezas de la Nueva España I*, UNAM, México.
Cortés y Larraz, Pedro
1958　*Descripción Geográfica-Moral de la Diócesis de Goathemala, I y II,* Sociedad de Geografía e Historia de Guatemala, Guatemala.
Cuevas, Mariano
1924　*Historia de la Iglesia en México, Tomo III*, Imprenta del Asilo “Patricio Sanz”, México.
Eduardo Arellano, Jorge(ed.)
1984　*El Gueguense o Macho Raton*, Ediciones Americanas, Managua.
Fuentes y Guzmán, D. Francisco Antonio de

1932 *Recordación Florida I,II,III,* Sociedad de Geografía e Historia de Guatemala, Guatemala.

Instituto Nacional de Estadística de Guatemala

2003 *Censo de Población y Vivienda de Guatemala en 2002,* Guatemala.

Instituto Nacional de Lenguas Indígenas de México

2008 *Catálogo de las Lenguas Indígenas Nacionales*, México.

Luz, Christopher H. y Karen Dakin

1996 *Nuestro Pesar Nuestra Aflicción- tunetuliniliz, tucucuca, memorias en lengua náhuatl enviadas a Felipe II por indígenas del Valle de Guatemala,* UNAM/Centro de Investigaciones Regionales de Mesoamérica, México y Guatemala.

Memorial de Sololá Anales de los Cakchiqueles

1980 FCE, México.

Mendieta, fray Gerónimo de

1980 *Historia Eclesiástica Indiana,* Porrúa, S.A., México.

Molina, Fray Alonso de

1992 *Vocabulario en Lengua Castellana y Mexicana y Mexicana y Castellana*, Porrúa, México.

Olmos, Fray Andrés de

1993 *Arte de la Lengua Mexicana*, UNAM, México.

"Ordenanzas de Cuauhtinchan año 1559"

1988 *Documentos sobre tierras y señorios en Cuahtinchan*, Taducción por Luis Reyes García, Gobierno del Estado de Puebla, CIESAS y FCE, México.

Ortiz de la Tabla, Javier, Bibiano Torres Ramirez y Enriqueta Vila Vilar et al.(Coord.)

1984 *Cartas de Cabildos Hispanoamericanos-Audiencia de Guatemala* ,Escuela de Estudios Hispanoamericanos, Sevilla.

Relaciones Geográficas del Siglo XVI , Vol.1 Guatemala

1982 Edición de René Acuña, UNAM, México

Relaciones Geográficas e Históricas del siglo XVIII del Reino de Guatemala

2006 Tomo I, Edición de Jorge Luján Muños, Universidad del Valle de Guatemala, Guatemala.

Reyes García, Luis

1988 *Documentos sobre Tierras y Señoríos en Cuahtinchan*, CIESAS y FCE, México.

Ruz, Mario Humberto, coordinador

2002-2008 *Memoria Eclesial Guatemalteca-visitas pastorales, 4 tomos*, UNAM,México.

Ximénez, Fray Francisco
1930 *Historia de la Provincia de San Vicente de Chiapa y Guatemala II*, Sociedad de Geografía e Historia de Guatemala, Guatemala.

〈欧語文献〉

Adams, Richard N.
1993 "Etnia y Sociedades(1930-1979)", *Historia General de Centroamérica V,* ed. Héctor Pérez Brignoli, Sociedad Estatal Quinto Centenario y FLACSO, Madrid, pp.165-243.
1995 *Etnias en Evolución Social- Estudios de Guatemala y Centroamérica,* Universidad Autónoma Metropolitana, México.
Asselbergs, Florine
2004 *Conquered Conquistador - Lienzo de Quauhquechollan: a nahua of the conquiest of Guatemala,* CNWS Publications, Leiden.
Barón Castro, Rodolfo
2002 *La Población de El Salvador*, CONCULTURA, San Salvador.
Boas, Franz
1917 "El dialecto mexicano de Pochutla, Oaxaca", *International Journal of American Linguistics*, Vol.I-No. 1 , New York, pp.9-44.
Browning, David
1975 *El Salvador la Tierra y el Hombre,* Ministerio de Educación, San Salvador.
Campbell, Lyle
1985 *The Pipil Language of El Salvador,* Mouton Publishers, New York.
1997 *American Indian Languages-The Historical Linguistics of Native America*, Oxford Studies in Anthropological Linguistics, Oxford University Press, Oxford.
1998 *Historical Linguistics-An Introduction*, Edinburgh University Press, Edinburgh.
Cifuentes Bárbara
1998 Letras sobre Voces- Multilingüísmo através de la historia, INI y CIESAS, México.
Comité Técnico Multisectorial para los Pueblos Indígenas de El Salvador
2004 *Perfil de los Pueblos Indígenas de El Salvador*, Ministerio de Educación, CONCULTURA, Pueblos Indígenas, Banco Mundial, Unidad Regional de Asistencia Técnica RUTA, San Salvador.
Dakin, Karen
2009 "Algunos documentos del sur de Mesoamérica", *Visiones del Encuentro de Dos Mundos en América,* Editado por Karen Dakin, Mercedes Montes de Oca

y Claudia Parodi, UNAM, México, pp.247-269.

2010 "Lenguas francas y lenguas locales en la época prehispánica", *Historia Sociolingüística de México, vol.1,* Barriga Villanueva, Rebeca y Butragueño, Pedro Martín directores, El Colegio de México, México, pp.161-183.

Domínguez Sosa, Julio Alberto

2006 *Anastasio Aquino-caudillo de las tribus nonualcas,* Universidad Francisco Gavidia, San Salvador.

Feldman, Lawrence

1974 "Papers of Escuintla and Guazacapan", *Occasional Publications in Mesoamerican Anthoropology, No.7*, University of Northern Colorado, Colorado.

Fonseca Corrales, Elizabeth

1993 "Economía y sociedad en Centroamérica (1540-1680)", *Historia General de Centroamérica II,* Sociedad Estatal Quinto Centenario y FLACSO, Madrid, pp.95-150.

García de León, Antonio

1976 *Pajapan-un Dialecto Mexicano del Golfo*, INAH, México.

Geoffroy Rivas, Pedro

1969 *El Nawat de Cuscatlan- apuntes para una gramática tentativa*, Ministerio de Educación, San Salvador.

1982(1961) *Toponimía Nahuat de Cuscatlan*, Ministerio de Educación, San Salvador.

González Acosta, Alejandro

2001 "Migraciones tlaxcaltecas hacia Centro y Sudamérica-la otra frontera, el sur", *Revista de Historia de América*, No.129, Instituto Panamericano de Geografía e Historia, México, pp.103-144.

Gómez, Ana Margarita y Sajid Alfredo Herrera

2003 *Mestisaje, Poder y Sociedad*, FLACSO, San Salvador.

Hall, Carolyn and Hector Peres Brignoli

2003 *Historical Atlas of Central America*, University of Oklahoma Press, Norman.

Herrera,C, V.Peralta, B.Von.Mentz y E.Rockwell

2007 "La repentina muerte de Catalina Toztlapal: Análisis y traducción de un texto náhuatl de 1562", *Estructura, Discurso e Historia de Algunas Lenguas Yutoaztecas*, G.Betancourt y J.L.M.Zamarrón Coord. INAH, México, pp.149-184.

Introducción a la Paleografía

1981(1978)AGN, México.

Instituto Geográfico Nacional de El Salvador

1992 *Santa Ana-monografías del departamento y sus municipios*, San Salvador.

Juarros, Domingo

1981 *Compendio de la Historia del Reino de Guatemala*, Ed. Piedra Santa, Guatemala.

Karttunen, Frances

1981 *An Analytical Dictionary of Nahuatl*, Universitiy of Oklahoma.

Karttunen, Frances and James Lockhart

1976 *Nahuatl in the Middle Years*, University of California Press.

King, Alan R.

2004 "El náhuat y su recuperación", *Científica 5*, Universidad Don Bosco, San Salvador, pp.51-70.

Lara –Martínez, Rafael y Rick Macellister

? *Glosario Cultural Nahuat Pipil y Nicarao- El Güegüense y Mitos en lengua materna de los pipiles de Izalco,* New Mexico Universitiy & Delaware State Universitiy.

Lara Martínez, Carlos Benjamín

2006 *La Población Indígena de Santo Domingo de Guzmán-Cambio y continuidad sociocultural,* CONCULTURA, San Salvador.

La Farge, Oliver

1994 *La Costumbre en Santa Eulalia,* Ediciones Yaxte, Guatemala.

Larde y Larin, Jorge

1975 *Toponimía Autóctona de El Salvador Oriental*, Ministerio del Interior, San Salvador.

Lastra de Suárez, Yolanda

1986 *Las Areas Dialectales del Náhuatl Moderno*, UNAM, México.

2003 *Sociolingüística para Hispanoamericanos*, El Colegio de México, México.

Launey, Michel

1992 *Introducción a la Lengua y a la Literatura Náhuatl*, UNAM, México.

León-Portilla, Asensión

1988 *Tepuztlahcuilolli-impresos en náhuatl*, UNAM, México.

León-Portilla, Miguel

1972 "Religión de los nicaraos. Análisis y comparación de tradiciones culturales nahuas", *Estudio de Cultura Náhuatl Vol. 10,* UNAM, México, pp.11-112,.

1978 "Un texto en nahua pipil de Guatemala, siglo XVII", *Estudio de Cultura Náhuatl Vol. 13,* UNAM, México, pp. 35－47.

1996 *El Destino de la Palabra,* FCE, México.

Lockhart, James

1999 *Los Nahuas después de la Conquista*, FCE, México.

Lutz, Christopher H. y W.George Lovell

2000 *Demografía e Imperio- Guía para la Historia de la Población de la América Central Española 1500 -1821,* Editorial Universitaria de la Universidad San Carlos, Guatemala.

Lutz, Christopher H.

2005 *Santiago de Guatemala-Historia Social y Económica 1541-1773,* Editorial Universitaria de la Universidad San Carlos, Guatemala.

MacLeod, Murdo J.

2008 *Spanish Central America-A socioeconomic history 1520-1720*, University of Texas Press, Austin.

Matos Moctezuma, Eduardo

1981 "Notas de folklore: la historia de Montizuma,, indio mejicano, y Hernán Cortés, español", *Estudios de Cultura Popular,* INI, México, pp.35-53.

Matthew, Laura E.

2004 *The Mexican Indian Conquistadors of Colonial Guatemala*, University Pennsylvania, (Phd. Tesis).

Matthew, Laura E. And Sergio F. Romero

2012 "Nahuatl and Pipil in Colonial Guatemala: A Central American Counterpoint", *Ethnohistory Vol.59, No.4*, American Society for Ethnohistory, pp.765-783.

Martínez Peláez, Severo

1998 *La Patria del Criollo- Ensayo de interpretación de la realidad colonial guatemalteca,* FCE, México.

Martínez Peñate, Oscar (coordinador)

2003 *El Salvador- Historia General*, Editorial Nuevo Enfoque, San Salvador.

Ministerio de Educación, El Salvador

1994 *Historia de El Salvador I* , San Salvador.

Montes, Santiago

1977 *Etnohistoria de El Salvador-Cofradías Hermandades y Guachivales, I y II*, Ministerio de Educación de El Salvador, San Salvador.

Oss, Adrian C.van

2002 *Catholic Colonialism-a parish history of Guatemala 1524-1821*, Cambridge Universiry Press, London.

Palomo Infante, María Dolores

2009 *Juntos y Congregados-*
Historia de las Cofradías en los Pueblos de Indios Tzotziles y Tzeltales de Chiapas (Siglos XVI al XIX), CIESAS, México.

Richards, Michael
2003 *Atlas Lingüístico de Guatemala*, Secretaría de Paz, Universidad del Valle, Universidad Rafael Landívar, USAID, Guatemala.

Ramírez Montes, Mina
1990 *Manuscritos Novohispanos-Ejercicios de Lectura*, UNAM, México.

Reyes García, Luis
1961 "Documentos nahoas sobre el Estado de Chiapas", *Los Mayas del Sur y sus Relaciones con los Nahuas Meridionales,* VIII Mesa Redonda de la Sociedad Mexicana de Antropología, México, pp. 167-193.
1996 "El término calpulli en documentos del siglo XVI", en Reyes García et al. En Reyes García et.al. *Documentos Nauas de la Ciudad de México del Siglo XVI*, AGN, México, pp.12-68.

Rojas Lima, Flavio
1988 *La Cofradía*, Seminario de Integración Social de Guatemala, Guatemala.

Schroeder, Susan
1991 *Chimalpahin y los Reinos de Chalco*, El Colegio Mexiquense, México.

Schultze Jena, Leonard
1977 *Mitos y Leyendas de los Pipiles de Izalco,* Ed. Cuscatlán, El Salvador.
1982 *Gramática Pipil y Diccionario Analítico*, Federación de Caja de Crédito, San Salvador.

Sosa, Francisco
1978 *El Episcopado Mexicano*, Editorial Innovación S.A., México.

Stoll, Otto
1958 *Etnografía de Guatemala,* Seminario de Integración Social Guatemalteca No.8, Editorial del Ministerio de Educación Pública, Guatemala.

Suárez, Jorge A.
1995 *Las Lenguas Indígenas Mesoamericanas,* INI y CIESAS, México

Tsuruga, Kimiko
2000 "Apuntes sobre la Lengua Pipil de El Salvador – presente y pasado", *Chalchuapa*, Ed.Kuniaki Ohi, Universidad de Estudios Extranjeros de Kyoto, pp.279-294.

Valiñas, Leopoldo
2010 "Historia lingüística: migraciones y asentamientos. Relaciones entre pueblos y

lenguas", *Historia Sociolingüística de México, vol.1,* Barriga Villanueva, Rebeca y Butragueño, Pedro Martín directores, El Colegio de México, México, pp.97-160.

Von Menz, Brígida

2008 *Cuahnahuac 1450-1675 su historia indígena y documentos en "Mexicano"*, Porrúa, México.

Webre, Stephen

2003 "Poder e ideología: la consolidación del sistema colonial(1542-1700)", *Historia General de Centroamérica*, Sociedad Estatal Quinto Centenario y Facultad Latinoamericana de Ciencias Sociales, Madrid,pp. 151-218.

〈邦語文献〉

青柳真智子編

2004 『国勢調査の文化人類学-人種・民族分類の比較研究』、古今書院

井上幸孝

2009 「植民地時代メキシコの先住民社会に関する歴史的研究の進展と可能性」、『神戸市外国語大学外国学研究 72』神戸市外国語大学外国学研究所、pp.1-23.

岡本信照

2002 「黄金世紀における俗語文法出現の意義」,『イスパニア図書５』京都セルバンテス懇話会編、pp. 64–78.

2011 『「俗語」から「国家語」へ - スペイン黄金世紀の言語思想史』、春風社

オクタビオ・パス著　林美智代訳

2006 『ソル・フアナ＝イネス・デ・ラ・クルスの生涯－信仰の罠』、土曜美術社出版販売

小澤卓也

2009 『先住民と国民国家-中央アメリカのグローバルヒストリー』、有志舎

カステジャノス、マリア、佐野直子、敦賀公子

2012 『たちあがる言語・ナワト語－エルサルバドルにおける言語復興運動』グローバル社会を歩く研究会、新泉社

亀井孝・河野六郎・千野栄一　編著

1992 『言語学大辞典 第 4 巻』三省堂

1996 『言語学大辞典 第 6 巻』三省堂

カルヴェ、ルイ＝ジャン

1996 『超民族語』田中克彦解説　林正寛訳、白水社

2001 『社会言語学』萩尾生　訳、白水社

2006 『言語学と植民地主義』砂野幸稔　訳、三元社

川村信三

2003　『キリシタン信徒組織の誕生と変容－「コフラリヤ」から「こんふらりや」へ』、教文館
木村護郎クリストフ
2009　「異なる言語を用いる人が出会うとき‐媒介言語論の射程と課題」、『媒介言語論を学ぶ人のために』木村護郎クリストフ、渡辺克義　編、pp.1-19、世界思想社
黒田悦子
2004　「第 16 章　メキシコ－先住民統治への国家の意志－」、『国勢調査の人類学－人種・民族分類の比較研究』青柳真智子編、古今書院、pp295-299.
小泉潤二
1994　「境界を分析する‐グアテマラの場合」、『民族の出会うかたち』黒田悦子編、朝日新聞社、pp.61-82.
小林一宏
2005　「スペイン帝国の言語-施策と実情」、『グローバル化する世界と文化の多元性』泉水邦寿・松尾弐之・中村雅治　編著、上智大学、pp.99-130.
小林致広
1986　『沈黙を越えて-中米地域の先住民運動の展開』、神戸市外国語大学外国学研究所
桜井三枝子
1998　『祝祭の民族誌』、(社)全国日本学士会
2000　「エル・サルバドル、サンタ・アナ県チャルチュアパ市の聖週間儀礼に関する一考察」、『チャルチュアパ-エル・サルバドル総合学術調査報告書』大井邦明監修、京都外国語大学、pp.325-350.
桜井三枝子編著
2006　『グアテマラを知るための 65 章』、明石書店
杓谷茂樹
2004　「少数民族‐世界遺産になった人もいるけれど」、『エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグアを知るための 45 章』、明石書店、pp.169-173.
田中克彦
1997　『ことばと国家』、岩波新書
敦賀公子[1]
1996　「マヤ南部地域におけるナワ系集団ピピル領域の文献学的研究」、『ＣＯＳＭＩＣＡ ＸＸＶ』、京都外国語大学、pp.113-135.
1997　「ノノアルカ-古代メソアメリカにおけるある集団の実像について-」、『ＣＯＳＭＩＣＡ　ＸＸＶＩ』、京都外国語大学、pp.25-140.
2000　「エル・サルバドルのピピル語今昔」、『チャルチュアパ-エル・サルバドル総合学術調査報告書』大井邦明監修、京都外国語大学、pp. 302-324.

[1] 筆者五十嵐公子の業績は、全て旧姓「敦賀」で発表している。

2007　「中米におけるナウァ系言語と人々の足跡 : 言語と歴史の研究史-グアテマラ、エル・サルバドルを中心として」、『神戸市外国語大学研究科論集　第 10 号』、神戸市外国語大学大学院外国語学研究科、pp.73-89.
2008　「シンカについての覚書-和平合意後のグアテマラにおけるもうひとつの”nuestra indígena(われらが先住民)”」、『神戸市外国語大学研究科論集　第 11 号』、神戸市外国語大学大学院外国語学研究科、pp.121-137.
2009　「多言語社会の中米におけるリンガ・フランカ－17 世紀ピピル語文書分析－」、『神戸市外国語大学外国学研究 72』、神戸市外国語大学外国学研究所、pp.25-48.
2009　「中米のナウァ系言語特徴に関する一考察-17 世紀ピピル語文書の分析を中心に-」、『京都ラテンアメリカ研究所紀要 9 号』、京都外国語大学、pp.47-66.
二村久則、野田隆、牛田千鶴、志柿光浩
2006　『ラテンアメリカ現代史　III　メキシコ・中米・カリブ海地域』、山川出版
細野昭雄、田中高　編著
2010　『エルサルバドルを知るための 55 章』、明石書店
宮岡伯人・崎山理編、渡辺己・笹間史子監修
2002　『消滅の危機に瀕した世界の言語』、明石書店
森口恒一
1993　「第 6 章　言葉と社会-社会言語学」、『言語学を学ぶ人のために』西田龍雄編、世界思想社、pp.126-148.
八杉佳穂
2006　「36 章　インディヘナの言語-マヤ諸語・シンカ語・ガリフナ語」、『グアテマラを知るための 65 章』桜井三枝子編著、明石書店、pp.176-180.

〈Web サイト〉

エルサルバドル 2007 年国勢調査 : http://www.censos.gob.sv/（最終閲覧日 2011 年 10 月 12 日）
エルサルバドル大統領府 : http://www.presidencia.gob.sv/（閲覧日 2010 年 10 月 15 日）
ナワトル語辞書（ＷＥＢ版）（Dictionnaire de la langue Nahuatl Classique　por Alexis Wimmer ）:　http://sites.estvideo.net/malinal/
プレンサ・リブレ紙（グアテマラ）: http://www.prensalibre.com/
メキシコ先住民言語研究所（INALI）: http://www.inali.gob.mx/
ユネスコ・アジア太平洋センター : http://www.accu.or.jp/ich/en/
ユネスコ『世界の危機言語地図』: http://www.unesco.org/culture/languages-atlas/
ユネスコ無形文化遺産保護の条約 : http://www.mext.go.jp/unesco/009/003/016.pdf
ラ・プレンサ・グラフィカ紙（エルサルバドル）: http://www.laprensagrafica.com/

ーあ　と　が　きー

本論文の主軸は植民地時代のピピル語テキスト解読ではあるが、あえて第 6 章に、現代ピピル語の現状について言及した。中米各国が和平合意へ向かって動き出した頃、筆者は 1989 年から 3 年間、在グアテマラ日本大使館に勤務し、和平への進捗と現地社会の反応を間近で見守る日々を過ごしたが、その時の経験がなければ、この章は書かなかったと思う。

当時グアテマラ市からエルサルバドルに繋がる幹線道路では軍による多くの検問があった。3 年の間でクーデター未遂事件も 2 度起こった。しかし、このような様々な制約がある中でも、友人らといっしょに、よく地方へ出かけた。不穏な政情を除けば、グアテアマラの気候も風土もこの上なく心地よいものだった。人々は、よそ者に対して警戒心が強く閉鎖的な時代ではあったが、誠実でとても親切だった。

さらに、1998 年に初めてエルサルバドルへ赴き、まさかのピピル語話者二人と出会ったことも「現代ピピル語」に言及した理由の一つである。言語調査にご協力頂く傍ら、現在の言語事情や厳しい時代のことも語って下さった。筆者も彼らと同じく、スペイン語は母語ではなく外国語として習得したという点で親近感を持ってもらえたようだった。また、本論文で取り上げた植民地時代のピピル語文書の存在を伝えると、とても誇らしく感じておられたのが印象的であった。内戦の時代を「見えない存在」として生き抜き、和平後は消滅の危機にある言語の数少ない話者として、ようやく社会的に認知された頃であった。

その頃から、「言語」を通して、植民地時代のみではなく、現代の中米社会、特に、多言語社会の変貌とその中での先住民言語について問題意識を持つようになった。厳しい時代を経てもなお、生き続けた話者たちー無形文化遺産である言語を保持し続けた人々ーが、有形ではない遺産を後世になんらかのかたちで伝えようとする動きを本論文の最後に書き留めておきたかった。

1998 年からの言語調査をまとめた小論は、2001 年秋に現地にお届けしたが、お一人は、大変残念なことに、1 年前に他界されていた。非常に悔やまれた。地球規模で言語の消滅が加速化していると言われる現代、民族の宝のつまった言語が、なるべく長きにわたって受け継がれていくことを願っている。

－謝　　辞－

本論文を執筆するにあたり、お世話になった多くの方々に謝意を表したい。

古文書の閲覧と写真撮影のご快諾を頂いたエルサルバドル、サンタ・アナ市カテドラルに勤務されていたアストゥル・ギロア神父をはじめ、同教会関係者の方々に心から感謝の意を表したい。また、1997 年からエルサルバドルでの調査でお世話になっている、サンタ・アナ市の隣町チャルチュアパ市のカサ・ブランカ遺跡公園の皆様には、調査で訪問する度に、暖かい励ましと多大なるご協力を頂いた。同遺跡公園関係者の方々のおかげで、ピピル語の数少ない継承者である、ヘナロ・ラミレス氏ならびに故フアン・ゴンサレスにも出会えた。また、国立エルサルバドル大学のカリ・ロドリゲス先生、ドン・ボスコ大学のホルヘ・レムス先生には、貴重な資料やご教示を頂いた。柴田潮音氏（同国文化庁文化遺産局）、山際秀雄・マルガリータご夫妻（元青年海外協力隊エルサルバドル事務所長）、グアテマラの児島英雄・桂子ご夫妻からは、現地で安心して調査を行う上で、大変心強いご支援と有益な情報を頂いた。この他にも、調査にご協力頂いたエルサルバドルやグアテマラの方々に、この頁をおかりして心から感謝を申し上げる。

神戸市外国語大学大学院博士課程入学時に指導教官をお引き受け下さるとともに、本論文のテーマにご理解を頂き、筆者の遅々とした調査・研究に、辛抱強くお付き合い下さった小林致広先生（現京都大学教授）には、言葉で言いつくせないほど深く感謝している。様々な局面で賜った的確で貴重なご指導がなければ本論文はここまで完成することは難しかったと思われる。あらためてお礼を申し上げる。また、本論文の審査をお引き受け頂き、お忙しい時間をさいて、言語学的分析に大変貴重なご指導を頂いた武内紹人先生（神戸市外国語大学教授）と林範彦先生（同准教授）、並びに 16 世紀スペイン文学の観点から貴重なご意見を頂いた野村竜仁先生（同准教授）、さらに、日本で数少ないヌエバエスパーニャの歴史及びナワトル語文書の研究者で、筆者の研究発表にいつも貴重なご指摘と助言を頂いた井上幸孝先生（専修大学准教授）に、心から感謝の意をお伝えする。そして、桜井三枝子先生（大阪経済大学教授）、牛田千鶴先生（南山大学教授）、佐野直子先生（名古屋市立大学准教授）、井関睦美先生（明治大学准教授）、禪野美帆先生（関西学院大学准教授）、大越翼先生（メキシコ国立自治大学マヤ研究所研究員）からは、研究会や小論執筆の際などで、多くの有益な助言と暖かい激励を頂いた。ここにあらためてお礼を申し上げる。

メキシコでは、古典ナワトル語と現代語調査のご指導を頂いたレオポルド・バ

リーニャス先生（メキシコ国立自治大学人類学研究所）、中米のナワ系言語研究のご指導を頂いたカレン・デイキン先生（同大学先住民言語研究所）、メキシコ高等社会人類学調査研究所（CIESAS）の古典ナワトル語セミナーを主宰されていたホセ・アントニオ先生とバレンティン・ペラルタ先生（現メキシコ国立人類学・歴史学研究所）の他、長年にわたりナワトル語のご指導を頂いたエウスタキオ・C.ソリス先生、並びに同研究所元研究員のコンスタンティーノ・メディナ先生、そして、文書のテキスト化のご指導を頂いたイルドベルト・マルティネス先生に深く感謝している。また、留学時代からの友人である高度調査研究センター（Cinvestav）研究員のマリア・エレナ・マルリ氏と先住民言語研究所（INALI）職員のサシル・サンドバル氏には、帰国した今も、変わらぬ暖かい励ましや貴重な助言を頂いている。彼女たちの長年の友情に、あらためて感謝している。そして、国立人類学・歴史学研究所社会人類学・民族学局のベアトリス・B・A・デ・ピニャ・チャン先生には、筆者にとって2回目のメキシコ留学時に指導教官を引き受けて頂き、幅広い分野からのご教示を賜った。その後も公私にわたってお付き合いを頂き、とても幸せに思う。心からのお礼をお伝えしたい。

京都外国語大学修士課程および嘱託研究員時代にご指導を賜り、ピピル語研究のきっかけを頂いた故大井邦明先生（京都外国語大学教授）と故大井ブランカ先生には、本論文完成のご報告が遅くなったことをお詫びするとともに、長年のご指導に対し、心からの感謝の意をお伝えたい。

本論文を書き上げるまでの道のりは、楽しくもあったが、迷路でくじけそうになることもしばしばであった。また、筆者の勉強不足に加え、東京での日常業務との両立に苦戦し、さらには、予期せぬ東日本大震災の影響もわずかながらあり、予想以上に時間がかかってしまった。しかしながら、なんとかここまでたどり着けたのは、これらの方々をはじめ、紙幅の関係で一人一人のお名前を上げることが出来ないが、メキシコ、グアテマラ、エルサルバドル、日本で支えて下さった諸先輩方、研究仲間、友人、そして家族のおかげである。最後に、その全ての方々に、心からの感謝、tazocamate、tashtaui mampa diox を伝えたい。

資　　料

１．写真『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』(f.1-55)

２．テキスト『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』(f.1-55)

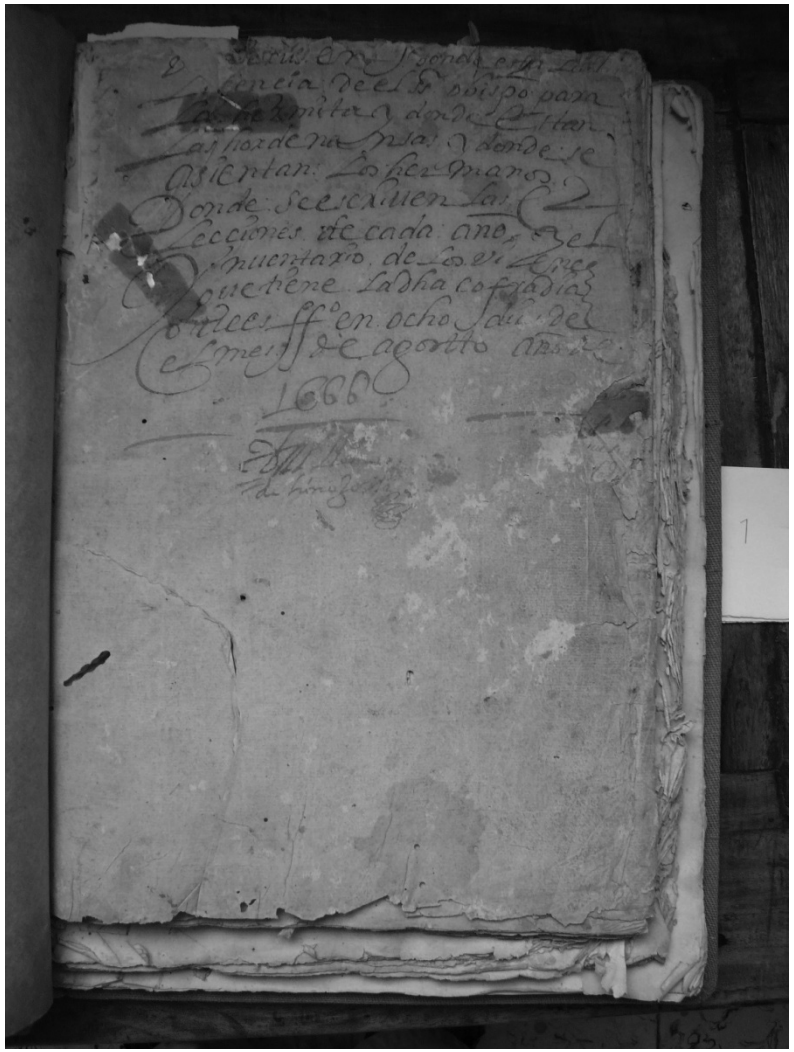
３．ピピル語とナワトル語の比較表（敦賀　2000: 282-294)

資　料　1

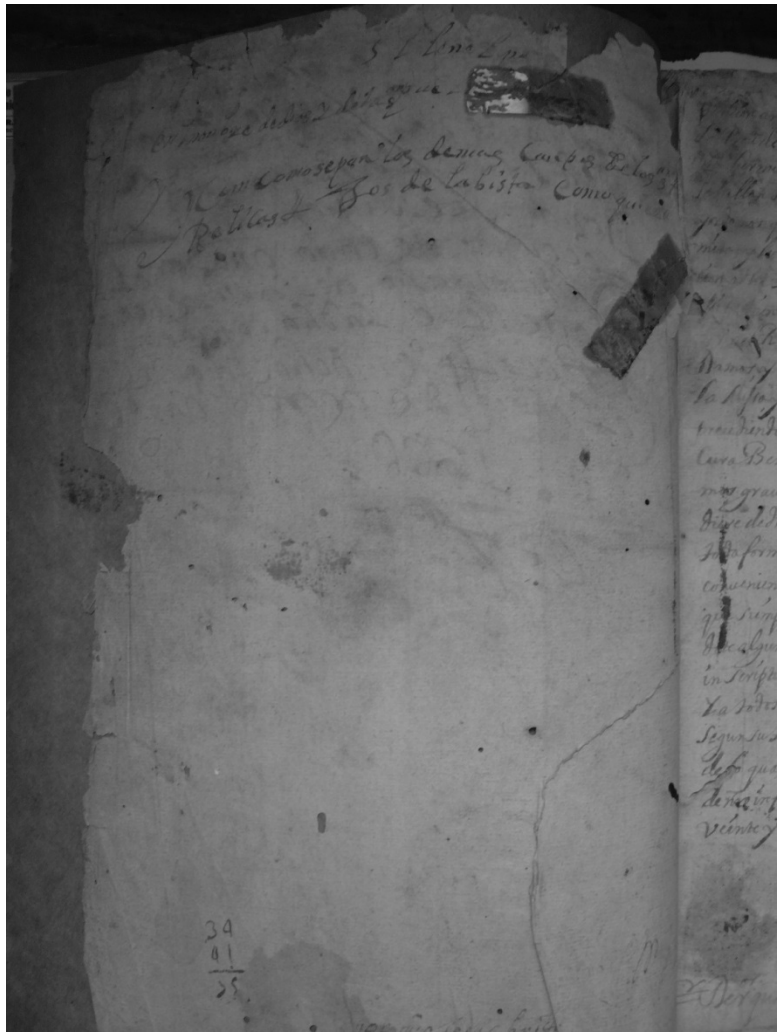
写　　真

『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』

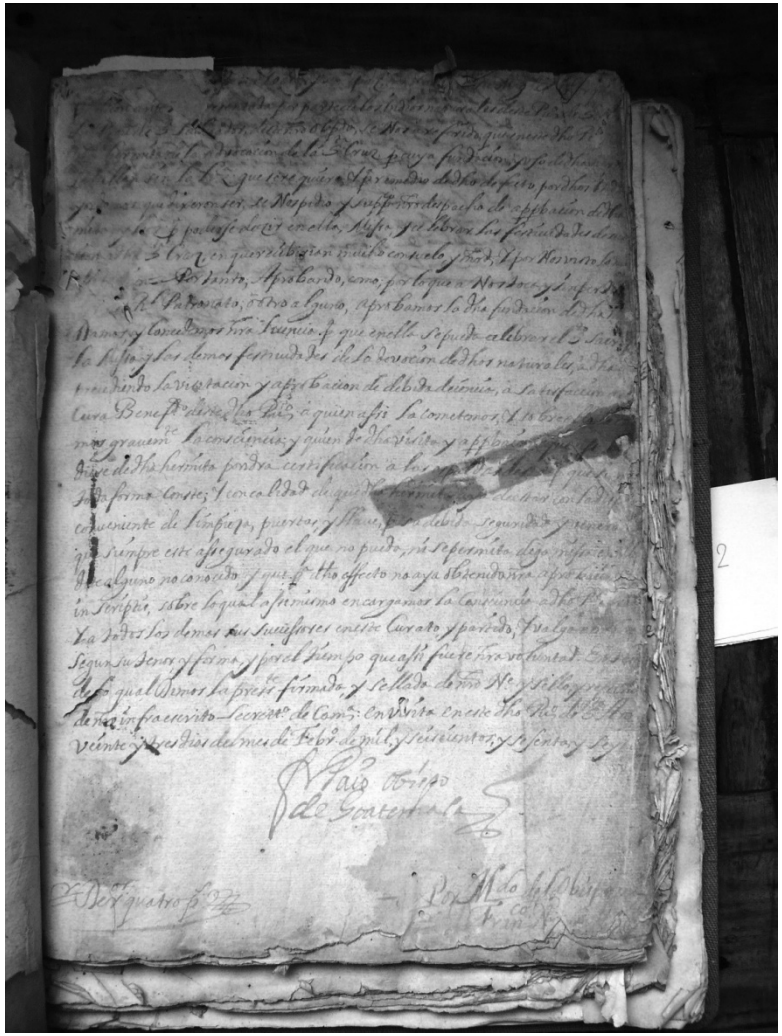
(f.1-55)



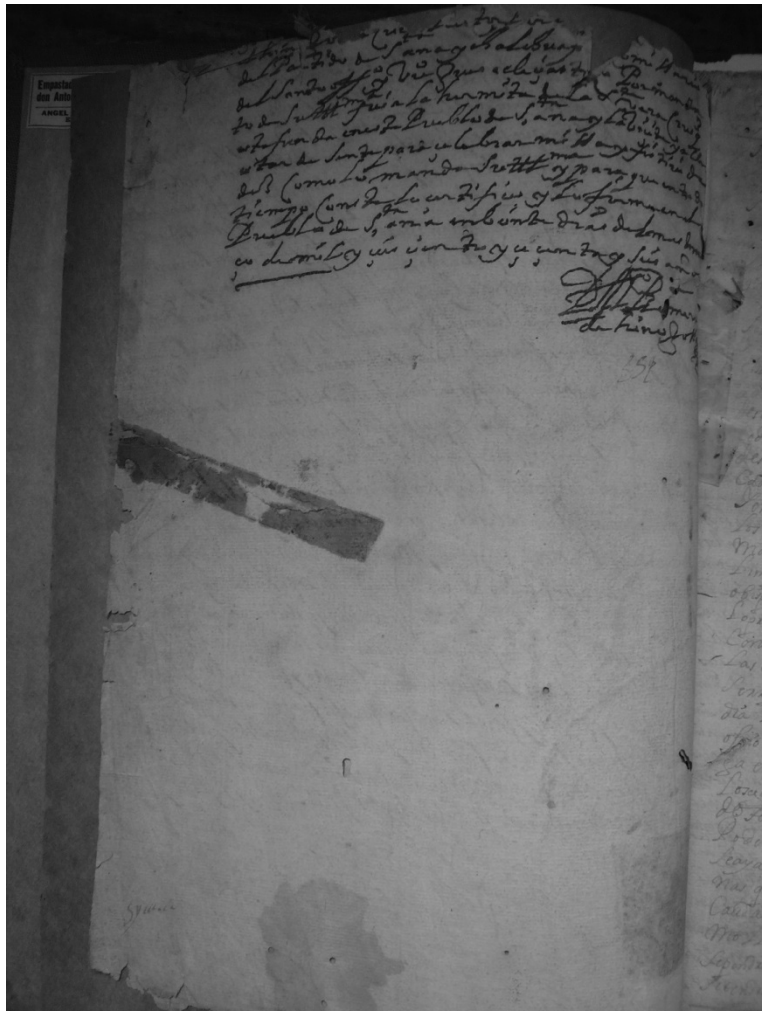
f. 1r



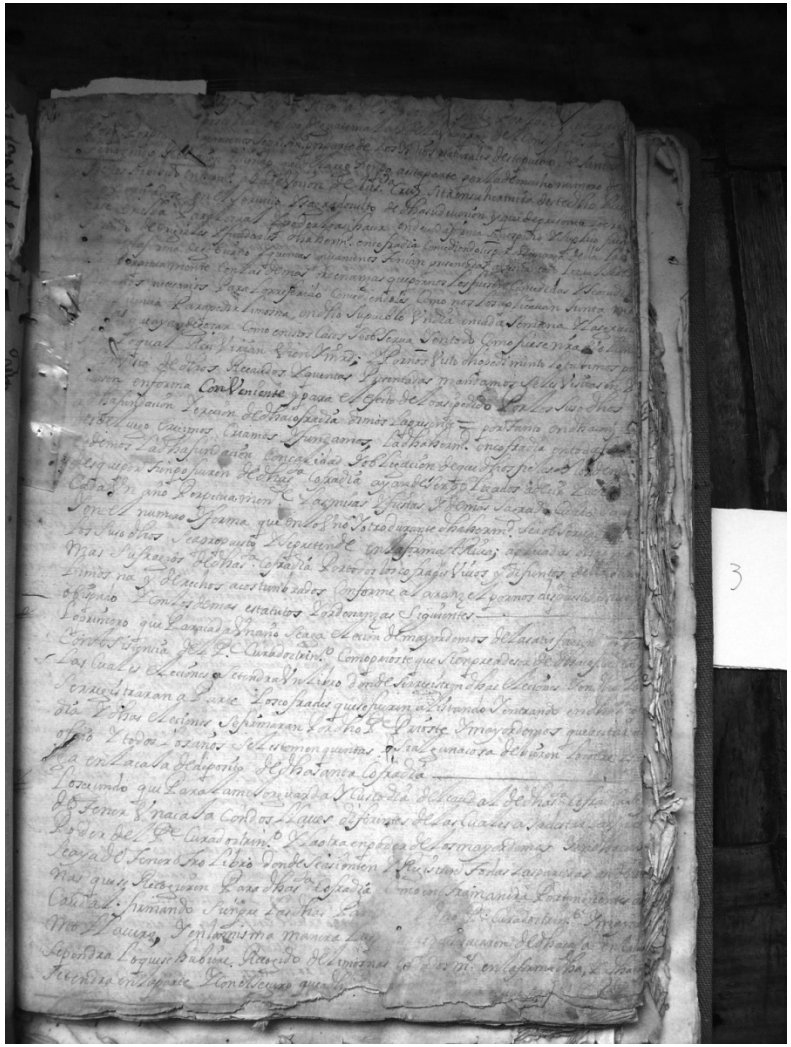
f. 1v



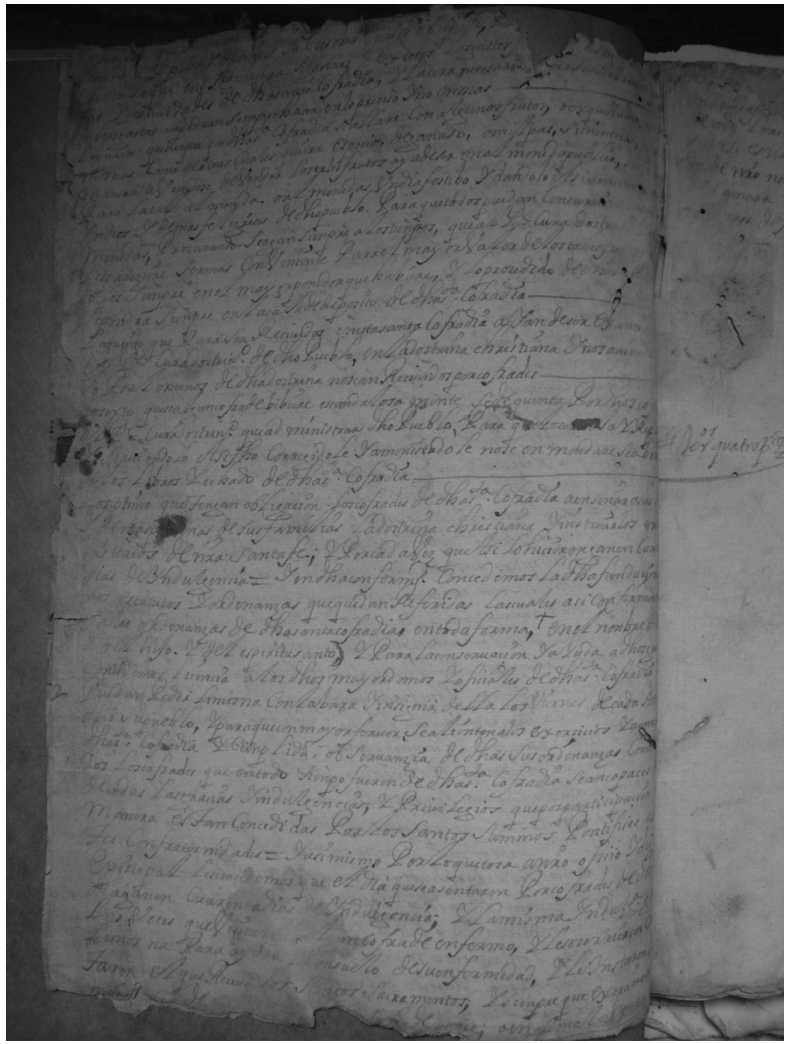
f. 2r



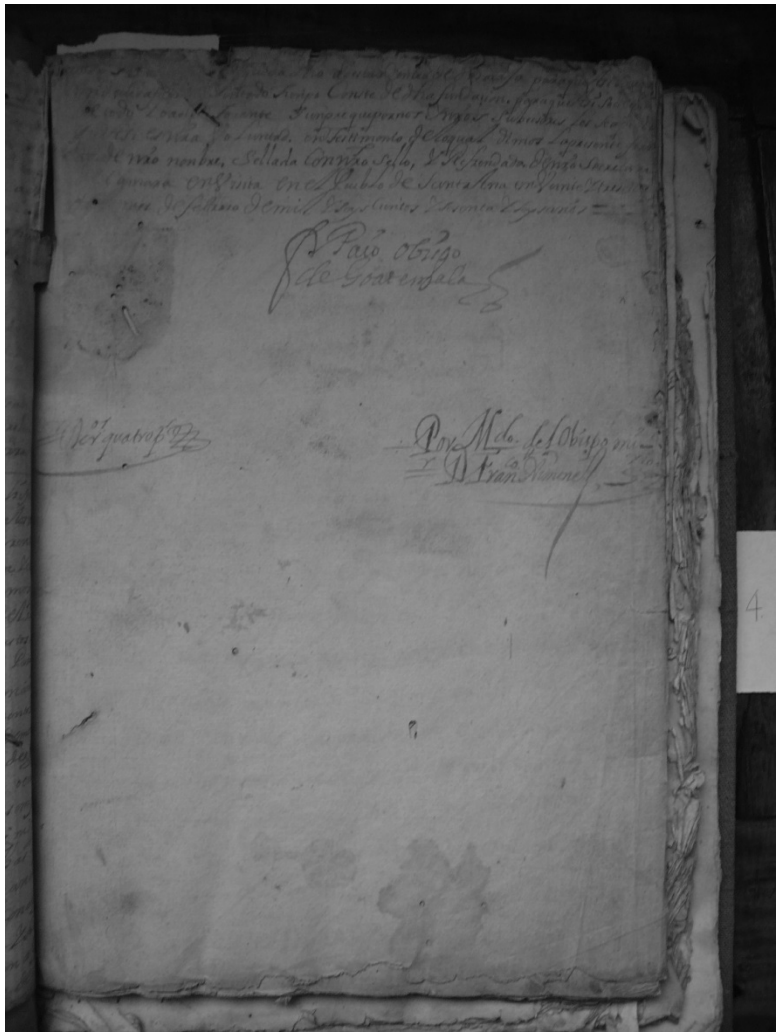
f. 2v



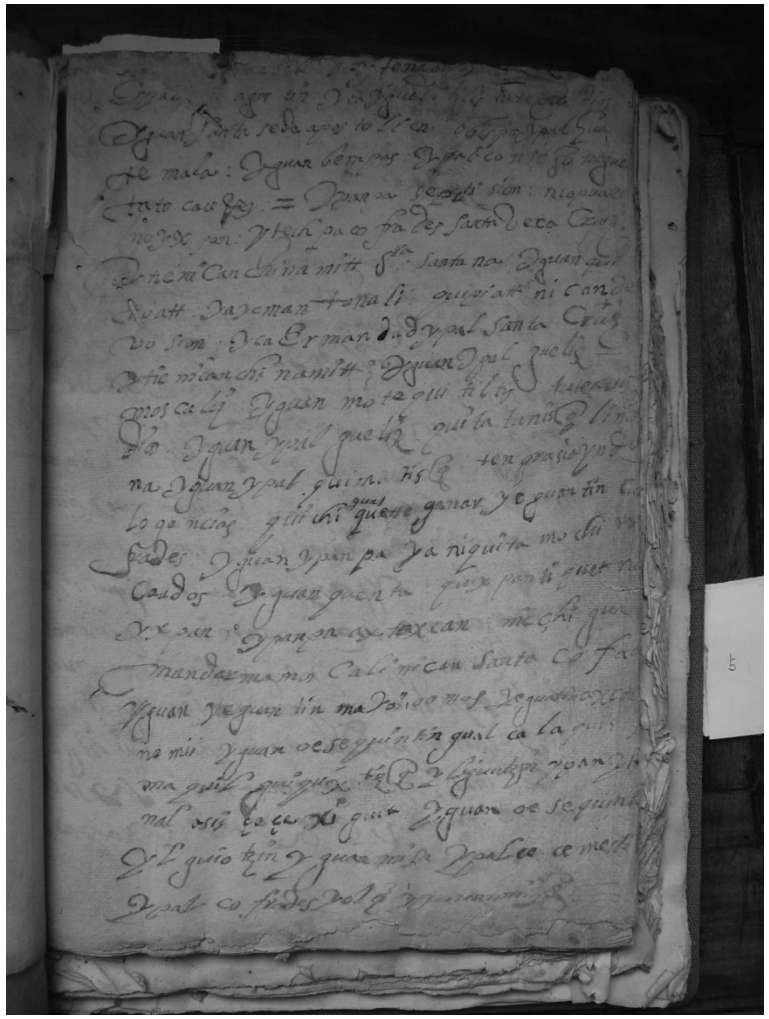
f. 3r



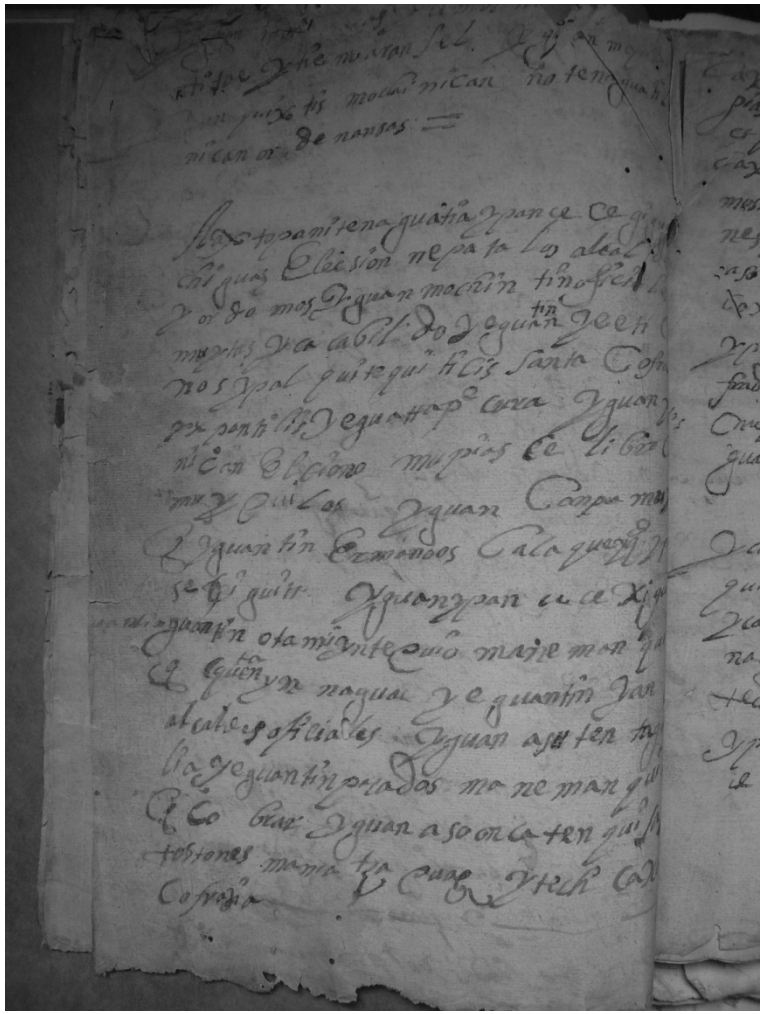
f. 3v



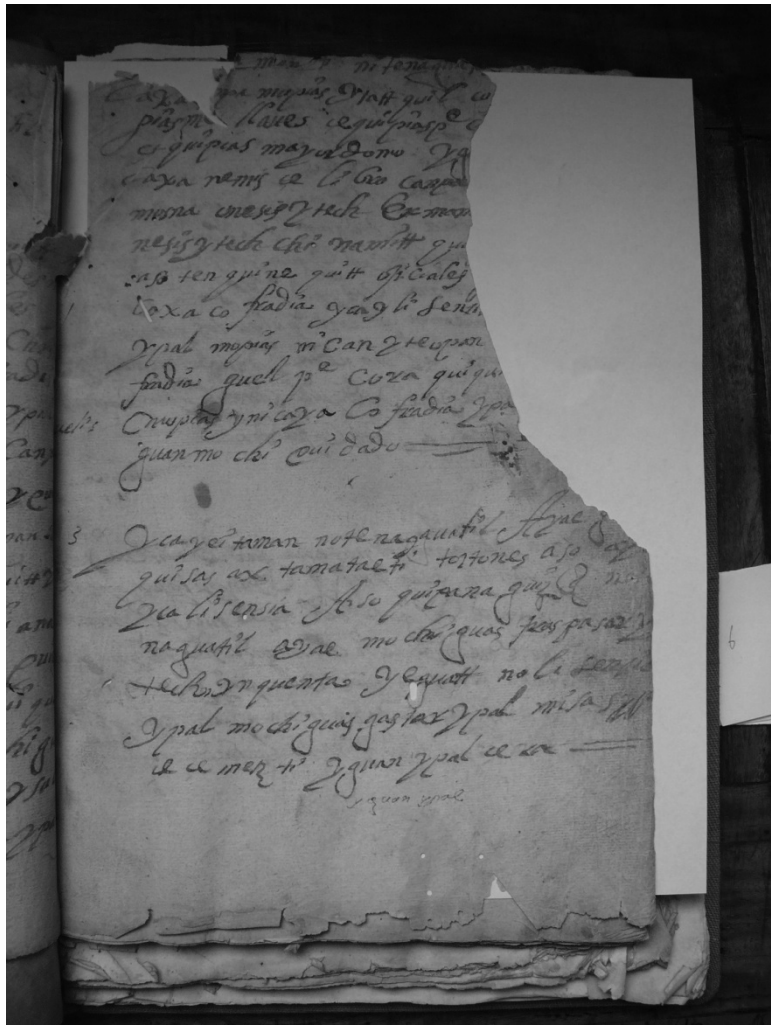
f. 4r



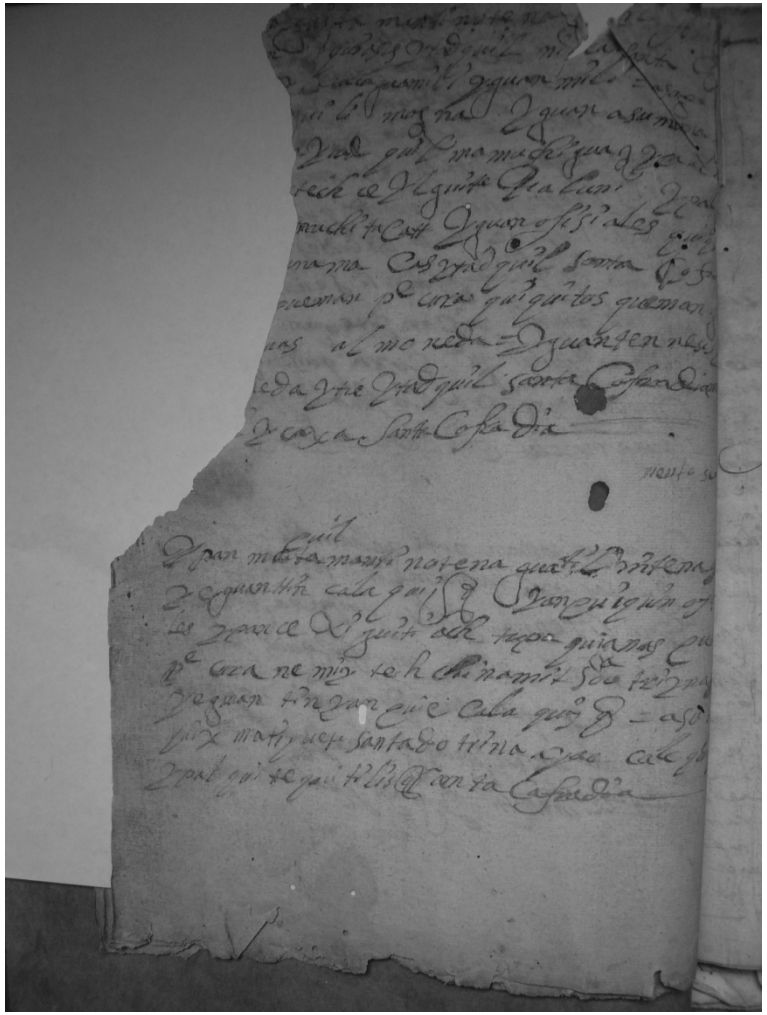
f. 5r



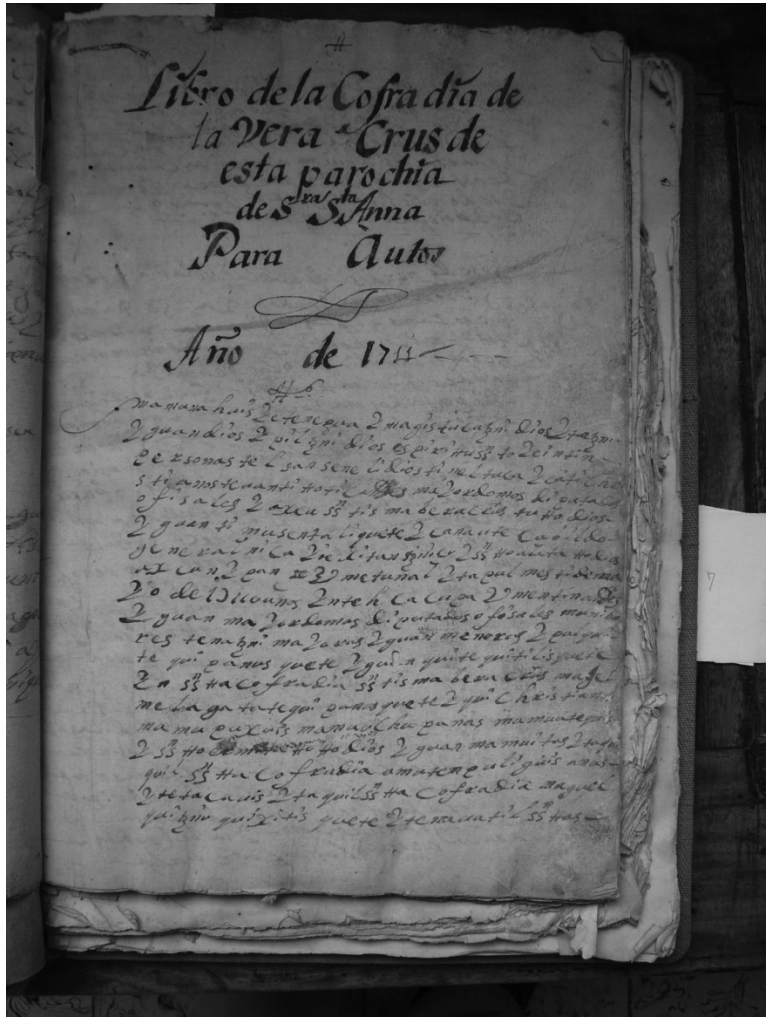
f. 5v



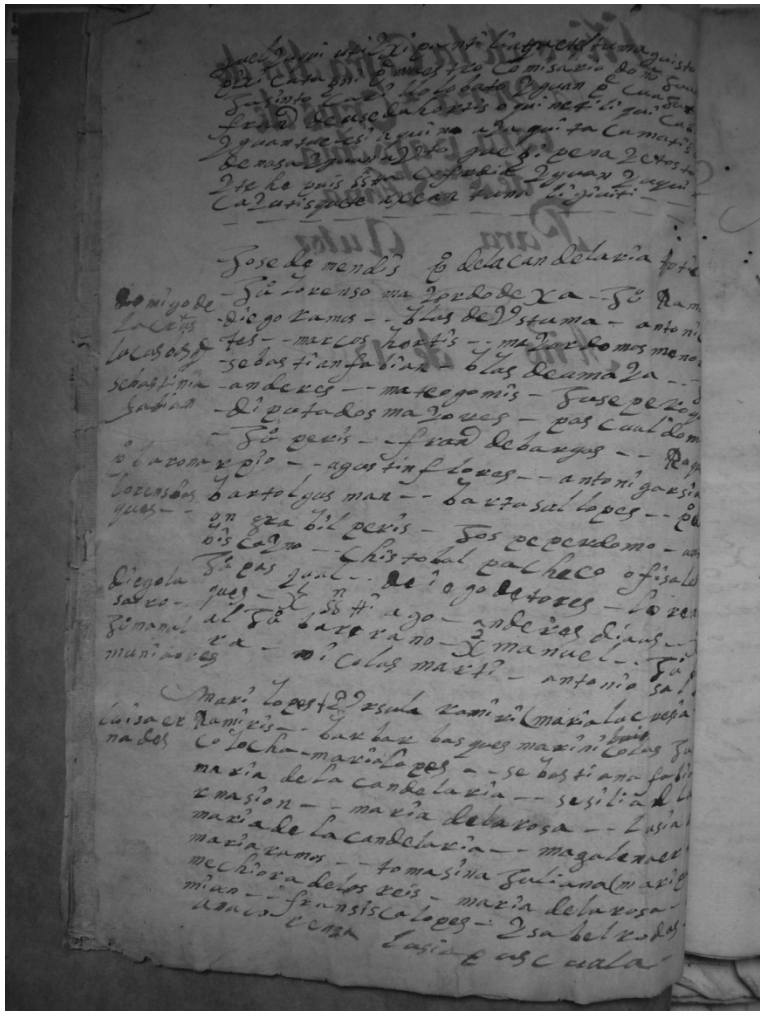
f. 6r



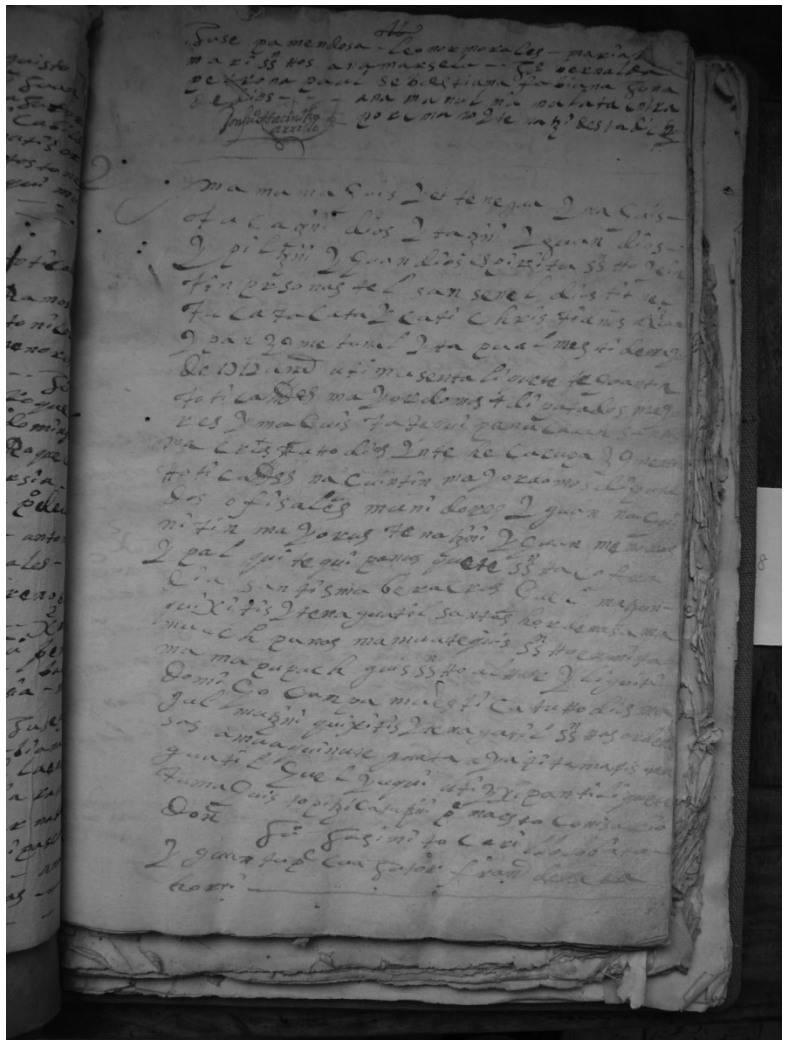
f. 6v


Libro de la Cofradia de
la Vera Crus de
esta parochia
de Sra Sta Anna
Para Autos
Año de 1711

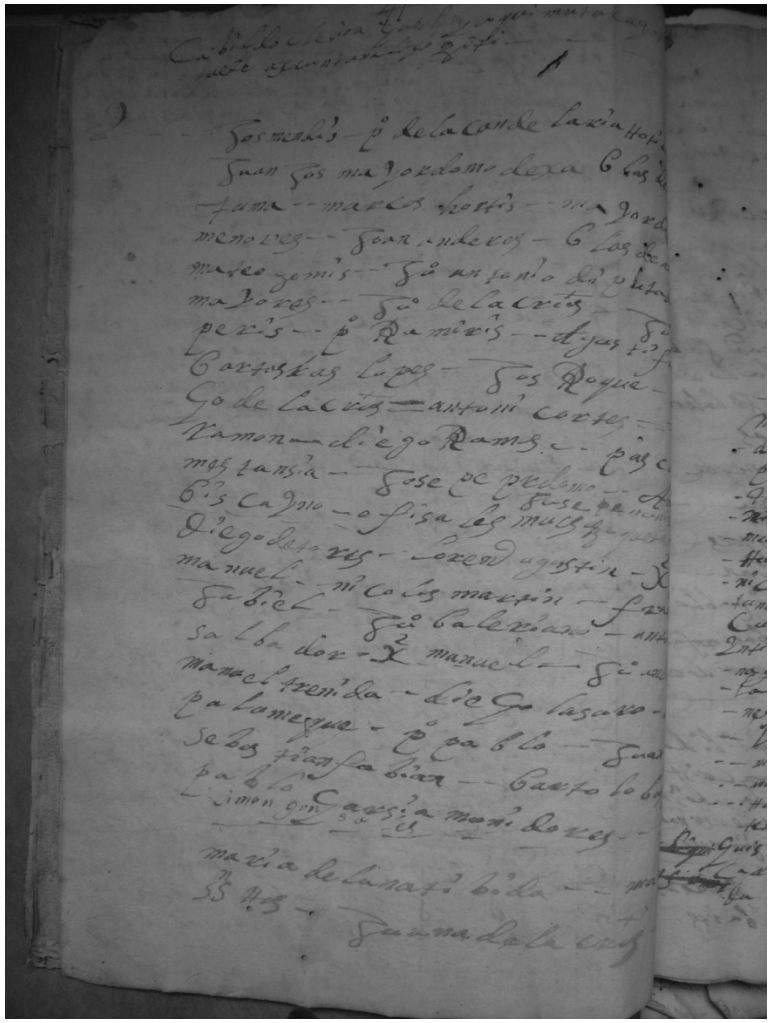
f. 7r



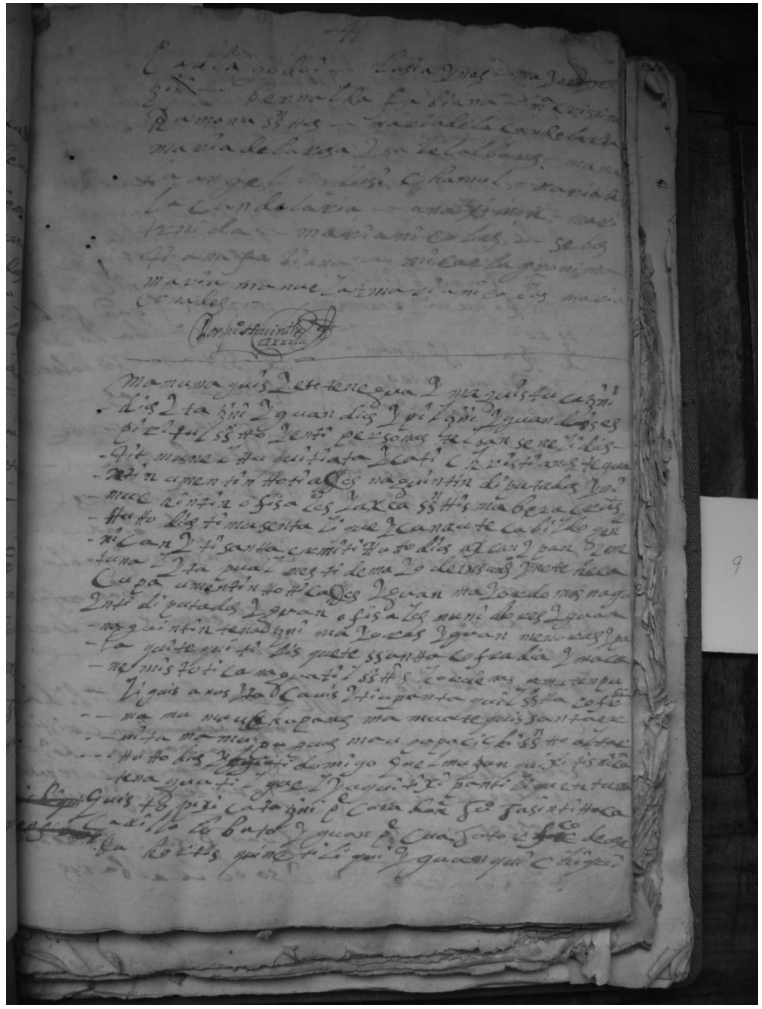
f. 7v



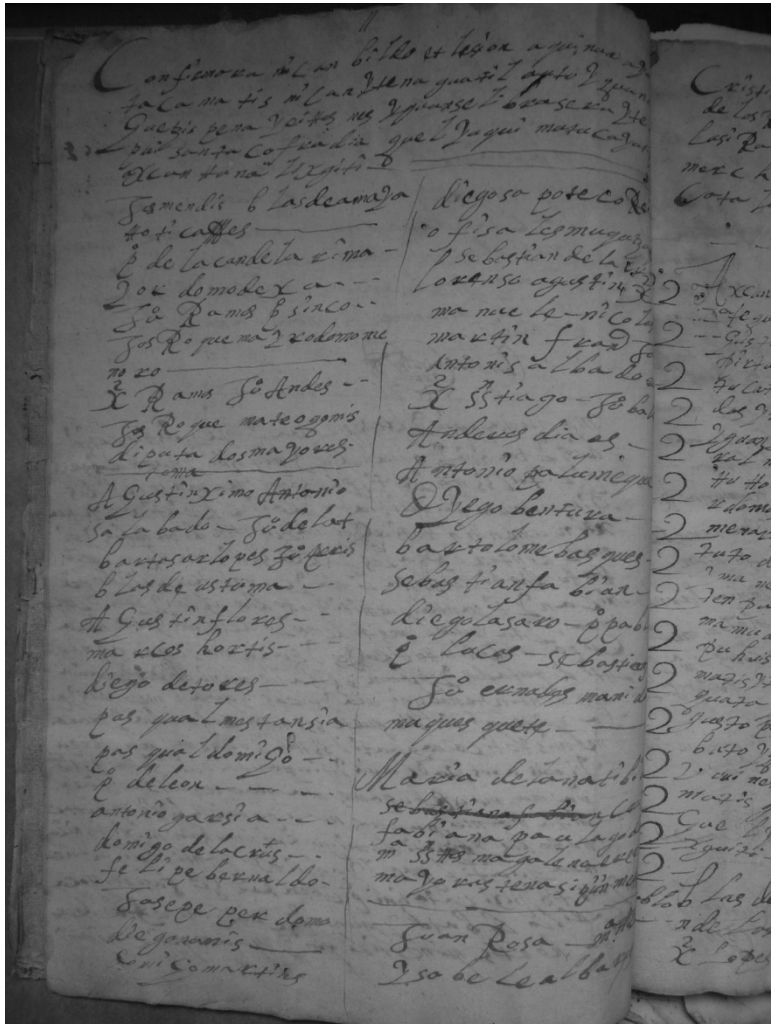
f. 8r



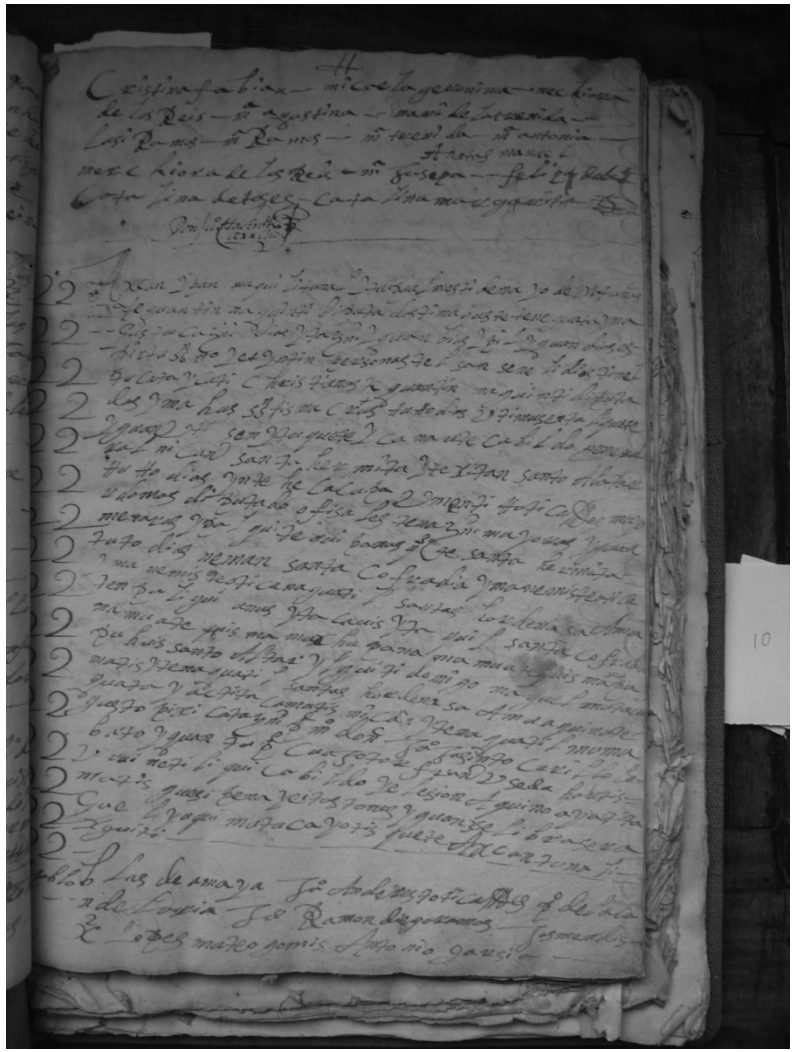
f. 8v



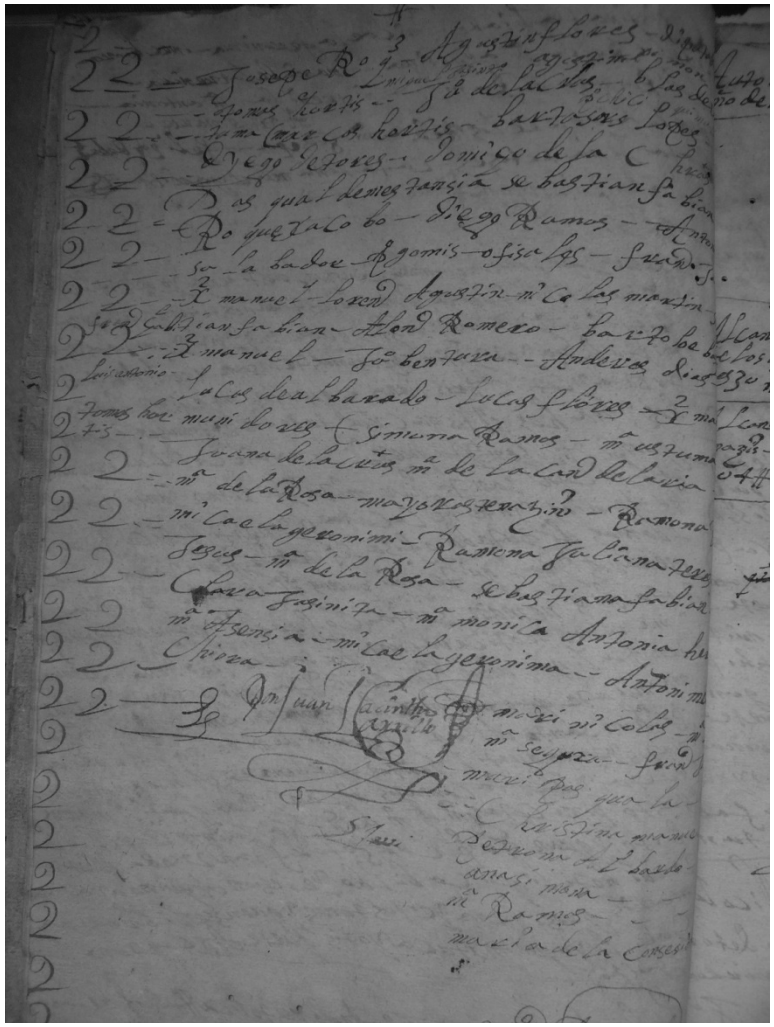
f. 9r



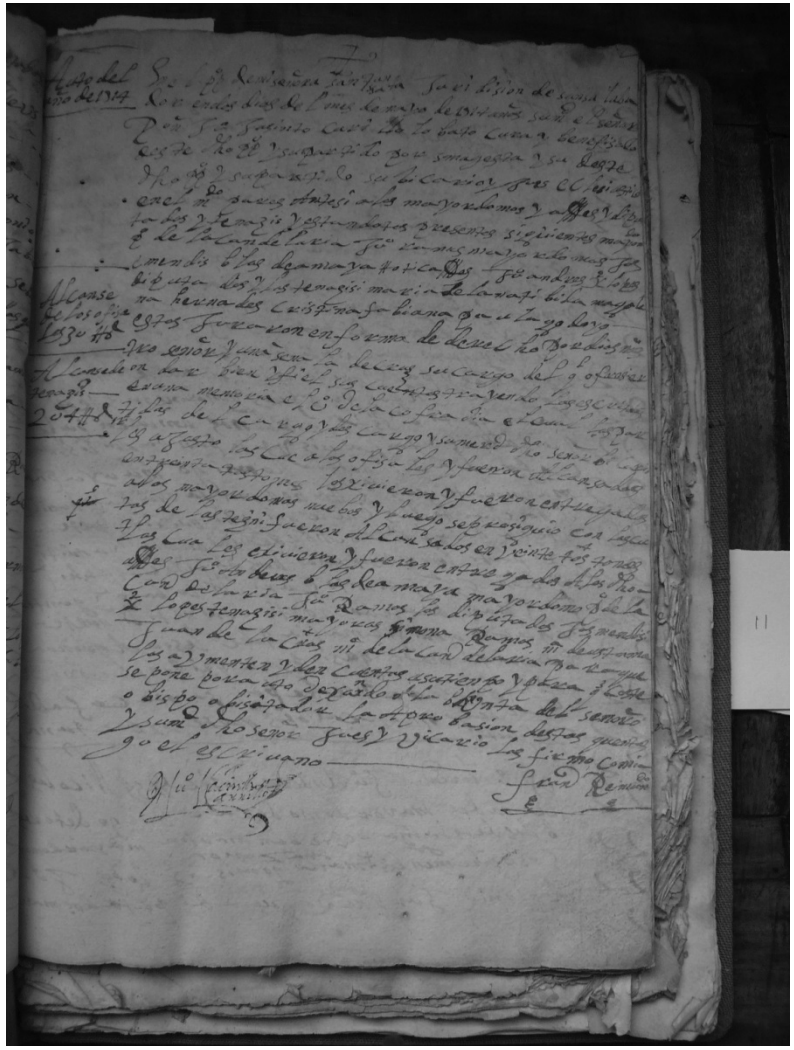
f. 9v



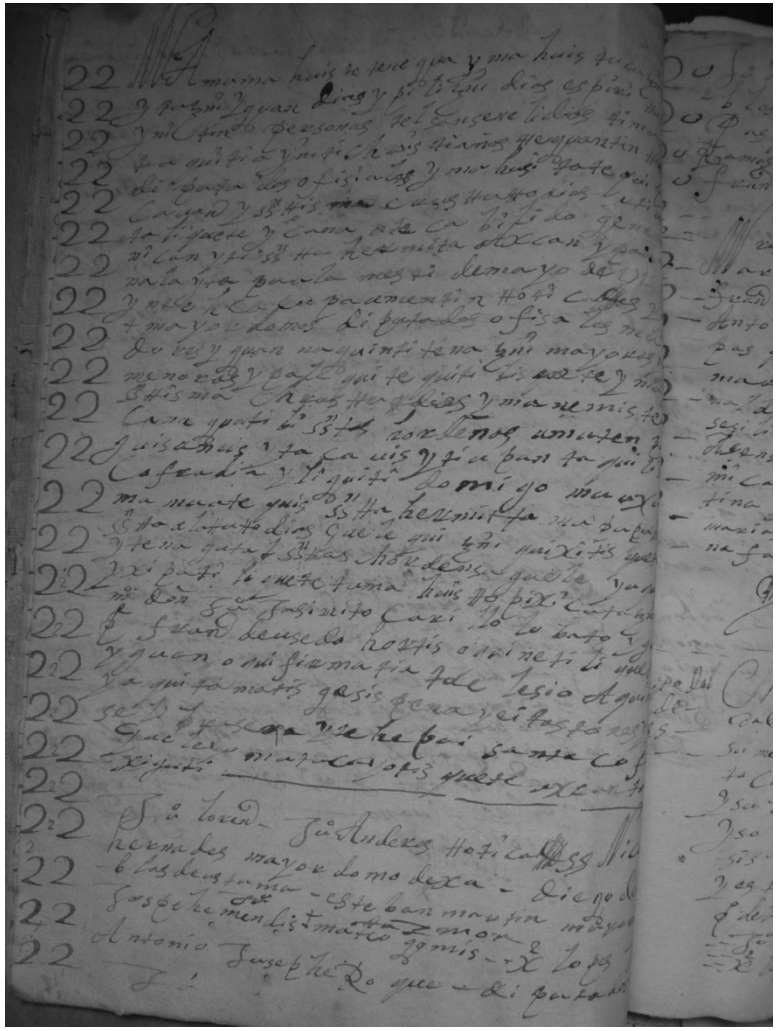
f. 10. r



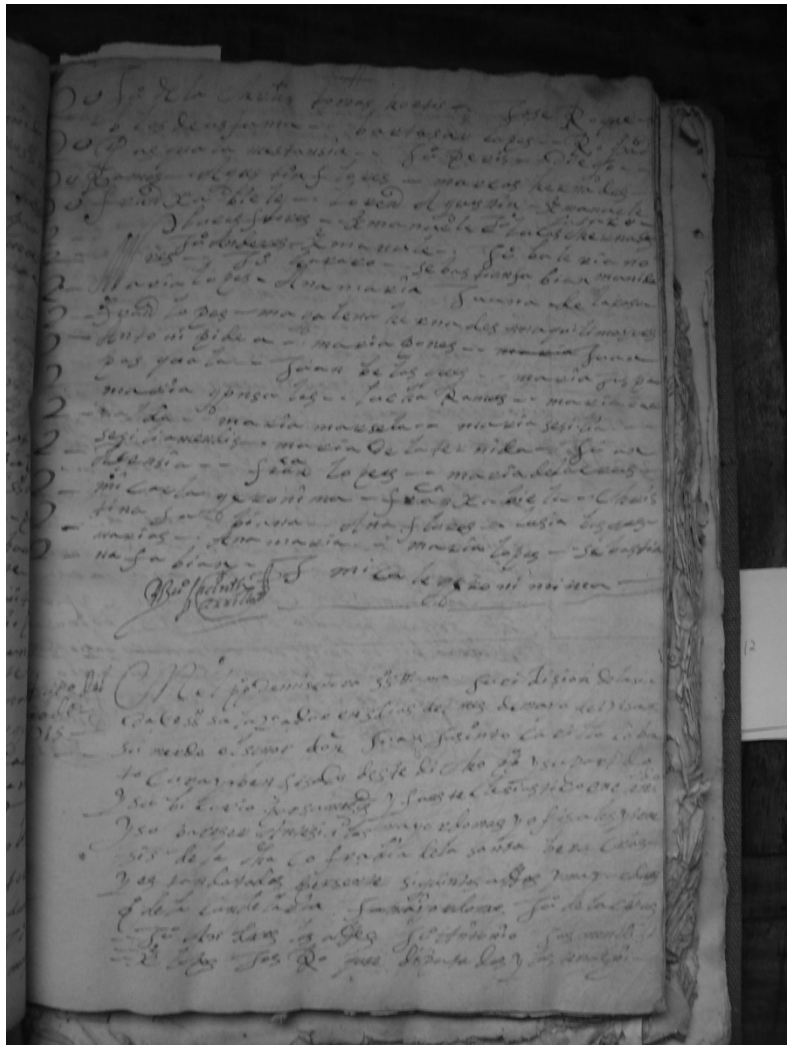
f. 10. v



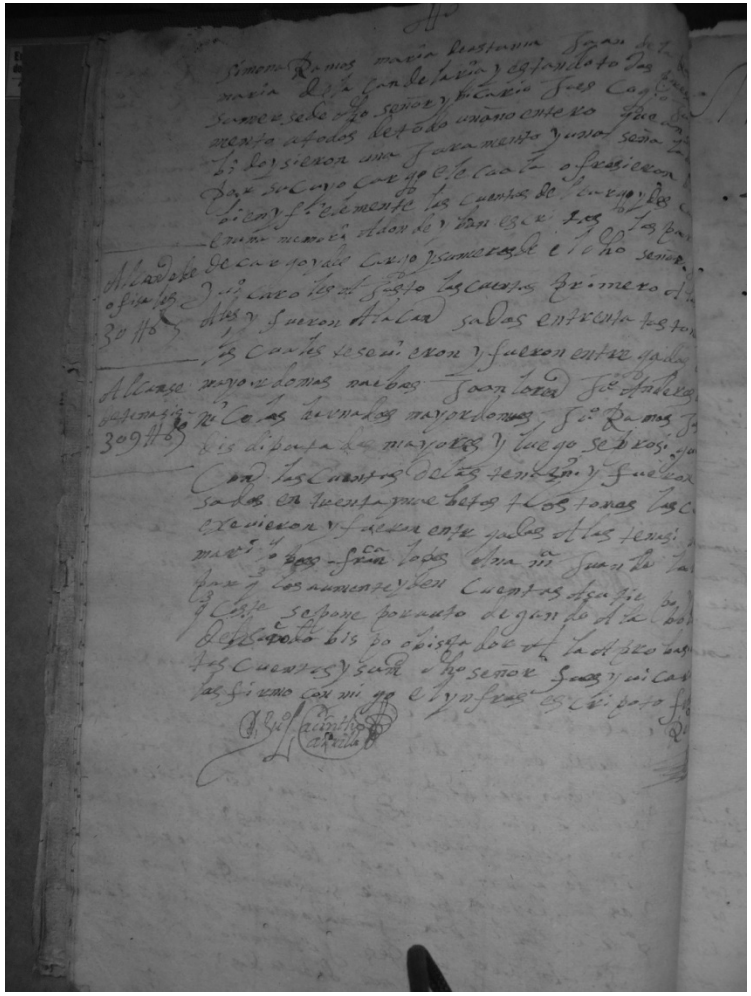
f. 11r



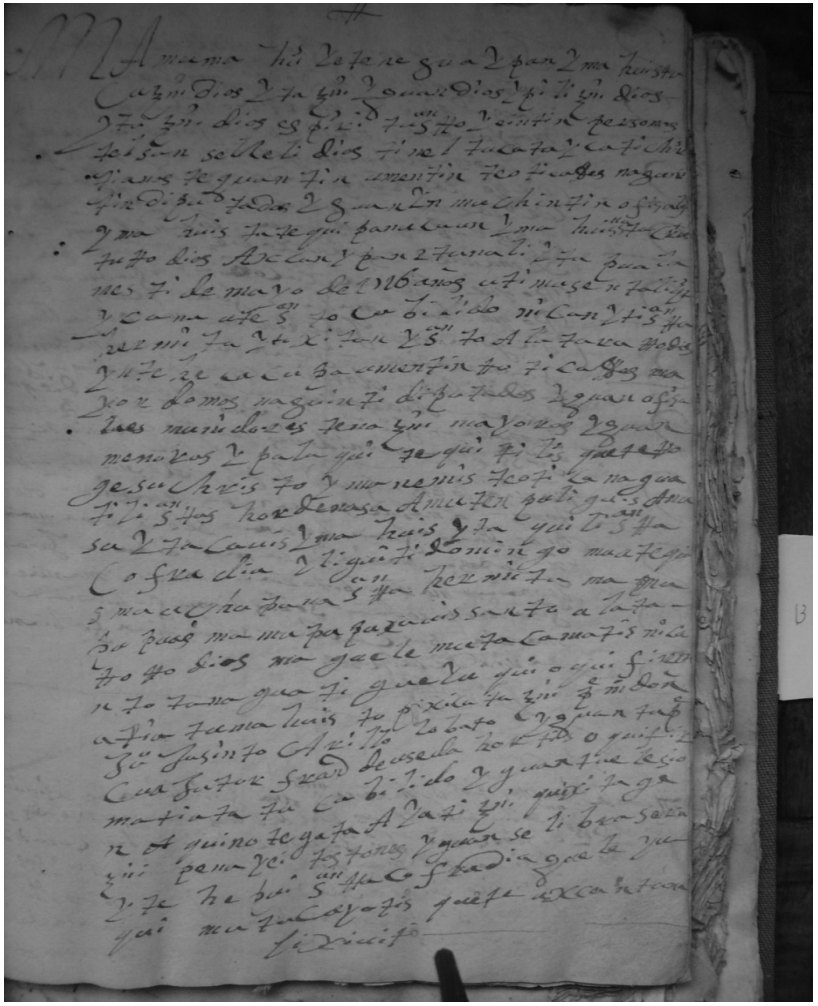
f. 11v.



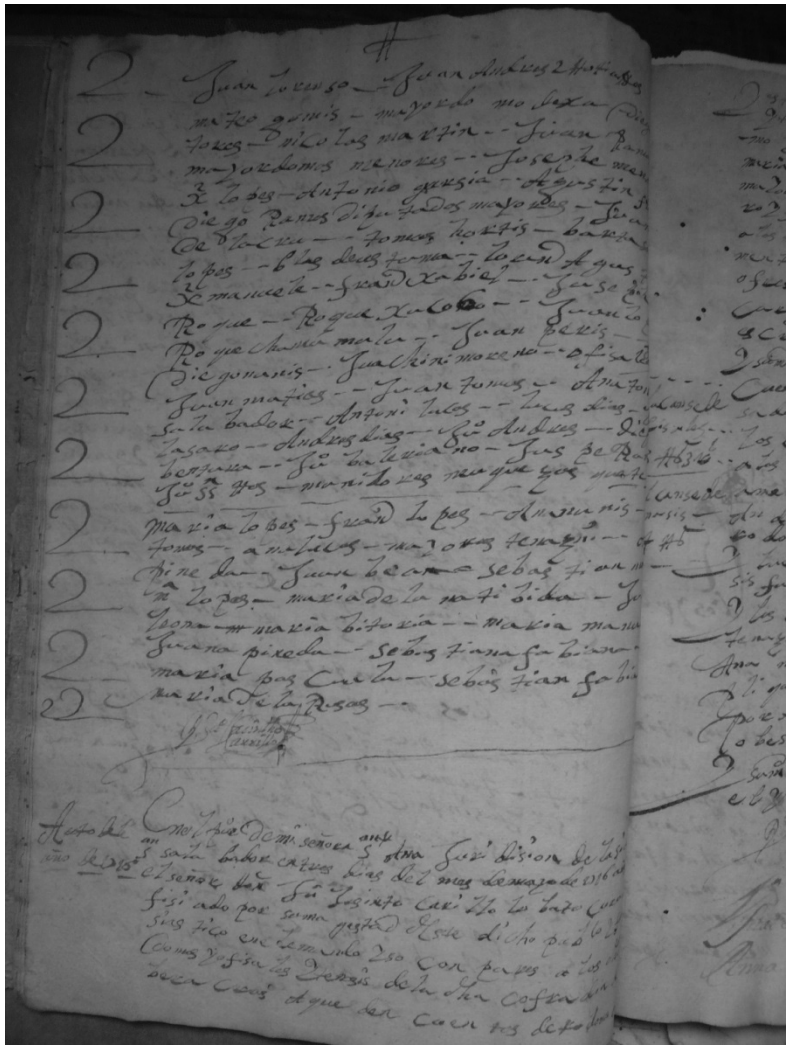
f. 12r



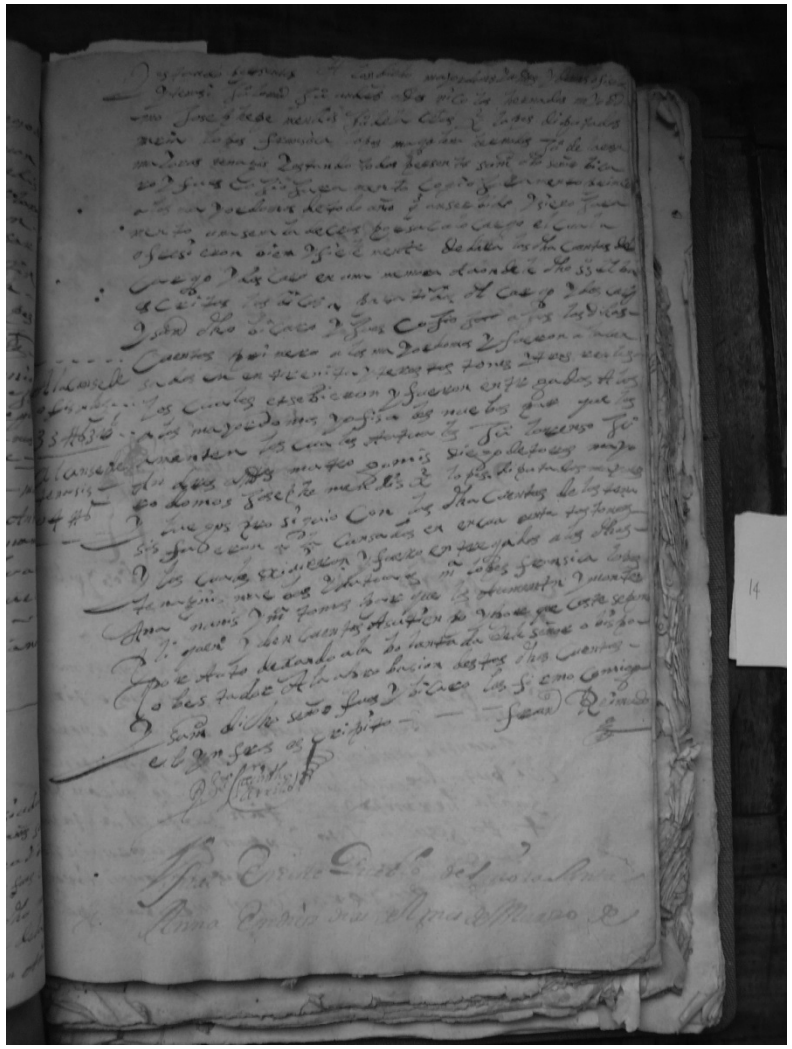
f. 12V



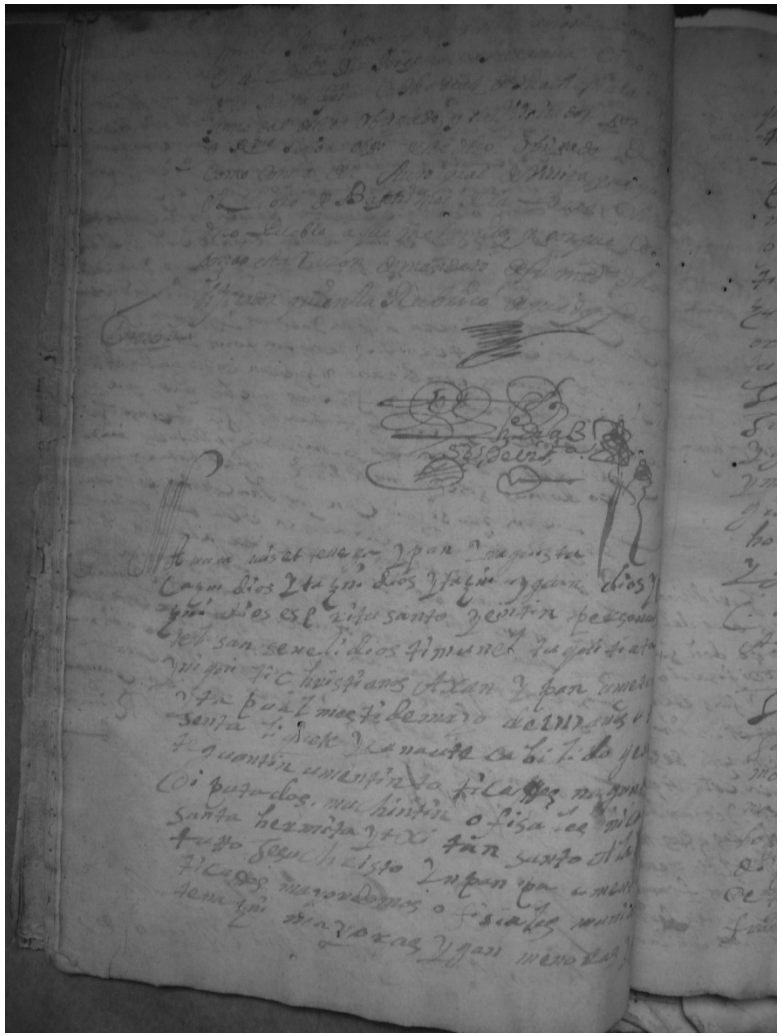
f. 13r



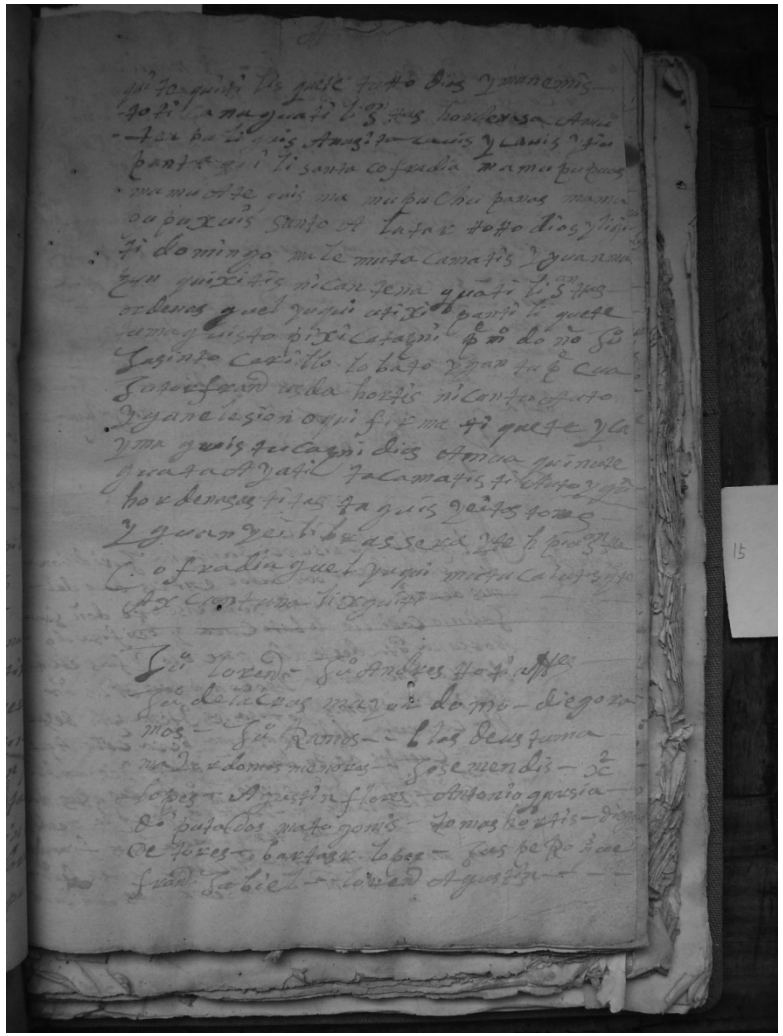
f. 13v



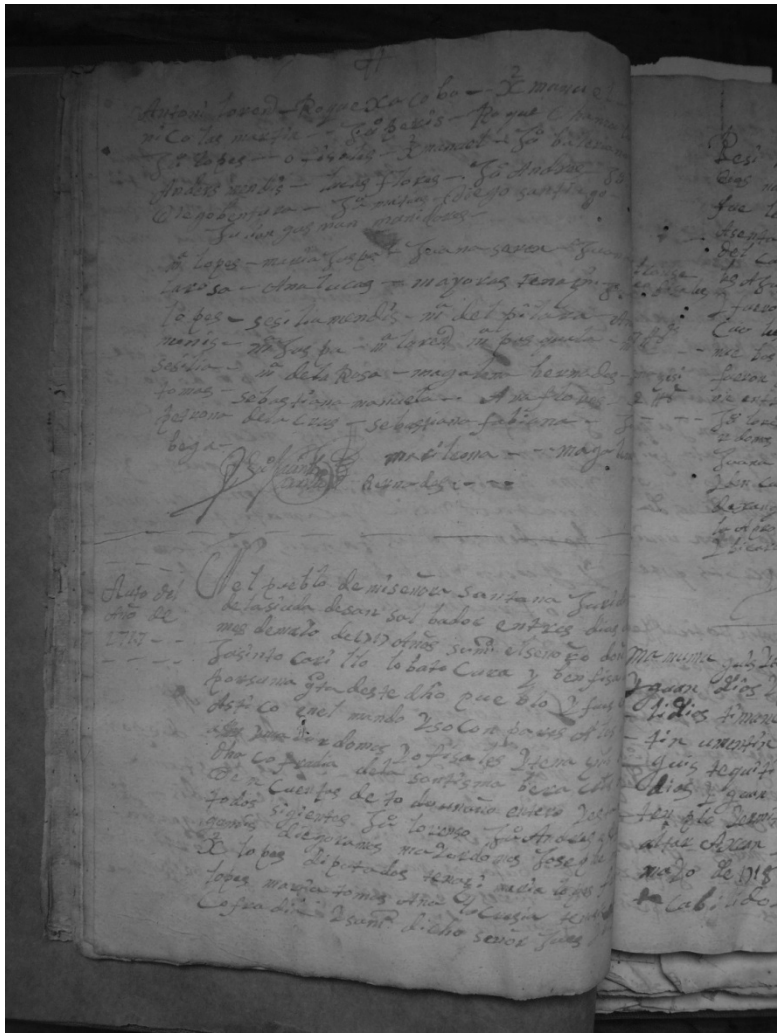
f. 14r



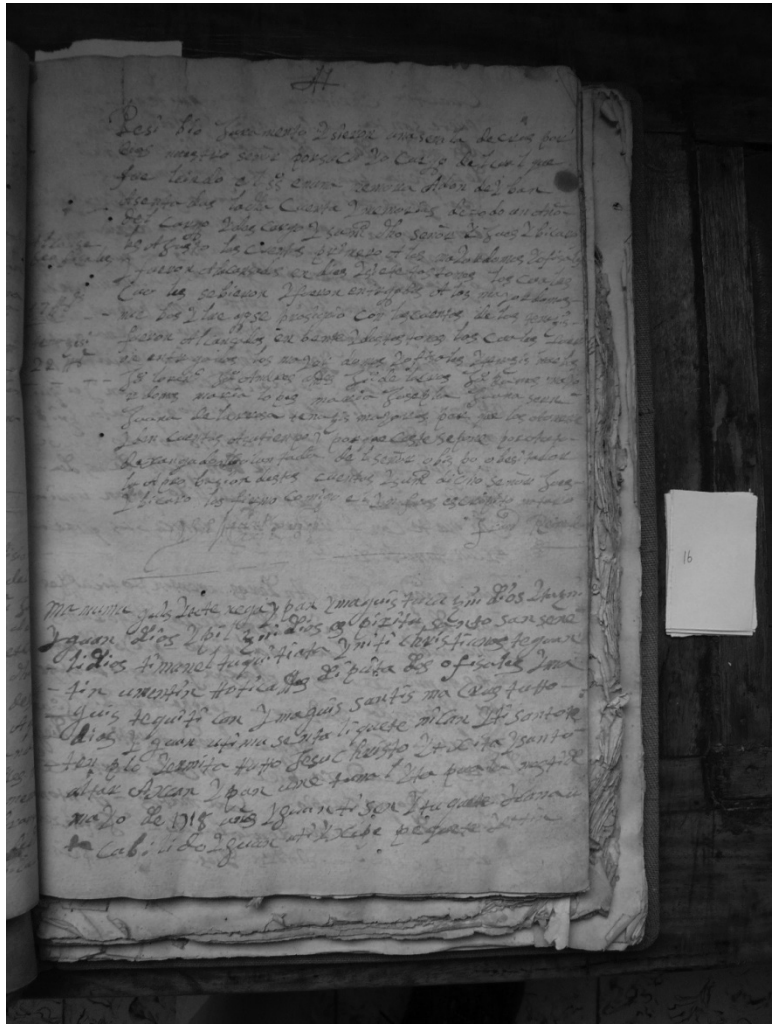
f. 14v



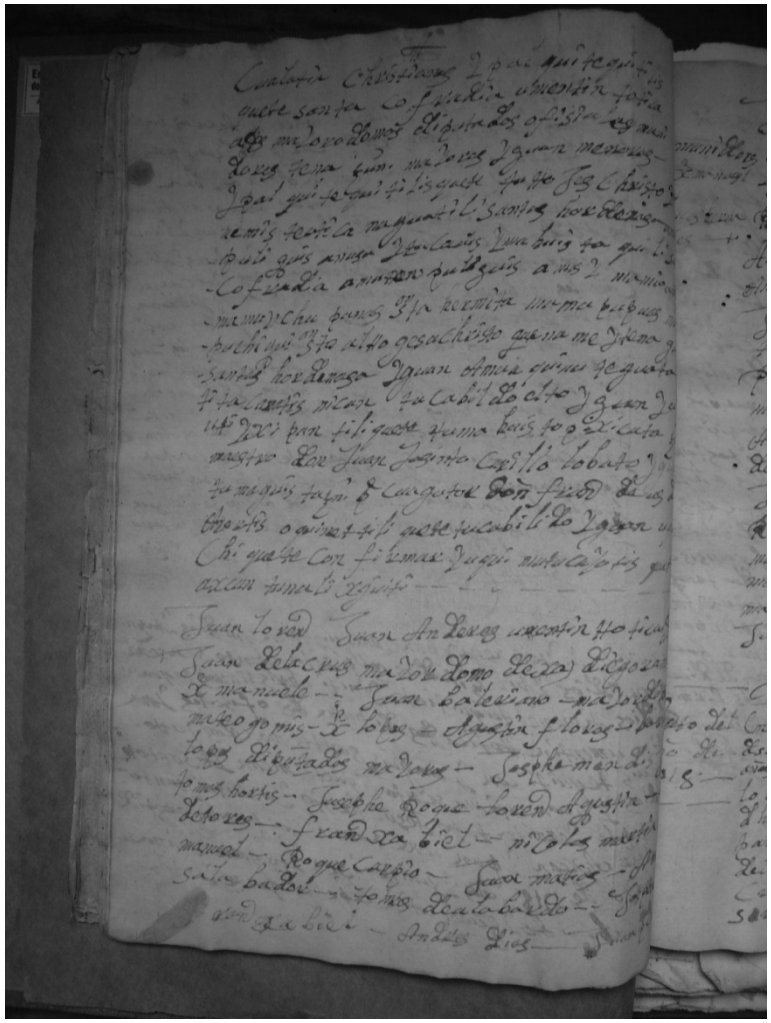
f. 15r



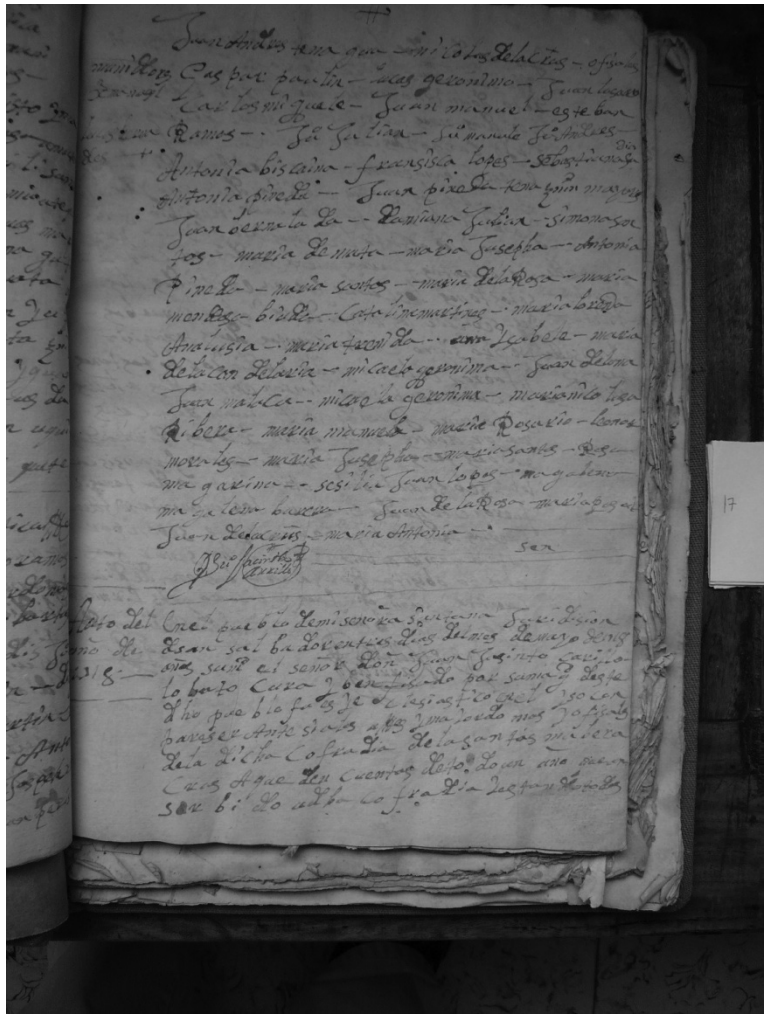
f. 15v



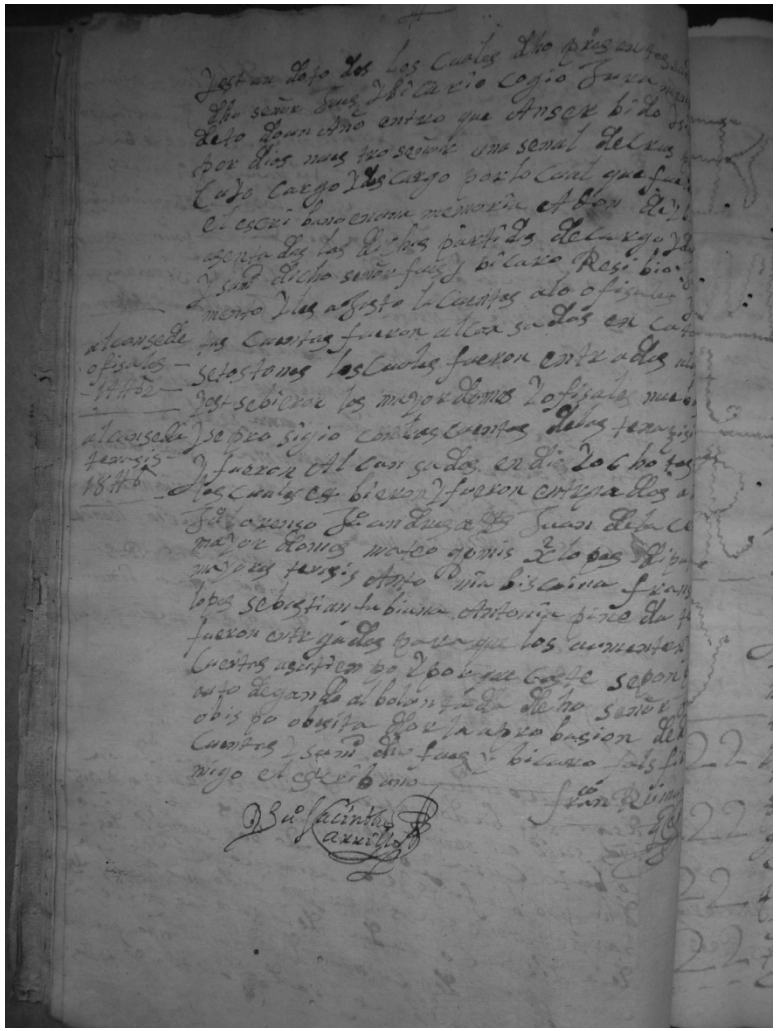
f. 16r



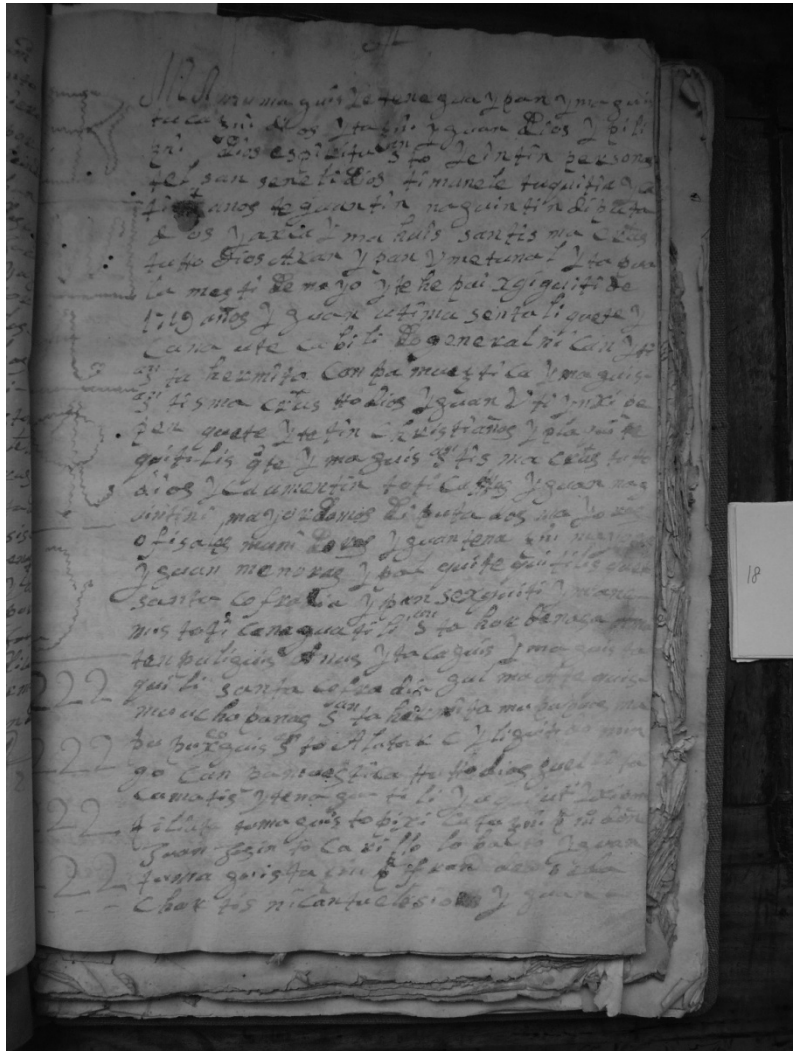
f. 16v



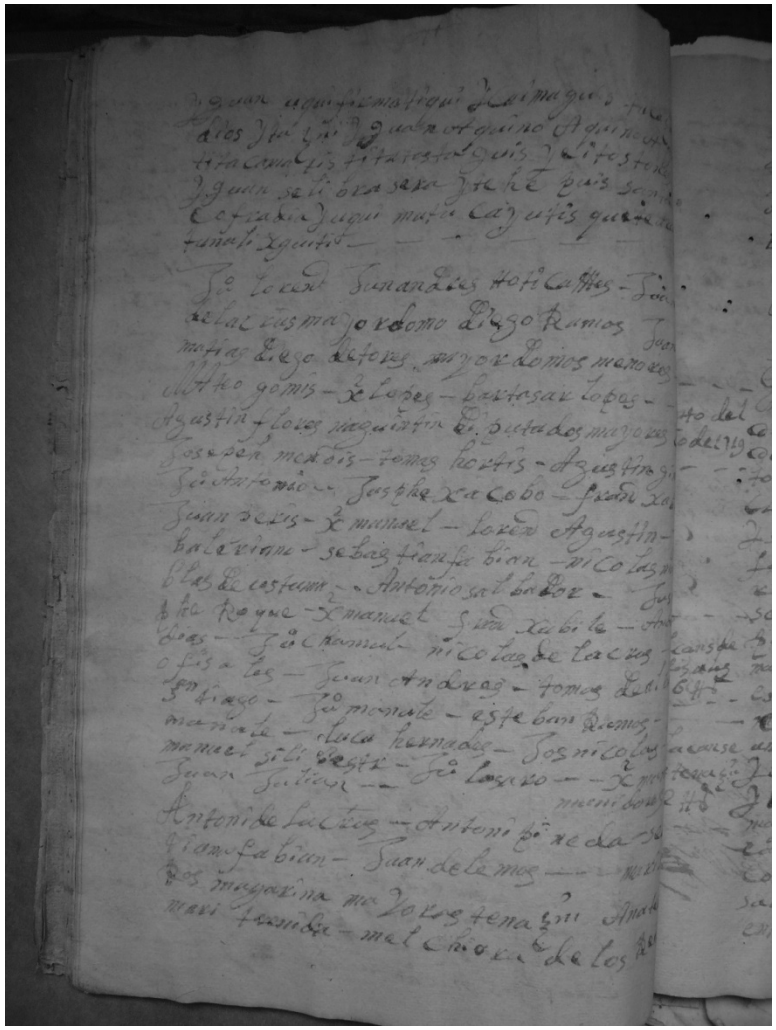
f. 17r



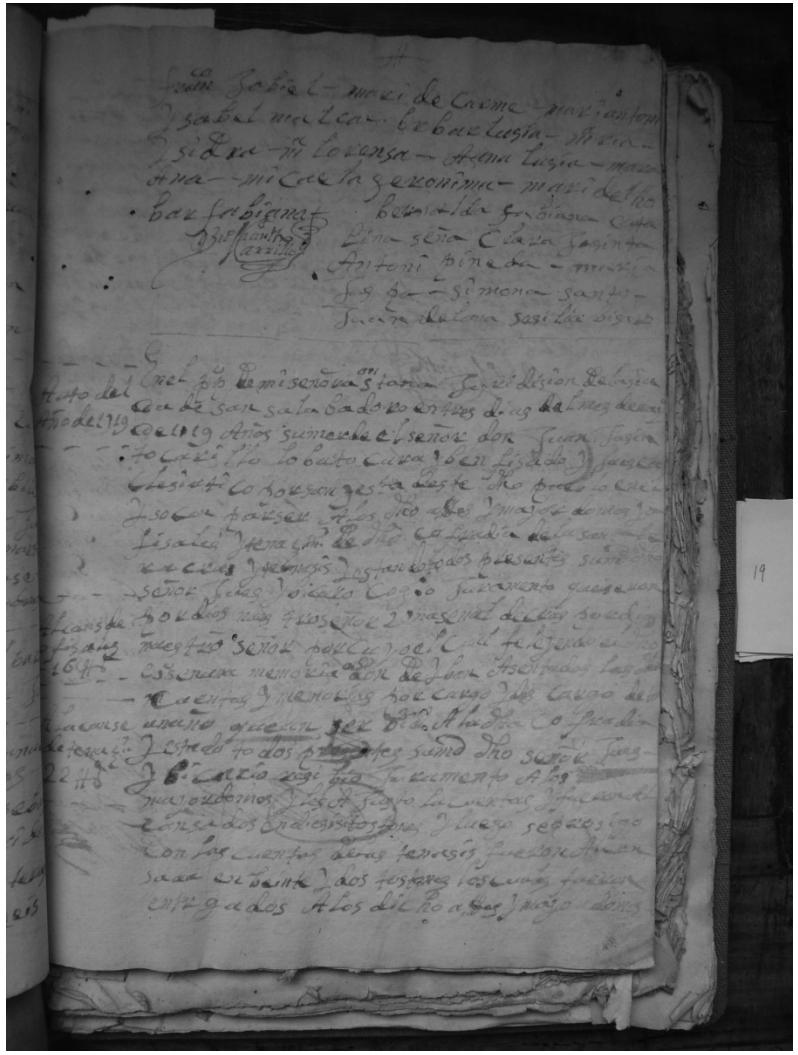
f. 17v



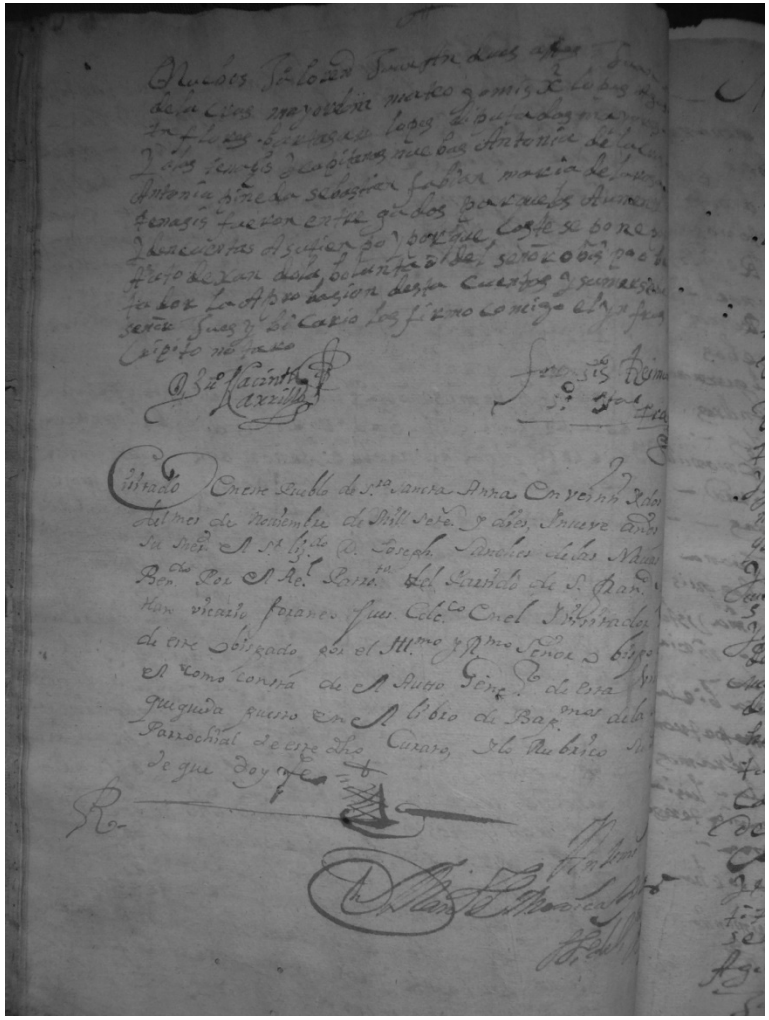
f. 18r



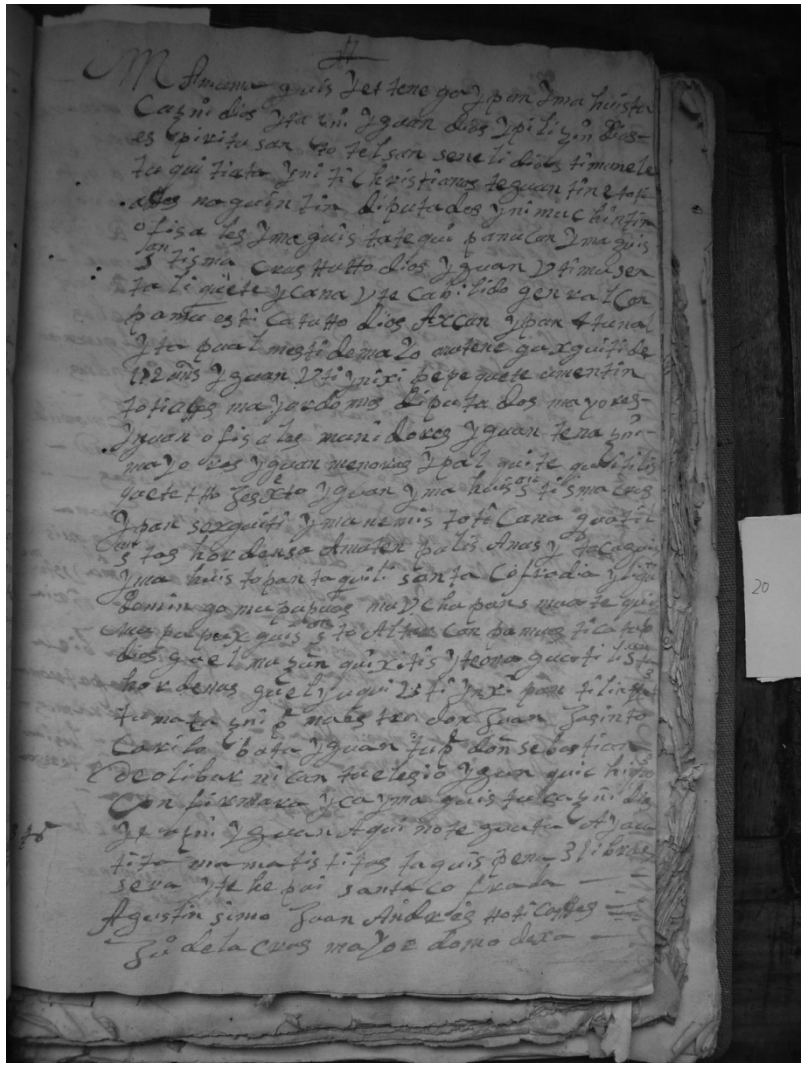
f. 18v



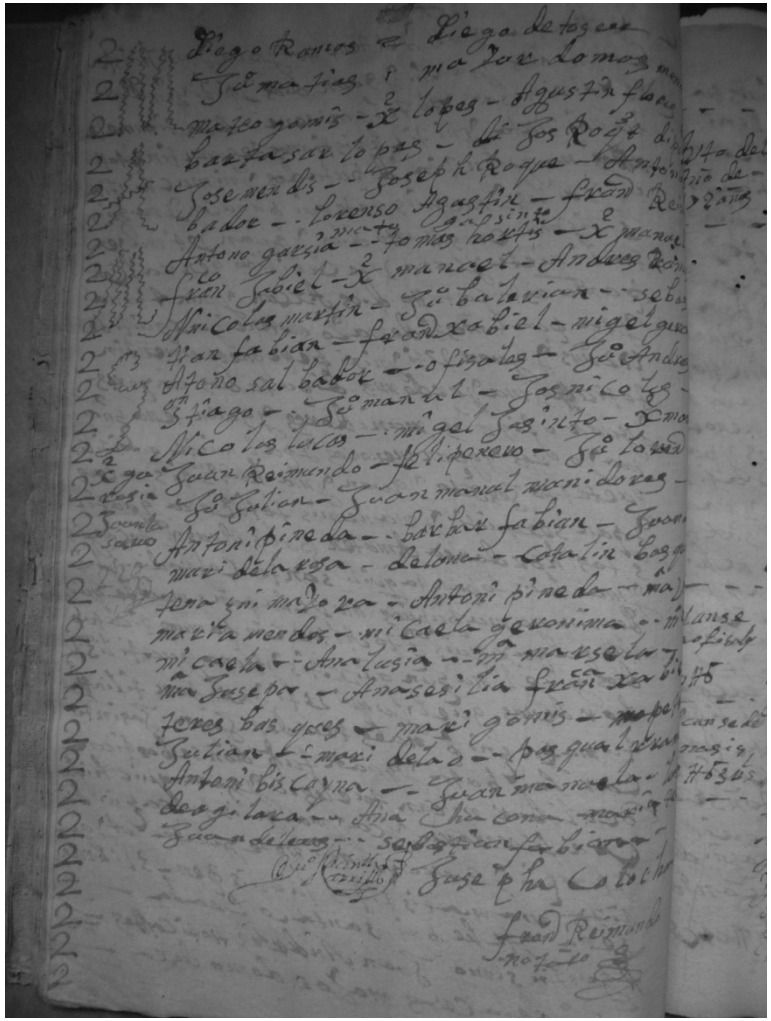
f. 19r



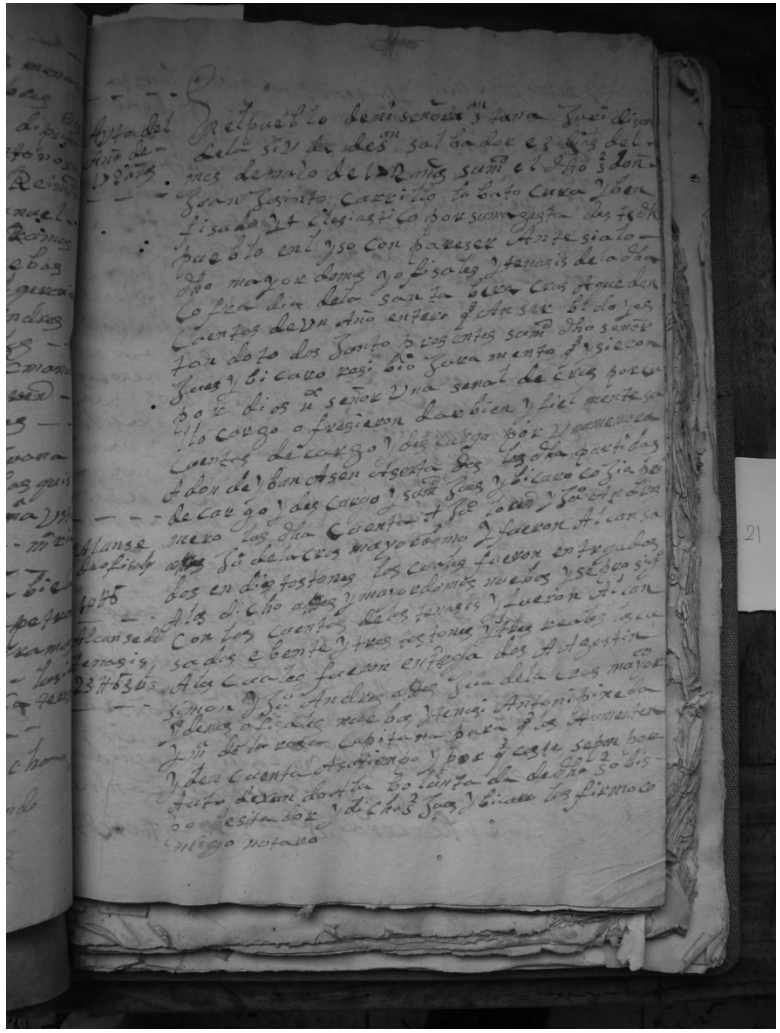
f. 19v



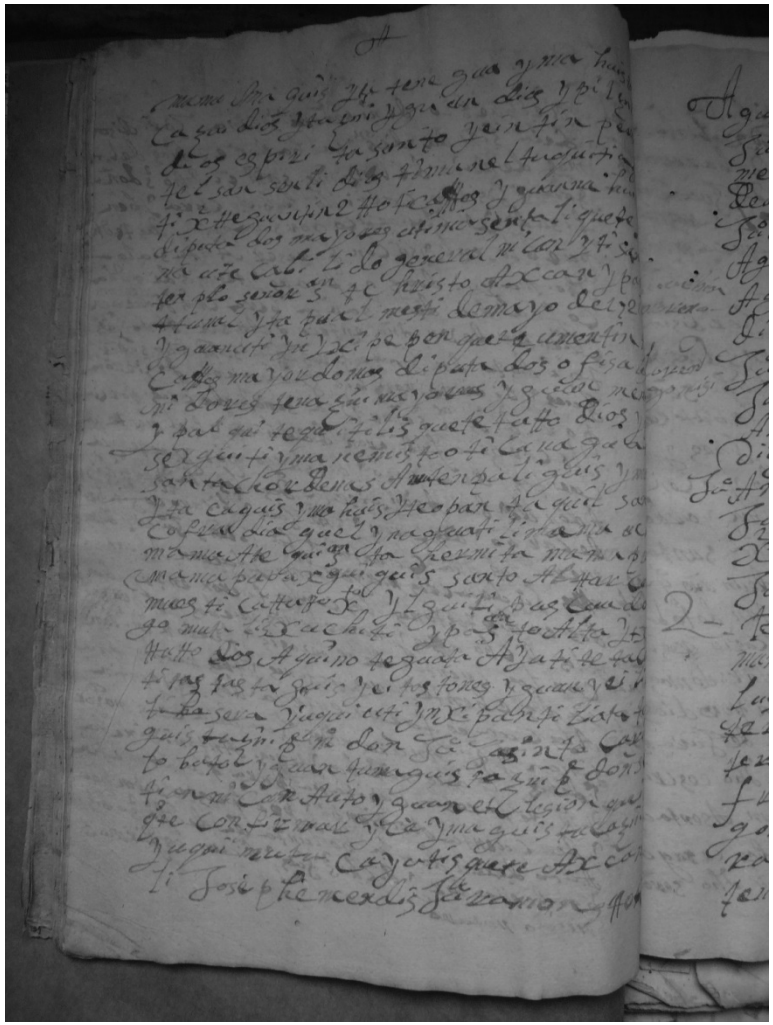
f. 20r



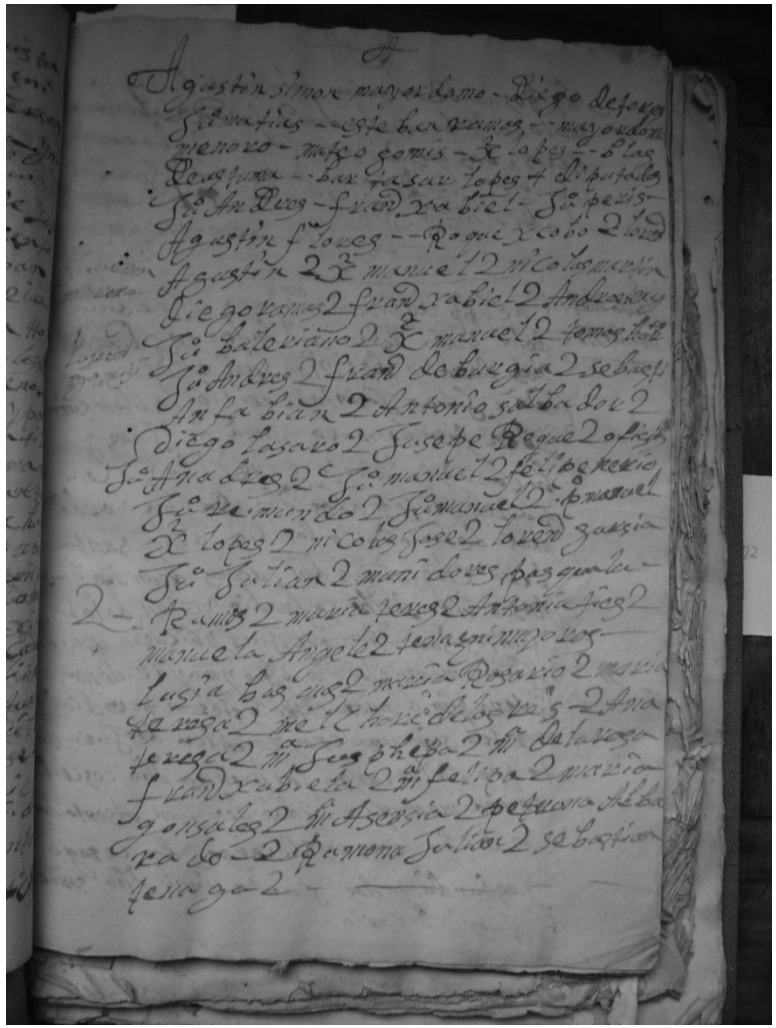
f. 20v



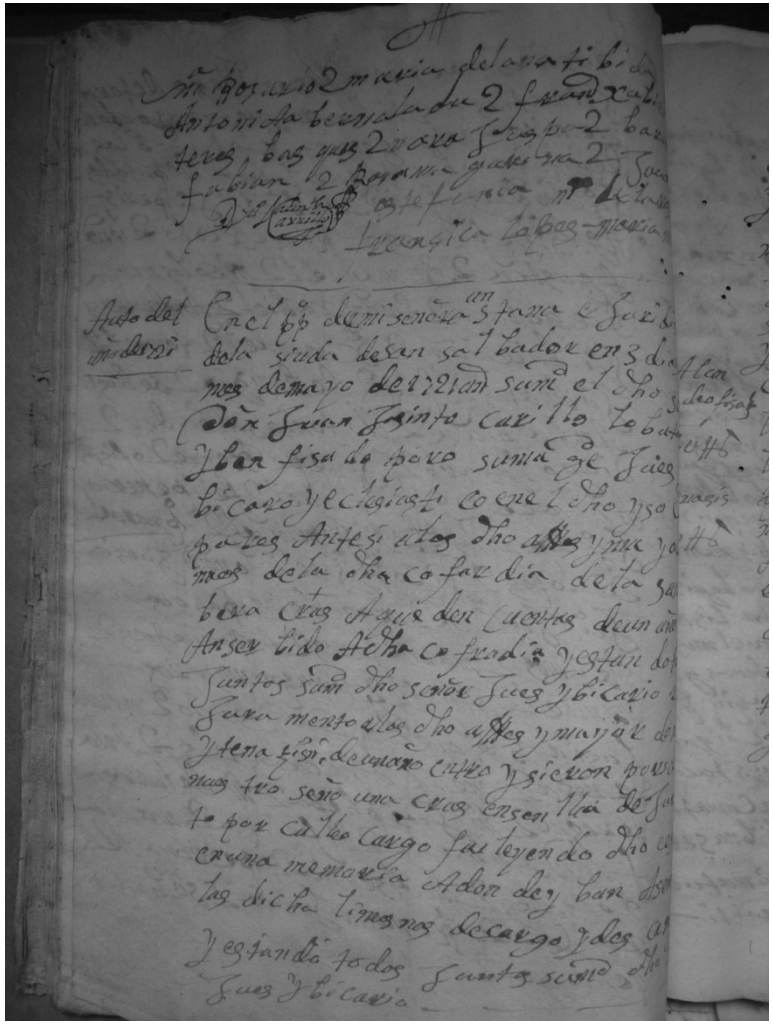
f. 21r



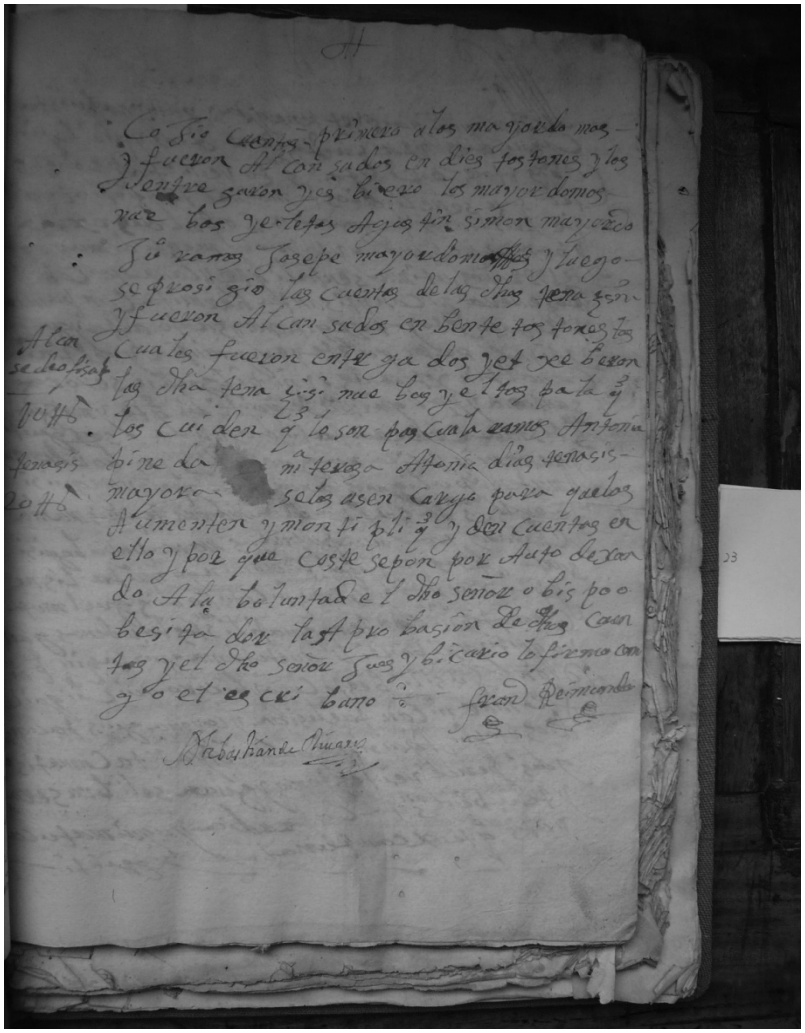
f. 21. v



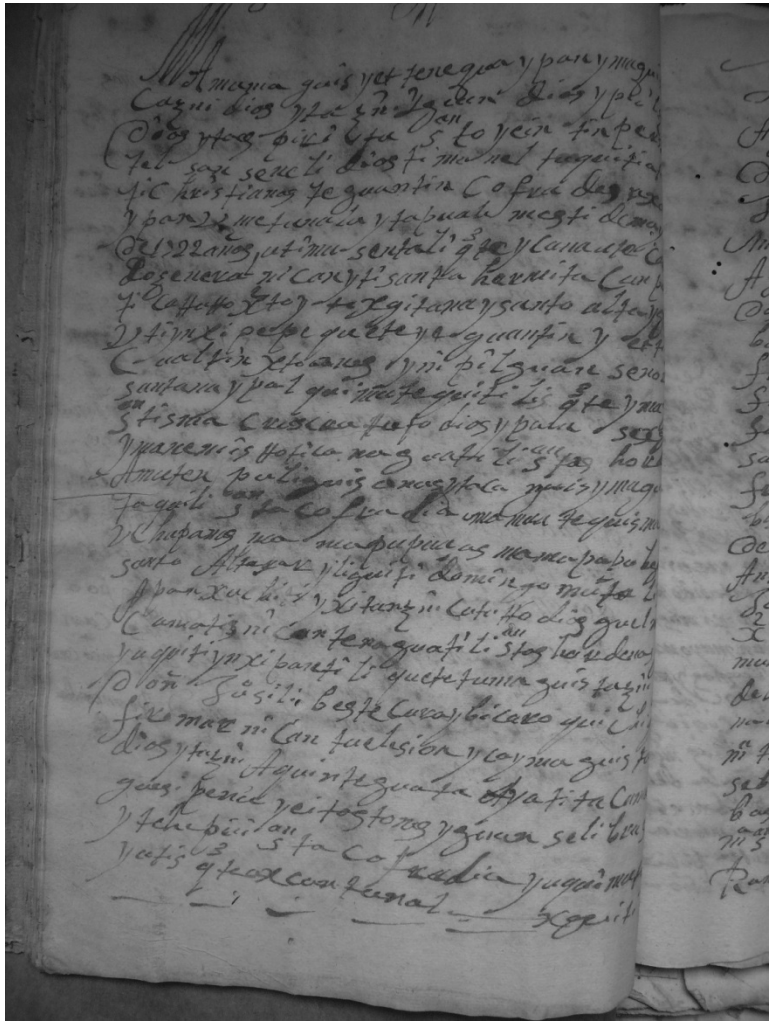
f. 22r



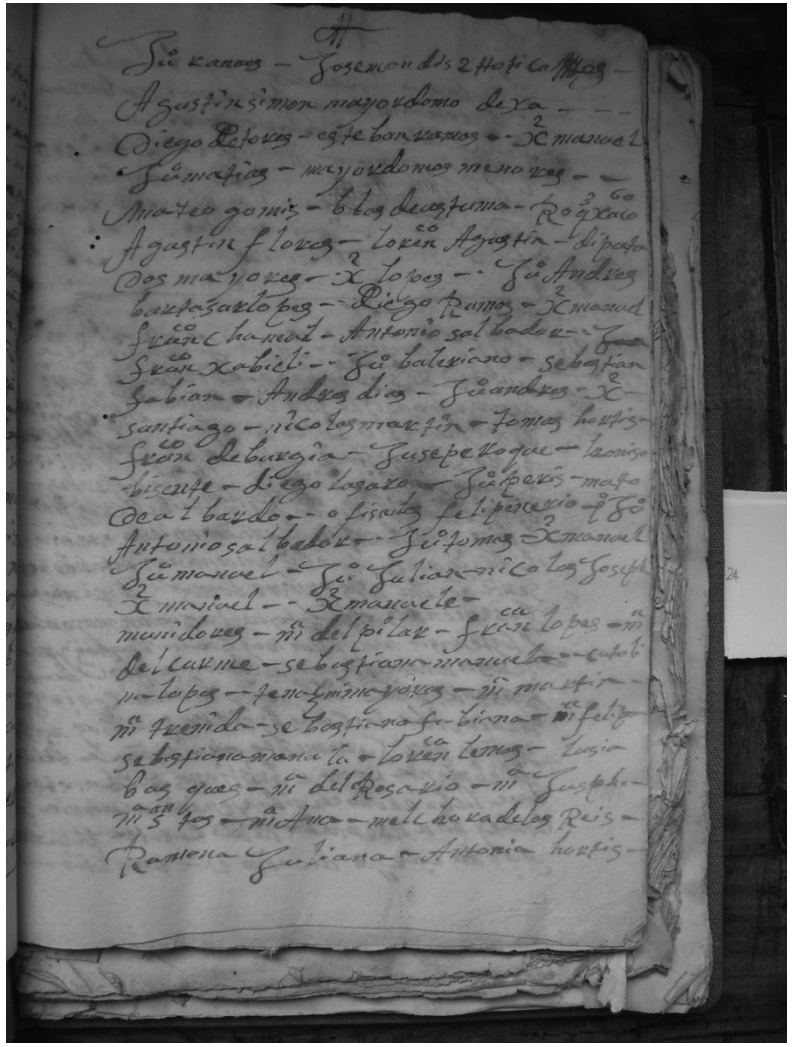
f. 22v



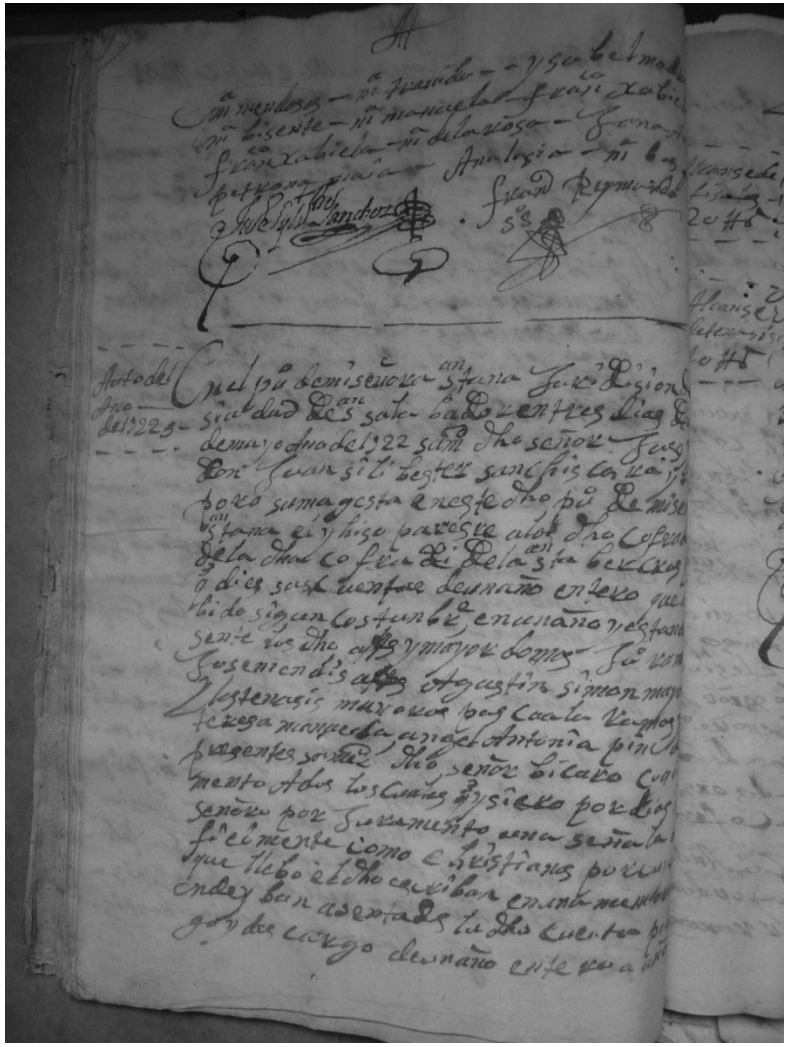
f. 23r



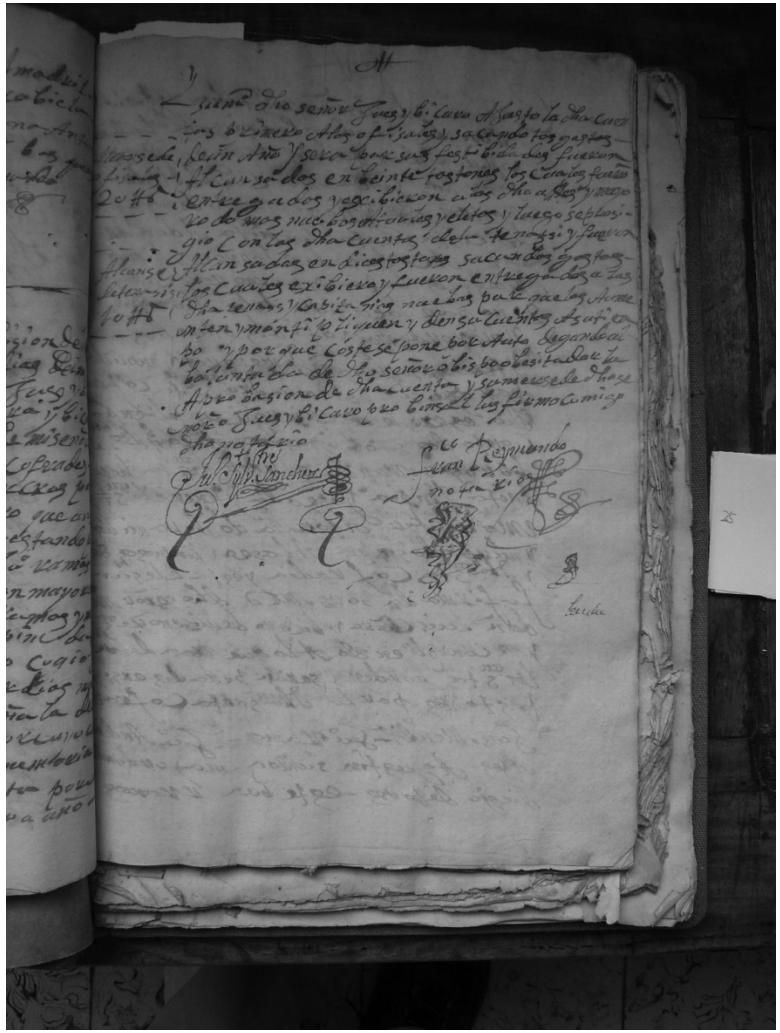
f. 23v



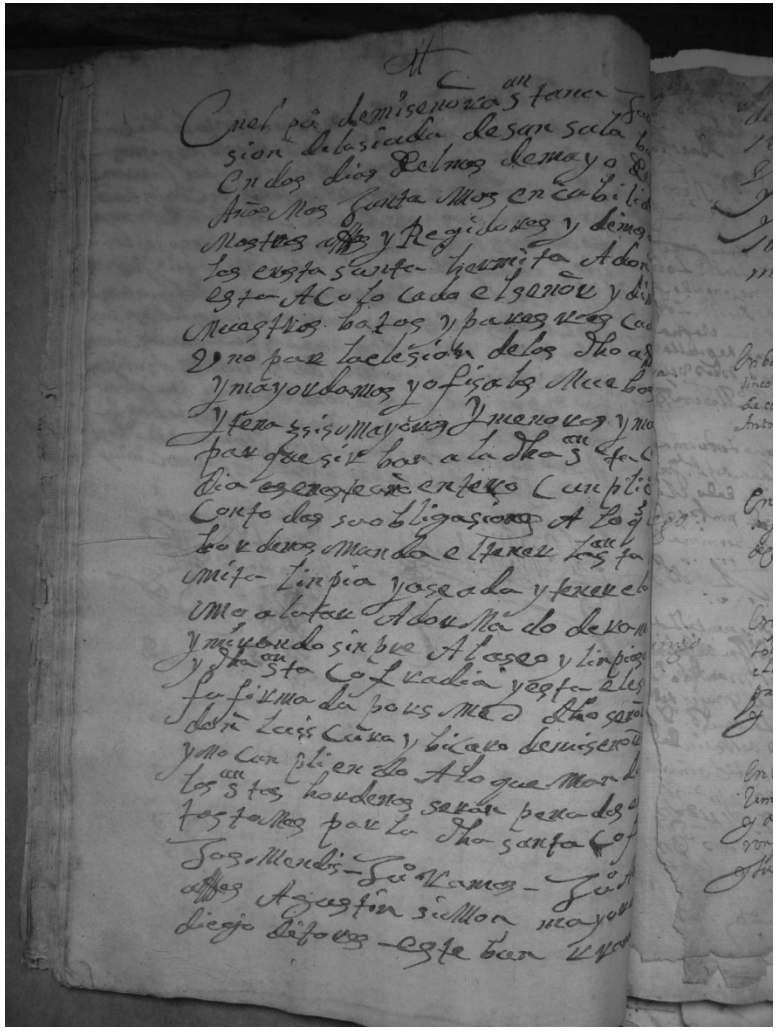
f. 24r



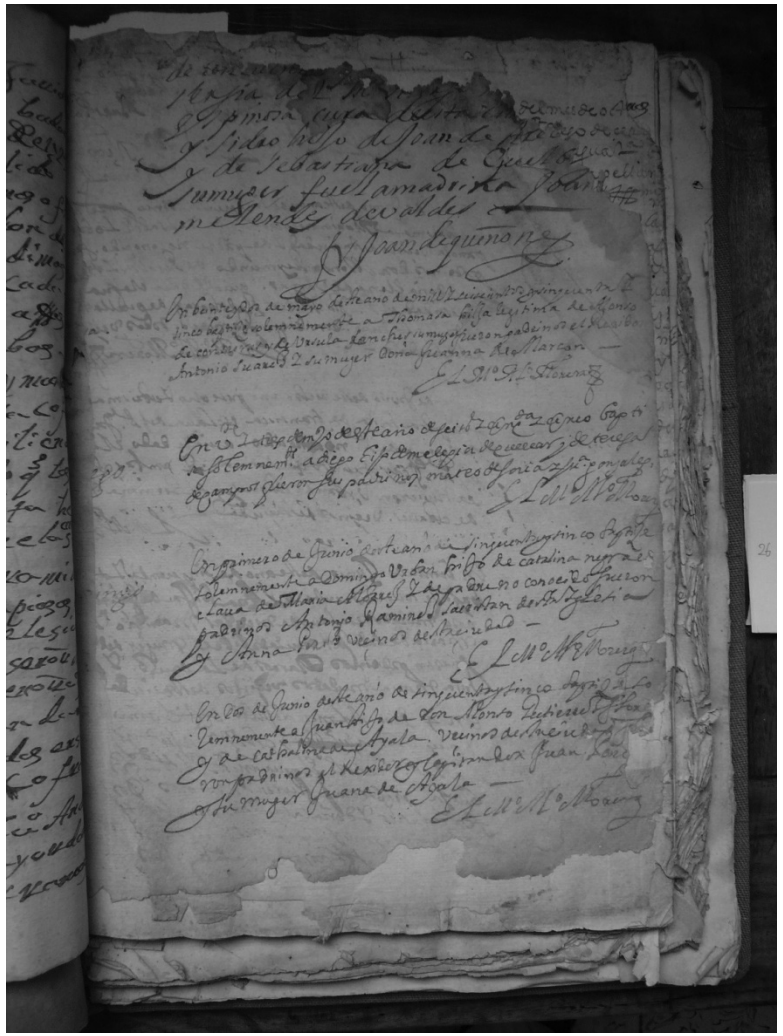
f. 24v



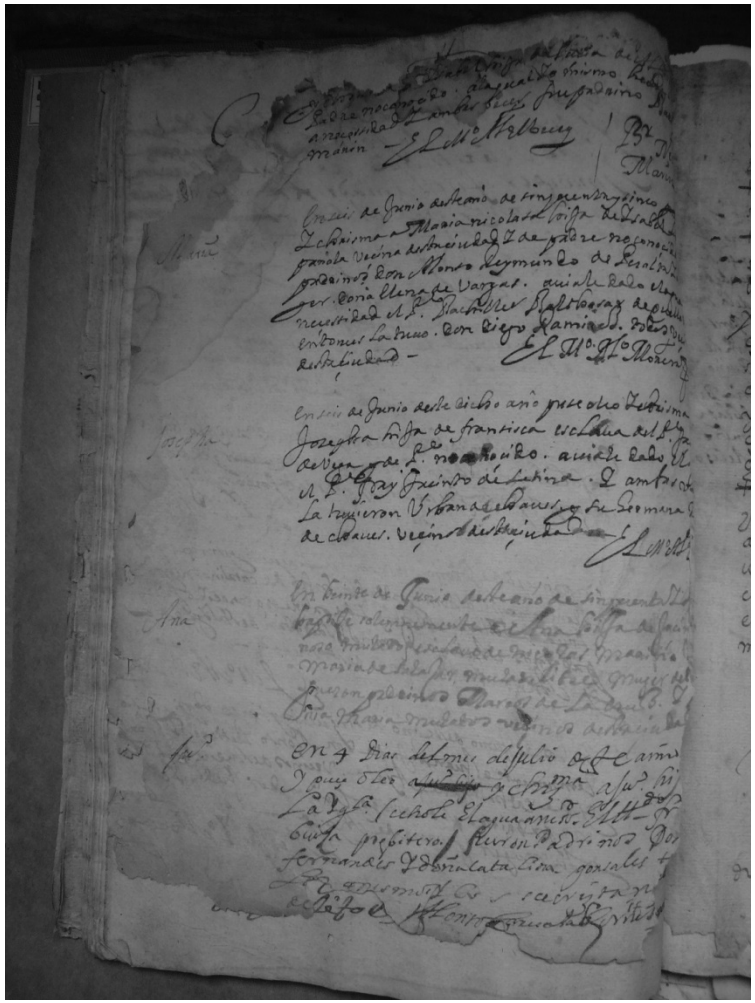
f. 25r



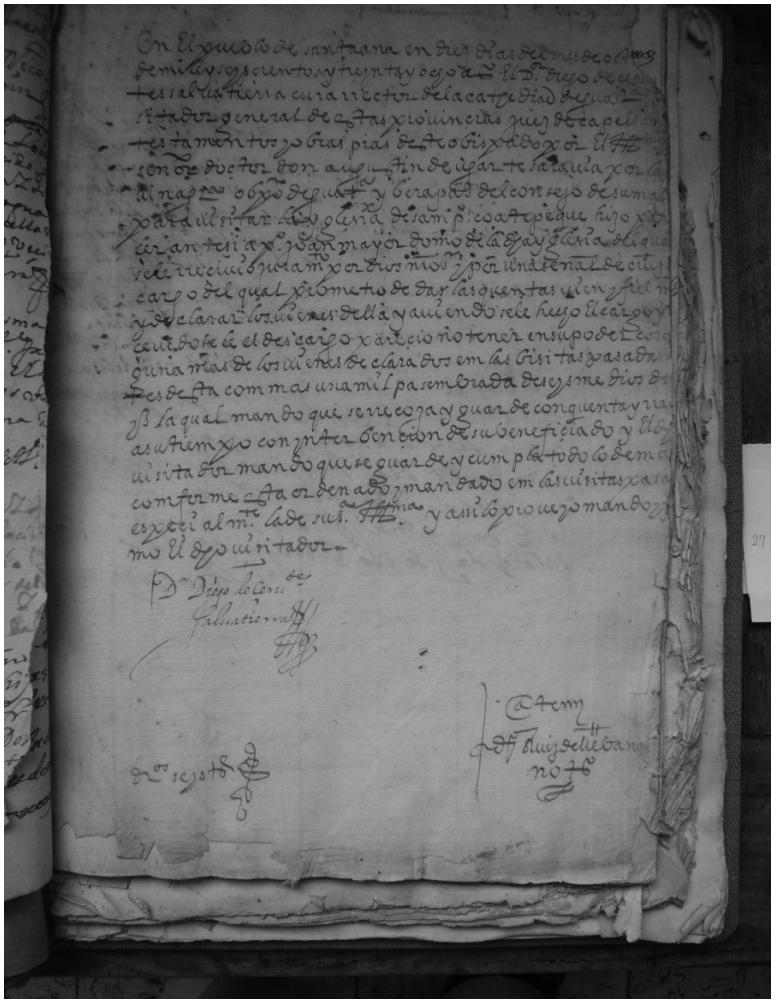
f. 25v



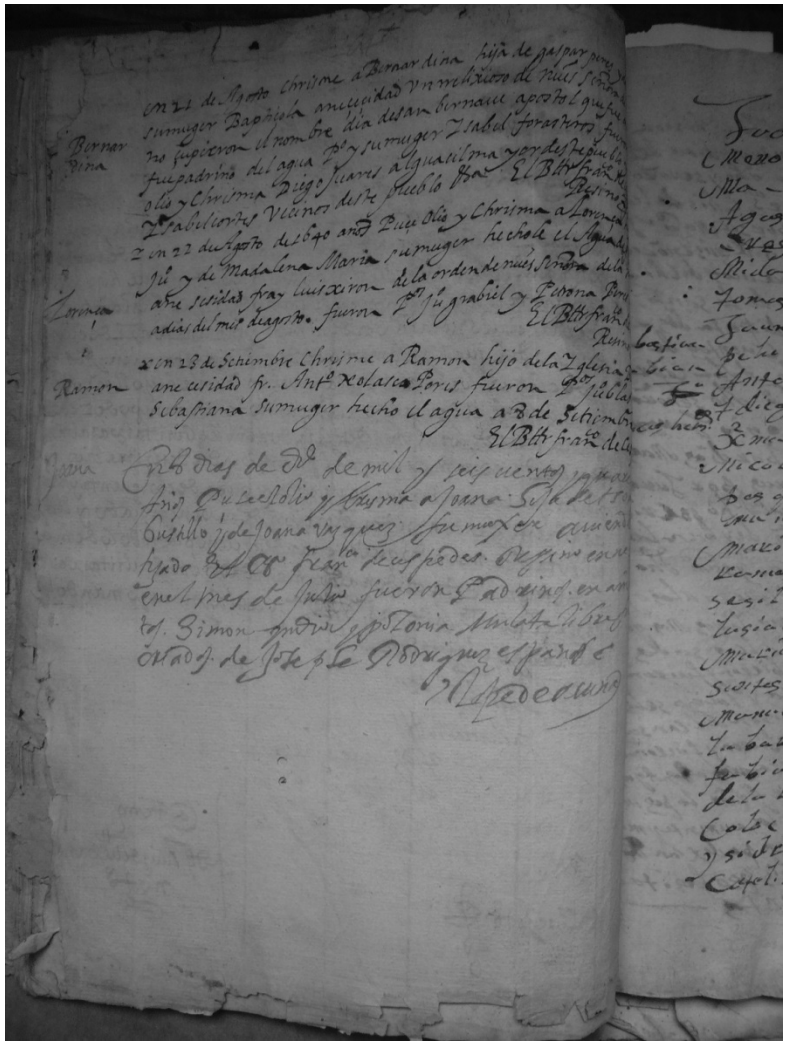
f. 26r



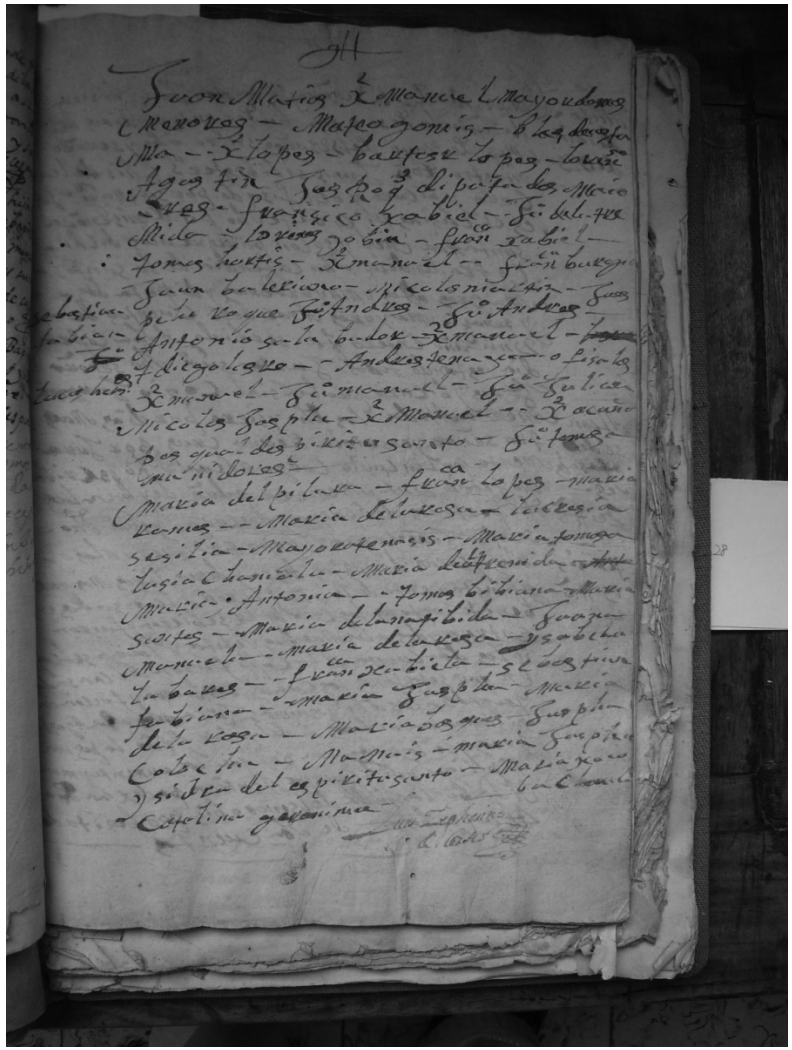
f. 26v



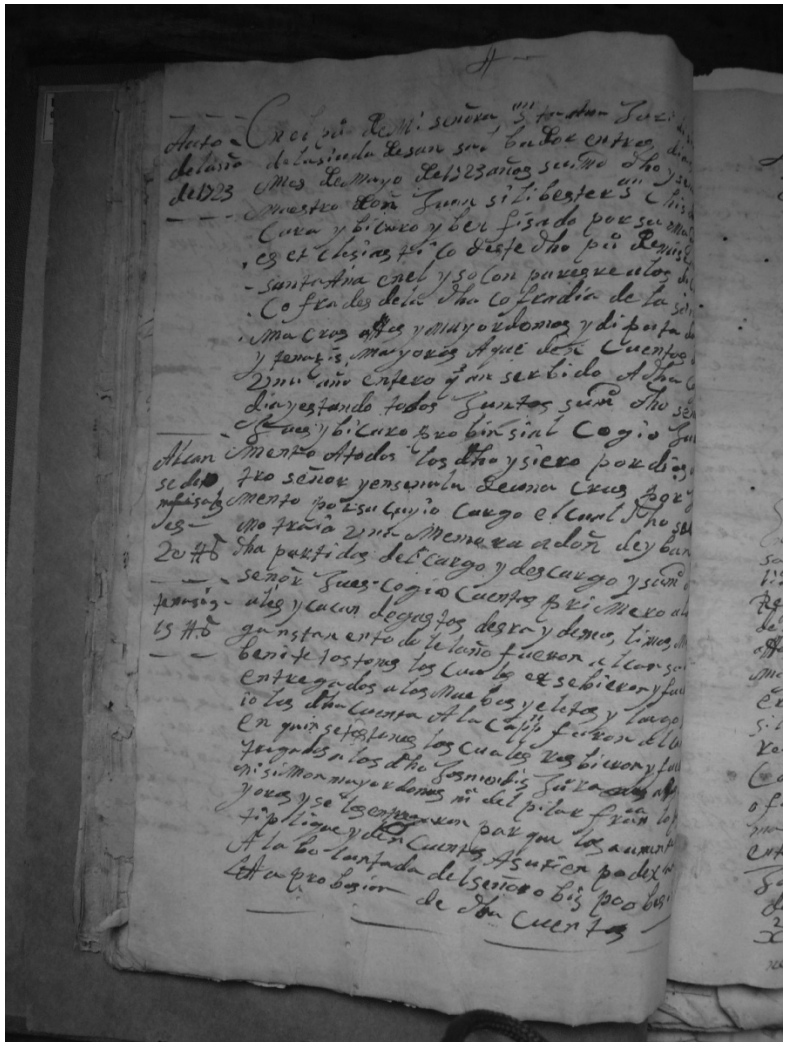
f. 27r



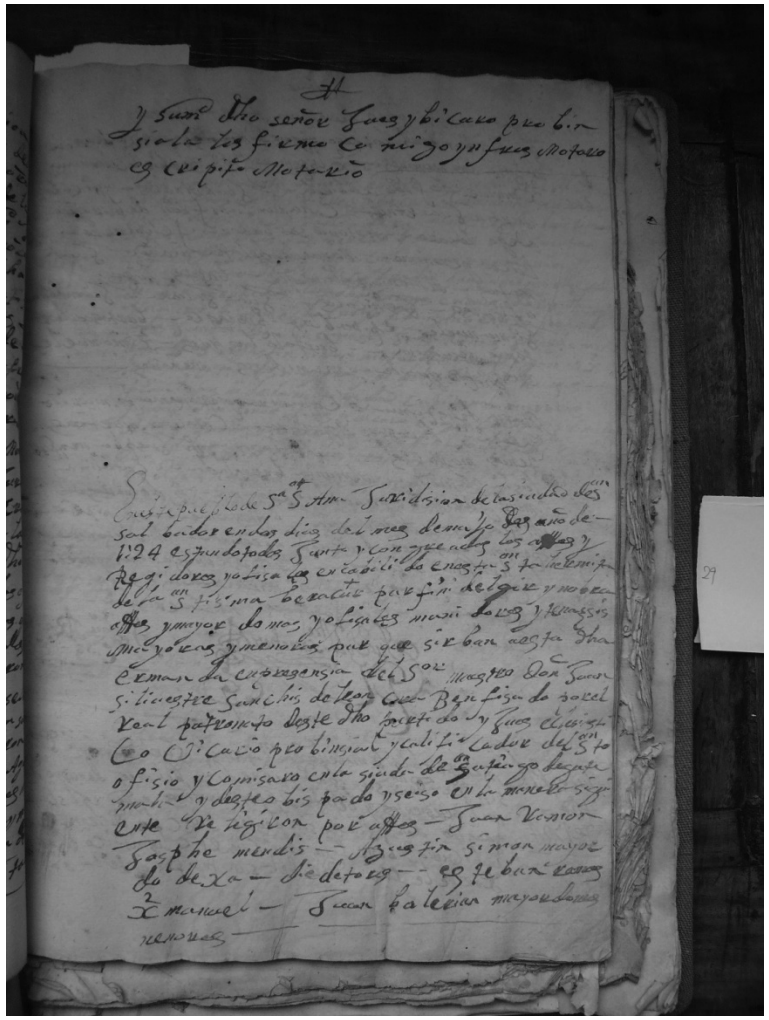
f. 27v



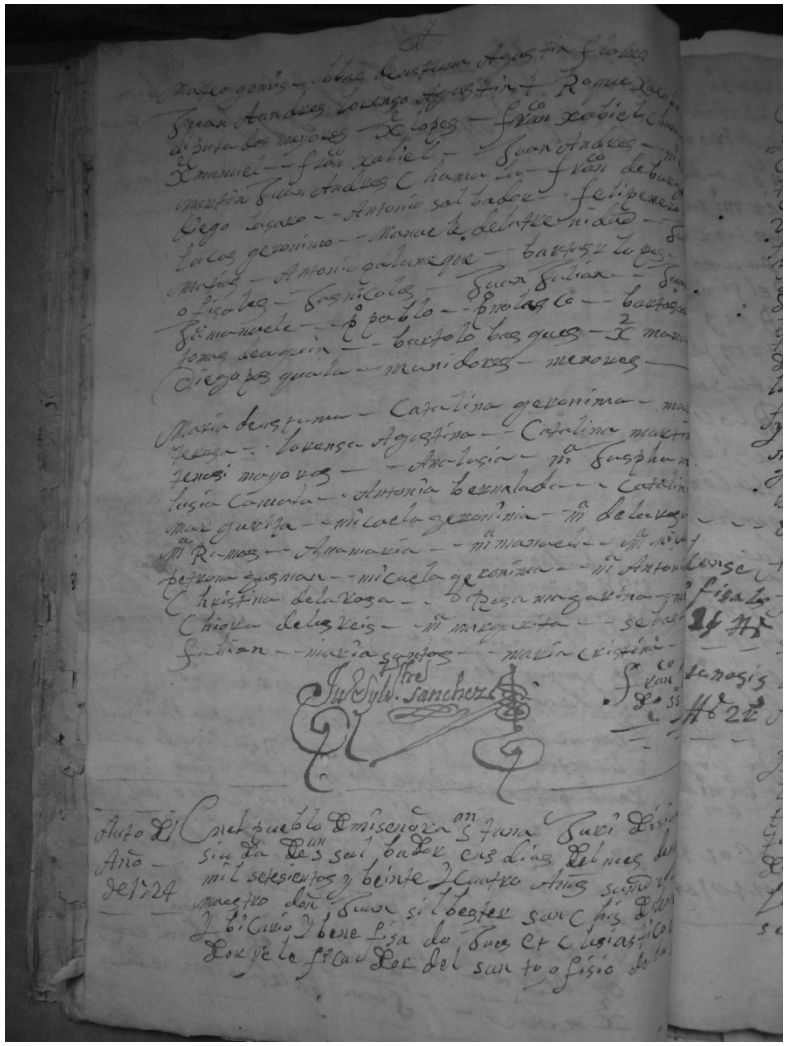
f. 28r



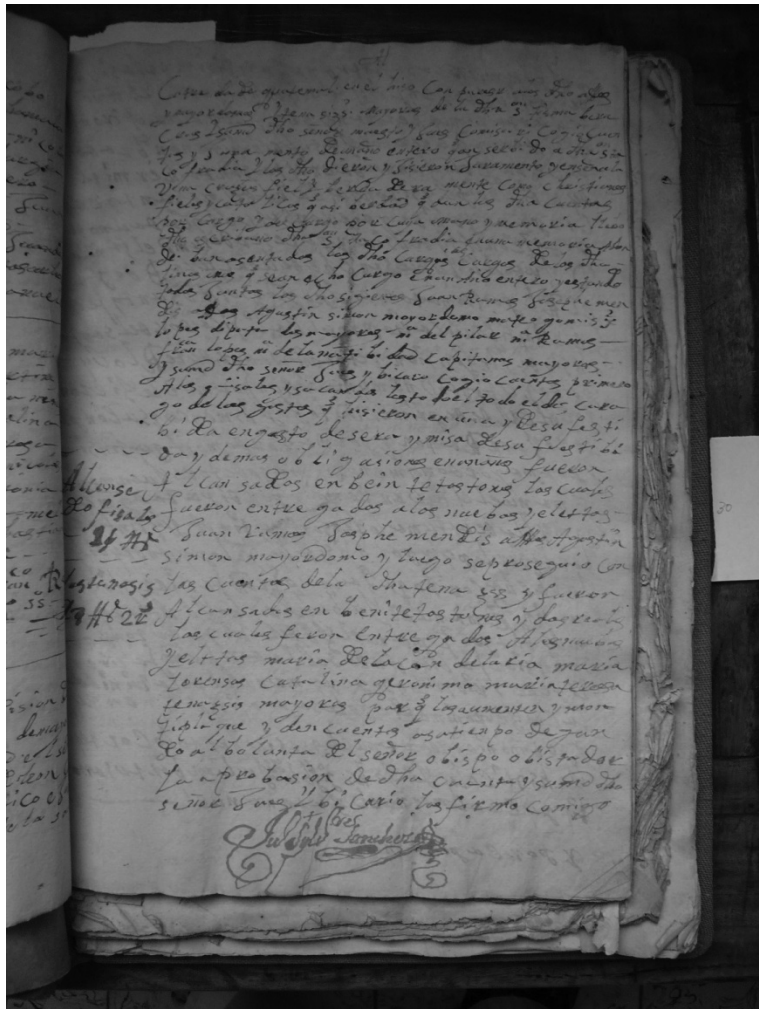
f. 28v



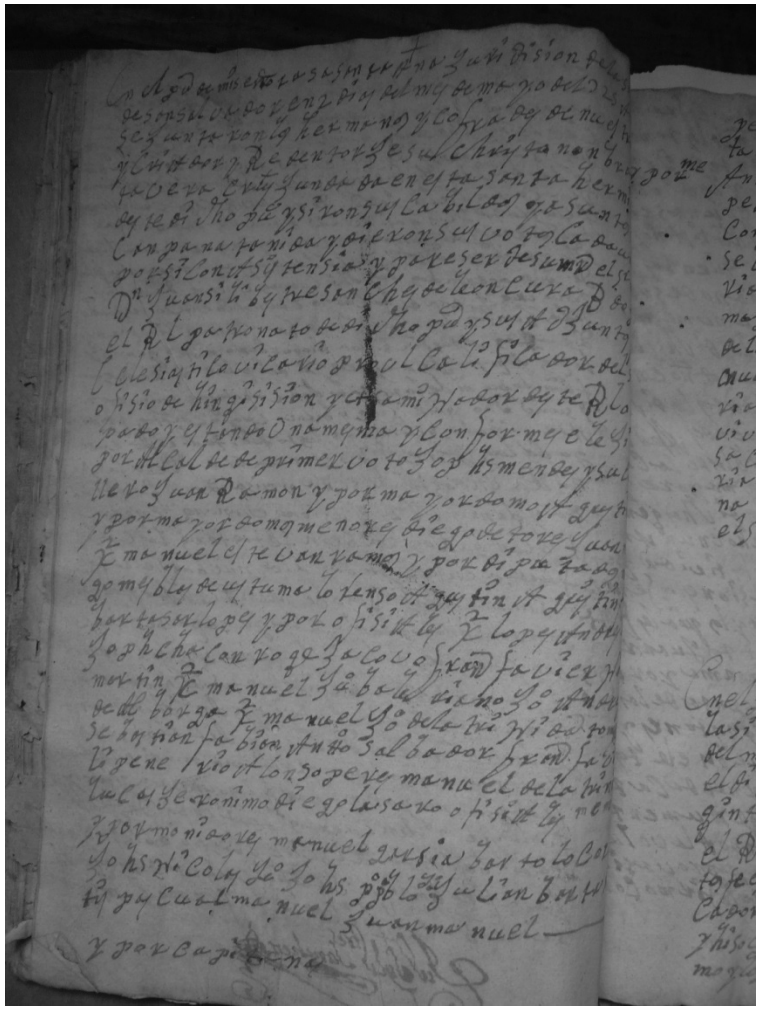
f. 29r



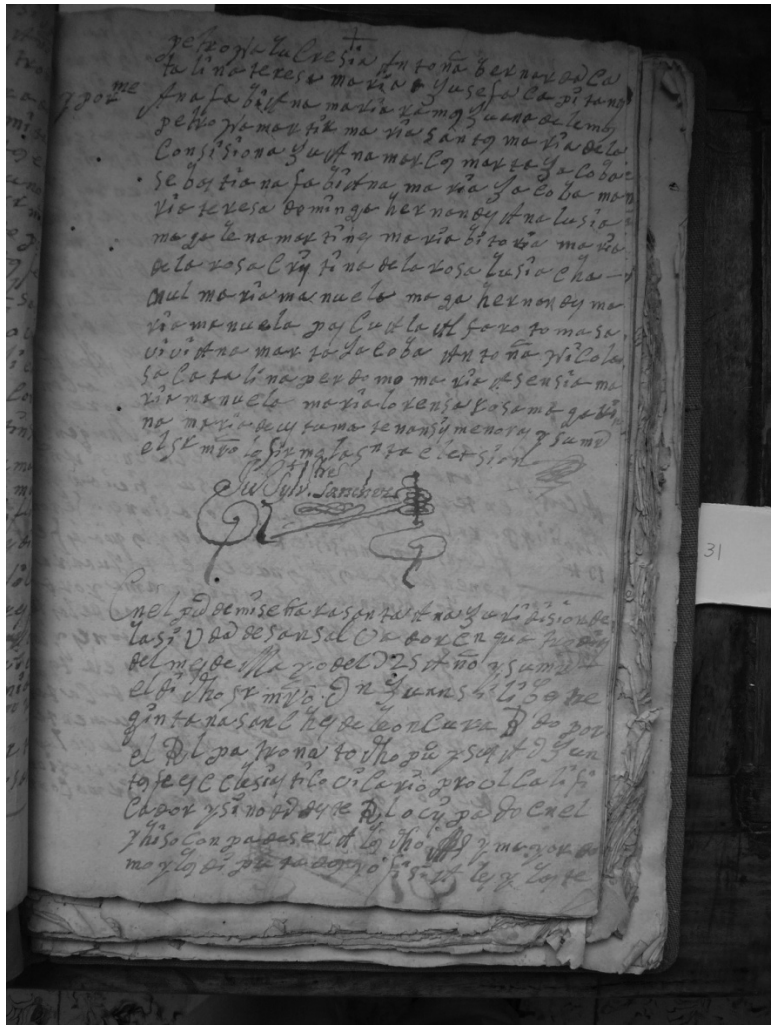
f. 29v



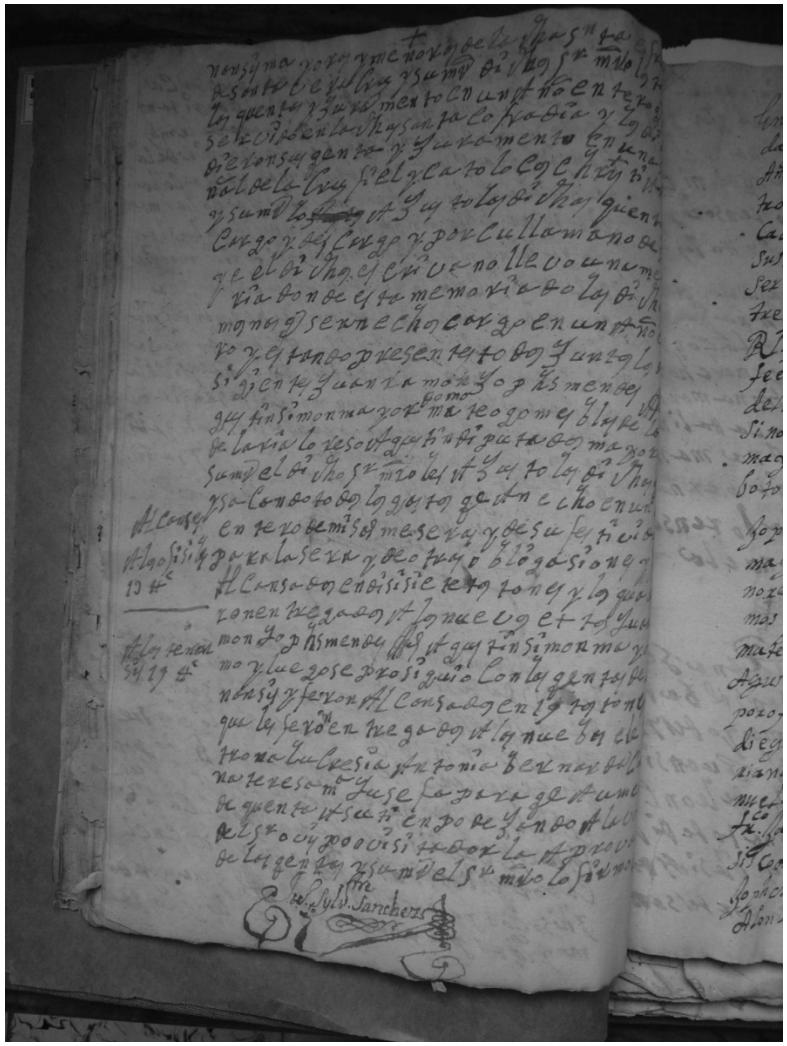
f. 30r



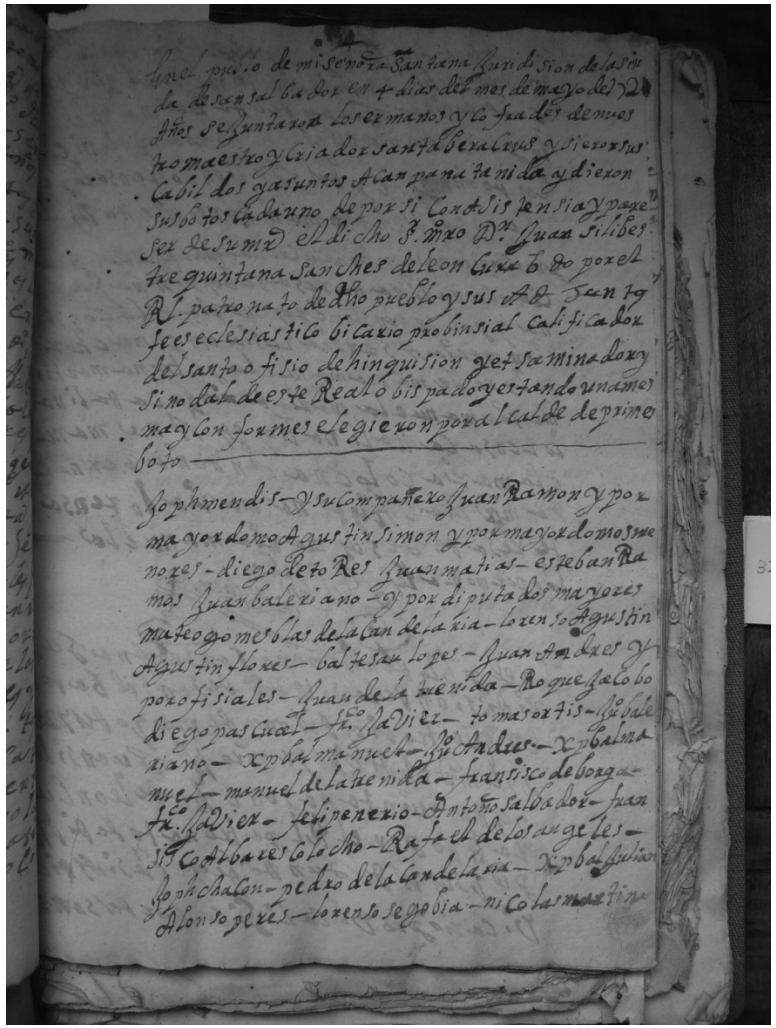
f. 30v



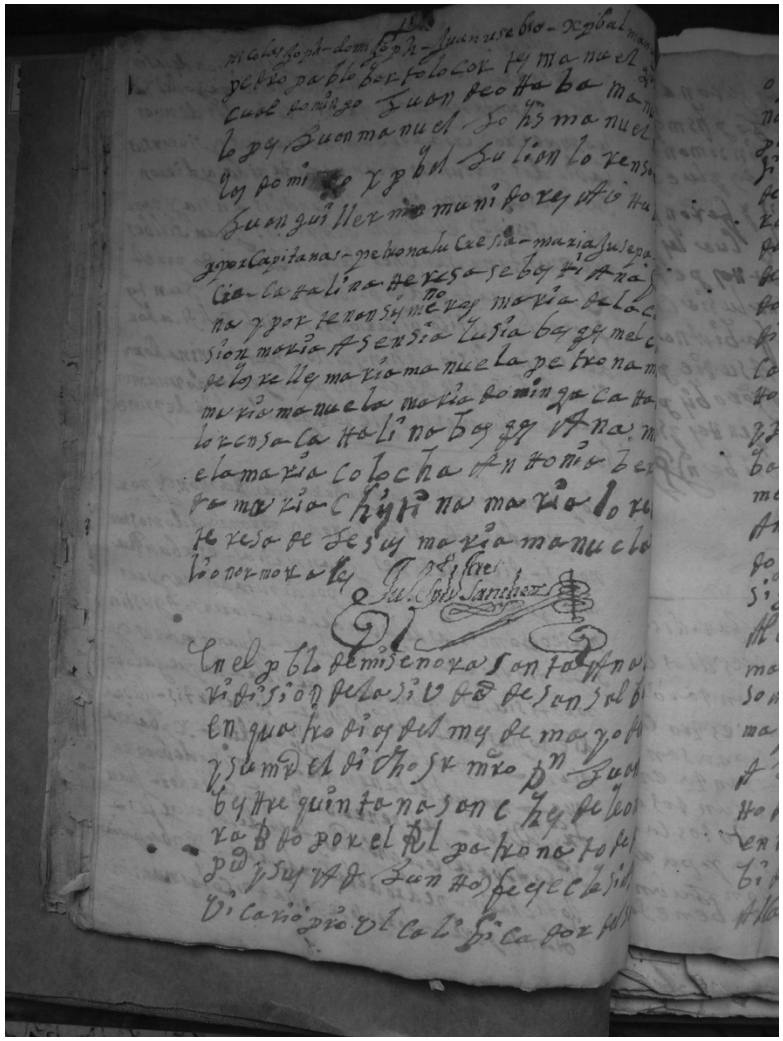
f. 31r



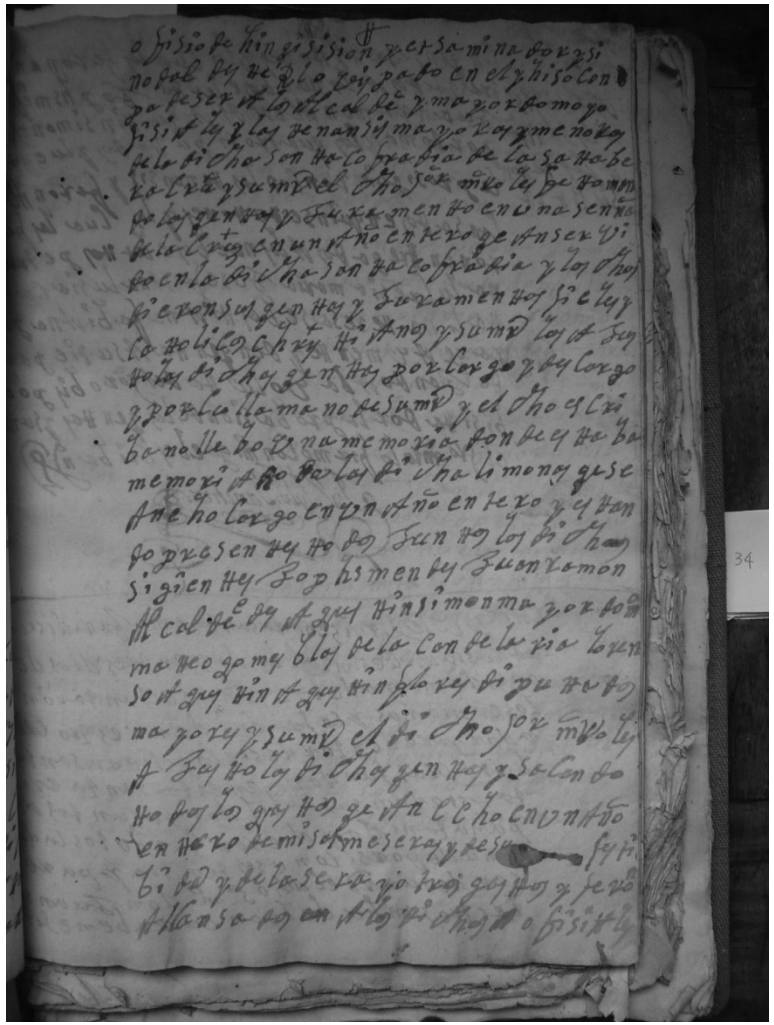
f. 31v



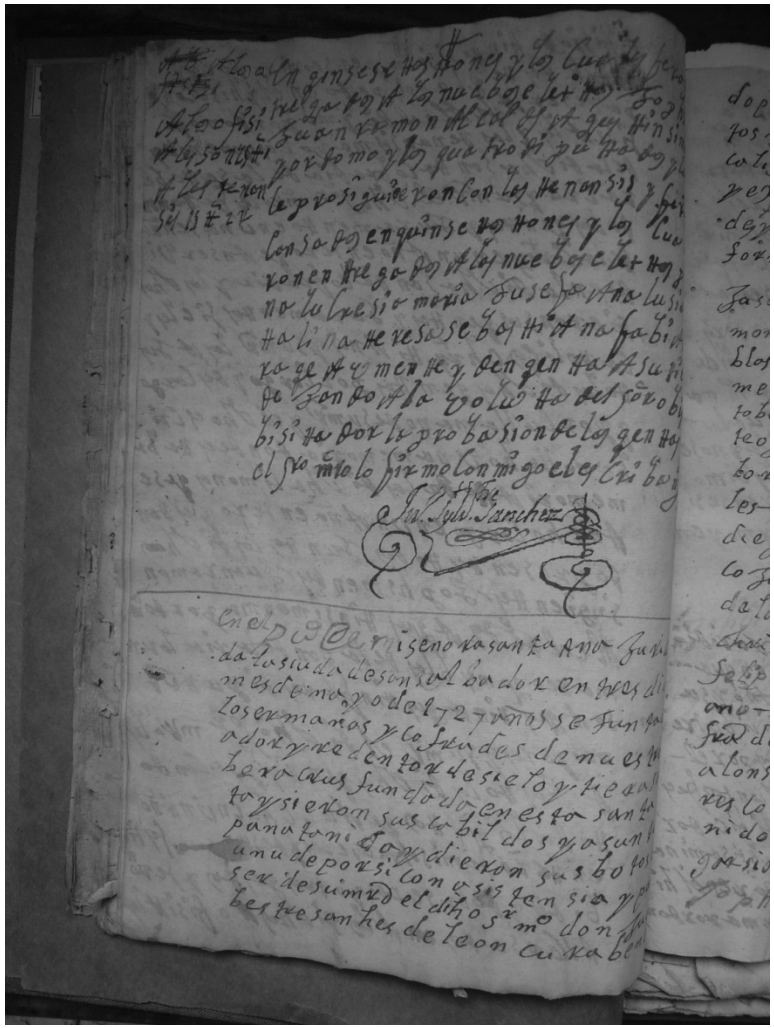
f. 32r



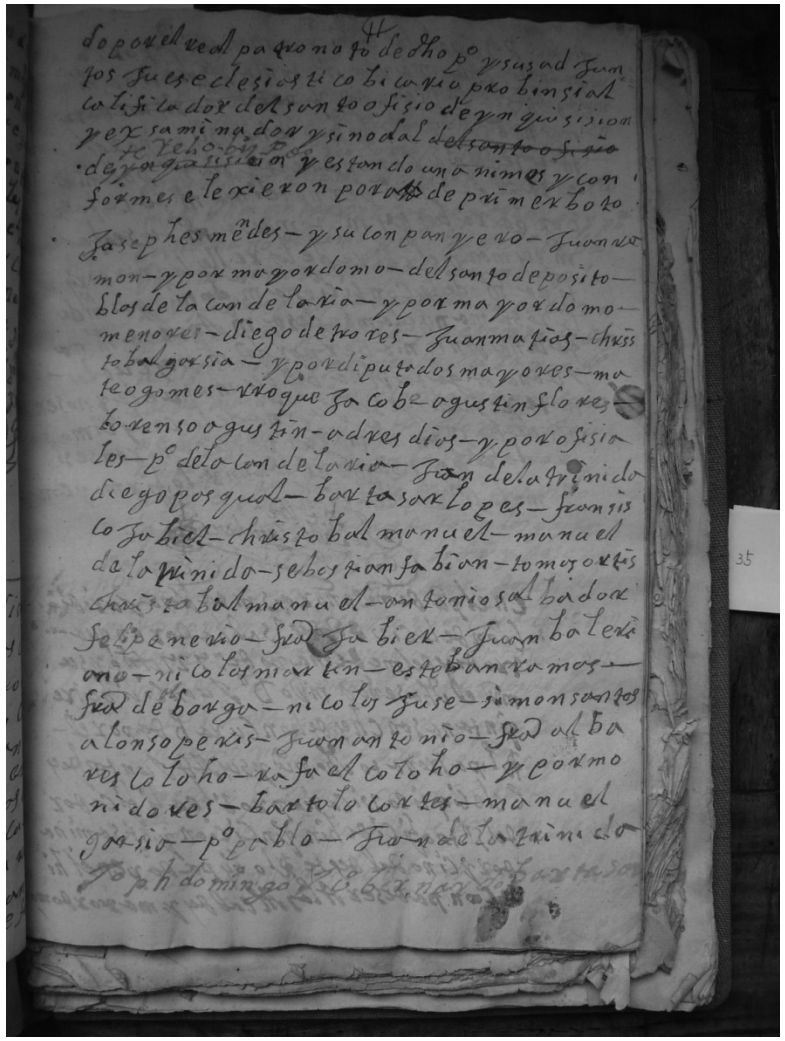
f. 33v



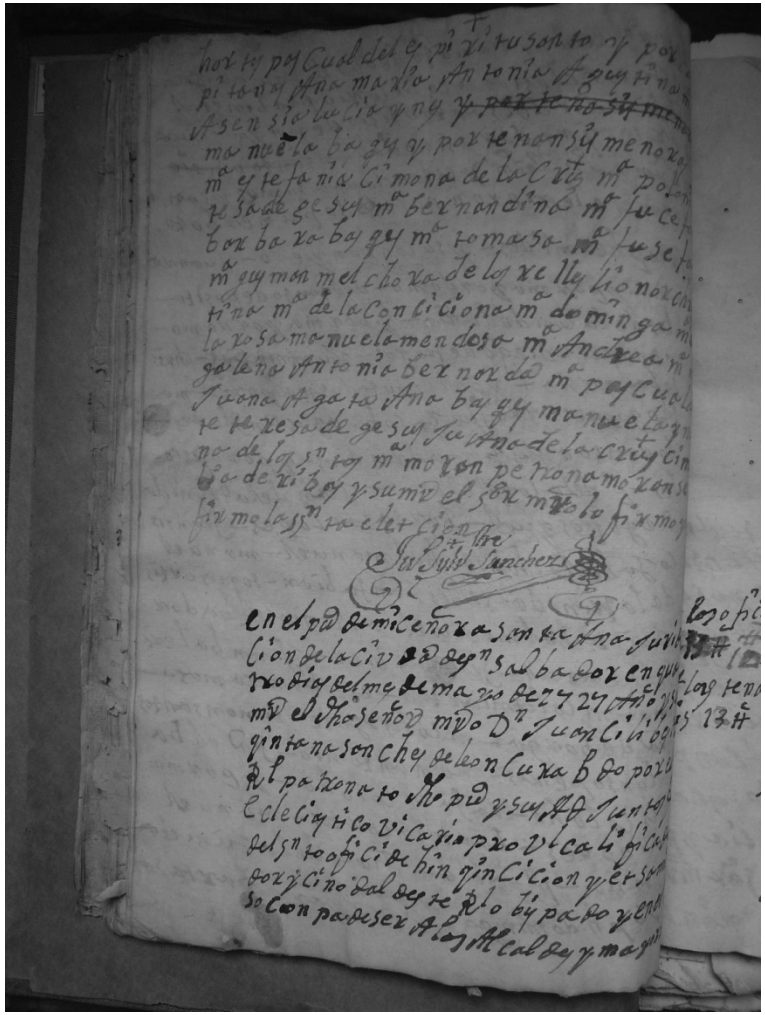
f. 34r



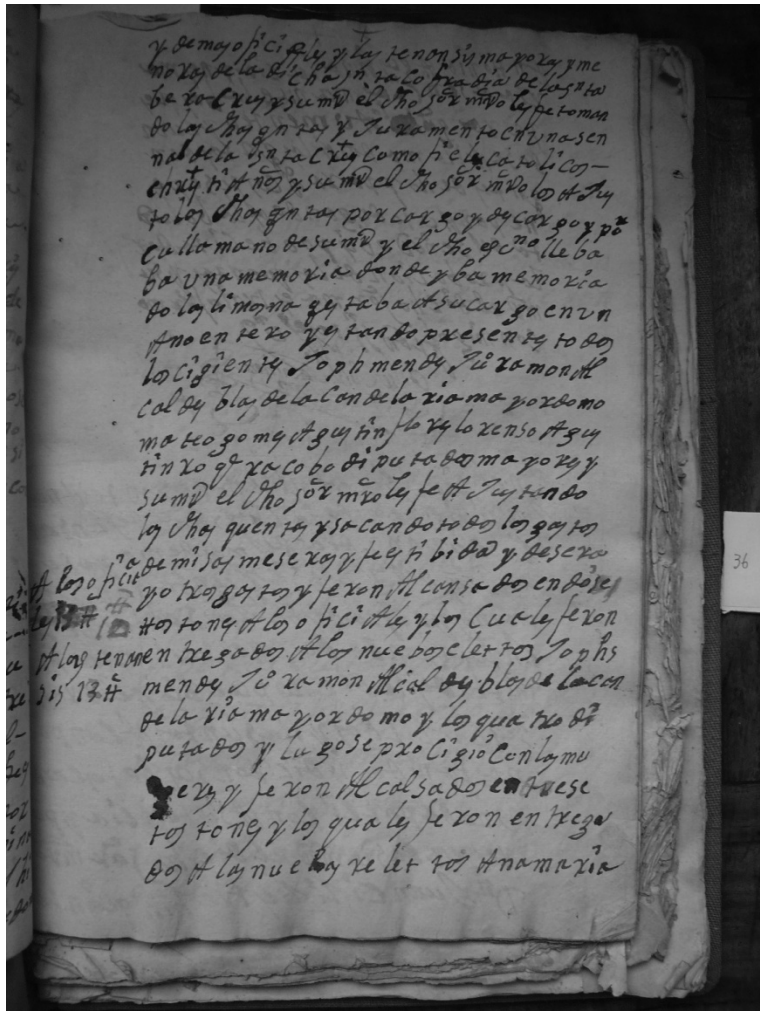
f. 34v



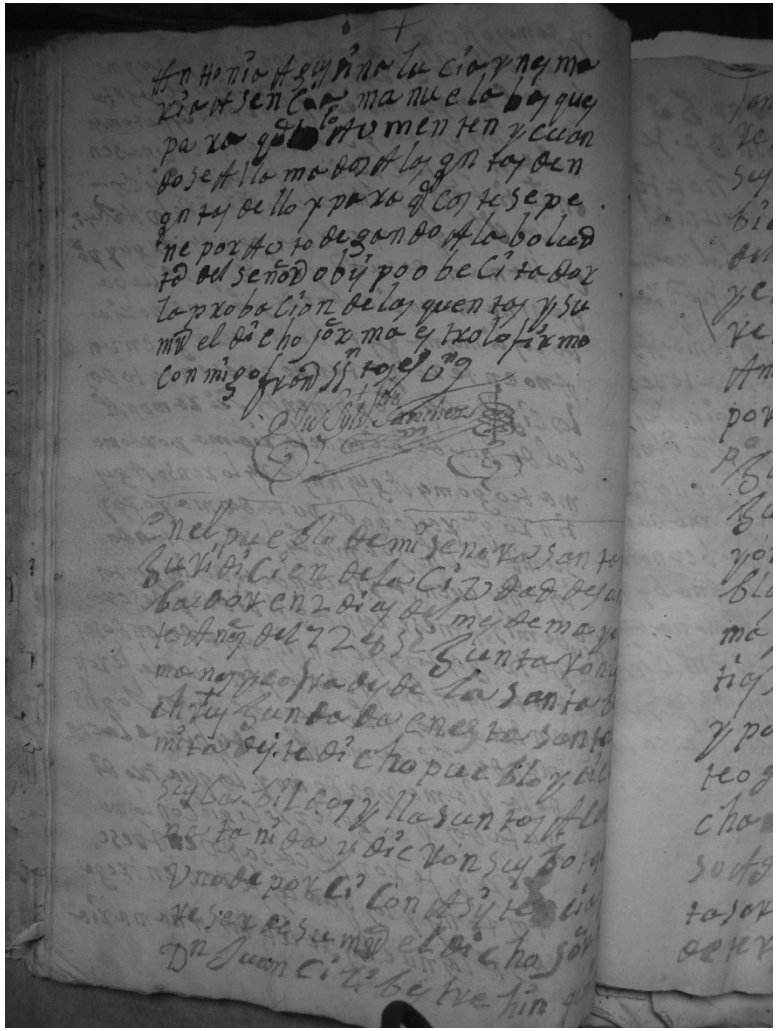
f. 35r



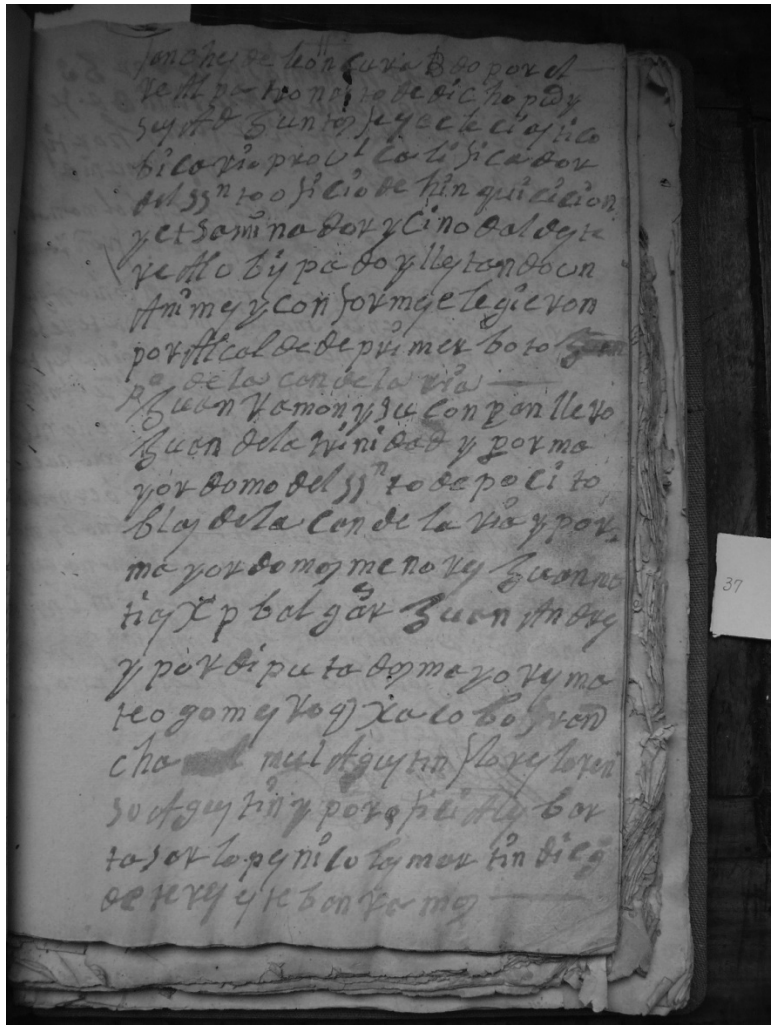
f. 35v



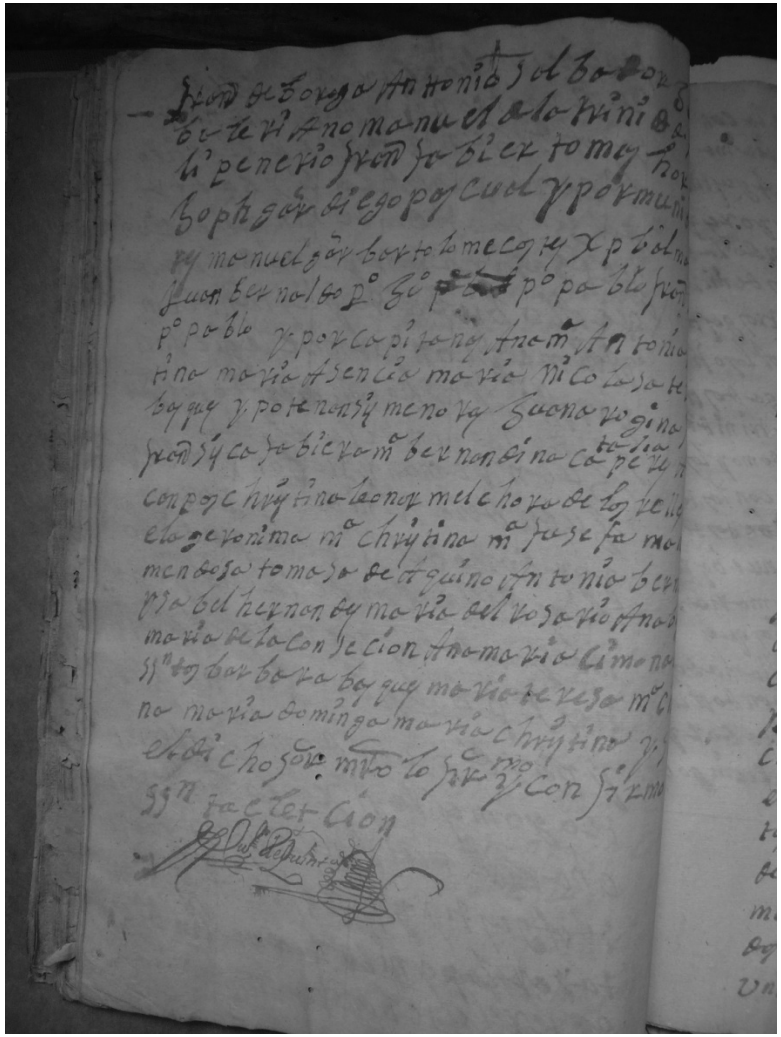
f. 36r



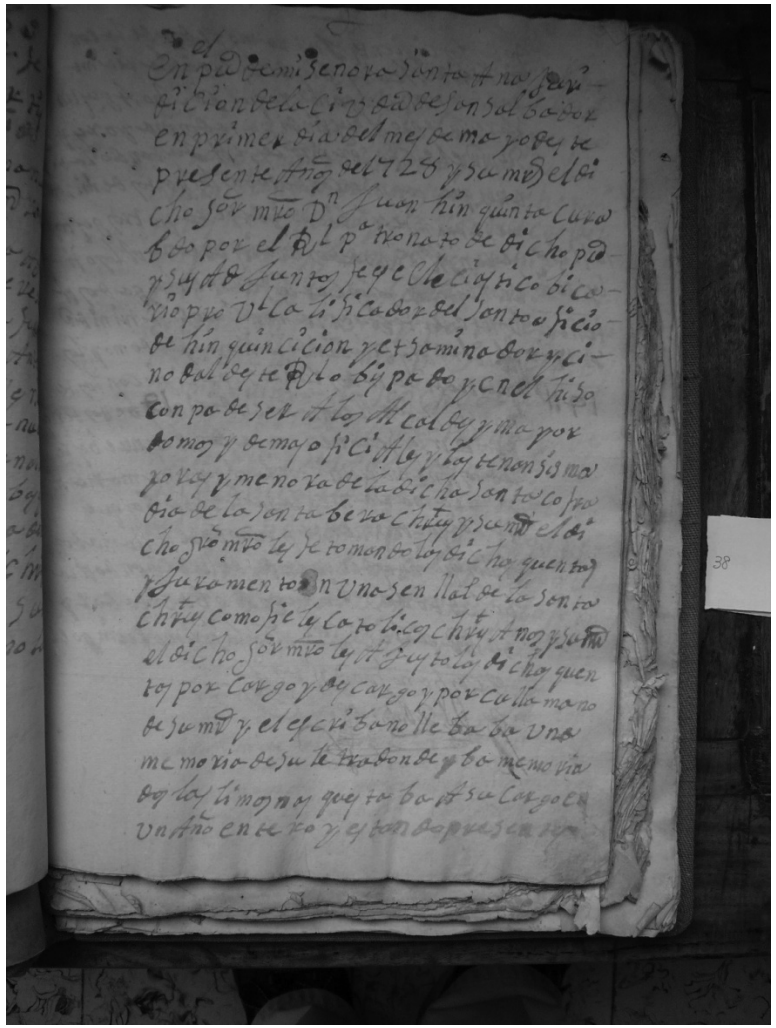
f. 36v



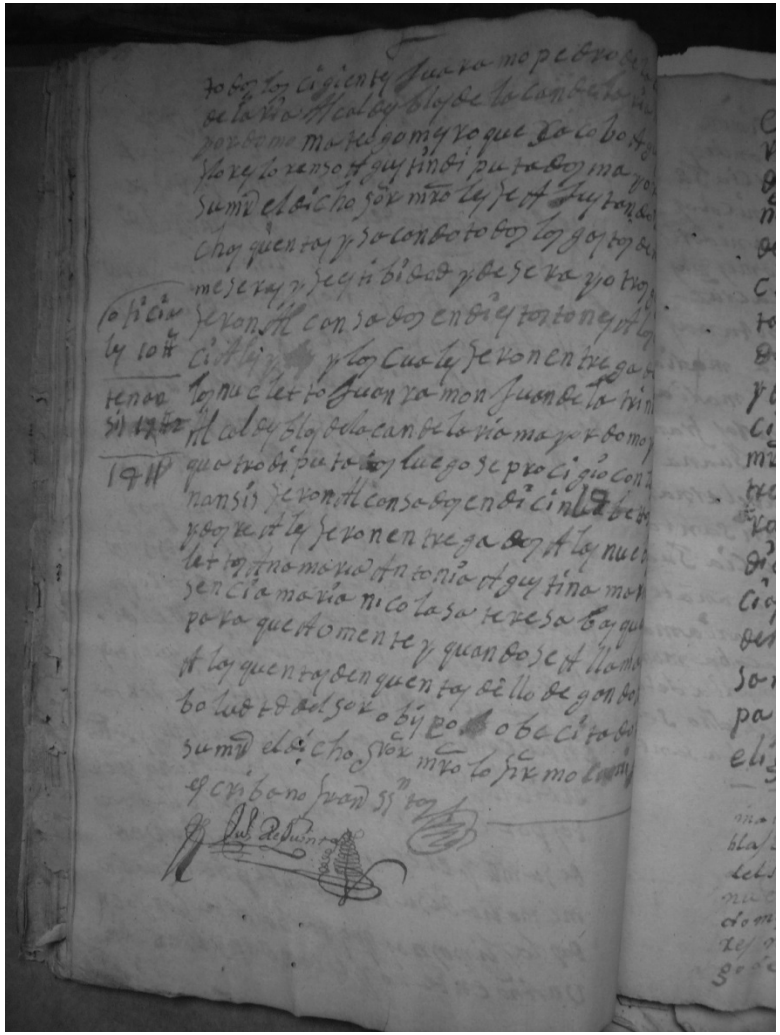
f. 37r



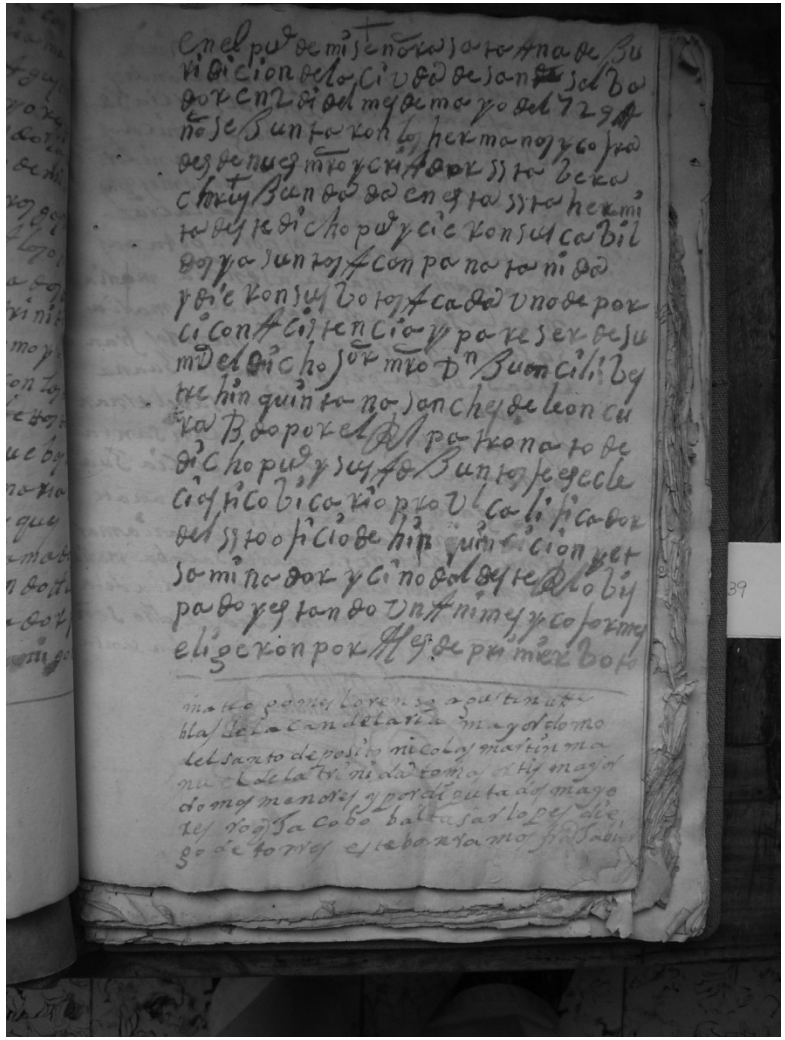
f. 37v



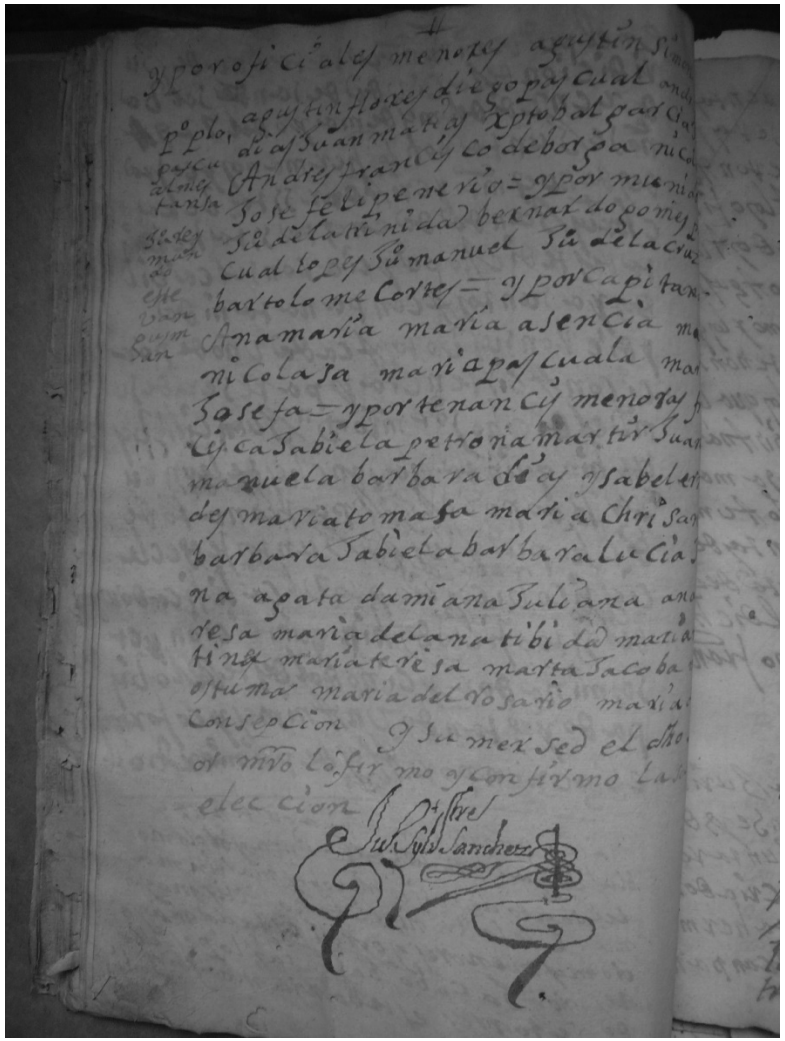
f. 38r



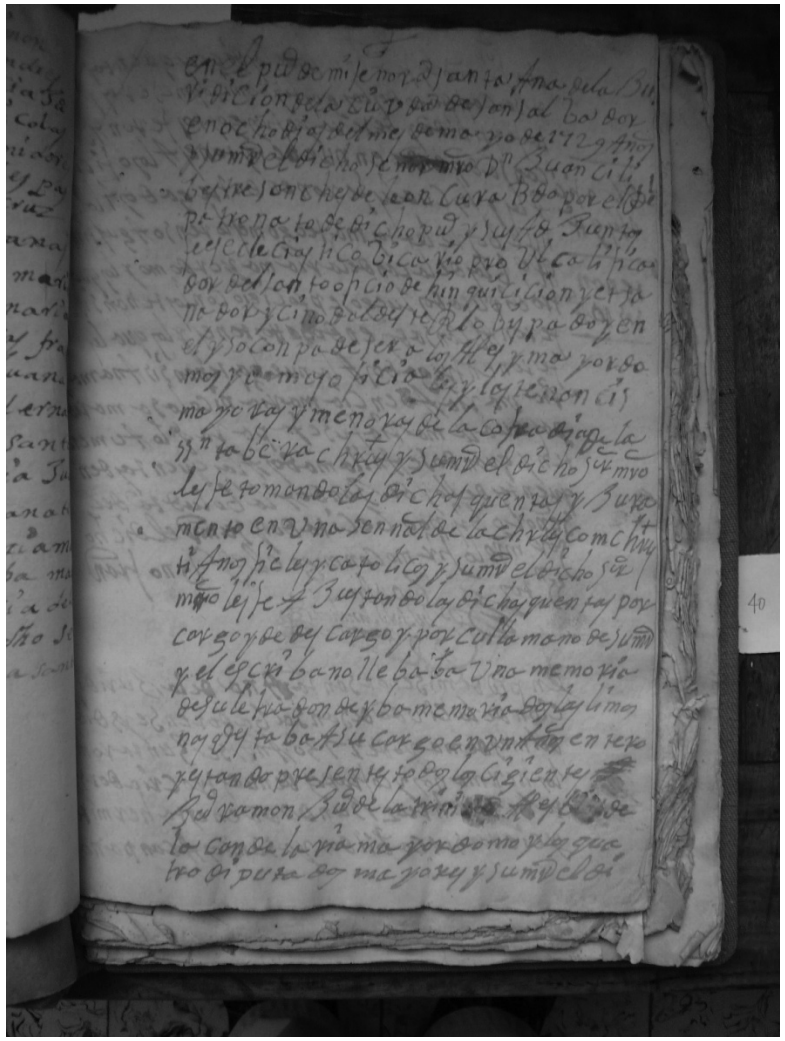
f. 38v



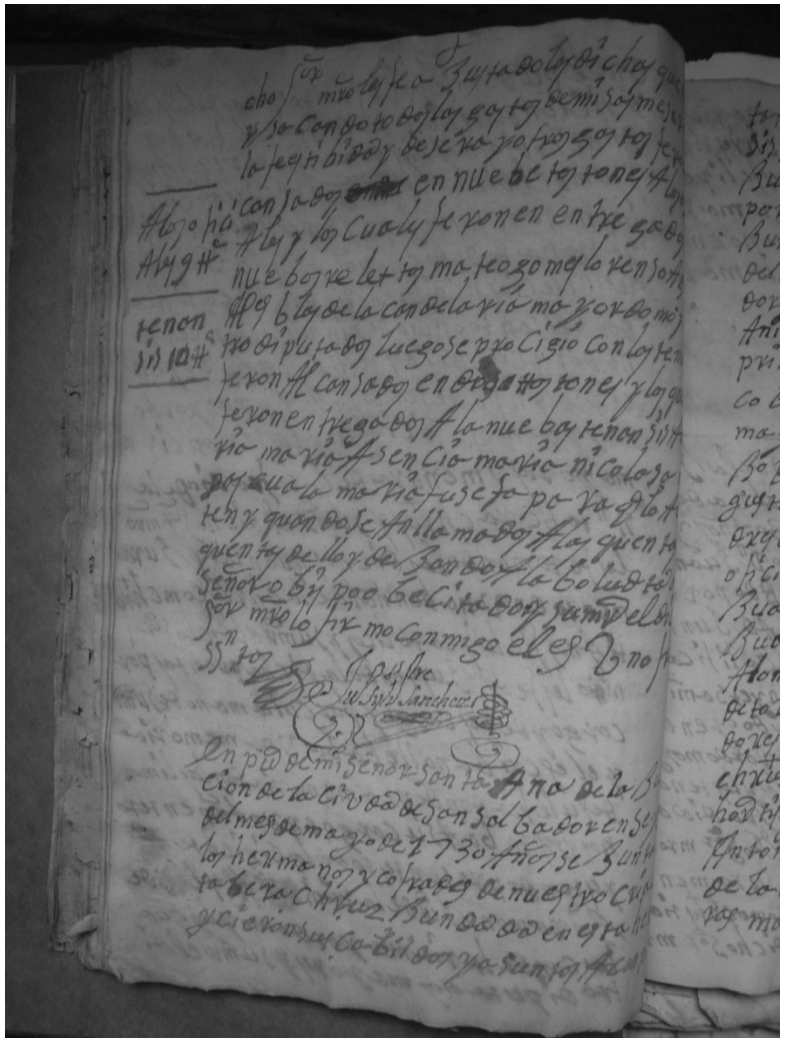
f. 39r



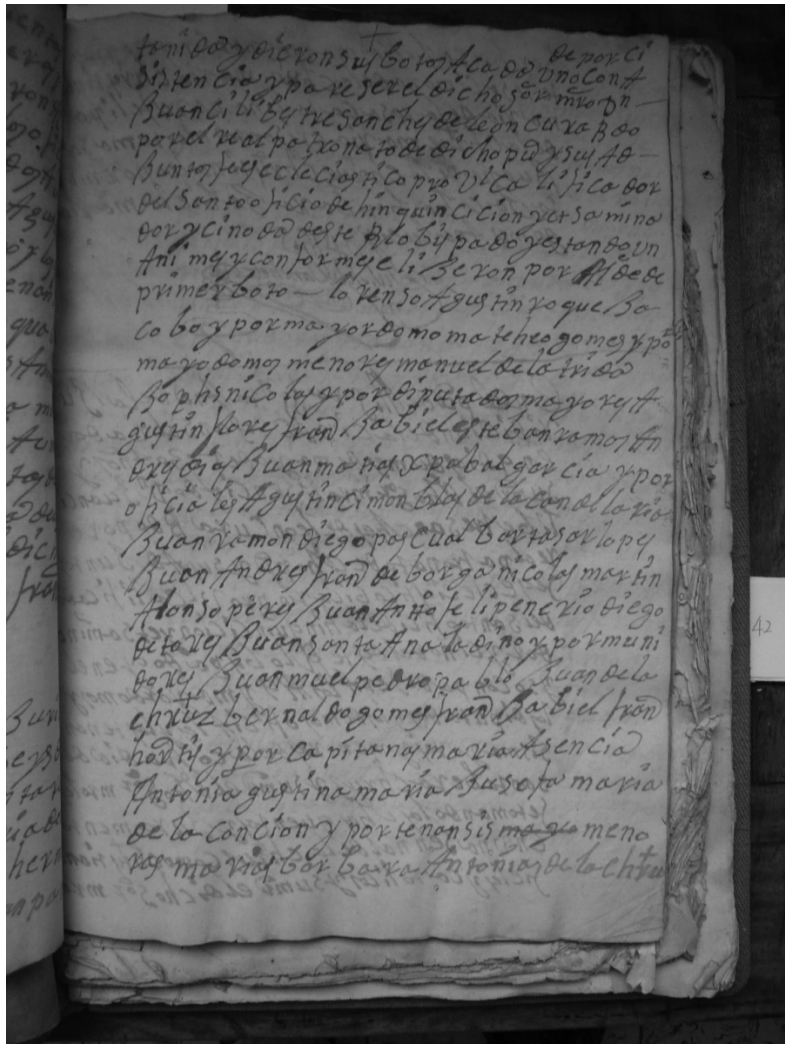
f. 39v



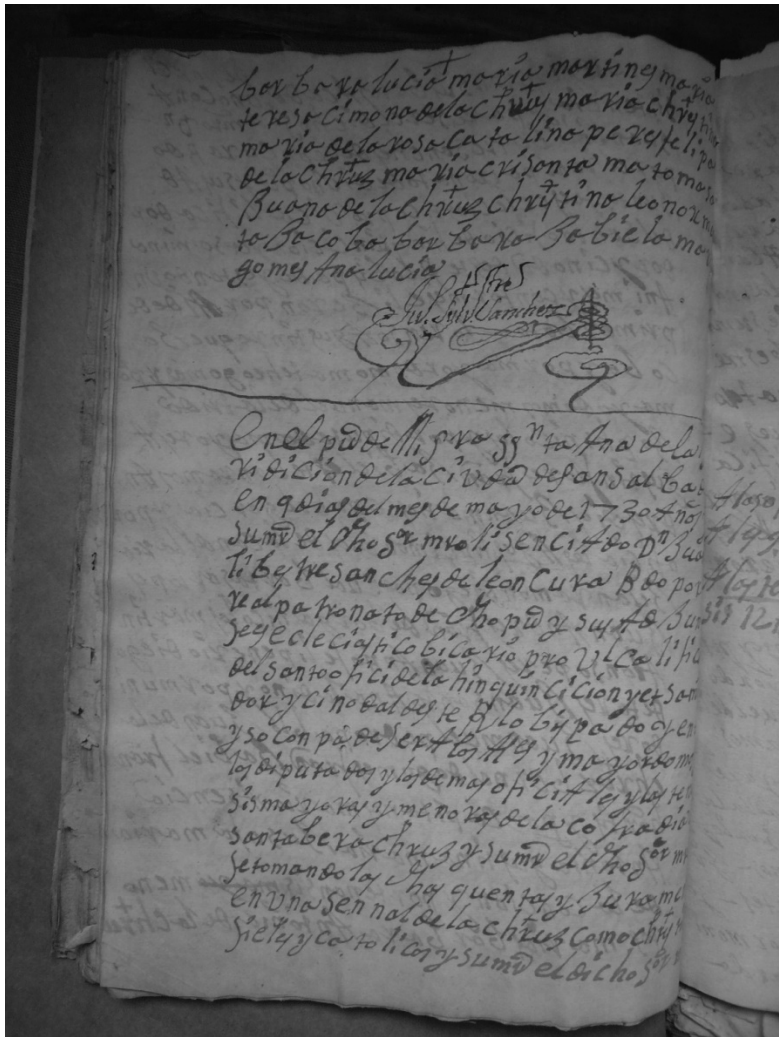
f. 40r



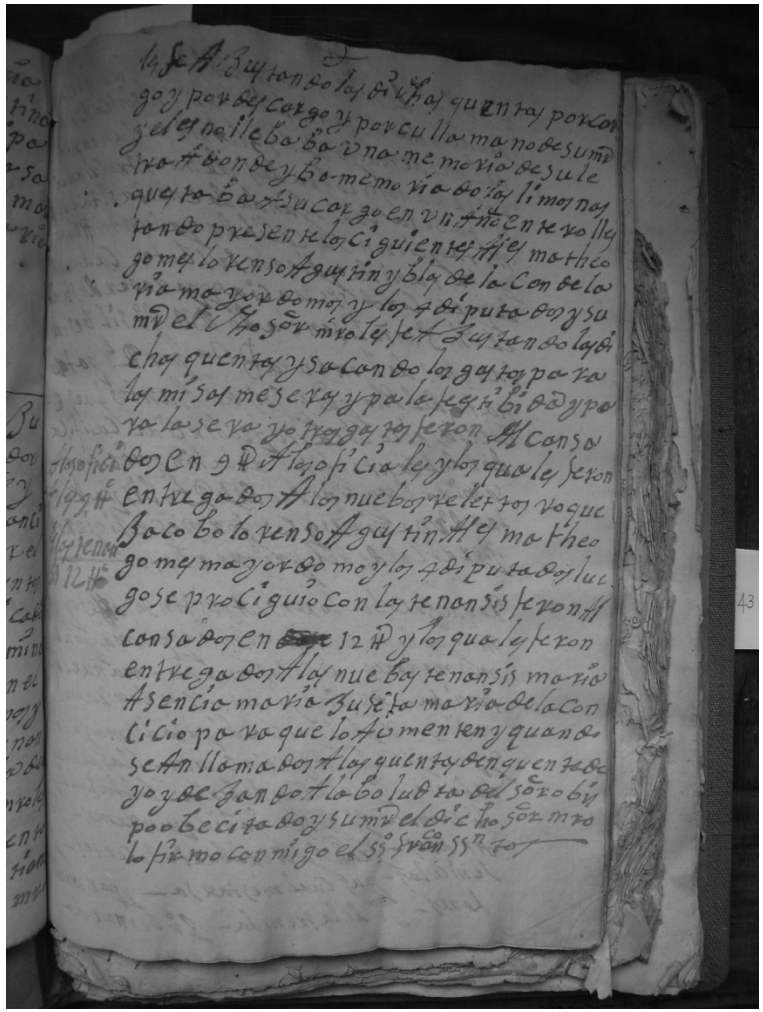
f. 40v



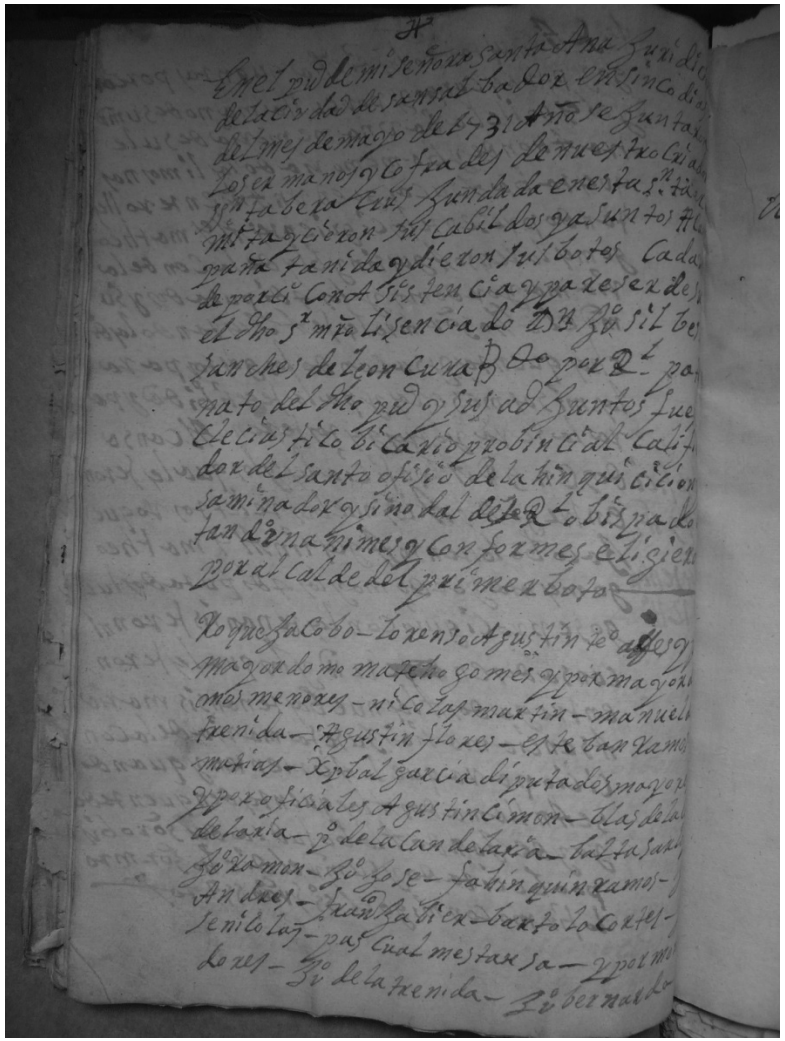
f. 41r



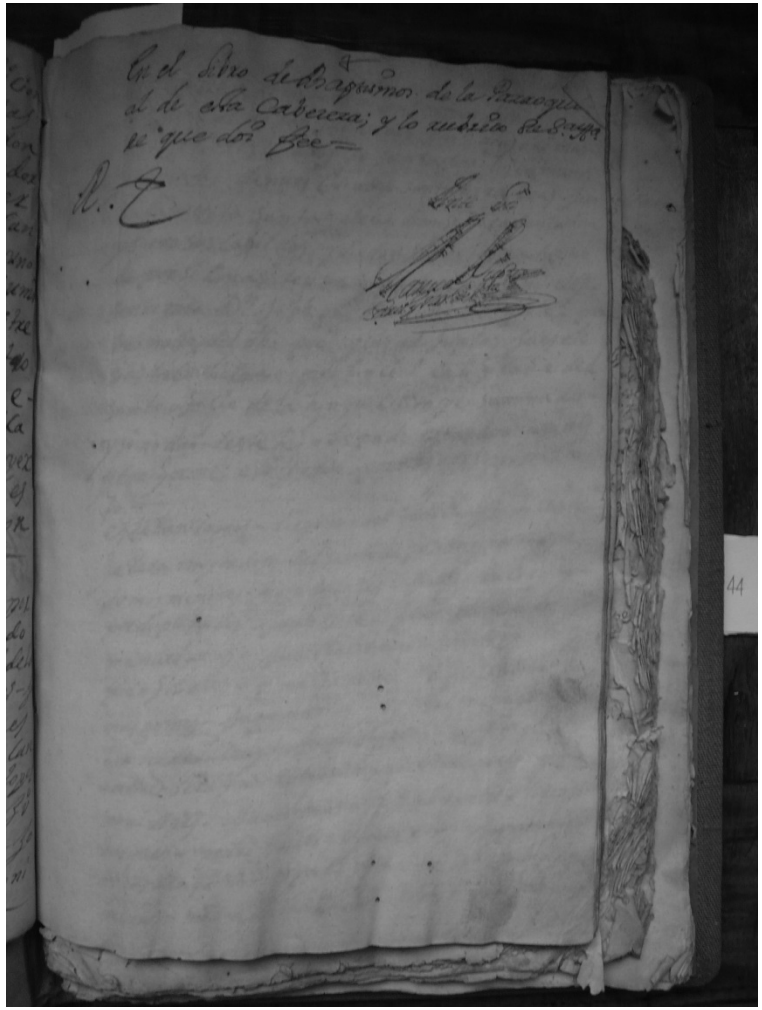
f. 41v



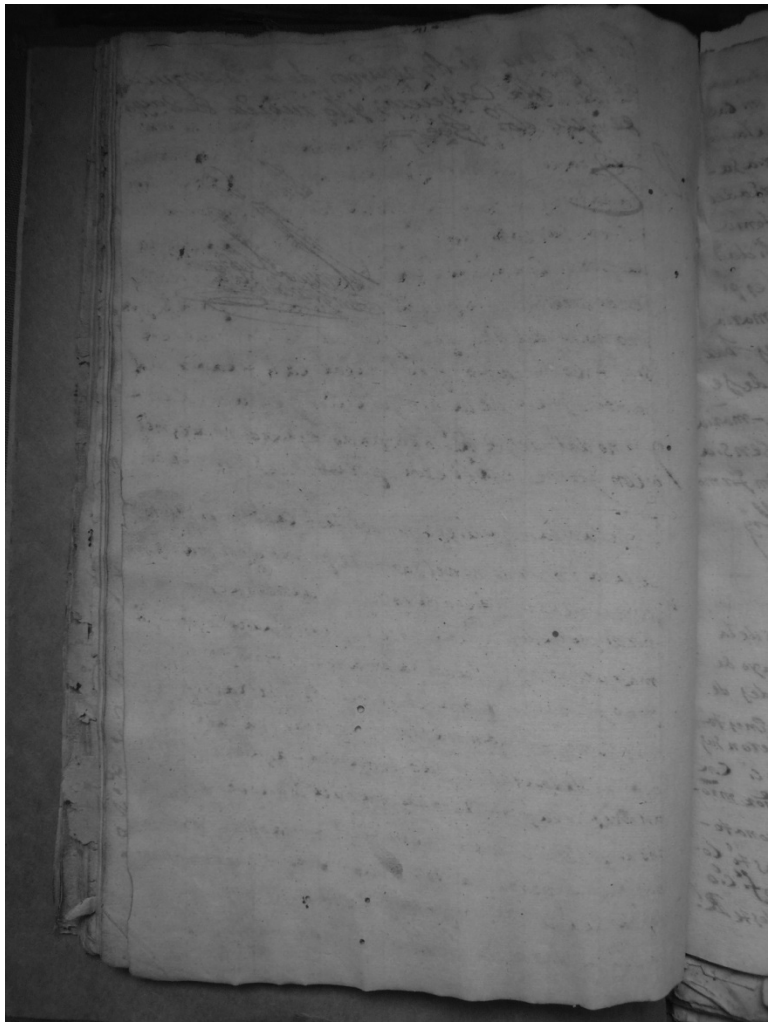
f. 43. r



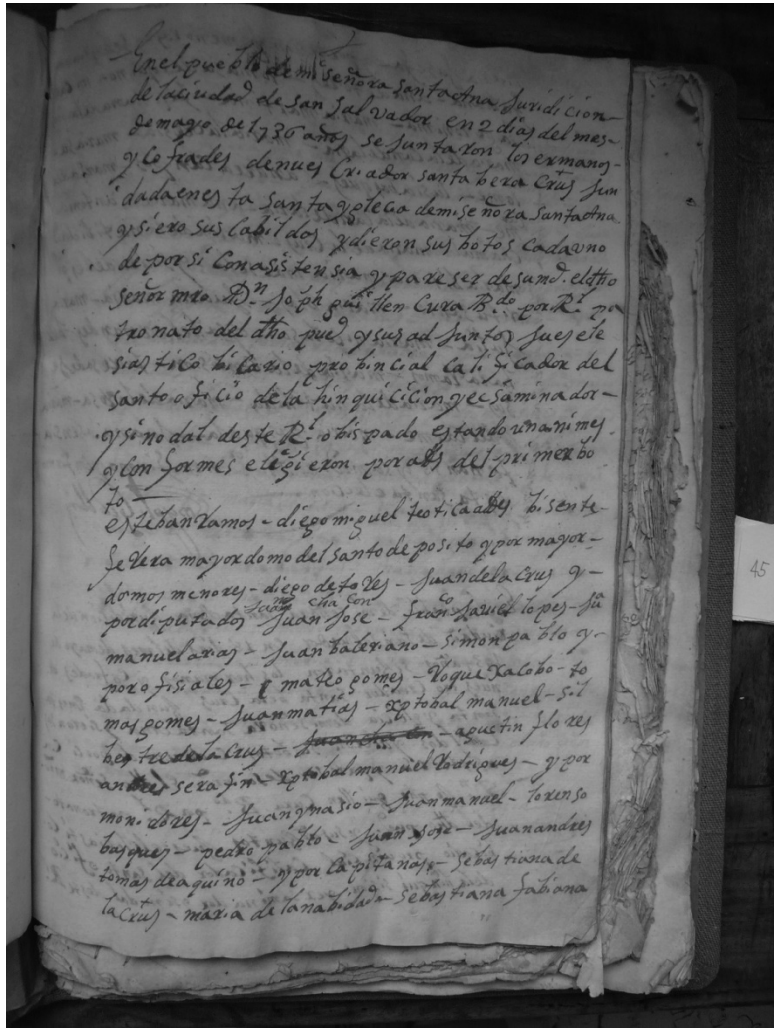
f. 43v



f. 44r

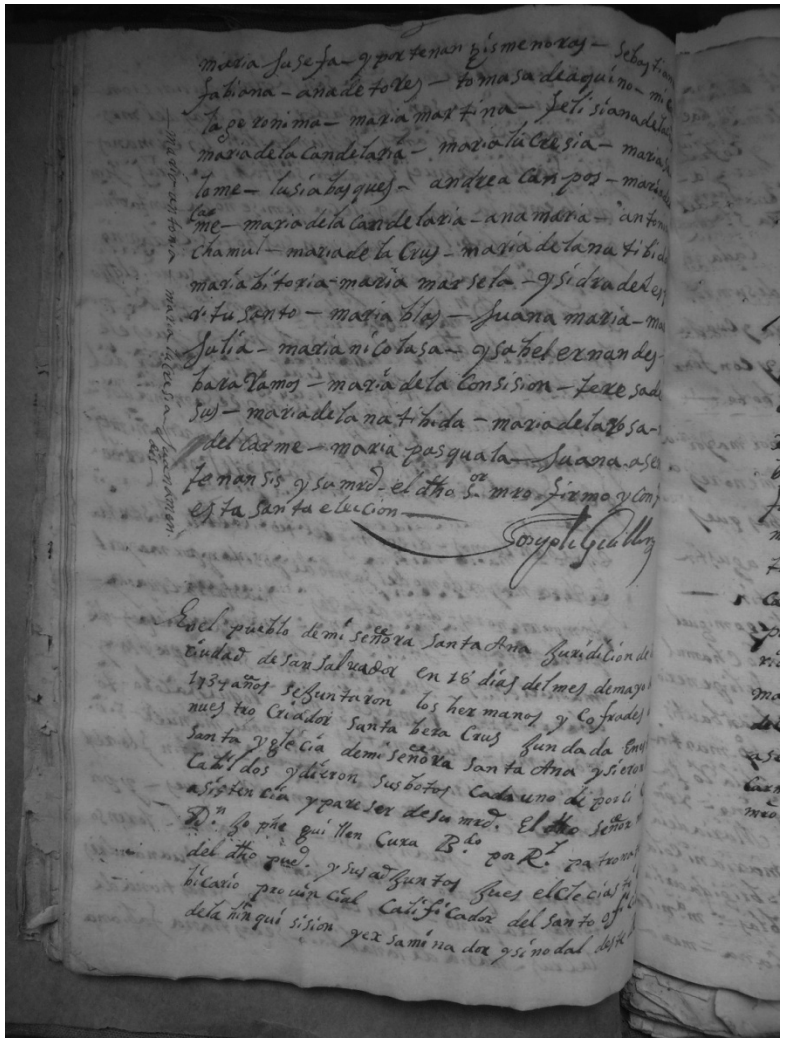


f. 44. v

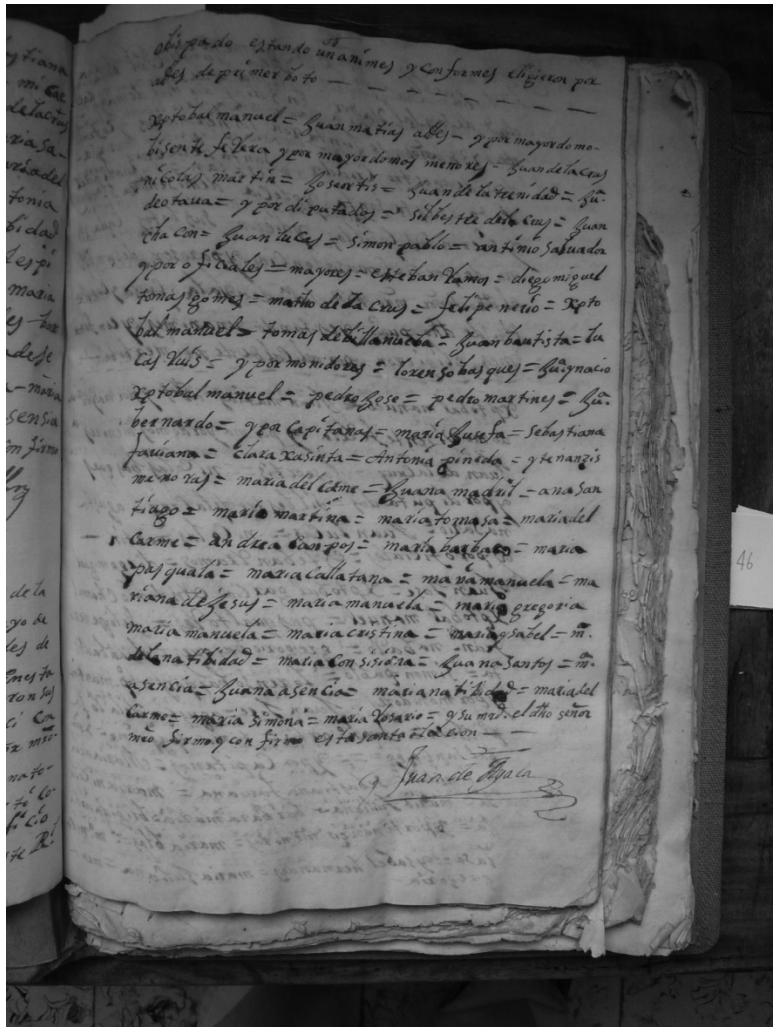


En el pueblo de mi señora santa Ana juridicion
de la ciudad de san salvador en 2 dias del mes
de mayo de 1736 años se juntaron los ermanos
y cofrades de nues criador santa bera crus jun
dada en esta santa yglecia de mi señora santa Ana
y siero sus cabildos y dieron sus botos cada uno
de por si con asistensia y pare ser de su md. el dho
señor mro. Dn. Joph guillen cura Bdo. por Rl. pa
tronato del dho pueblo y sus adjuntos jues ele
siastico bicario provincial calificador del
santo oficio de la hinquicicion y ecsaminador
y sinodal deste Rl. obispado estando unanimes
y conformes elegieron por abs del primer bo
to
estebanramos - diego miguel teotica abes bisente
ferera mayordomo del santo deposito y por mayor
domos menores - diego de torres - juan de la crus y
por diputados juan jose - franco. saviel lopes - ju
manuel arias - juan baleriano - simon pablo y
por ofisiales - mateo gomes - roque xacobo - to
mas gomes - juan matias - xptobal manuel - sil
bestre de la crus - ~~juan chacon~~ - agustin flores
andres serafin - xptobal manuel rodrigues - y por
monidores - juan ynasio - juan manuel - lorenso
basques - pedro pablo - juan jose - juan andres
tomas de aquino - y por capitanas - sebastiana de
la crus - maria de la nabidad - sebastiana fabiana

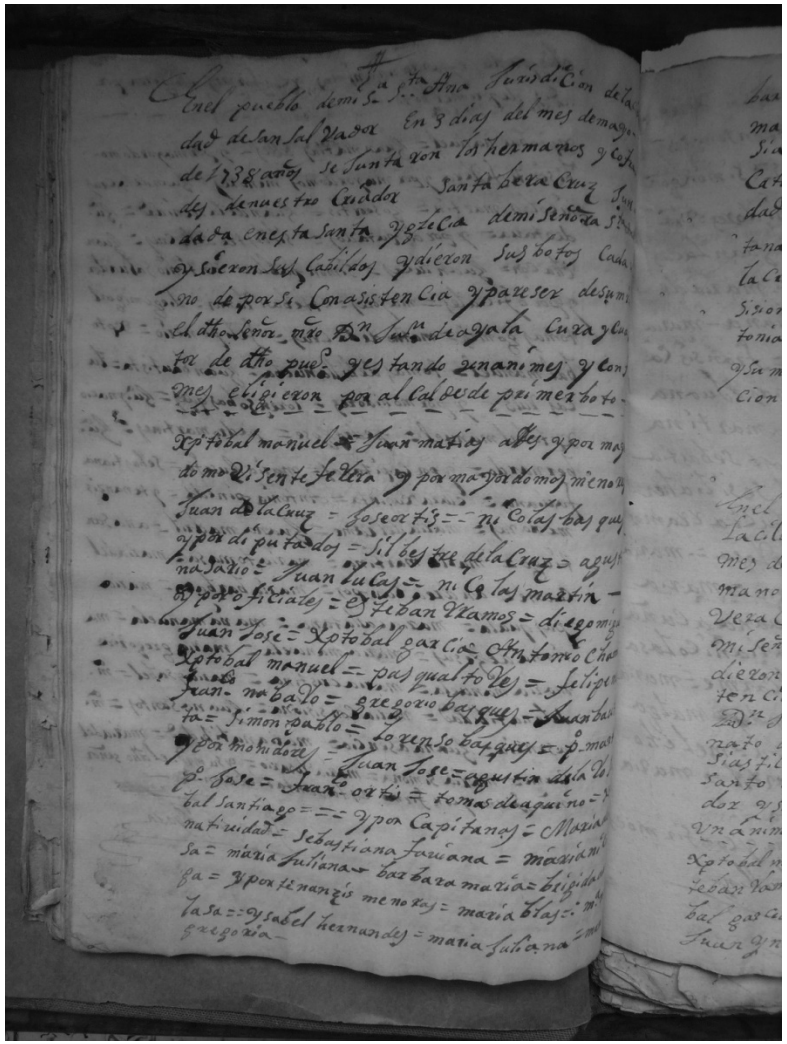
f. 45r



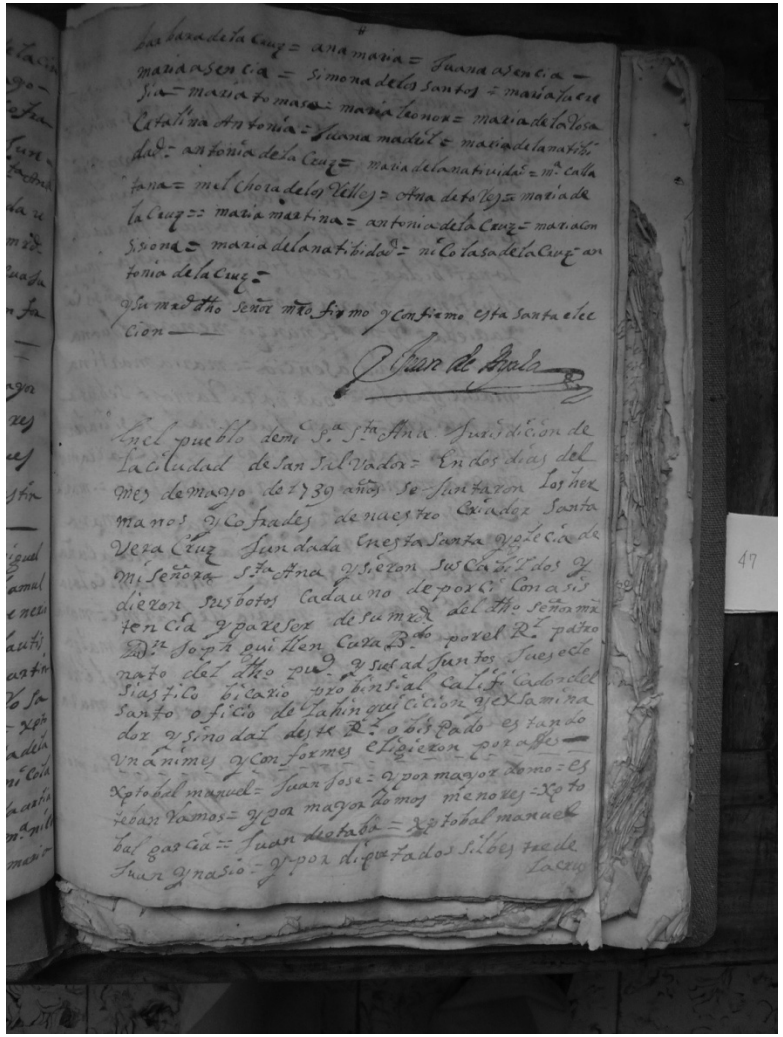
f. 45v



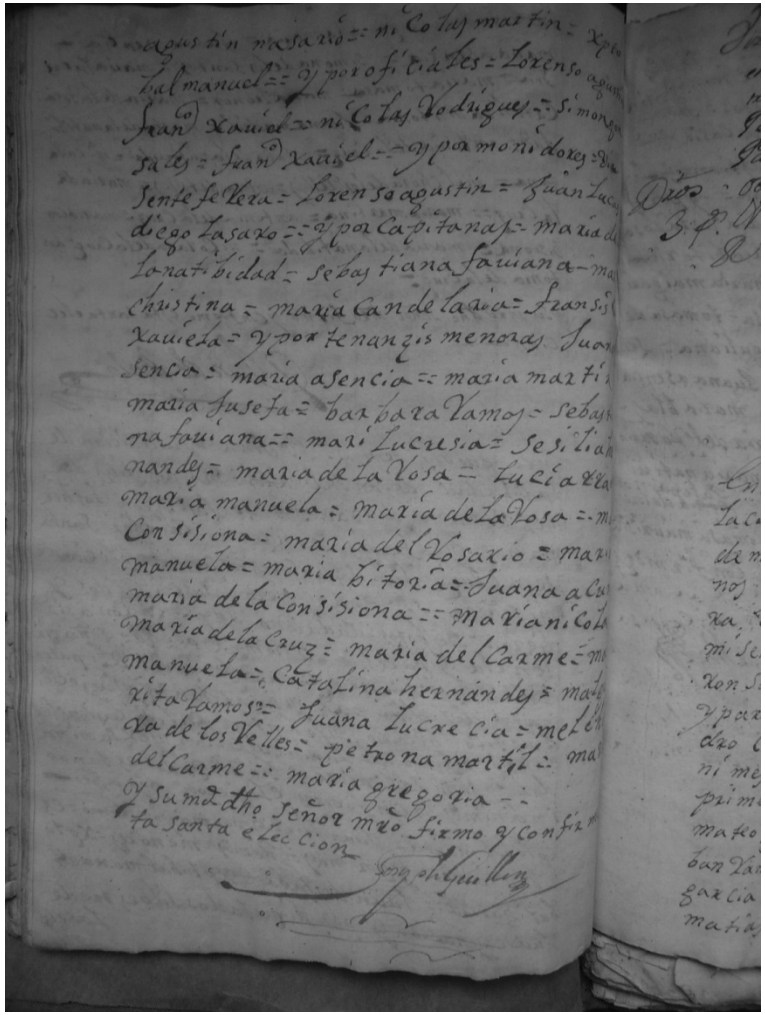
f. 46r



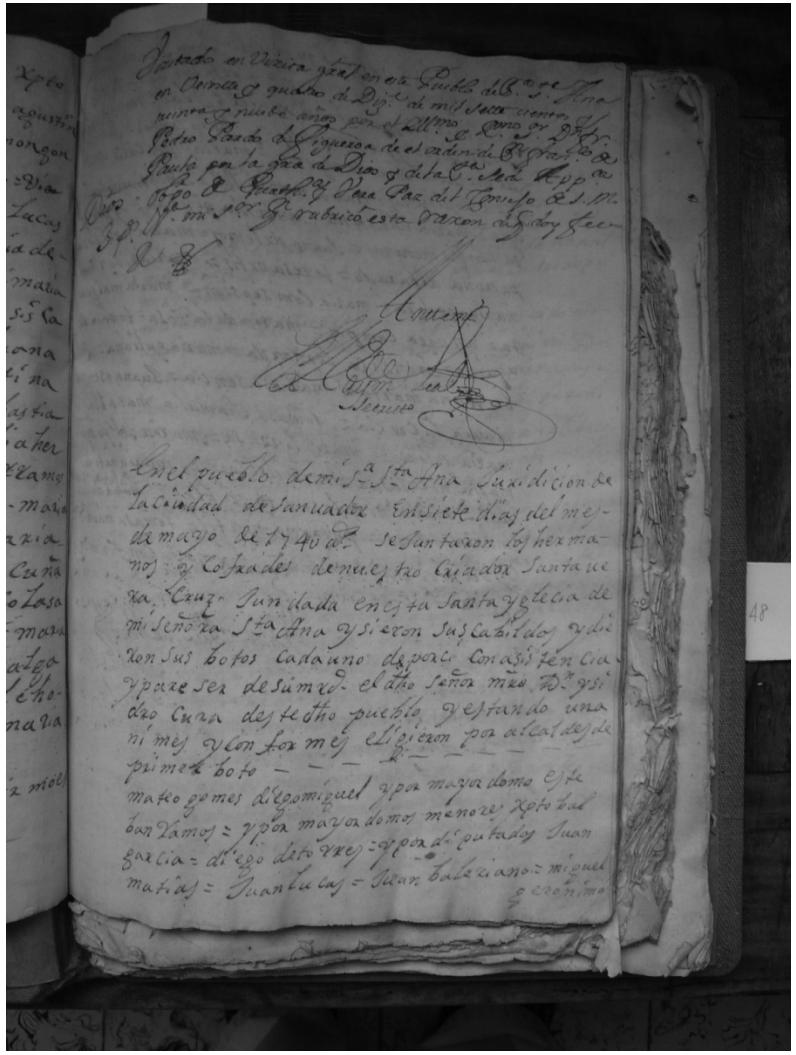
f. 46v



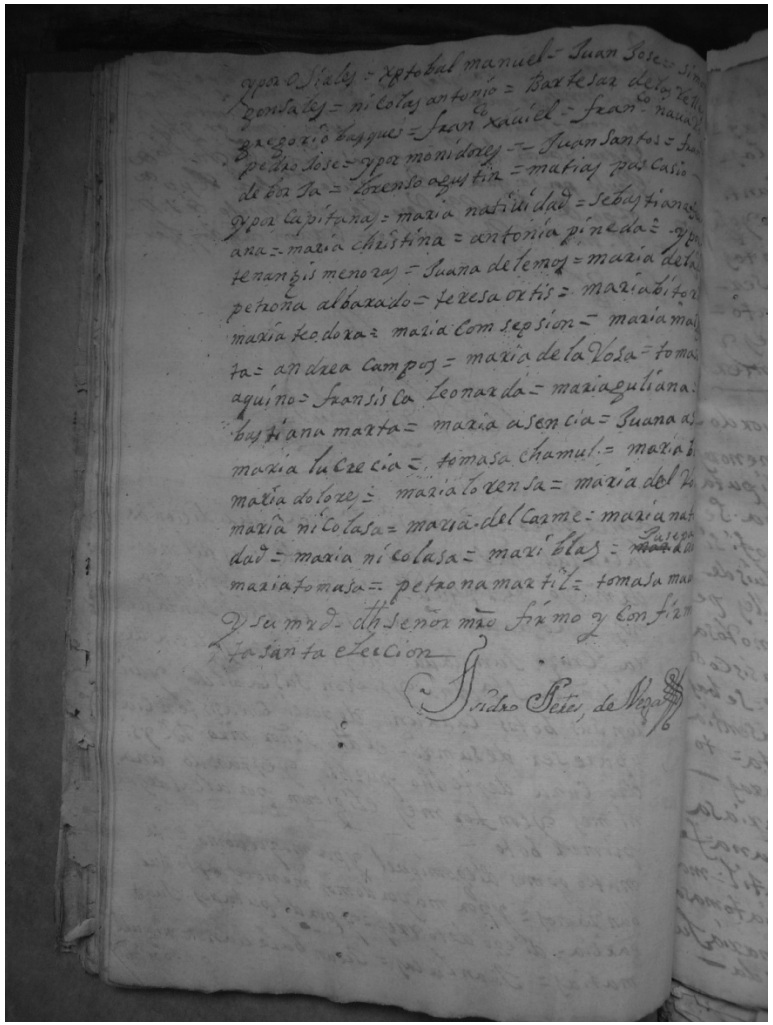
f. 47r



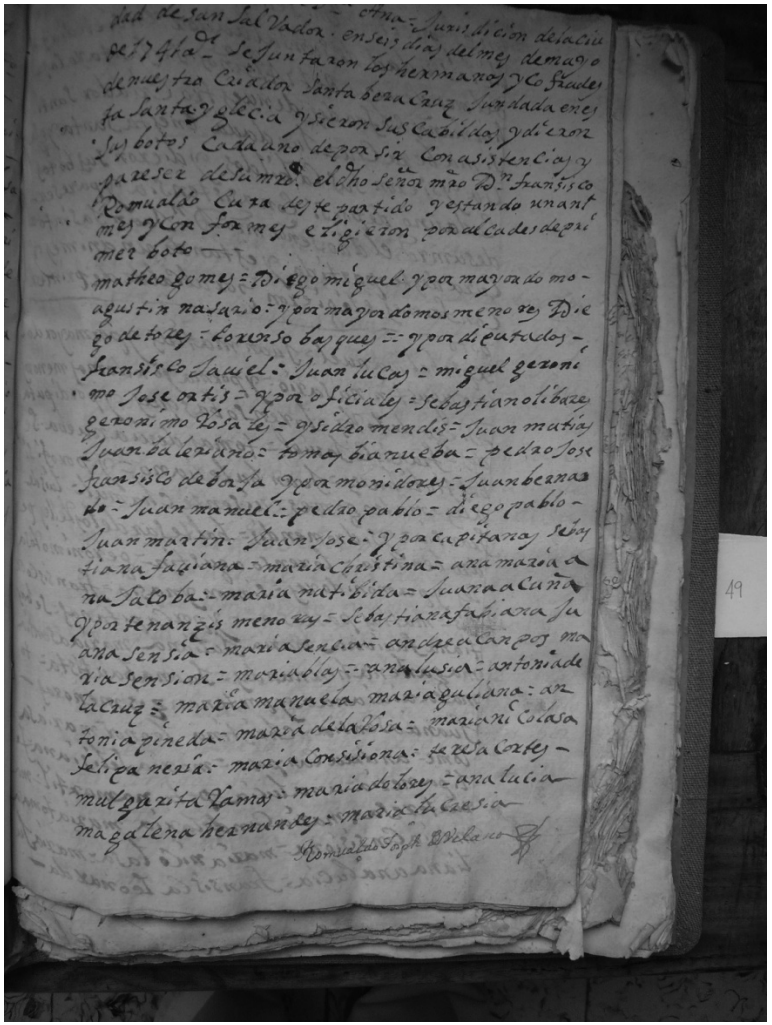
f. 47v



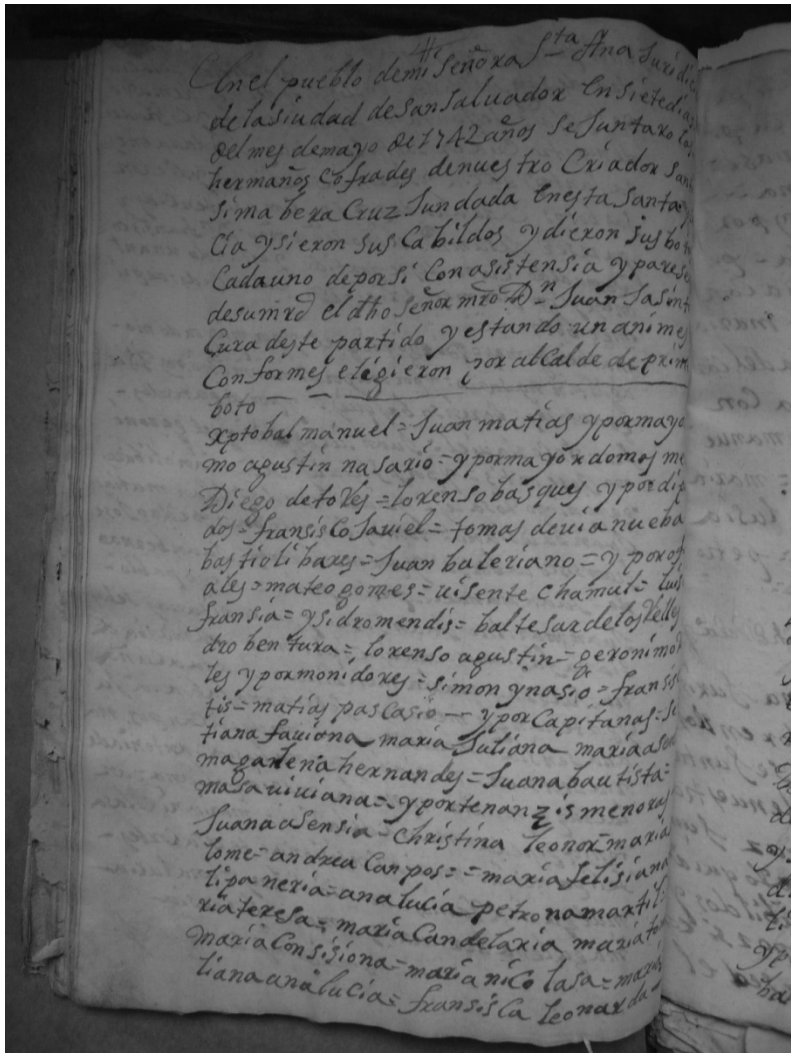
f. 48r



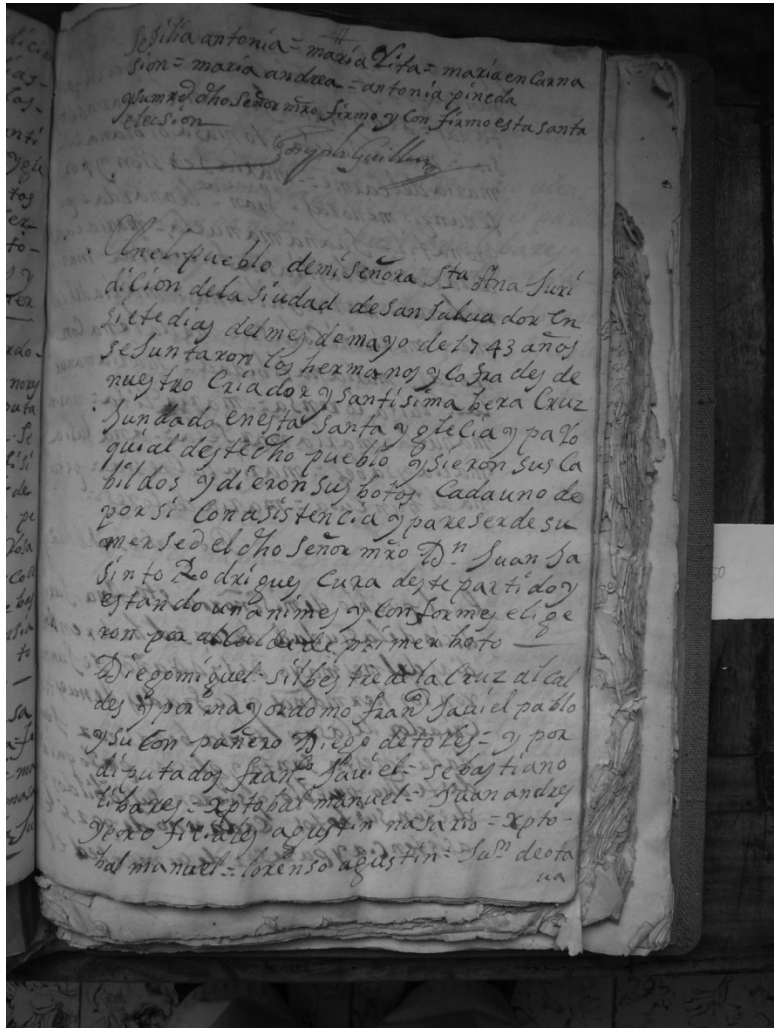
f. 48v



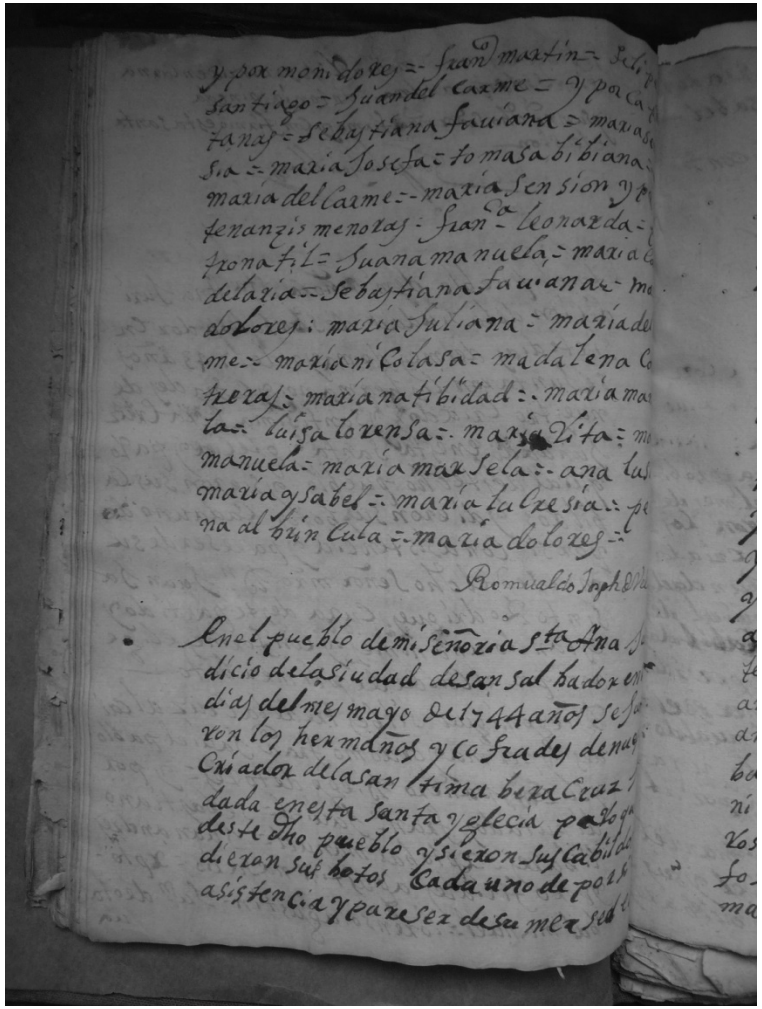
f. 49r



f. 49v



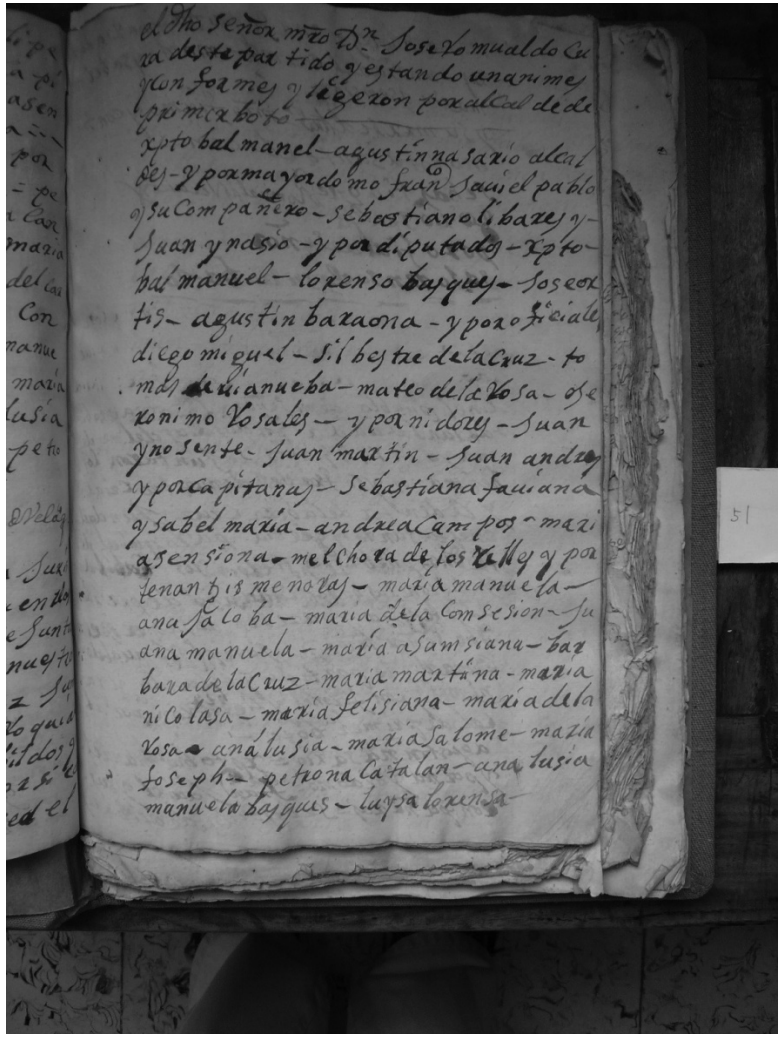
f. 50r



y por monidores = fran.co martin = seli
santiago = Juan del carme = y por ca
tanas = sebastiana fauiana = maria se
sia = maria Josefa = tomasa bibiana
maria del carme = maria sension y p
tenanzis menoras = fran.ca leonarda =
tronatil = Juana manuela = maria c
delaria = sebastiana fauiana = ma
dolores = maria Juliana = maria de
me = maria nicolasa = madalena c
treras = maria natibidad = maria ma
la = luisa lorensa = maria Vita = m
manuela = maria marsela = ana lus
maria ysabel = maria lucresia = pe
na albrincula = maria dolores =

Romualdo Joseph de Vel

En el pueblo de mi señoria S.ta Ana J
dicio de la siudad de san salbador en
dias del mes mayo de 1744 años se ju
ron los hermanos y cofrades de nue
Criador de la santima bera Cruz
dada en esta santa yglecia para q
deste dho pueblo y sieron sus cabildo
dieron sus botos cada uno de por s
asistencia y pareser de su merced

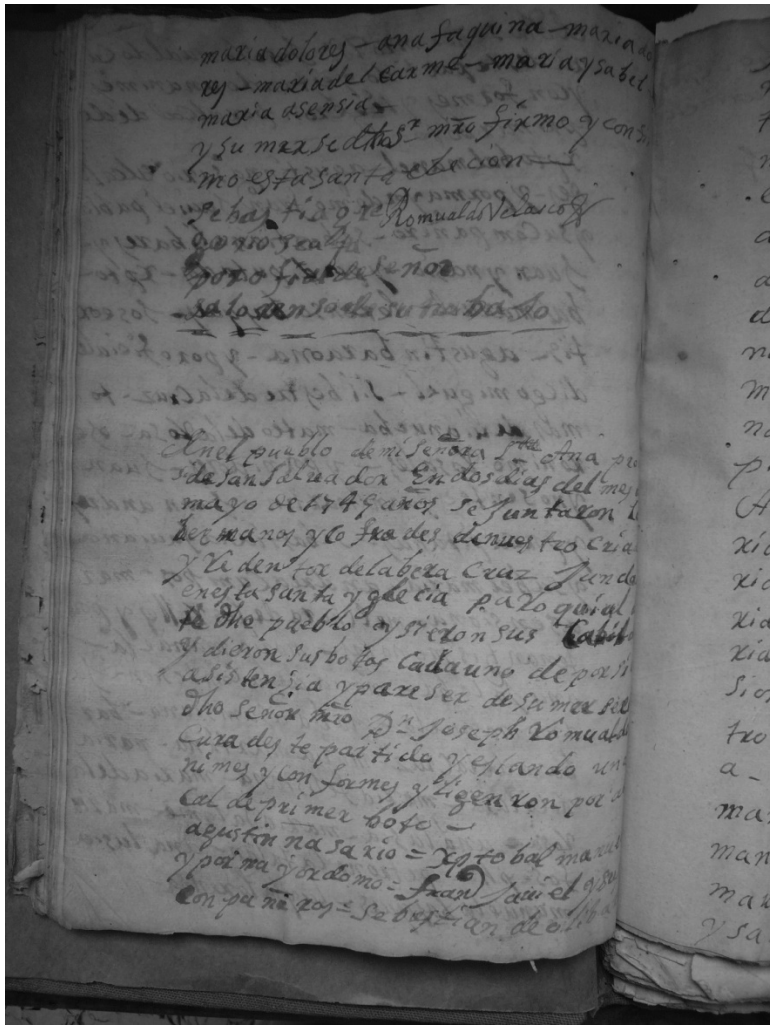


f. 50v

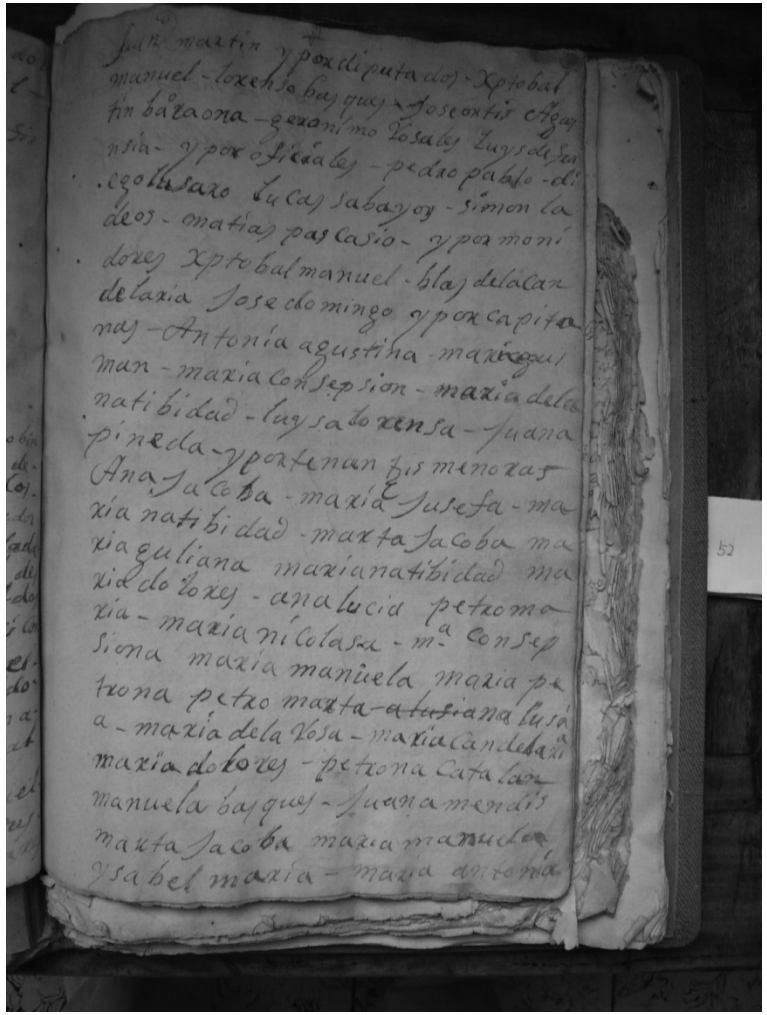
el dho señor m.ro D.n Jose Romualdo Cu
ra deste partido y estando unanimes
y conformes y ligeron por alcalde de
primer boto
xpto bal manel - agustin nasario alcal
des - y por mayordomo fran.co Jauiel pablo
y su compañero - sebastiano libares y
Juan ynasio - y por diputados - xpto
bal manuel - lorenso basques - Jose or
tis - agustin baraona - y por oficiales
diego miguel - silbestre de la Cruz - to
mas de uianueba - mateo de la Rosa - ose
ronimo Rosales - y por nidores - Juan
ynosente - Juan martin - Juan andres
y por capitanas - sebastiana fauiana
ysabel maria - andrea campos - mari
a sensiona - melchora de los Relles y por
tenantis menoras - maria manuela -
ana Jacoba - maria de la Comsesion - Ju
ana manuela - maria asumsiana - bar
bara de la Cruz - maria martina - maria
nicolasa - maria felisiana - maria de la
Rosa - análusia - maria salome - maria
Joseph - petrona catalan - ana lusia
manuela basques - luysa lorensa

51

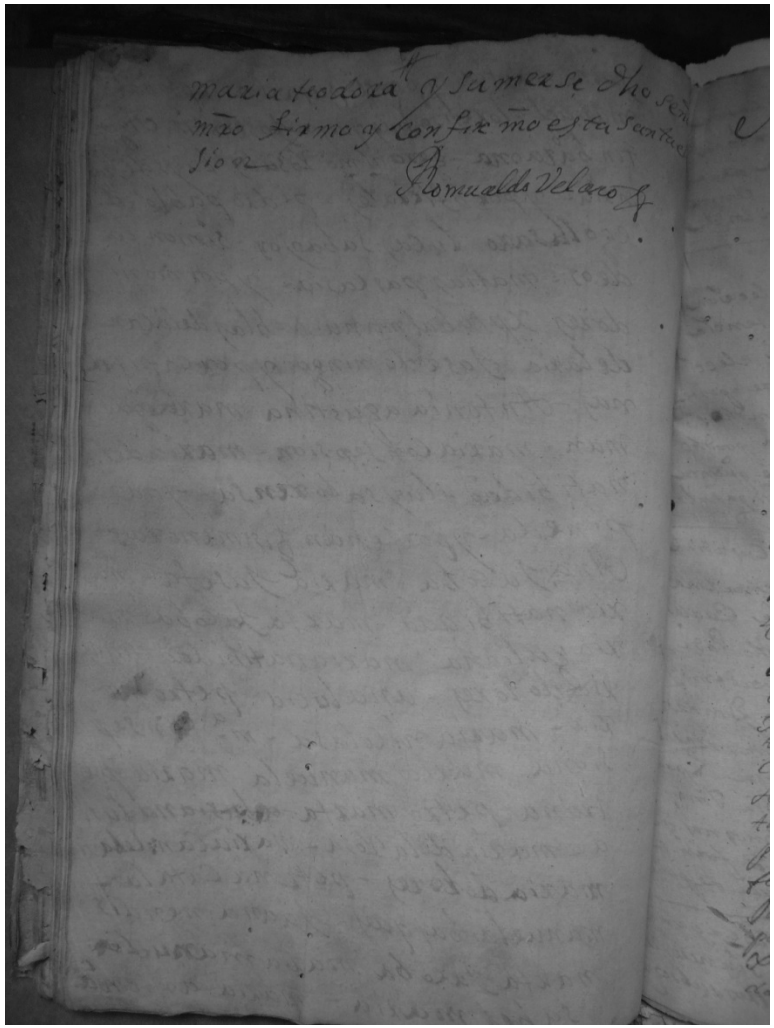
f. 51r



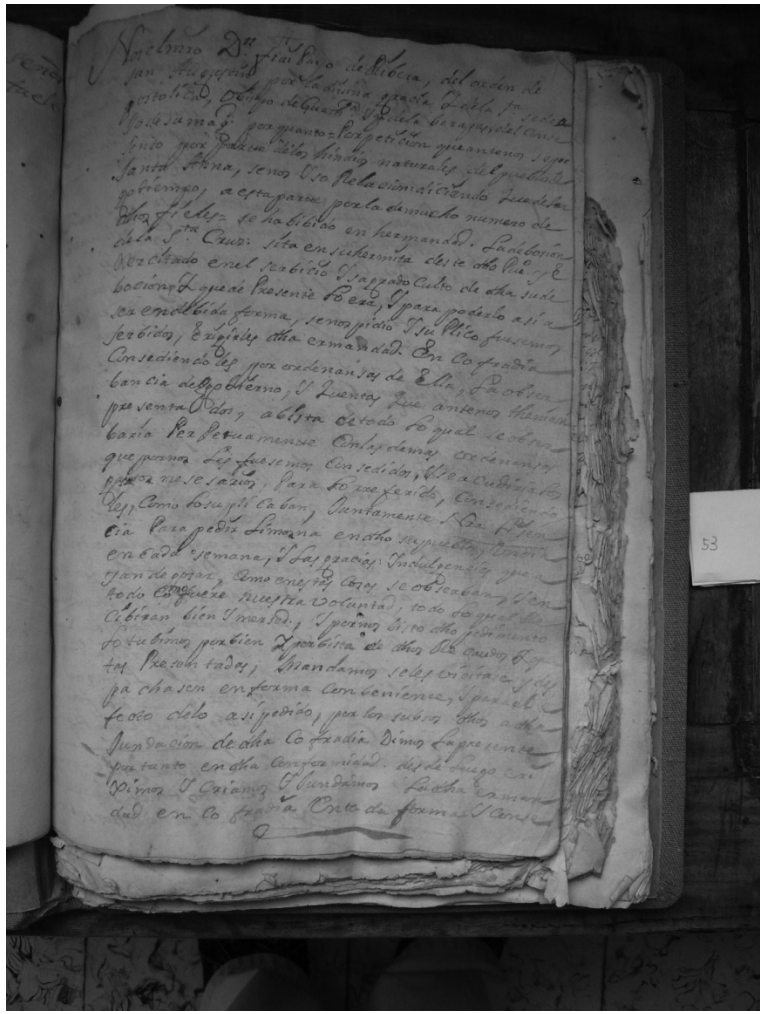
f. 51v



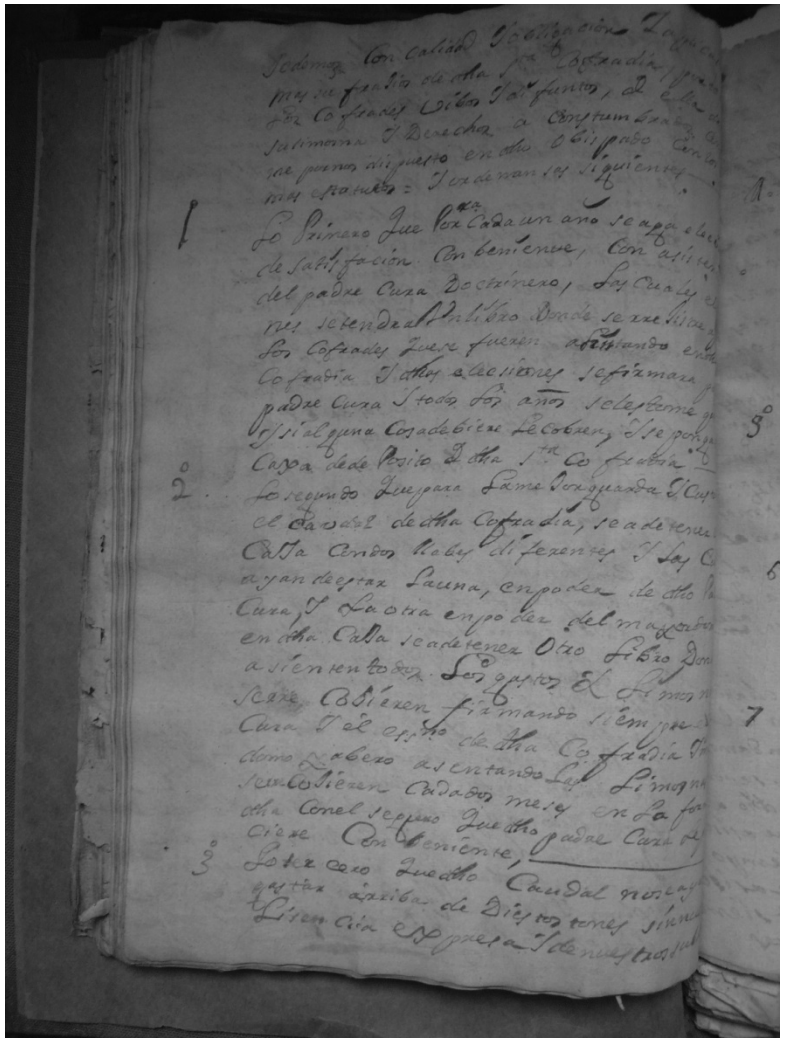
f. 52r



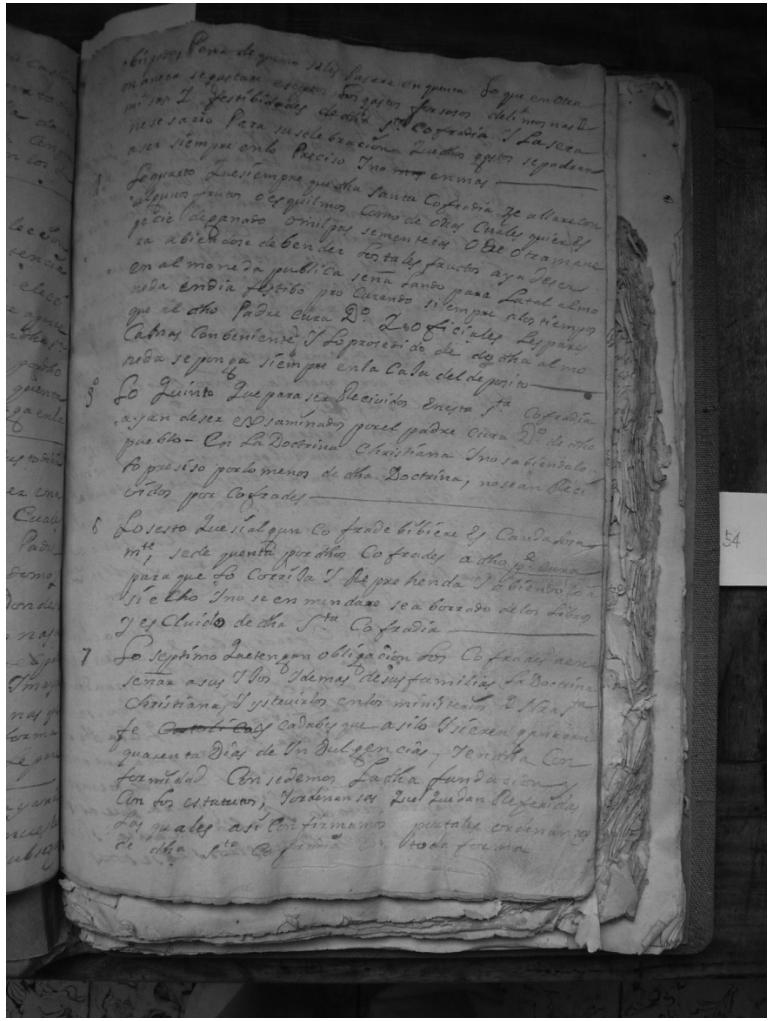
f. 52v



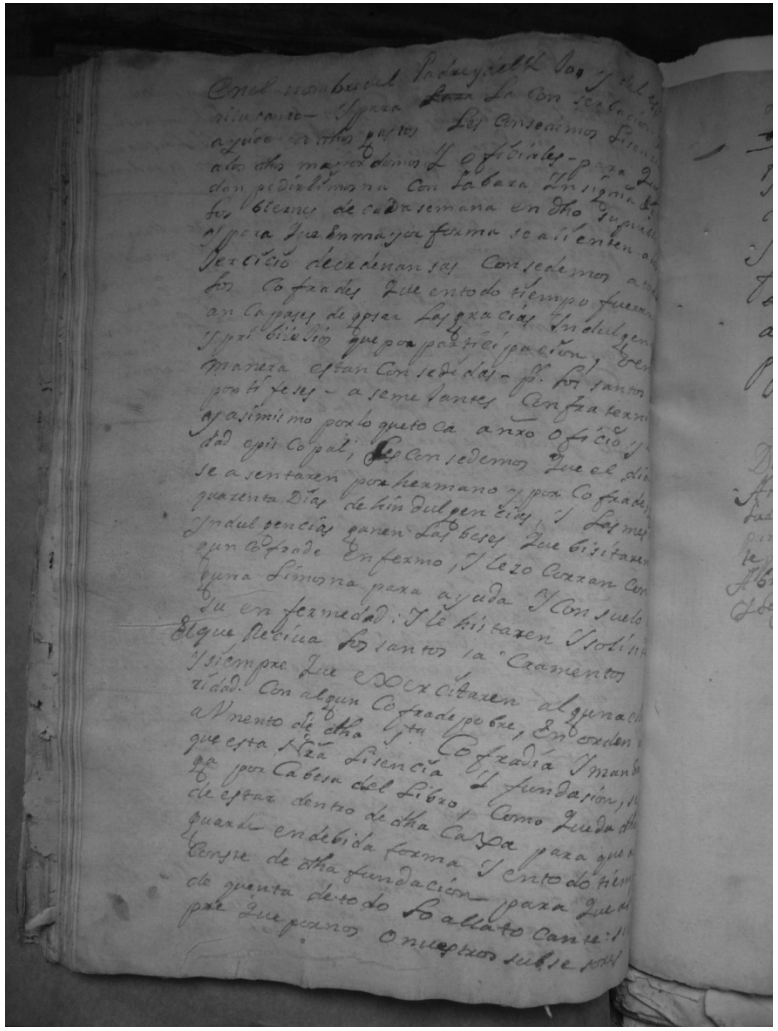
f. 53r



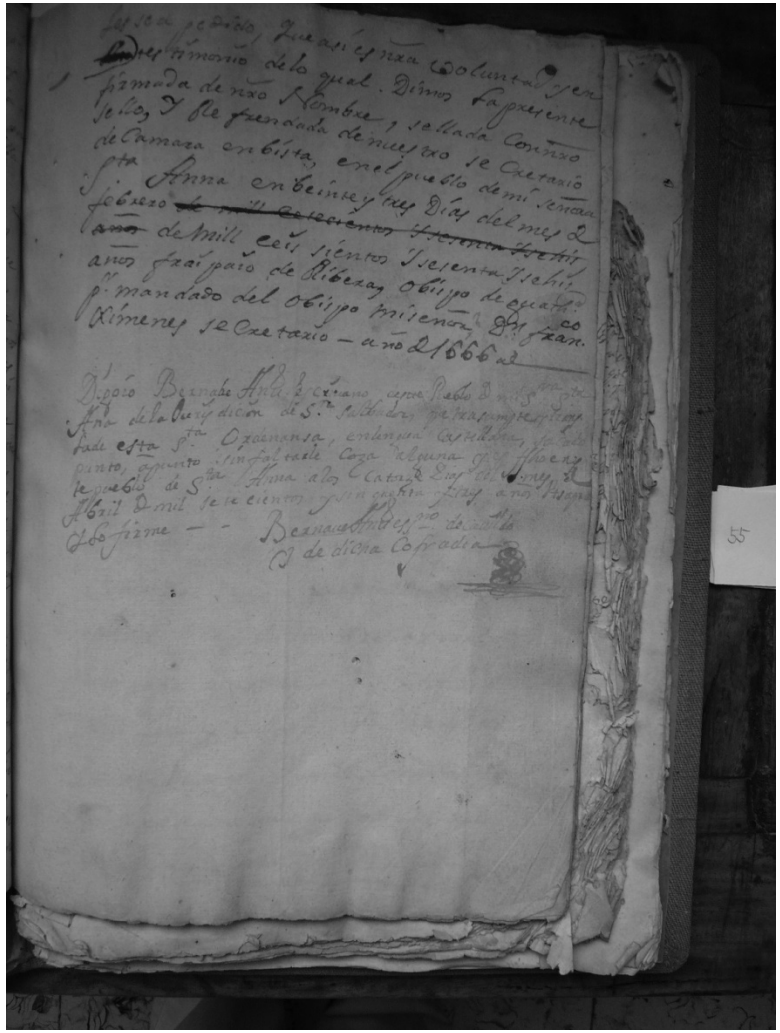
f. 53v



f. 54r



f. 54v



f. 55r

＊f. 56-59『リベラ訓令』（第５章参照）

資　料　2

テ　キ　ス　ト

『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』

(f.1-55)

『サンタ・ベラクルスのコフラディア台帳』テキスト

＊記号凡例

f.： 紙葉（folio）、r.： 表（recta）、 v.：裏（verso）、…： 解読不可、 / ： 改行、
( )：筆者が適宜修正した部分、［ ］：欠落部を筆者が加筆

[f.1r]...en el donde de esta la/ licencia de el Sr. Obispo para/ la hermita y donde estan/ las hordenansas y donde se/ asientan los hermanos y/ donde se escriben las/ elecciones de cada año y el/ inventario de los bienes/ que tiene la dicha cofradía/ que hecho en ocho día de/ el mes de agosto año de / 1666/

.....(firma) de hinojosa

[f.1 v]... 5 tenal/...en mano de .../ y com como sepan los demas campos de los .../reticas y los los de la vista como qu.../

[f.2.r.]... /... por.../ obispado se nos referido que en este dicho p.../...vocación de la Sra. Cruz paya fundación y .../...que ... de dicho efecto por dichos [ma]/yordomos que dijeron ser, se nos pidió y suplicó nuestro despacho de aprobación de dicho/...padre poderse decir en ella misma y celebrar las felicidades de n.../...Gran en que reciberian mucho consuelo y magestad, y por Hos...so/... _ Por tanto, Aprobando, como, por lo que nos tocó y .../...Real Patronato or..ro alguno, aprobamos la dicho fundación de dicha/...namos, y concedemos nuestra licencia para que en ella se pueda celebrar el Sto sacr[amento]/la ...y las demas felicidades de la devoción de dichos ... les a dicha..,/precediendo la vi...tación y aprobación de debida licencia a satisfacción/ Cura Beneficiado de este dicho Pais a quien asi la cometemos y sobre p.../mos gravemente la consciencia y quien de dicha visita y aprobación.../diere de dicha hermita pondra certificación a los .../oda forma conste; y con calidad de que dicha ehrmita aya.../conveniente de limpieza, puertas y llaves, por su debida seguridad y re.../que siempre esté asegurado el que no pueda, ni se permita digo.../gente alguno no conocido, y que para dicho efecto no haya obtenido nuestra aprobación/inscription, sobre lo qual asi mismo encargamos la conciencia a dicho (padre).../y a todos los demas sus servidores en este curato y partido, y valga.../segun su tenor y forma, y por el tiempo que así fuere nuestra voluntad en .../de lo qual oimos la presente firmado y sellada de nuestro N[ombre] y sello y re.../de no ... infraescrito secretario de camara: en v(isi)ta en este dicho Provincia de Snta Ana/ veinte y tres días del mes de febrero de mil y seiscientos

y sesenta y seys/

(firma) fray Pio Obispo de Goatemala/

por mandado de obispo/

Fancisco[Ximenes]/

[f.3.r] ..../...../...se presenta por parte de los indios naturales de este pueblo de santa/se nos ...de las Sra. Cruz hermita de este dicho pon la de mucho número de/ fieres... en hermandad la devosión de las curas ... hermita de este dicho/ ley enviados en el servicio y sagrado culto de dicha su devosión y que de presento lo era/...en ella para lo cual y poderlo asi hacer en devida firma se nos pidió y suplicó fies.../...de erigirles para fundarles dicha hermandad en cofradía concediendoles por [ordena]nza de la/ ...de la forma de gobierno y quentas que ante nos tenían presentados ...todo lo cual se .../perpetuamente con las demas ordenanzas que por nos les fuere concedidas y se acdira/...s necesarios para los referido concediendoles como nos los aplicaban junta/... para pedir limosna en dicho su pueblo un día en cada semana y las graci.../...gu [h]ayan de gosar como en estos casos se observa y en todo como fuese n[uest]ra.../lo qual recivirían bien y mixd; y por nos visto dicho pedimento lo tubimos.../...vista de dichos recaudos y quentas presentadas mandamos se les visitasen y .../...en forma conveniente y para el efecto de lo asi pedido por los suso dichos/...dicha fundación ereción de dicha cofradía dimos la presente ＝ por tanto en dicha/ desde luego eregimos criamos y fundamos la dicha hermandad en cofradía en toda.../...[pe]dimos la dicha fundación con calidad y obligación de que dichos fieles y los de .../des que por sin por fueren de dichas cofradía ayan de ser obligados a decir y .../cada un año perpetuamente las misas y fiestas y demas sagrado culto.../y en el número y forma que en lo uno y otro durante dicha hermandad sea obser.../los suso dichos sea propuesto y se pretende en la forma arriba; aplicadas.../mas sufragios de dichas cofradía por todos los cofrades vivos y difuntos de .../limosna y derechos acostumbrados conforme al arancel por nos despuerto.../obispado y con los demas estatutos y ordenanzas siguientes.../Lo primero que para cada un año se aga eleción de mayordomos de la satisfacción.../Con asistencia de Padre Cura doctrino como prioste que siempre a de ser de dicha cofradía./Las cuales eleciones se tendra un libro donde se rregistran dichas eleción y .../Ser registraran a parte los cofrades que se fueran a listando y entrando en dicha/día y dichas eleciones se firmaran por dicho padre prioste y mayordomo que asista/oficio y todos los años se les tomen quentas y si alguna cosa debieron.../ga en la caja de diposito de dicha santa

cofradía./Lo segundo que para la mejor guarda y custodía del caudal de dicha santa cofradía/ de tener una caja con dos llaves diferentes de las cuales aya de estar la una en/Poder del padre cura doctrino y la otra en poder de los mayordomos y .../Se aya de tener otro libro donde se asienten y registre todas las partidas asi de las (perso-).../nas que se recogieren para dichas santa cofradía como en otra manera pertenecientes a/ Caudal firmando siempre las dichas (partidas el dicho)Padre cura doctrino y mayordo/mo llavero, y en la misma manera dicha (partida que se sacaren)de dicha aja [en la cual]/Se pondra lo que se hubiere recogido de limosnas cada dos meses en la forma dicha dicha y dicha/se tendra en la parte y con el seguro que ha dicho/

[f.3v] lo tercero ... y de más subsesores.../lo que en otra manera se gastare exceptos los gastos .../...y festividades de dichas santa cofradía y la cera necesaria/ ...los gastos se podran siempre hacer en lo precio y no en mas/lo quarto que siempre que dichas santa cofradía se allare con algunos frutos o esquilnos/... nas como de otras cuales quiera especies, de ganado, o milpas s[e]menteras/on.. [h]aviendose de vender los tales frutos aya de ser en al moneda publica, .../para la tal al moneda o al monedas un día festibo y dandolos [h]asia un.../yndios y demas feligreses de dicho pueblo para que todos puedan concurir/monedas, procurando se [h]agan si[e]mpre a los tiempos, que al padre cura doctrino/les parec[i]ere ser mas conveniente para el mayor valor de los tales.../do los siempre en el mayor ponedor que hubire, y lo provedido de dichas santa/se pondrá siempre en la caja de diposito de dichas cofradía./Lo quinto que para ser recividos en esta santa cofradía ayan de ser exaiminado por/el padre cura doctrino de dicho pueblo, en la doctrina christiana y nos [h]abía.../...por lo menos de dicha doctrina no sean recivido por cofrades.../Lo sexto que si algun cofrade vivire escandalosamente se de quenta por dichos co[frades]/al padre cura doctrino que administran dicho pueblo, para que lo corrija y re.../y [h]aviendolo asi f[h]echo corregidole y amonestadole no se en mandare sea borrade/de los libros y [h] echado de dichas santa cofradía/Lo septimo que tengan obligación los cofrades de dichas cofradía a enseñar a las/algunas de sus familia la doctrina christiana y instruirlos en/ misterios de nuestra santa fe; y por cada vez que asi lo hicieron ganen cua[renta]/días de yndulgencia＝ Y en dicha conformidad concedemos la dicha fundación/los estatutos y ordenanzas que quedan referidas las cuales asi confirmadas/tales ordenanzas de dicha santa cofradía en toda forma, en el nombre de padre/y del hijo, y del espiritud santo, y para la conservación y ayuda a dichos gas[tos]/conocemos licencia a los dichos mayordomos y ofisiales de dichas cofradía/puedan pedir limosna con la bara y insignia de ella los viernes de cada sem[ana]/dicho su pueblo, y para que con mayor fervor se alienten a los ejercicios

a[yunos]/ dichas santa cofradía y cumplida observanzia de dichas sus ordenanzas con .../dos los cofrades que en todo tiempo fueren de dichas santa cofradía sean capaces/de todas las gracias yndulgencias, y privilegios que por participación/manera estan concedidas por los santos Summos pontifices.../semejantes con fraternidades＝ Y así mismo por lo que toca a nuestro oficio y [dignidad]/episcopal les concedemos que el día que se asentaren en cofrades de dicho/...a ganen cuarenta días de yndulgencia, y las misma yndulgencia/las veces que visitaren algun cofrade enfermo, y le socorrieren/ limosna para ayuda...de su enfermedad, y le ynstaren [solici]/taren el que recivira santos sacramentos, y siempre que exercitaren/...cofrade en orden al.../

[f.4r]... para que asi.../...decidiria... por todo tiempo conste de dicha fundación para que así se/ de todo lo a... sorente siempre que por nuesros sucesores les sean/Así nuestra voluntad en testimonio de lo qual dimos la presente f[irmada]/... de nuestro nombre sellada con nuestro sello, y refrendada de nuestro secretario/de camara en visita en el Pueblo de Santa Ana en veintitres/[de mes] de febrero de mil y seyscientos y sesenta y seis años./

Fray Pio Obispo/
De Goatemala/

De[rechos] quatro pesos/

Por Mandado del obispo mi/
R Don fransisco Ximenez/

[f. 5-6] 「リベラ訓令」ピピル語？部分 ？ 破損大＊テキスト化省略

[f.7-8] 「幹部任命記録」第 5 章 7 「幹部任命記録」ピピル語テキストと形態統語論的分析参照

[f.8v] Cabildo elesion que padre yuqui mutacaqu.. /quete axcan tanalix zoto_____/ José mendis-padre de la Candelaria toti / Juan Jose mayordomo dexa Blas de ... / Toma.. marcos Hortis- mayordo[mo].../menores-- Juan anderes- Blas de ...mateo gomis - - Juan Antonio diptado- - mayores- - Juan de la Cruz- - Juan...Peris...padre Ramires- - Agustin f.../Bartasxar Lopes-- Jose Roque--/Co de la cruz ＝antoni cortes＝/Ramon...diego Ramos- pasc... / Estancia -.Jose padre prdono- A... / Jose Pena... /Biscayno- ofisales mestz..que... / Diego de tores- Loren Agustin - X... / manuel- nicolas martin- fra.../Jabiel-Juan baleriano-an.../ salbador – Xavier- manuel-ji.../ manuel trenida- diego lasaro-/palameque – padre pablo-Jua...sebastian fabian- Bartolo B.../Pablo garsia munidores— /...Cimon gonsales..___ ___ ___ /Maria de la natibidad—

Santos – Juana de la Cruz

[f.9r] Paula godoi_ _Lusia ynes_ _mayor--- / zisi—Bernalda Fabiana-Maria Cristina/ Ramona santos- -María de la candelaria/ María de la rosa Isabel albares-man— / la angel---Lusia Chamul maria de / la candelaria - - ana ximon- mari / trinidad—maria nicolas- sebas... / oti ana fabiana- micaela geronimo / maria manuela + maria nicolas maria /

Rúbrica de Carrillo

Mamumaquis yetetenegua ymaquis tacatzini/ dios ytatzini yguan dios ypiltzini yguan dios es/piritu santo yenti personas telsan seneli dios- / tit munel tequitiata ycati christianos tegua—/ ntin umetin totia alcaldes naguitin diputados yni/ muchintin ofisales yaxca santisima Bera Cruz / tuto dios timusentalique ycanaute cabildo gene[ral] / nican ytisanta ermiti tuto dios axcan ypan san / ta ana yta pual mesti de mayo de 1713 años yneteheca / cupa umentin totaca alcaldes yguan mayordomos naga... / ynti diputados yguan ofisales munidores yguan /naguintin tenatzni mayores yguan menores p... / Pa yeeitequitilisquete santa cofradía ymaca / ne mistoticanaguatil sant[o]s hordenes atmutepu / -liguis a nus yta cauis ytiupantaquil santa cofradía / -mamumauchupans ma muatequis santa er / mita mamupupues mau papacichi santo al.../...tuto dios yginti domingo quel mutzan quixitisnica / tenaguatil guel yaquitixi pantiliqueta tema / quis topixi catatzni padre cura don Juan Jasinti toca / Carillo Lobato yguan padre cura Jator Francisco de ase/ da hortis quinetiliqui yguan quichique-/

[f. 9v] Confirmara nican [ca] bildo elesión aquinaa aya / tacanatis nican ytenaguatil auto yguan.../quetzis pena yeitos nes yguan se libra sera yte / pul santa cofradía quel yaqui mutacayat / axcan tunali xigiti__ ___ ___/

(左欄) Jos[e]mendis Blas de amaya / totica dios-/ Padre de candelaria ma/ yordomo / dexa ---/ Juan Ramos padre sinco / José Roque mayordomo me / noro____/ Xavier Ramos Juan Andes/ Jose Roque Mateo Goes / diputados mayores / Agustn Ximo[n] Antonio/ Salabado Juan de la.../ Bartasar Lópes Juan Peres/ Blas de Ustama / Agustin Flores / Marcos Ortis / Diego de Torres/ Pasqual Domingo / Padre de León / Antonio Grsía / Domingo de la Cruz / Felipe Bernaldo / José Pedro Perdomo / Diego Ranis ____/ Domingo maritines /

(右欄)　Diego sapoteco .../ Ogidslrd mayores / Sebastian de la .../ Lorenso agustin X.../ manuele- nicolas---/ martin Fran. Ja... / antoni salbador / Xavier Satiago Jo... / Andres Días— / Antonio Palamayor / Diego Bentura / Bartolome Basques / Sebastian Fabian / Diego Lasaro – Padre pablo /Padre Lucas- Sebastian / Juan Hernandes – mani... / maquesquete—/María de Tanali.../ _____/ Fabian Paula / maría santos magote / mayores tenasiquin / ___ ____ / Juan Rosa ___　maria / Isabel Leal Bar... /

[f.10r] Cristina Fabian—micosta geronima—mechiora / De los Reis-María Agustina – Mari de la [...] nida/ Losi Ramos- María Ramos- María Trinida(d) Ma antonia- Anatos Manuel/ Merchiola de los Rios- Maria Sepa-Felipe de / Cotalina de Toses Catalina margarita

Rúbrica de Don Juan Carrillo

Axcan ipan maquili tonal ytapual mesti de mayo de 1714 anos/ -ateguantin maquinti diputados timaguste teneguata yma / --gusta cazini dios ytazni yguan dios ypil yguan dios es /-piritu santo yeyntin personas telsan saneli dios tinel / tocata ycati christianos teguantin maquinti diputa /dos ymahas santisima Crus tuto tios utimusentaliguete/ yguan utisen ytaquete yca naute cabildo gene/ ral nican santa hermita ytexitan santo ofeata / tuto dios ynte he cacaipa umenti totica alcaldes mayo/ rdomos diputados ofisales tenazni mayores yguan / merauas ypal quitequipanas quete santa hermita/ tuto dios neman santa cofradía ymanemis teatica /yma nemis teoficanaguati, P. Santas hordenansa Ama / ten puliqui unus yta cauis ytaquil santa cofradía/ mamuatequis mamaxhu panapia muatequis mapu / puhuis santo altar ylguilti domingo maquel mutaca / matis ytenaguatil santos hordenansa amuaquinate / guata yactita cauatis nican ytenaguatil mamu / gusto pixi catayni Padre Maestro don Juan Jasinto Carrillo lo[bato] / V uni netiliqui cabildo yelesion aquino ayatita / qque lyuqui mutacayotisquete Axcan tunali- / xiguiti_____　/ pablo blas de amaya　Juan Andres totica pueblo de ca/ ndelaria Juan Ramon diego rammos _ / José mendis / Xavier Lopes　mateo gomis Antonio García___/

[f.10v] Josepe Roque- Agustin Flores – dipu[tado] / Tomas Ortis- Juan de la Cruz- Blas de... / tama Marcos Ortis- Bartasar Lopes- / Diego de Tores- Domingo de la Cruz H... / Pasqual de mestansia Sebastian Fabian- / Roque Xacobo- Diego Ramos- Anton[io] / Salvador- Pedro gomes- ofisales- Fran [cisco]..../ Xavier manuel- loren Agustin Nicolas Martin.../ Fer[nan]do Galtian Fabian- Alonzo Romero – Bartolo.../Xavier Manuel – Jose

Bentura- Andres Diaz... / Luis Antonio- Lucas de Alvarado-Lucas Flores- Xavier ma.../ Tomas Or[tiz] munidores €　Simona Ramos- Maria Ustama... / Juana de la Cruz Maria de la Candelaria / Maria de la Rosa- mayores tenazini- Ramona / Micaela Geronimi- Ramona Juliana Tene... / Jesus- María de la Rosa- Sebastian Fabian ... / Clara Jasinita- María Monica Antonia He... / Maria Asensia- Micaela Geronima – Antonim.. / [Mel]chiora--... /

Rúbrica Don Juan Jacinto.... nicolas....
Maria Segora- Fran...
Christiana Ma...

[f.11r][1] En el pueblo de mi señora Santa Ana jurisdicción de San Salva/dor en los días de mayo de 1714 años san el señor / Don Juan Jasinto Carrillo Lobato cura y beneficiado /de este dicho pueblo y su partido por su magestad y su de este /dicho y su partido su bicario y su eglesia.../en el mando por los antesiales mayordomos y alcaldes y dipu/tados y tenazis y estando les presentes sigientes mayordomos /pueblo de la Candelaria Juan Ramos mayordomos Jos.../Mendis Blas de Amaya ttotica alcaldes José Andres Xavier Lopes /diputados y las Tenazisi maría de la Natividad Mazate/na Hernandes Cristina Fabiana Paula Godoys- /estos juraron en forma de derecho por dios nues/tro señor y una sena la de cruz su cargo del que ofrecie/ron dar bien y fiel sus cuentas trayendo las escrituras /en una memoria el [...] de la cofradía　[...]l cual los par/_tidas del cargo y descargo y su merc[e]d dicho señor de carg.../ les ajusto las aca los ofisales y fueron alcansados / en treinta tostones los x(h)icieron y fueron entregados/ a los mayordomos nuebos y luego se prosiguió con las cu.../tas de las tezini fueron alcansados en veinte tostones/ las cuales ex [h]ivieron y fueron entregados a los dicho-/ aldaldes Juan Andres Blas de Amaya mayordomo padre de la / candelaria Juan Ramos los diputados Jose Mendis /Xavier Lopes tenazisi mayoras Simona Ramos Maria de Ustama/ Juan de la Crus Maria de la Candelaria paraque / los aumenten y den cuentas a su tiempo y para que conste /se pone por auto dejando a la junta del señor/ obispo o visitados la aprobasión de estos quentas /y suma dicho señor Jues y vicario las firmo comi-/ go el escribano_____ francisco rei cando

Rúbrica de　Carrillo

[f.11v] Mamamahuis tenegua ymahuis tucatzini / ytazni yguan días y piltizni dios

[1] 左余白に“ Auto del año de 1714”とある。

espiritu.../ nitin personas telsan seneli dios tima.../ta quitia yniti christianos teguantin t.../disputa los ofisiales ma husi tatequi... /cauan y santisima cruz tato dios ectin/ tatiquete y cana ate cabildo gene... / nican yti santa hermita Axcanypan ... / nala yta pauta nesti de mayo de 1715 / yntechca cecpa umentin totica alcaldes y ... / tmayordommos diputados ofisales m... / dores yguan naguinti tenazni mayores... / menores ypal zoquitequitilis [...]te y nia... / santísima crus tata dios yma nemiste... / cana guatili santas ordenes umaten p... / guisanus ytacauis ytoca pantaqui... / cofradía y tiguiti(xiguit) domingo muaxa... / ma muatequis santa hermita mapupa... / santa alotato(altar) dios guetequizni quixitos que / ytenagutal santas hordenansa guete yugu... yxipati [...] guetetama huisto pixicatazni... / maestro don Juan Jasinto Carrillo Lombarto yg.../Pedro Fran [cisco] de usedo Hortis oquinetili.../ yguan oqui firmatia t de Lesio Agui /ya quitamatis gesis pena yeitostones... / seli [...] ytenepai santa cof[radía] / xiguiti_____/ Juan Loren- Juan Andres totica aldaldes Nic.../ Hernandes mayordomo deja- Diego.../ -Blas de ustama—Esteban Martin mayor.../ Jospehe Mendis Tmatco Gomes- Xavier Lopes/ Antonio Josephe Roque- diputados

[f.12r] ＊画像が悪く解読不可
Juan de la Claus Toms Hortis José Roque / Blas de ustama Bartasar Lopes / Pascual de Estansia...

[f.12.v.] Simon Ramos María de ustama Juan de la ... / Maaría de la Candelaria y estando todas per... / Su mersed de dicho señor y bicario Jues cogio... / Mento a todos de todo un año entero que an.../ bido hisieron una juramento y una seña la .../ por su cuyo cargo elecaata ofresieron / bien y fielmente las cuentas del cargo y des.../ en una memoria a donde yban escritas las par... / de cargo y de cargo y su meros del dicho señor / y [h]ai(y) caxo les ajusto las cuentas primero a / A les fueron alcansados entren ta[n]tas to... / ...s cuales t resivieron y fueron entregados /Mayordomos nuebos Joan Loren. Juan Andres... / Nicolas Hernandes mayordomos Juan Ramos .../ Con las cuentas de las tenazni y fueron .../ sados en trenta y nueve tostones las c../exevieron y fueron entregados a los tenasi.../ mari Lopes_ Francisca Lopes Ana María Juan [...]_ / Par[a]que los aumente y den cuentas Agustin Pedro/ Que coste se pone por auto dejando a la bo... / De fiscales e obispo o bisitador a la aprobasi... / Estos cuentas y su merced dicho señor Jues y vicario / Las firmo conmigo el ynfraescripto f... /

Rúbrica de Juan Jasinto Carrilllo

[f.13r] Mamamahia yetenegua ypan yma huista/ Cazni dios ytazni yguan Dios ypilizni Dios / ytazni dios espiritu santo yeintin personas / telsan se neti Dios tinel tucata ycati chi... / tin diputados yguan yn muchintin ofisales / ymahuis tatequipanacauan ymahui santa crus / tuto dios Axcan ypan tunali yta puala / mesti de mayo de 1716 años utima sentalique / ycama ate santo cabildo nican yti santa / hemita ytoxitan ytanto a la taua to dios / yntehecacu paumetin totica alcalde ma / yordomos naguinti diputados yguan ofisa / les munidores tenazni mayores yguan / menores y pataqui tequitilis queteto / Jesu Christo yma nemis teotica nagua / tili Santas hordenansa amuten paliguis ana / sa yta cauis yma huis yta quiti santa / cofradía yliguiti domingo muatequi- / s mauhapaua santa hermnita maria / padre puas mamapa quxauis santo a la ta... / toto dios maguele matacamatis nica- / n totanaguati gueyuqui oqui firma- / atia tamaliuis topixica tazni padre ni don / Juan Jasinto Carillo Lobato yguan tapadre Cura jutor Fran de useda Hortis o quifi [r] / matiata tu cabildo yguan ta elesió- / n aquino tegata ayatizni quixitage- / zni pema yei tostones yguan se libra sera / ytehe pai santa cofradía quete ya / qui mutacayotisquete axcan tene... / lixiiuit_____

[f.13v.] Juan Lorenzso – Juan Andres Hortis alcaldes / Mateo Gomes- mayordomo dexa... / tores- nicolas martin – Juan ...an... / mayordomos menores- Josephe Msn... / Xavier Lopes – Antonio Garsia- Agustin Fr... / Diego Ramos diputados mayores- Juan / de la cru[z]- Tomas Hortis- Bartas[ar] / Lopes- Blas de ustama- Lorenso Agustin / Xavier manuele – Francisco xabier- José Pedro / Roque- Roque Xacobo- Juan To... / Roque Chaniamala- Juan Peris... / Diego nanis – Juachini Moreno – ofisales / Juan Matias – Juan Tomas- Ana To... / Salbador – Antoni Lucas- Lucas Dias / Lasaro – Andres Días- Juan Andres _ Die... / Bentura – Juan Baleriano- José Pedro Ra... / Juan Santos – munidores maquzos muate... / ___ ___ ___/ María Lopes- Francisco Lopes- An munis… / Tomas- ana Lucas- mayores tenazni—/ Pineda- Juan Be[...] Sebastian N... / Maria Lopes- Maria de la Natibida – Ju... / Leona – María Bitoria – María Mana.../ Juana Pineda – Sebastiana Fabiana... / María Pasbcuala – Sebastian Fabia.../María de la Rosas.

Rúbrica de Carrillo

Con el padre de mi señora Santa Ana jurisdicción de la / Salbador en tres días del mes de mayo de 1716 a[ños] / el señor Don Juan Jasinto Carillo Lobato C... / fisiado por su magestad de este dicho pueb[lo]... / siastico en ell mando yso(hizo) con pares a los... / cuomos y ofisales ytensis de la dicha cofradía... / beca cras a que den cuentos de tio do...

[f.14.r] Yestando personales han dicho mayordomos y alcaldes y de ofisales / y tenasi Juan Lomun Juan Andres de Nicolas hernandes mayordo / mo Jose phepe Mendis Juan de la Cruz Xavier Lopes diputados / maria Lopes Fransisca Lopes Mag[d]alena Bermudas Jose de ...mayoras tenazis y estando todos personales sam[...] dicho señor bica[ri] / ro y fues cojio Juramento cog(f)io juramento de ... / a los mayordomos de todo año que [h]an servido ysieron jura- / mento una señal de crus por sacarlo cargo el cual / ofresieron bien y fielmente de dará las dichas cuentas de / cargo y descargo en una memoria de donde dicho secretario B... / escritos las dichas cosa[s] paratida (partida) del cargo y los cargo.../ ysan dicho B[...] y Jues cofio for[...] las dichas- / cuentas primera a los mayordomos y facieron(hicieron?) a la cen... / sados en entre nitayteros tostones ytaes realeza / los cuales el se bieron y fueron entregados a losa los mayordomos y ofisales nuebos para quales / aumenten los cuales auto los Juan Lorenso Ju.../ Andres alcaldes Mateo Gois Diego de Torres mayo / rdomos Josephe Mendis Xavier Lopes diputados mayores / y luego prosiguio con las dicha cuentas de las... / sis fueron a la cansados en en cuarenta tostones / y los cuales exivieron y fueron entregados a los dichas / tenazni nuebas y [...]ros María Lopes Francsica Lopes / Ana namis María Tomas Parque los ofre... y Montes... / pli Jaen y den cuentas a su tiempo y porque coste se pon... / por auto dexando a la boluntada(voluntad) del señor obispo.../ o bestador a la aprobasión de estos dichos cuentas- / y san dicho señor jues y bicario las firmo conmigo / el ynfros escripto... Fran Reimudo

Rubrica de Carrillo

Pueblo de Santa/ Anna en día de .../

[f.14v] ＊インクの薄色化で解読困難.

Rúbrica(no es de Carrillo)

Mamanahuis ettenega ypan ymaquis ta / cazni dios ytazni yguan dios / zni dios espiritu santo yentin personas.../ telsan se neli dios timunel tuguitiata... / ynigun tic huisti anos xcan ypan umet…/ ytapual mesti de mayo de 1717 años... / sentatiquete yca naute cabildo ye... / teguantin umentin tatica alcaldes nagun... / diputados muchintin ofisales nia... / santa hermita ytx(a)itan santo ot... / tato jeschristo ynpan pa cimen… / tica alcaldes mayordomos ofisiales muni [dores] / tenazni mayoras yguan menoras /

[f.15r] quitequititisquete tato Dios ymanemis / totica naguatili santas hordenansa Amu

/ tenpaliquis Amusita cauis ycauis ytin / pantaquiti santa cofradía mamupupuas / mamuatequis mamupuchupanas mama / pupuxuis santo altar toto dios ylij.../ ti dominto mate muta camatis yguana ma / zin quixitis nican tenaguatili santos / ordenes guel yuqui utixi pantiliquete / tumaguisto pixicatazni padre maestro Don Juan / Jasinto Carillo Lobato yguan tupadre cura / Jutor Francisco usuda Hortis nican ten auto / yguan elesion oqui firmatiquete yca / ymaguis tocazni dios atonua quinute / guata ayatil tacamatisti auto yguan / hordenansas titas taguis yei tostones / yguan yei libras sera(cera) yteh pia santa / cofradía guel yuqui micta caiutosqte / axcan tunali xiguiti_____ / _____ / Juan Lorenso- Juano Andres Hortis alcaldes / Juan de la Crus mayordomo – Diego Ra/ mos – Juan Ramos –Blas de ustama- / mayordomos menores- Jose mendis- Xavier / Lopes Agustin Flores- Antonio Garsia- / Diputados Mateo Gomis- Tomas Hortis Diego / de Torres- Bartasar Lopes_ Juez Pedro Roque / Francisco Javier ... ____Agustin --/

[f.15.v] Antonio Lorenso- Roque Xacobo – Xavier manuel / Nicolas Martin- Jose Peris- Roque Clan.../ Juan Lopes – ofisales- Xavier Manuel – Juan Baleriano / Andres Mendis – Lucas Flores- Juan Andres – Juan .../ Diego Bentura- Juan Mateos – Diego Santiago-/ Ju Don Gusma munidores / Maria Lopes- Maria Jaspa- Juana Saren _ Juana / La rosa- Ana Lucas- Mayoras tenazni J... / Lopes- Sesilia Mendis- María del Pilara- An.../ manis- Maria Jaspa- Maria Loren- María Pasquala.../ Sesilia- Maria de la Rosa- Mag [d]alena Hernandes.../ Tomas- Sebastiana Maricela- Ava Flores.../ Petrona de la Cruz- Sebastiana Fabiana- J.../Bega- Ma...Lleona-maga L...

Rúbrica de Carrillo

Auto del año del 1717 En el pueblo / de mi señora santa ana jurisdic [ción]/ de la siuda[d] de San Salvador en tres días de / mes de mayo de 1717 años su merced el señor do.../ por su magestad este dicho pueblo y fues .../ astico en el mundo yso(hizo) con pares atos... / alcaldes y mayordomos y ofisales y tenatzni / dicha cofradía de la santisima beracruz/ den cuentas de todo un año entero yesta.../ todo siguientes Juan Lorenso Juan Andres.../ Gomis Diego Ramos Mayordomos Josephe / Xavier Lopes diputados tenazni maría Lopes F.../ Lopes María Tomas Ana Tocuasia ten... / Cofradía y su merced dicho señor Jues/

[f.16r] Resibio juramento ysieron una sera la de crus por / Dios nuestro señor por sacayo cargo del cual que / fue leido el santo enana memora a donde yban / asentados la dicha

cuenta y memorias de todo unn año / del cargo y descargo y su merced dicho señor y Jues y bicario / los ajusto las cuentas primero a los mayordomos y ofisales/ y fueron alcansados en dies y siete tostones los cuales / cuales se b(v)ieron y fueron entregados a los mayordomos / nuevbos y luego se prosiguio con las cuentas de los tenezis- / fueron alcansados en bante y dos tostones los cuales fuer /on entregados los mayordomos y ofisales y tenazis nuebos /Juan Lorenso Juan Andres alcaldes Juan de la Crus Juan Ramos mayo /rdomos maria Lopes María Josepha, Juana serna- /Juana de la Rosa tenazis mayordomos por que los aumente / y den cuentas a su tiempo y porque coste se pone por auto / dexan g... lantada del señor obispo o bisitador / la aprobasion destos cuentas y su merced dicho señor Jues- / y bicario las firmo conmigo el ynfrasescripto notar...

Rúbrica de
Juan Jasintho Carrillo

Francisco Reinado

———— ————————

Manumaquis yectenega ypan ymaquis tucazni Dios ytazni /yguan Dios ypilzni dios espiritu santo san se ne / li dios timanel tuquitiata yniti christianos teguan /tin umentin totica alcaldes diputados ofisales yma / quis teguiti can ymaquis santisma crus tuto / Dios yguan utima sentaliquete nican ytisantote / tenplo y ermita tuto Jesu Christo ytxita ysanto_ /altar axcan ypan ume tonal yta pua [...] mesti de / mayo de 1718 años yguan tisen ytaquete y ana / ta cabildo yguan utiyxipe peg..yetin /

[f.16 v.] Cuatatin Christiano ypal quitequitilis / quete santa cofradía umentin totica / alcaldes mayordomos diputados ofisiales muni / dores tenazini mayores yguan menores /ypal quitequitilisquete tuto Jesu Christo.../ nemis teotica mayuatili Santas hordenansas__ / patiquis [...]nusa ytacauis ymahuistaquilis... /-mamu chuapanco(chuparos) Santa hermita mamupupuas/ -puchiqui Santa alto Gesu(Jesu) Christo quena me ytena g... / - Santas hordenansa yguan amuaquines teguata / titacanitis nican tu cabildo clto yguan y .../ uti yxipantiliquete tumahuis top= Xicata... /maestro Don Juan Jasinto Carrillo Lobatoya / tomaguis tazni Padre cuagotor don Francisco de / Hortis o quinetitili quete tocabildo yguan... / chiguete confirmar yuqui mutucayotis /axcan tunati xiguit---/ Juan Lorenso Juan Andres umentin totica...
Juan de la Crus Mayordomo dexa diego.../ Xavier Manuele _ Juan Baleriano_ Mayordo [mo] Mateo Gomis- Xavier Lopes- Agustin Flores- Ba... /Lopes diputados mayores- Joshe

Mendis/ Tomas Hortis- Josephe Roque- Lorenso Agustin_ / de Torres – Francisco Xabier- Nicolas Martin / Manuel- Roque Carpio- Juan Matias – A.../ Salabador- Tomas de albarado- -J / Xabiel- Andres Dias—J.../

[f.17r] Juan andres tenagua Nicolas de la Crus- ofisales / [2]Gaspar pautin – Lucas Geronimo- Juan Lasaro /Carlos Miguele- Juan Manuel – Esteban / Ramos- Juan Julian- Juan Manole Juan Andres-/ Antonia Biscaina- Fransisca Lopes- Sebastiana Godin /Antonia Biscaina- Juan Pineda- tenatnin mayores / Juan Bernalda- Daniana Julian – Simona San / tos- María Jusepha-Antonia / pineda-María Santos- María de la Rosa-María / Mendosa –Biuda – Catalina Martinez- María Brenda /Ana Lusia- María Frenida- Ana Ysabela- María / de la Candelaria- Micaeala Geronima- Juan de Loma / Juan Malaca- Micaela Geronima- María nicolas... / Ribera- María Manuela- María Rosario- Leonor / Morales- María Josepha- María Santos- Rese... / Magarina- Sesilia Juan Lopes- Magaleno / Magdalena Barra- Juan de la Rosa- Marta Rosa...
Juan de la Crus- María Antonia_____-/

Rúbrica de Carrillo

En el pueblo de mi señora Santa Ana jurisdision / de San Salvador en tres díias del mes de mayo de 1718 / año su merced el señor don Juan Jasinto Carillo / Lobato cura y benfisado por [sania] que deste / dicho pueblo jues y eclesiastico en el yso(hizo) con / pareser antesiales alcaldes y mayordomos y ofisales / de la dicha cofradía de la Santasma Bera Crus a que den cuentas de todo un año que .../ Serbido a la cofradía yestando todos/

[f.17v] Y estando todos los cuales dicho presentes san.../ dicho señor jues y bicario cogio juramento/ de todo un año entro que an(han) serbido ys.../ por dios nuestro señor una senal de crus p.../ cuyo cargo y descargo por lo cuant que fue... / el escribano en una memoria a donde y... / asentadas las dichas partidas de cargo yd.../ y su merced dicho señor fues y bicario recibia j[ura] / mento y las ajusto la cuentas a lo ofisales y / tas cuentas fueron alcansados en cat...[3]/ se tostones los cuales fueron entrados al / y est se bieron los mayordomos y ofisales nuebos... /y se prosigio con las cuentas de los tenazi[ni] / y fueron alcansados en dies y ocho tos.../ las cuales es bieron y fueron entregados a... / Juan Lorenso Juan Andres alcaldes Juan de la C... / mayordomos mateo Gomis Xavier

[2] 左余白に“ munidores Xavier m.n. La... des [...]to”とある。
[3] 左余白に “alcanse de ofisales 141162” とある。

Lopes dipu... / mayores terisis Anonia Biscaina Frans... / Lopes Sebastian Fabian Antonia Pineda t... / Fueron entregados para que los aumenten / Cuentas a su tiempo y por que coste se pon... / Auto dejando al boluntad dicho señor j... / Obispo o bisitador la aprobasión de ... / Cuentas y sand dicho jues y bicario fals... / migo el escribano _____Fransisco Reimo

Rúbrica de Carrillo Rúbrica

[f.18r] Mamumaquis yetenegua ypan ymaquis... tucatni dios ytazni yguan Dios ypili / zni dios espiritu santo yeitin personas / telsan seneli Dios timanele tuquitiaya... / ti[...]anos teguantin naguintin diputa- / dos yaxca ymahuis santisma Crus / tuto dios axcan ypan umetunal ytapua / ta mesti de mayo ytehe pai xgiguiti de / 1719 años yguan utima sentalite y / canaute cabildo general nican yti / santa hermita conpa mucztica ymaquis- / azitisma crus to dios yguan yti ynxipa / panquete ytetin christiannos yptaquita / quitilisquete y maquisazitis ma crus tuto / dios yca amentin totica alcaldes yguan nag / uintini mayordomos diputados mayores / ofisales munidores yguan tenazni mayor.../ yguan menores ypal quitequitilis uae.../santa cofradía ypan se xquiuiti ynan.../ nios totica naguatilis santa hordenansa /tenpuliguis [...] nos ytacazuis ymaguista / quili santa cofradía galma atequisa / mcoucho panas santa hermita mapupare... / go can paniuastica toto Dios guel... / camatis ytenaguatili yag[...] ya... /tilis tomaguis topixi catazni padre nidon / Juan jasinto Crillo Lobato yguan / tanaguistaxin padre Francisco de ... /hortis nican tu elesio [n] yguan /

[f.18v] yguan aqui firmatiqui ycai maguis ta.../ Dios ytaizni yguan Aquinno Aquino ot... /tita camatistitatetaguis ye itosto.../ yguan se libra sera ytehe puis sen.../ cofradía yugui mutacayutis quete te.../ tunali xguiti_____ _____ / Juan Loren Jun Sndres totica alcaldes- Jou.../ de la Crus mayordomo Diego Ramos Juan / Matis Diego de Tores mayordomos menores / Mateo Gois – Xavier Lopes- bartasar Lopes__ ___ / Agustin Flores naguintin Diputados Mayores- / Josepen Mendis- Tomas Ortis – Agustin Gi____ / Juan Antonio Josphe Xacobo – Francisco Xa... / Juan Peris – Xavier Manuel – Loren Agustin / Baleriano- sebastian Fabian – Nicolas / Blas de Costem- Antonio Salbador- Ju.../ hpe Roque – X manuel- Nicolas de la Crus... / Dias- Juan Chamul- Nicolas de la Crus- / Ofisales- Juan Andres- Tomas de / Santiago- Juan Manule- Esteban Ramos- / Manuel sili estr – Juan Lasaro – Xavier m... / Antoni de la Crus- Antoni Pineda- Se... / tian Fabian – Juan de Lenos- Mari... / Ros Magarina Mayores- tenazni Ana...
Mari Trenida – Melchiora de los.../

[f.19r] Francisco Jabiel – Mari de Carmen- Mari Antoni- / Ysabel Malca—Br Bartasia- Maria / Ysidra. Maria Lorensa- Anna Luisa – Mora— / Ana- Micaela Feronima- Mari del tho- / bar Fabiana　Bernalda Fabiana

Bernalda Fabiana...

Rúbrica de　　Lina Seña Clara Jasinta

Carrillo　　Antoni- Pineda- Maria

Jus Pal Simona Santo...

Juan de Loma Sesilia Bi...

———————— ———————— ————————

[4]En el año de mmi señora Santa Ana　jurisdicciónn de la se [...] / Ca de San Salbador en tres días dell mes de.../ De 1719 años su mer[ced] el　señor don Juan Jasin / to Carrillo Lobato cura y ben fisado y Ja es... / clesi atico por ser gesta de este dicho pueblo en el / yso (hiso) conparser a los dichos alcaldes y mayordomos y o/　fisales y tenazni de dicho cofradía de al santa Be /　racrus ytenasis y estan de todos presentes su merced dicho / señor Jues y bicario cogio juramento que isi[e]ron (hicieron) / por dios nuestro señor una señal de crus por dios / nuestro señor por cuyo el cual fe leyendo de dicha / cuentas y memorias por cargo y descargo de la / un año que [h]an serbido a la dicha cofradía / y sestando todos presentes y su merced dicho señor jues / y bicario resibio juramento a los... / mayordomos y les ajusto la cuentas y fueron al /cansados en diesi tostones y luego se prosigo / con las cuentas de las tenasis fueron alcan / sado en beinte y dos tostones los cuales fueron / entregados a los dicho alcaldes y mayordomos /

[f.19v] nuebos Juan Loren Juan Andres alcaldes Juan / de la crus mayordomo Mateo Gomis Xavier Lopes Agus.../ tn Flores Bartasar Lopes diputados mayores / y a loa tenazis y capitanes nuebas Antonia de la Cru.../ Antonia Pineda Sebastian Fabian María de la Rosa. /tenasis fueron entregados paraque los aunte... / y den cuentas a su tiempo y porque coste se pone p... / auto dexandola Boluntad del señor obispo o bis[i] / tador la aprobasión desta cuenta y su mesed... / señor Jues y bicario las firmo comigo el ynfra / criputo notario /

Rúbrica de　Juan Jacinto　　Rúbrica　de Fransisco Reimundo

[4] 左余白に“Auto del año de 1719/ Alcanse de ofisales 16＃6/　Alcanse de tenazin 22H6”とある。

Carrillo Esribano

Visitado en este pueblo señora Sancta Anna en veinti y dos del mes de noviembre de mill setecientos y dies y nueve años / su merced el señor licenciado don Joseph Sanches de las navas / Reverendo Por el real patronato del Partido de San Francisco / elan vicario foraneo jues eclesiastico en el y visitador... / de este obispado por el ilustrísimo y reverendísima Señor obispo / el como contra de el auto general de esta vi[sita] / que queda puesto en el libro de Baptismo de la / parrochial de este dicho curato y lo rubrico r... / de que doy fe ante mi

Rúbrica de Manuel de Moxica

escribano de...

[f.20r] Mamaima guis yetenegua ypan ymahuista / catzni dios ytazni yguan dios ypiltzin dios / espiritu santo telsan seneli dios timanele / taquitiata yniti christianos teguantin ytoti / alcaldes naguintin diputados yni muchintin / ofisales ymaguis tatequi panucan ymaguis / santisma crus tuto Dios yguan utimusen / taliquete ycana ute cabildo general can / pama estica tuto dios Axcan ypan atunal / yta pual mesti de mayo matenegaxguiti de / 172 [0] años yguan vtiynixi pepequete umentin / totia alcaldes mayordomos diputados mayores- /yguan ofisales unidores yguan tenazni / mayores yguan menores ypal guite quitilis / quete tuto Jesu Xto(Christo) yguan ymahuis santisma crus / ypan se xguiti yma nemis toticana guatil / Santas Hordenansa amaten palis Anas y tacaguis / ymahuis topantaquili santa cofradía y ligu- / domingo mapupuas mauchapans muatequi / ma papaxguis santo altar canpa muestica tuto / dios guel mazin quixitis yteona gucotilista / hordenas guel yuqui vti yn x pan tili / tematazni padre maestro don Juan Jasinto / Cari Lobato yguan to padre don sebastian / de olibar nican to elesio(n) yguan quic hi.../ confirmara yca ymaquis tucazni dios / yeazni yguan aqui noteguata ayac.../ titamamatis titas taguispena 3 libras / sera yte hepai santa cofradía_____ / Agustin Simo Juan Andres Hortic alcaldes / Juan de la Crus mayordomo deja /

[f.20v] Diego Rammos- Diego de Tose... / Juan Matias Mayordomos meno[res] / Mateo Gomis- Xavier Lopes- Agustin Flores.../ Bartasar Lopes- Di Jos. Roque dipu... / Jose Mendis- Joseph Roque- Antonio [Sal] / bador- Lorenso Agustin- Francisco Rei... / Antonio Garsía Matos- Tomas Hortis- Xavier Manuel / Francisco Javiel- Xavier Manuel- Andres... / Nicolas Mrtin-Juan Balerian – Sebas / Tian Fabian – Francisco Xabiel- Migel Gero... / Antonio Salbador- ofisales- Juan Andres / Santiago- Juan Manul- Jos[e]

Nicolas- / Nicolas Lucas- Migel Jasinto- Xma / Juan Reimundo- Felipe Nero – Juan Lorn / Juan Julian- Juan Manuel manidores / Antonio Pineda- Barbar Fabian- Juan / Mari de la Rosa- De lona – Catalin Basq... / tenazni mayora- Antoni Pineda- / Maria Mendes- Micaela Geronima... / Micala- Ana Lusia- Maria Marsela- / María Josepa- Ana Sesilia Francisca Xabi... / Teres Basques- Mari Gomis - M[...]P..../ Julian – Mari de la o...Pasqual Rr... / Antoni Biscayna- Juan Mnuela... / Deagi Lara...Ana Chacona...Maria de Aguilar / Juan de la Crus Sebastian Fabian/

Rúbrica de Carrilllo

Rúbrica de Josepha Colocho y Francisco Reimundo

Rúbrica de Notario

Rúbrica

[f.21r] [5]En el pueblo de mi señora Santa Ana Jurisdicción / de la S(C)iudad de San Salvador e 3 días del / mes de mayo de 172 años su merced el dicho señor don / Juan Jasinto Carrillo Lobato cura y ben / fisado yt(e)clesiastico por su magesta deste dicho / pueblo en (e)l yso(hizo) conpareser ante sialo— / dicho mayordomos y ofisales y tenasis de la dichos / cofradía de la Santa Bera Crus aque den / cuantos de un año entero que (h)an serbido y es / tando todos Junto presentes su merced dicho señor / Jues y bicario resibio juramento que (h)ysieron / por Dios nuestro señor una señal de Curas por cu / llo(yo) cargo ofresieron dar bien y fielmente sa... / cuentas de cargo y descaargo por una memoria / a donde iban (h)asen asentados las dichas partidas / de cargo y descargo y su merced jues y bicario cogio pri / [6]mero las dicha cuenta ＋Juan Lorenso y juan Andres / alcaldes Juan de la Crus ayordomo y fueron alcansa / dos en dies tostones las cuales fueron entregados / [7]a los dicho alcaldes mayordomos nuebos y se prosg... / Con las cuentaas de los tenasis y fueron alcan / sados e be[i]nte y tres tostones y tres reales los ca / a los cuales fueron entregados a Agustin / Simon y Juan Andres alcaldes Juan de la Crus mayor / y demas ofisales nuebos y tenesi Antoni Pineda / y María de la Rosa capitana para que los Aumenten / y den cuenta a su tiempo y por que coste sepan por / auto dexando a la Boluntad de dicho obis / po o bisitador y dichos señor Jues y bicario los firmo co / migo notario /

[f.21v] Mame eraquis ya tenagua ymahuis / Cazai Dios ytazni yguan dios ypilzn... / dios espiritu santo yeitin per... / telsan senti Dios tomanel tuquiti... / tix(e)teguantin 2 totica

[5] 左余白に“Auto del año de 1720 años”とある。
[6] 左余白に“Alcanse de ofisales 10tt6”とある。
[7] 左余白に“Alcanse de tenasis 23tt53”とある。

alcaldes yguanna hu.../diputados mayores u(a)tinia sentaliquete / naute cabilido general nican ytisa... / tenplo señor santo Christo Axcan ypa... / tlamal ytapuat mesti de mayo del172... / yguanati yn yaci pe penquete umentin... / ca alcaldes mayordomos diputados ofisal... / (mu)nidores tenazni mayores yguan me... / ypalqui tequitilisquete tato dios y ... / se xguiti yma nemis teotica nagua... / santa hordenas amtenpatiguis yn... / yta caguis yma hais yteopan taquil san.../ cofradía guel y naguatili mama o... / mamuate quiqnta herita mama p... / z mamaputa xguiguis anto altar/ muesti catato christo ytguiti pascua de / go muta tizxuchiti ypasanto altar yt... / toto dios aquino teguata ayatite tal / titastastaguis yei tostones yguan yei... / t a sera yuqui utiyn xipantiliato t.../quis tazni padre maestro don Juan Jasinto Carr[llo] / Lobato yguan tamaguis tazni padre don /tian nican auto yguan et tesion ga.../ quete confirmar yca ymaguis tacazni / yugui mutaca yutisquete axcan.../ li Josephe Mendis Juan ramon.../

[f.22r] Agustin Simon- mayordomo- Diego de Tores / Juan Matias—Esteban Ramos- mayordomo... / menores- Mateo Gomis- Xavier Lopes- Blas / de Ustama- Bartasar Lopes –diputados / Juan Andres- Francisco Xabier- Juan Peris- / Agustin Flores- Roque Xacobo 2[8] Lorenzo / Agustin 2 Xabier Manuel 2 Nicolas Martin / Juan Baleriano 2 Xavier Manuel 2 Tomas Hortis / Juan Andres 2 Francisco de Burgía 2 Sebasti / an Fabian 2 Antonio Salbador 2 / diego Lasaro 2 Josepe Roque 2 ofisales / Juan Andres 2 Juan Manuel 2 Felipe nerio / Juan Reimundo 2 Juan Manuel 2 Pedro Manuel / Xaviel Lopes 2 Nicolas Jose 2 Lorenso Garsia/ Juan Julian 2 munidores Pasquala-/ Ramos 2 Maria Tores 2 Antonia Ties.../ Manuela Angete 2 tenazni mayoras__/ Lusia Basques 2 Maria Rosario 2 Maria / Teresa 2 Melchora de los Reis - 2 Ana / Teresa 2 Maria Juesphepa 2 Maria de la Rosa / Francisco Xabiel 2 Maria Felipa 2 Maria / Gonsales 2 Maria Asensia 2 Petrona Alba / rado – 2 Ramona Julian 2 Sebastian / tenaga 2___ /

[f.22v] Maria Rosario 2 Maria de la Natividad / Antonia Bernalado 2 Francisco Xabiel... / Teres Basque 2 [...]ara Juespa 2 Bar.../ Fabian 2 Rosa Maria Galeana 2 Jue.../

Rúbrica de estefenia ni ...
Carrillo Francisca Lopes_ María...

[9] En el pueblo de mi señora Santa ana jurisdic [sión] / de la siuda[d] de San Salvador en

[8] 名前の区切りに数字の「２」もしくは、「Z」のような記号が記されている。
[9] 左余白に、“Auto del año del 172...”とある。

3 días ... / mes de mayo de 1721　año su merced el dicho s... / Don Juan Jacinto Carrillo Lobato.../ y ben[e]fisado　para su magestad jues... / bicario y eclesiastico en el dicho yso(hizo)../ pares ante si a los dicho alcaldes mayor / domos de la dicha cofradía de la Santa / bera cruz aqi den cuentas de todo un año / [h]an serbido a dicha cofradía y estando f... / juntos su magestad dicho señor Jues y bicario... / Juramento a los dicho alcaldes y mayordomo... / y tenazini de un año entera hysieron por s... / maestro seño una crus en sella de Ju... / to por cullo(cuyo) cargo fue leyendo dicho ce... / en una memoria a donde yban asen... / las dicha libros nos de　de cargo y descar [go] / y estando todos juntos su merced dicho / jues y bicario_____　_____ /

[f.23r] Cogio cuentas primero a los mayordomoms-/ y fueron alcansados en dies tostones y los / entregaron y es bieron los mayordomos / nuebos y ele [c]tos　Agustin Simon mayordo[mo] / Juan Ramos Josepe mayordomo alcaldes y luego / se prosiguio las cuentas de las dichas tenazni / y fueron alcansados en be[i]nte tostones las / [10]cuentas fueron entregados y es [...] b[i]eron / las dicha tenatzisi nuebas y ele[c]tos para que / los cuidenn que lo son Pascuala Ramos Antonia / Pineda Maria Teresa Antonia Días tenasis / Mayora [...] setos [h]asen cargo para que los / Aumenten y moltiplique y den cuentas en / Ello y porque coste sepan por Auto dexan / do A la boluntad del dicho señor obispo o / bisitador la aprobasión de dicho cuen / tas y el dicho señor jues y bicario lo firmo com... / go el escribano_____　　francisco Reimundo（Reinado?）

Rúbrica　firma thobos han de[11] ...

[f. 23v] Mama maquis yet tenegua ypan ymaqui... /　cazni dios ytazni yguan dios ypil... / dios yta espiritud santo yeintin per[sonas] / tel san se nel dios timenel tageutia... / tichristianos teguantin cofradia ax[can] / ypan umetic a la ytapual mesti de mayo / del 1722　años utimusentaliquete ycanaute ca[bil] / do general nican ytisanta hermita cunp... / ti cutaato Christo y texgitana y santa alte yg... / uti yn xipepequete yeguantin y et... / cualtin Christ[ianos] ynipilguan seno.../ Santa ana ypaal quimectequitilisquete yma.../ ymanemis totica naguatilis santas hor.../　Amuten puliquis anas ytaca niguis y mag... / taquilista cofradía oma muatequis ma.../ uchupanas ma mapupuas mamapupah... / Santo Altar ytiquiti domingo muto... / Apan Xu(a?)chi[...] yxitanzin cutato dios gueln / Cauatis nican tenaguatilis los hordenan... / yuquiti yn xipantiliquete tamaquis tazin... / don Juan Silibeste cura y bicario quia... / firmar nican ta elesion yca

[10]　左余白に、“Alcanse de ofisales – lut...tenasis 2ott6？”とある。
[11] 色の濃淡の異なるインクで署名されている。

ymaquista... / dios ytazin Aquin tenauanta Ayatita cam... / guesi penic yei tostones yguan se libra.../ y tehepici santa cofradía yuguimu... / ycotisquete axcan tunal_____ xagiti / _____ _____ _____/

[f.24r] Juan Ramos- Jose Mendis totica alcaldes / Agustin Simon mayordomo dexa_ / Diego de Tores- Esteban Ramos _ Zabier Manuel / Juan Matias- Mayordomos menores__ __ / Mateo Gois_ Blas de Ustama _ Roque Xacobo.../ Agustin Flores- Lorenso Agustin diputa / Dos maayores- Xaviel Lopes- Juan Andres / Bartasar Lopes- Diego Ramos- Xavierl Manuel / Francisco Chamul- Antonio Salbador- Jua / Francisco Xabiel- Juan Baleriano- Sebastian / Fabian- Andres Dias- Juan Andres – xaviel / Santiago- Nicolas Martin- Tomas Hortis-/Francisco de Burgía- Josepe Roque- Leonis... / Bisente- Diego Lasaro- Juan Peres- Mato-de Albarado—ofisales Felipe Nerio- Pedro Jose / Antonio Salbador. Juan Tomas- Xavier Manuel / Juan Manuel- Juan Julian- Nicolas Josepe- / Xaviel Manuel- Xaviel Manuele- / munidores- Maria del Pilar- Francisco Lopes- María / del Carmen- Sebastiana manuela- Catali / na Lopes- tenazni mayores- María Martin- / María Trenida- Sebastiana Fabiana- Maria Felipe / Sebastiana Nianata- Lorensa Lemus- Lusia / Basques- María del Rosario- María Jasphe-/ María santos- María Ana- Melchora de los Reis- / Ramona Juliana Antonia Hortis____ /

[f.24v] María Mendosa- Maria Trusida- Ysabel Mad... / María Bisente- Maria Manuela- Francisco Xabiel / Francisco Xabiela- Maria de la Rosa- Jana Ar... / Petrona [...]aia Ana Lusia – Maria B... /

Rubrica de Carrillo Francisco Reymundo
Rubrica

[12] En el pueblo de mi señora Santa ana jurisdición de... / siudad de San Salvador en tres días de ... / de mayo de 1722 su merced dicho señor Jus... /Don Juan Silibester Sanchis cura y ... / para su magesta[d] en este dicho pueblo de mi se... /Santa Ana el yhiso paresre a los dicho cofrad... /de la dicha cofradi de la Santa Bera Crus.../ que d[en] sus cuentasde un año entero que... / bido sigan costumbre, en un año y estand... / sente los dichos alcaldes y mayordomos jura... / Jose Mendis alcaldes Agustin Simon mayo... / y los tenasis mayora Pascuala Ramos / Teresa Manuela Angel Antonia Pined... / Presentes su merced dicho señor bicario cu... / mento A[...]os los cuales que [h]ysieron por días... /

[12] 左余白に、“Auto del año del 1722”とある。

señaro por juramento una señala... / fielmente como christianos por... / que llebo el dicho escriban en una memo.../ en de yban asentados la dicho cuenta por ... / go y descargo de unn año entero a año/

[f.25r] [13]Y su merced dicho señor jues bicario ajusto la dicha cuen / Tas primero a los ofisales y sacando los gastos / de un año y sera para sus festibidades fueron / alcansados en beinte tostones los cuales fueron / entregados y exibieron a los dicha alcaldes y mayo / rdomos nuebos ala [...] y ele [c]tos y luego se prosi- / gio con las dicha cuentas de la tenazsi y fueron / alcansados en dies tostones sacando gastos / los cuales exibieron y fueron entregados a los / dicha tenasis y capitanas nuebas paraque los aume- / nten y mu[l]tipliquen y den su cuentas a su tiem / po y porque coste se pone por auto dejando al / boluntad de dicho señor obispo o be[i]sitador la / aprobasión de dicha cuenta y su mersed de dicho se / ñor o jues y bicario probinsal las firmo comigo / dicho notario/

Juan Silibester Sanches	Francisco Reimundo
Rúbrica	notario
	Rúbrica

[f.25.v] En el pueblo de mi señora Santa ana ju[risdic] / Sión de la siudad de San Salva[dor] / en dos días del mes de mayo de / año nos juntamos en cabilido / nosotros alcaldes y Regidores y de mas / los en esta Santa hermita A don... / esta A colocada el señor y dim... / nuestros batas y pare(palo) rescad... / uno para la elesión de los dicho alcalds / y mayordomos y ofisales nuebos / y tenazsis mayoras y menoras y ma / para que sirba a la dicha santa fe... / día es en este año entero cunplió/ con todos su obligasion [...] a lo que / hor[de]nes manda el tener la santa / [er]mita limpia y aseada y tener elo.../ m[...] altar adornado dera... / y ni[...]ando sinpre a la ser y limpies... / y dicha Santa Cofradía y esta elesi.../ fa firmado por su merced dicho señor/ don Luis cura y bicario de mi señor / y no cumpliendo a lo que manda / a los Santos Hordenes seran penados e / tostones por la dicha santa cof [radía] / Jose Mendis- Juan Raos- Juan A... / Alcaldes Agustin Simon mayord[omo] /

Diego de Tores- Esteban...(Sin firma)

[f.26r][14] de...../ ensra...del..../...prosa cura de / y sidass hijo de Joan de / y de

[13] 左余白に、“Alcanse de ofisales 20116”とある。
[14] 1640 年の洗礼記録のようであるが、大きく破損しているためテキスト化困難。

Sebastian de /su mujer fue la madrina..../ melendes de val de.... /　Joan de quinones... / En beintidos de mayodel año e mil seis sientos y sinquenta y /Sinco baptize　de ...a Thomasa hija legitima de ... / de Contreras y de und.../ Antonio Suares y su muger Doña Jua....de /　El　maestro Alonso ... / En veinte tres de mayo año de/

[f.26 v] 洗礼記録.

[f.27r] [15]　En el pueblo de Santa Ana en dies días del mes de a.../ de mil y seyscientos y treinta y ocho años el Don Diego de cer.../ tes saluatierra curra rrector de la catgediad de guar vi / sitador general de estas provincias juez de capellan / testamentos yo General pias de este obispado por el / señor doctor don Agustin de Ugarte Saravia Xor.../ uinag obispo deputados y Bera Pas del consejo de su mag[estad] / para visitar la yglesia de san Pueblo Coatepeque hizo par / cer antes padre Joan mayordomo de la dicha yglesia del que / sele rrecivido juramento por dios nuestro y por una señal de crus y / cargo del qual prometo de dar las quentas vien y fielm.../ y declalar los bienes della y aviendo se le hizo el cargo y / cevido se le al descargo parecio no tener en su poder cosa /o una mas de los bienes declarados en las visitas [...]asada / [...]es de esta com mas una milpa sembrada de seys medios de / [...] la cual mando que se rrecoja y guarde con quennta y rra... / a su tiempo con ynterbención de su beneficiado y el / visitador mando que se guarde y cumpla todo lo de ma.../ conforme dicha ordeenado y mandado en las visitas pasa.../ especial magestad la de sus　[...] y assi lo prove y o mando / mo el visitador/

Don Diego de Cer..
Rúbrica

Rúbrica

Rúbrica

[f.27v][16] ...

[f. 28r]　Juan Matias Xavier Manuel ...[17]

[f.28v]　[18]En el pueblo de mi señora Santa Ana jurisdicción /de la siudad de San

---

[15] 「1638 年」とある。コアテペケの visitador の記録。字体が異なる。

[16] 1649 年の洗礼記録のようであるが、変色部分が大きくテキスト化困難。

[17] 途中から始まっている文のようで不明である。1722 の続きかもしれない。

[18] 左余白に“Acta del año 1723” とある。

Salbador tres días de / mes de mayo de 1723 años su merced dicho y se / maestro don Juan Silbester San Chis... / Cura y bicario y benfisado por su mag... / es eclesiastico de este dicho pueblo de mi se.../ santa Ana en el yso con pares re atos de c... /Cofrades de la dicha cofradía de la se... / ma Crus alcaldes mayores a que de se cuentas... /y tenazis mayoras aque de se cuentas de / uno año entero que an serbido a dicha c... /día y estando todos juntos su merced dicho se... / jues y bicaro probinsial cogio ju[ra] / mento a todos los dichos ysiero[n] por días... / [nues]tro señor y enseñala de una crus por j[ura]/ mento por su cuyio cargo el cunt? Dicho s ... / no traía una memora a donde yban /dicha partidas del cargo y descargo y su merced... / señor jues – cogio cuentas primero al ... / ules y ca ion de gastos de sra y demo (de mas?), time, n... /ganstarento de le laño fueron al consa... / be[i]nite tostones los cuales e se b[v]ieron y ense / entregados a los nuebos y ele[c]tos y cargo.../ io les dicha cuenta a la capp fueron alc(ansados) / en quinse tostones las cuales resibieron y fue...(en) / tregados a los dicho Jose Mendis Juan Ra.../ni Simon mayordomos ni del Pilar Francisco Lope... /yores y se los entregaron para que los aumente... / tip toque y den cuentas a su tiempo dexan... /a la boluntad del señor obispo o besi[tador] / la aprobasion de dicha cuentas_____/_____ _____ /

[f.29r] y su maerced dicho señor jues y bicaro probin / sia los firmo con migo ynfres notoro / es cripiti notario / En este pueblo de Santa Ana Jurisdicsión de la siudad de San / Salbador en dos días del mes de mayo de año de / 1724 estando todos junto y con congregados los alcaldes y / regidores y ofisales en cabilido en esta santa hermita / de la Santisima beracrus para fin de elgir y nobrar / alcaldes y mayordomos y ofisales munidores y tenazsis / mayoras y menoras para que sirban a esta dicha / ermanda en presensia del señor maestro don Juan / Silibestre Sanchis de Leon cura Benfisado por el / real patronato de este dicho partido y Jues eclesiasti / co vicario probinsial y calificador del Santo / ofisio y comisaro en la siudad de Santiago de Guate / mala y de este obispado y ... en la manera sigui /ente religi(e)ron por alcaldes ____ Juan Ramon / Josphe Mendis__ Agustin Simon mayor / do dexa-Die(go) de Tores—Esteban Ramos / Xavier Manuel- Juan Balerian mayordomos / menores_____ _____ _____/

[f.29 v] Mateo Gomis- Blas de Ustama Agustin Flores / Juan Andre Lorenso Agustin Roque Xacobo / diputados mayores- Xavier Lopes- Francisco Xabiel Chaqua.../ Xaviel Manuel- Francisco Xaviel- Juan Andres- nic.../ Martin Juan Andres Chamula- Francisco de Burg... / Diego Lasaro- Antonio Salbador- Felipe Nero-/ Lucas Geronimo- Manuela de la Trenidad- Ju... / Matias- Antonio Palanque- Bartasar Lopes-/ Ofisales – Jose Nicolas- Juan Julian- Juan... / Jose Manuele- Pedro Pablo- Pedro Nolasco—Bartasar / Tomas de

Aquina—Bartolo Basques—Xavier Manu.. /Diego Pasquala—munidores—menores- / María de Ustama- Catalina geronimo- Mar.../Teresa- Lorensa Agustina—Cristina Martin... /Tenasi mayores- Ana Lusia- Maria Juspha M... / Lusia Camala- Antonia Bernaluda- Catalina / Margarita- Micaela Geronimia-Maria de Laresa / Maria Ramos- Ana María- Maria Manuela- Maria Nico(las) / Petrona Gusman- Micaela Geronimia- María Antonia / Christina de la Rosa- Rosa Magarina- Me(l) / Chiola de los Reyes- Mar{ia Margarita-Sebast(ian) / Fabian- María Santos- María Cristiana- /

Rúbrica de Sanchez Fransisco

[19]En el pueblo de mi señora Santa Ana Jurisdiccion de / siudad de San Salvador en 3 días del mes de ma(yo) / mil setesientos y beinte y cuatro años su merced el / maestro don Juan silbestre Sanchis de Leon / Y bicario y benefisado jues etclesiastico ... / dor y eleficador del santo ofisio de la ... /

[f.30r] cotra da de Guatemala en el hiso conparese a los dicho alcaldes / y mayordomos y tenasizsi mayoras de la dicha santisima Bera / Cruz y su merced dicho señor maestro y jues comisario cogio cuen / tas y juramento de un año entero que an serbido a dicha santa / cofradía y los dicho dieron y jisieron juramento y enseñala / una cruzes fiel y berdaderamente como christianos
fieles y catolicos que asi berdad que dan les dicha cuentas / por cargo y descargo por cuya mano y memoria llebo... / dicha escribano dicha santa cofradía en una memoria ason / deban asentados los dicho cargos descargos de los dicha- / limosnas que sean echa cargo eran año entero y estando / todos juntos los dichos siguientes Juan Ramos Josephe Men / dis Alcaldes Agustin Simon Mayordomo Matgeo Gomis Xabier / Lopes diputados mayores María del Pilar María Ramos / Francisca Lopes María de la Natibidad Capitanas mayoras- / y su merced dicho señor Jues y bicario cogio cuentas primero / a los ofisales y su cargos les todo el todo el descaru / go de los gastos que hisieron en una y de su festi / bida en gasto de sera y misa de su festibi / da y demas obligasiones en un año fueron / [20]alcansados en beinte tostones las cuales / fueron entregados a los nuebos y electos- /y de mas obligasiones en un a / Juan Ramos Josphe Mendis alcaldes Agustin / Simon mayordomo y luego se proseguio con / las cuentas de la dicha tenazss y fueron / Alcansados en beinte tostones y dos reales / las cuales fueron entregados a los nuebos / Y elftas María de la Candelaria María / Torensas Catalina Geronima María

[19] 左余白に“Anto del año 1724”とある。1722 の続きかと思われるが定かではない。
[20] 左余白に “Alcanse de ofisales ...las tenasis ....”とある。

Teresa / tenazsis mayoras par(a) que los aumenten y sera (mu) / tiplique y den cuentas asu tiempo dejan / do a l bolanta del señor obispo o bisitador/ la aprobasion de dicha cuenta y su merced dicha /señor Jues y bicario las firmo co(n)migo /

Rúbrica　de Sanches

[f.30v] En el pueblo de mi señora santa ana juridision de la s(iudad) / de san salvador en 2 días del mes de mayo de 1725 a(ños) / se juntaron los hermanos y cofrades de nuestra / y critdor y redentor Jesu Christo nombra.../ la Vera Crus fundada en esta santa hermi(ta) / deste (...) dicho pueblo ysiron sus cabildos y a sunto... / conpanata nida y oieron sus votos cada uno / por si con asistensia y pareser de su merced el sr / Don Juan Silibestre Sanches de Leon cura Bdo / el Real patronato deste dicho pueblo y sus adjunta / padre e(c)lesiastico vicario prov(incia)l calificador del / ofisio de hinquisision y examinador deste Real .../ pado y estando una mejora y conforme elesi.../ por alcalde de primer voto Jop his Mendes y su l.../llero Juan Ramon y por mayordomo Agusti... / y por mayordomos menores Diego de Tores Juan... / Xavier Manuel Estevan Ramon y por diputado.../ Gomes Blas de Ustama Lorenso Agustin Agustin... / Bartasar Lopes y Por ofisiales Xavier Lopes Andres / Joph Chacon Roque Jacobo (...) ran Favier ... / Martin Xavier Manuel Juan Baleriano Juan Andre.../ de Alborga Xavier Manuel Juan de la Trinidad Tom... / sebastian fabian Antonio Salbador Francisco Fabi... / Lope nerio Alonso Peres Manuel de la Tri... / Lucas Jeronimo Diego Lasaro ofisiales me... / Y por monidores manuel Garsia Bartolo Col... / Johs Nicolas Juan José ...Pedro Pablo Julian Barta... / Ti Pascual Manuel Juan Manuel_____/ y por capitana/

[f.31r] petrona Lucresia Antonia Bernarda Ca / talina Teresa María Jusefa Capitanas / Ana Fabiana Maria Juana de Lemos / Petrona Martin Maria Santa Maria de la / Consisiona Juana Marlon Marta Jacobo / Sebastiana FabianaMaria Jacobo Ma / Ria Teresa Domingo Hernandes Ana Lusia / Magdalena Martin Maria Bitoria Maria / de la Rosa Cristina de la Rosa Lusia Cha / mul Maria Manuela Maga Hernandes Ma / ria Manuela Pascuala Alfaro Tomasa / Viviana Marta Jacoba Antonia Nicolas / Sa Catalina Perdomo Maria Asensia Ma / ria Manuela Maria Lorensa Rosa Margari... / na Maria de Ustama tenansi y menoras y su merced / el señor Maestro Lofirmo la santa elesion /

Rúbrica　de Sanches

En el pueblo de mi señora Santa Ana jurisdision de / la siuda de San Salvador en quatro

días / del mes de mayo del 1725 años y su merced / elgi dicho señor mestro Don Juan Silibestre / gintana Sanches de Leon Cura Bdo por / el real patronato dicho pueblo y su adjun / ta fe ese elesiastico vicario provincial califi / cador y si no od(...) Real ocupado en el / y hiso con padeser a los dicho alcaldes y mayordo / mo y los diputados y ofisiales y los te /

[f.31 v] nonsy mayoras y menorasde la dicha santa cofra(dia) / a santa vera Crus y su merced di dichos señor maestro los to / los quentas y juramento en un año entero q.../ servido en la dicha santa cofradía y los d.../ dieron su q(u)enta y juramento en una se / ñal de la crus fiel y catol(i)cos christia(nos) / y su merced lo(tachado) a justo los dichas quenta / cargo y descargo y por culla mano de / y el dicha escribano llevo una me(mo) / ria donde esta memoria de los dicha... / mos nos que sern (h)echos cargo en un año... / ro y estando presentes todos juntos los / sigientes Juan Ramon Jophs menores / Agustin Simon mayordomo Mateo Gomes y Blas de...(Can) / Delaria Lorenso Agustin diputados mayor / Samuel Dicho señor maestro les ajusto los dichos q... / y sacando todos los gastos que (h)an (h)echo en un... / [21]entero de misas meseras y de su festividad / para la sera y de otra obligasiones y ... / alcansados en disisiete tostones y los qua...
ron entregados a los nuevos ettos Juan (Ra) / mon Jophs Mendes alcaldes a Agustin Simon mayo... / mo y luego se prosiguio con las q(u)entas de ... / non sis y feron alcansados en 19 tostones / quales seran entregados a los nuevos ele... / tro na Lucresia Antonia Bernarda C...
na Teresa Maria Josefa para que aumen... / de quenta a su tiempo dejando a la u... / del señor ovispo o visitador la aprova... / de los q(u)entas y su merced el señor maestro lo firmo... /

Rúbrica de Sanches

[f.32r] En el pueblo de mi señora Santa Ana jurisdision de la siu / da de San salbador en 4 días del mes de mayo del 172(...) / años se juntaron los ermanos y cofrades de nues / tro maestro y criador santa Bera Crus ysieron sus / cabildos y asuntos acanpanata ni da y dieron / sus botos cada uno de popr si con asistensia y pare / ser de su merced el dicho señor maestro Don Juan Silibes / tre Quintana Sanches de Leon Cura (...) do por el / Real patronato de dicho pueblo y sus adjuntos / fe es eclesiastico bicario probinsial calificador / del santo ofisio de hinquision yet saminador y / sinodal de este Real

[21] 左余白に“Alcanses a la ofisiales 17... a los tenen ses 17...”とある。

obispado y estando una mes / ma y conformes elegieron por alcalde de primer.../ boto_____ / Joph Mendis – y su compañero Juan Ramon y por / mayordomo Agustin Siomon y por mayordomos me / nores – Diego de Tores Juan Matias- Esteban Ra / mos Juan Baleriano- y por diputados mayores / mateo Gomes Blas de la Candelaria- Lorenso Agustin / Agustin / Diego Pascual- Francisco Javier-Tomas Ortis- Juan Bale / rianos- Xpbal Manuel- Juan Andres – Xpbal Ma / nuel- Manuel de la Trenida- Fransisco de Borga- / Francisco Javier- Felipe Nerio- Antonio Salbador- Fran / sisco Albares Colocho- Rafael de los Angeles- / Joph Chacon- Pedro de la Candelaria- Xpbal Juian / Alonso peres- Lorenso Segobia- Nicolas Martin/

[f.33v] Nicolas Joph- domingo joph- Juan Usebro- Xpbal Manu... / Pedro Pablo Bartolo Cortes Manuel G... / Cual Domingo Juan de Ottaba Manue... / Lopes Juan Manuel Jo(...) Manuel... / los Domingo Xpbal Julian Lorenso / Juan Guillermo Munidores Auto... / y por capitanas- (...) hcona Lucresia- Maria Jusepa- / cia Catalina Teresa Sebastiana J... / na y por tenansis menores Maria de la C.../ sion maria Asensia Lusia Bargas Melch... / de los Relles Maria Manuela Petrona M.../ Maria Manuela Maria Dominga Cata... / Lorensa Catalina Basques Ana M.../ ela Maria Colocha Antonia Ber.../ ga Maria Chiristina Maria Lore... / Teresa de Jesus María Manuela.../ Lio　Normo ra les /

Rúbrica de Sanches

En el pueblo de mi señora Santa Ana ju... / ridision de la siudad de San Salbador / En quatro dias del mes de mayo de / Y su merced el dicho sr maestro don Juan (Sil)/bestre Quintana Sanches de Leo(n) (cu).../ ra Bdo　por el Real patronato de .../ pueblo y sus adjuntos fe ese elesion / vicario provincial calificador de (santo)

[f.34.r]　ofisio de hinquisision y exsaminador y si / nodol de este real obispado en el y hiso con / pareser a los alcalde y mayordomo y o/ fisiales y los tenasis mayoras y menoras / de la dicha santa cofradía de la santa Be / ra Crus y su merced el dicho señor maestro les fe　toman / do los quentas y juramento en una seña / de la cruz en un año entero que han servi / do en la dicha santa cofradía y los dichos / dieron sus quentas y juramentos fieles / catolico cristianos y su merced los a jun / tos las dichas quentas　por cargo y descargo / y por culloa mano de su merced y el dicho escri / bano llebo una memoria donde estaba / memoria a (...) de las dicha limosna que se / an echo cargo en un año entero y estan / do presentes todos Juntos los dichos / sigientes Jophs Mendes Juan Ramon / Alcaldes Agustin Simon mayordomo / Mateo Gomes Blas de la candelaria

Loren / so Agustin Agustin Flores diputados / mayores y su merced el dicho señor maestro Le... / a justo los dichos quentas y sacando / todos los gastos que (h)an (h)echo en un año/ entero de misa meseras y de su ...festi / bida y de la sera y otros gastos y fero... / alcansado a los dichos ofisitles.../

[fo.34. v] [22]en quinse se tostones y los cuales f(ueron) (en) / tregados a los nucbos e te...Joph/ Juan Ramon Alcaldes Agustin Sim... / yordomo y los quatro diputados y l... / le prosiguieron con los tenansis y fer.../ cansados en quinse tostones y los cua... / ron en tregados a los nuebos elettos p... / na Lucresia María Josefa Ana Ana Lusia... / talina Teresa Sebastiana Fabian... / ra ge auente y den quenta a su tie(npo) / dejando a la volutad del señor Obis... / bisitador la probasion de los quentas / el señor maestro lo firmo con migo el escribano.../

Rúbrica　de Sanches

En el pueblo de mi señora santa Ana juris... / da la siudad de San Salbador en tres días (de) / mes de mayo de 1727 años se fundaron / los ermanos y cofrades de nuestro... / ador y redentor de sieto y tieras... / bera crus fundada en esta santa / ta ysieron sus cabildos y asunt(to) / panatani(...) y dieron sus botos / ser de su merced el dicho señor maestro don Juan (Sil) / bestre Sanches de Leon cura ben... /

[f.35r]　do por el real patronato de eicho pueblo y sus adjun / tos jues eclesiastico bicario probinsial / calificador del santo ofisio de ynquisision / y exsaminador y sinodal (tachado) /te ...obispo y estando unanimes y con / formes elexieron por alcaldes de primer boto / Josephes Mendes- y su conpanyero-Juan Ra / mon- y por mayordomo – del santo deposito- / Blas de la Candelaria- y por mayordomo- / menores- diego de trores- Juan Masias- Cris / tobal Garsia- y por diputados mayores- Ma / teo Gomes- Roque Jacobo-Agustin Flores- / Lorenso Agustin- Adres Días- y por ofisia / les- P(...) de la Candelaria – Juan de la Trinida / Diego Pasqual- Bartasar Lopes- Fransis / co Jabiel- Christobal Manuel- Manuel / de la Trinidad- Seastian Fabian-Tomas Ortis / Christobal Manuel- Antonio Salbador / Felipe Nerio- Francisco Jabier- Juan Baleri / ano- Nicolas Martin- Esteban Ramos- / Francisco de Barga- Nicolas- Jose- Simon Santos / Alonso Peris- Juan Antonio- Francisco Alba / res Coloho- Rafael Coloho- y eor mo / nidores- Bartolo Cortes- Manuel / Garsia- P(...)Pablo – Juan de la Trinida / Joph Domingo Juan Bernardo Bartasar/

[22]左余白に“A los ofisiales son…a las tenanzis ...”とある。

[f. 35v] Hortis Pascual Espiritu Santo y por .../ Pitan Ana Maria Antonia Agustina M... / Asensia Lucia y nu(tachado) / Manuela Basques y por tenansis menoras / Maria Estefania Cimona de la Crus Maria Poloni... / tesa de Jesus Maria Bernandina Mar{ia Fucefa(Josefa) / Barbara Basques Maria Tomasa Mar{ia Fusefa / María Gusman Melchora de los Relles Lionor Chris / tina Maria de la Conciciona María Dominga M.. / la Rosa Manuela Mendosa María Andrea María... / galena Antonia Bernarda María Pascuala / Juana Agata AnaBasques Manuela y ... / te Teresa de Gesus Juana de la Crus Cim.../ lia de Ribas y su merced el señor maestro lo firmo y / firmo la santa elexcion /

Rúbrica de Sanches

en el pueblo de mi señora santa Ana jurisdi / ccion de la ciudad de San Salbador en qua / tro días del mes de mayo de 1727 año y su / merced el dicho señor maestro don Juan Cilibestre... / quintana Sanches de Leon Cura B(eneficia)do por el / Real patronato dicho pueblo y sus adjuntos ... / eclesiastico vicario prov(incia)l calificador / del santo oficio de hinquicicion y exsami... / dor y cinodal de este real obispado y en el / so conpadeser a los alcalds y mayor...

[f.36 r] y de mas oficiales y las tenasis mayoras y me / noras de la dicha santa cofradía de la santa / Bera Crus y su merced el dicho señor maestro (...) toman / Do las dichas quentas y juramento en una se / nal de la santa crus como fieles catolicos / christianos y su merced el dicho señor maestro los adjun / to los dichos quentas por cargo y descargo y por / culla mano de su merced y el dicho esc(riba)no lleba / ba una memoria donde y(i)ba memoria / do las limosna que estaba a su cargo en un / año entero y estando presentes todos / los sigiente Joph Mendes Juan Ramon Al / caldes Blas de la Candelaria Mayordomo / Mateo Gomes Agustin Flores Lorenso Agus / tin Xorge Xacobo diputados mayores y / su merced el dicho señor maestro(...) ajustando / los dichos quentas y sacando todos los gastos / de misas meseras y festibida y de sera / y otros gastos y feron alcansados en dose / tos tones a los oficiales y los cuales feron / entregados a los nuebos electos Jophs / Mendes Juan Ramon Alcaldes Blas de la Can / delaria mayordomo y los quatro di / putados y lugo se procigio con los mu / ... eres yseron (ycieron?) alcansados en trese / tostones y los quales seron(hicieron) entrega / dos a las nuebas y relettos Ana Maria /

[f.36 v] Antonia Agustina Lucia Ynes Ma / ría Asencia manuela basques / para que lo

aumenten y cuan / do sea llamados a los quentas de / quentas de ello y para que coste sepe / ne por auto dejando a la bolun / ta de señor obispo o becitador /la probacion de las quentas y su / merced el dicho forma estro lo firmo / conmigo Francisco Santos e.../

Rúbrica　de Sanches

En el pueblo de mi señora santa / Jurisdicion de la ciudad de Sal / bador en 2 días del mes de mayo / de años del 1728 se juntaron.../ manos y cofrades de la santa Be(ra) / Crus fundada en esta santa (er)/ Mita de este dicho pueblo y cie.../ sus cabildos y ll asuntos acon / natanida y dieron sus bote... / uno de por ci con asistencia / de ser de su merced el dicho señor / Don Juan cilibestre Hin...que/

[f. 37r] Sanches de Leon cura b(eneficia)do por el / Real patronato de dicho pueblo y / fe y adjuntos fe y ecleciastico / bicario provincial calificador / del santo oficio de hinquicicion / y exsaminador y cinodal de este / real obispado y estando un　/ animes y conformes elegieron / por alcalde de primer boto Juan(tachado) / Pedro de la Candelaria- / Juan Ramon y su conpallero / Juan de la Trinidad y por ma / yordomo del santo depocito / Blas de la Candelaria y por / mayordomos menores Juan Ma / tias Xp Balgar Juan Andres / y por diputados mayores Ma / teo Gomes Roque Xacobo Francisco / Chamul Agustin Flores Loren / so Agustin y por oficiales Bar /tasar Lopes Nicolas Martin Diego / de Tores y Esteban Ramos____/

[f. 37v] ...on de Borga Antonio Salbador .../ Balerianno Manuel Alorrinida... / li penerio Francisco Fabier Tomas Hor[tis] / Joph Gar[sia] Diego Pascual y por munido / res Manuel Gar[sia] Bartolome Cortes Xpbal ma... / Juan Bernaldo Pedro Juan Pedro Pedro Pablo Francisco / Pedro Pabloy por capitanes Ana Maria Antonia... / tina Maria Asencia Maria Nicolasa te... / Basques y po tenansis menoras Juana Rogian... / Fransisca Fabiera Maria Bernadina Catalina Peres... / Canpos Christina Leonor Melehora de los Relles / Ela Geronima Maria Christina Maria Fosefa Ma.../Mendosa Tomasa de Aquino Antonia Berna.../ Ysabel Hernandes Maria del Rosario Ana Berna.../ Maria de la Consecion Ana Maria Cimona / Santos Barbara Basques Maria Teresa Maria C... / na María Dominga Maria Christina Ys... / el dicho señor maestro lo firmo y con firmo / santa eletcion/

Rúbrica

[f.38 r] En el pueblo de mi señora Santa Ana Juri / dicion de la ciudad de San Salbador / eprimer día del mes de mayo de este / presente año del 1728 y su merced el di / cho señor maestro Don Juan Hin quinto cura / (beneficiado) por el Real Patronato de dicho pueblo / y su adjuntos fe y ecleciastico bica / rio provincial calificador del santo oficio / de hinquincicion y exsaminador y ci / nodal de este Real obispado y en el hiso / conpadeser a los alcaldes y mayor / domos y demas oficiales y las tenasis ma / yoras y menora de la dicha santa cofra / dia de la santa Bera Chrus y su merced el di / cho señor maestro les fe tomando los dichas quentas / y juramentos una senllal de la santa / chrus como fieles catolicos christianos y su merced / el dicho señor maestro les ajusto los dichas quen / tas por cargo y descargo y por culla mano / de su merced y el escribano lleba la una / memoria de su letra donde yba memoria / dos las limosnas questaba a su cargo de / un año entero y estando presente.../

[f.38 v] todos los cigientes Jua[n] Ramo Pedro de la C[an]/ delaria Alcaldes Blas de la Candelaria ma / yordomo Mateo Gomes Roque Xacobo Agus[tin]/ Flores Lorenso Agustin Diputados Mayore.../ su merced el Dicho Señor Maestro les Fe ajustando.../ chas quentas y sacando todos los gastos de ... / [23]meseras y feestibidad y de sera y otros ga... / feron alcansados en dies tostones a los / ci a les y ...y los cuales seran entregados / los nuelet Juan Ramon Juan de la Trini../ alcaldes Blas de la Candelaria mayordomo y / quatro diputados luego se procigio con te / nansis seran alcansados en dicinli [...] / y dos reales seran entregados a las nueb.../ let tos Ana Maria Antonia Agustina Mari.../ sencia Maria Nicolasa Teresa Basque... / para que aumente y quando sea llama / a las quentas den quentas de ello deg(j)ando... / boluntad del señor obispo o becitador / su merced el dicho señor maestro lo firmo .../

escribano francisco santos Rubrica

[f.39r] En el pueblo de mi señora Santa Ana de ju / Ridicion de la ciudad de San Salba / dor en 2 dia del mes de mayo del 1729 a /dos se juntaron los hermanos y cofra / Des de nuestro merced y criador Santa Bera / Chrus jundada en esta santa hermi / ta de este dicho pueblo ycieron sus cabil / dos y a juntos aconpanara ni da / y dieron sus votos a cada uno de por / ci con acistencia y pareser de su / merced el dicho señor maestro Don Juan Cilibes / tre Hinquintana Sanches de Leon cu / ra b[eneficia]do por el Real patronato de / dicho pueblo y sus adjuntos fe esecle / ciastico vicario provincial

[23] 左余白“oficiales 10...tenasis ...”とある。

calificador / del santo oficio de hinquisicion y ex / saminador y cinodal de este Real obis / pado y estando unanimes y confprmes / eligeron por alcaldes de primer voto/ Mateo Gomes Lorenso Agutin alcaldes / Blas de la Candelaria Mayordomo / del Santo deposito nicolas martin ma / nuel de la trinida Tomas ortis mayor / domos menores y por diputados mayo / res roque Jacobo baltasar Lopes Die / go de Tores Esteban Ramos Francisco Jabier... /

[f.39 v] y por oficiales menores Agustin Simon / Agustin Flores Diego Pascual Andr... / Dias Juan Matias Christobal Garcia... / Andres Francisco de Barga Nicola... / Jose Felipe Nerio y por munidores / Juan de la Trinida Bernardo Gomes P[as] / cual Lopes Juan Manuel Juan de la Crus/ Bartolome Cortes y por capitanas... / Ana Maria Maria Asencia Ma.../ Nicolasa Maria Pascuala Mar... / Josefa y por tenancis menoras F[ran] / ciscas Jabiela Petrona Martir Juan / Manuela Barbara Dias Ysabel Er[nan] / des Maria Tomasa Maria Chris a... / Barbara Jabiela Barbara Lucia... / na Agata Damiana Juliana Ana... / resa Maria de la Natibida Maria ... / tina Maria Teresa Maria del Rosario Maria / Consepcion y su mersed el dicho... / Or Maestro lo firmo y confirmo la / Eleccion /

Rúbrica de Sanches

[f.40 r] En el pueblo de mi señora Santa Ana de la Ju / ridicion de la ciudad de San Salbador / en ocho dias del mes de mayo de 1729 años / y su merced el dicho señor maestro Don Juan Cili / bestre Sanches de Leon cura Beneficiado por el Real/ patronato de dicho pueblo y sus adjuntas / fe esecleciastico bicario provincial califica / dor del santo opcion de hinquicicion y exsa / [mi]nador y cinodal de este Real obispado y en / el [h] yso conpadeser a los alcaldes y mayordo / mos y ...oficiales y los tenancis / mayoras y menoras de la cofradia de la / Santa Bera Chrus y su merced el dicho señor maestro / les fe tomando las dichas quentas y jura/ mento en una señal de la chrus con chris / tianos fieles y catolicos y su merced el dicho señor / maestro les fe ajustando las dichas quentas por / cargo y descargo y por culla mano de su merced / y el escribano llebaba una memoria / de su letra donde yba memoriados las limos / nas de estaba asu cargo en un años entero / y estando presentes todos los cigientes / Juan Ramon Juan de la Trinidad Alcaldes....de / la Candelaria mayordomo y los qua / tro diputados mayores y su merced di/

[fo.40v] cho señor maestro les fe ajustando las dichas quentas/ y sacando todos los gastos de misa y mesera / la fe esxibida y de sera y otros gastos fe ro...[al] / cansados en

nuebe tostones a los o[ficia] / ales y los cuales feron en entregados / nuebos relextos(reelectos) Mateo Gomes Lorenso Agu.../ alcaldes Blas de la Candelaria mayordomo y ... / tro diputados lkuego se procigio con los teni.../ feron alcansados en di[...] tostones y los qua.../ feron entregados a la nuebas tenansis a .../ ria Maria Asencio Maria Nicolasa.../ Pascuala Maria Fusefa para que lo al / ten y quando se anllamados a las quentas / quentas dello y dejando a la boludtad(voluntad) / señor obispo o becitador y su merced el dicho / señor maestro lo firmo conmigo el es[cri]b[a] no fir.../ santos /

Rúbrica de Sanches

En pueblo de mi señora Santa Ana de la Juris.../ Cion de la ciudad de San Salbador en sey[s] / del mes de mayo del 1730 años se junta[ron] / los hermanos y cofrades de nuestro cria.../ ta bera Chrus jundada en esta hermi.../ ycieron sus cabildos y a suntos acon.../

[f.41 r] tanida y oieron sus botos a cada uno de por ci con a / sistencia y pareser el dichos señor maestro Don / Juan Cilibestre Sanches de Leon cura be[neficia]do / por el real paronato de dicho pueblo y sus ad / juntos fues ecleciastico prov[incia]l calificador / del santo oficio de hinquincicion y examina / dor y cinodal de este Real obispado y estando un / animes y conformes elijeron por alcalde de / primer boto ____ Lorenso Agustin Roque Ja / cobo y por mayordomo mateheo Gomes y Por / mayordomos menoresManuel de la Trinidad / Jophs Nicolas y por diputados mayores A / fustin Flores Francisco Jabiel Esteban Ramos An / dres Dias Juan Matias Xptobal(Christobal) Garcia y por / oficiales Agustin Cimon Blas de la Candelaria / Juan Ramon Diego Pascual Bartasar Lopes / Juan Andres Francisco de Borga Nicolas Martin / Alonso Peres Juan Antonio Felipe Nerio Diego / de Tores Juan Santa Ana ladino y por muni / dores Juan Manuel Pedro Pablo Juan de la / Chrus Bernaldo Gomes Fran Jabiel Francisco / Hortis y por capitanas Maria Asencia / Antonia Agustina Maria Josefa Maria / de la concion y por nenansis meno / ras Maria Bara Antonia de la Crus.../

[f.41v] Barbara Lucia Maria Martines Maria .../ Teresa Cimona de la Chrus Maria Chrus.../ Maria de la Rosa Catalina Peres Felip.../ de la Chrus Maria Erisanta Maria Tomasa / Juana de la Chrus Christina Leonar M... / ta Bacoba Barbara Jabiela Ma... / Gomes Ana Lucia

Rúbrica de Sanches

En el pueblo de mi señora Santa Ana de la ju / Ridicion de la ciudad de Sansalbador/En 9 días del mes de mayo de 1730 años / Su merced el dicho señor maestro lisenciado don Juan [Ci]/ Libestres Sanches de Leon cura b[eneficia]do por / real patronato de dicho pueblo y s adjun.../ seus(jues) ecleciastico bicario provincial califica / dor y cinodal deste Real obispado y en... / yso conpadeser a los alcaldes y mayordomos / los diputados y los de mas oficiales y las tena / sis mayoras y menoras de la cofradia / santa Bera Chrus y su merced el dicho señor m.... / se tomando las dichas quentas y juramentos / en una senal de la cruz comochris... / fieles y catolicos y su merced el dicho señor... /

[f.43.r][24] Les fe ajustando las dichas quentas por car / Go y por descargo y por culla mano de su merced y/ y el es no llebaba una memoria de su le / tra adonde yba memoriado las limosnas / que estaba a su cargo en un año entero lle/ tando presente los ciguientes alcaldes Matheo / Gomes Lorenso Agustin y Blas de la Candela / ria mayordomos y los diputados y su / merced el dicho señor maestro les se ajustando las di/ chas quentas y sacando los gastos para / las misas meseras y pala festibida y pa / ra la sera y otros gastos feron alcansa / dos en g[...] a los oficiales y los quales feron / entregados a los nuebos relextos Roque / Jacobo Lorenso Agustin Alcaldes Matheo / Gomes mayordomo y los diputados lue / Go se prociguio con las tenasis feron al / Cansados en 12[...] y los quales feron / Entregados a las nuebas tenansis maria / Asencia Maria Jusefa Maria de la Con / Cicio para que lo aumenten y quando / sean llamados a las quentas y den quenta de / yo y dejando a lo boludta del señor obis / po o becitador y su merced el dicho señor maestro / lo firmo con migo el san Francisco Santos____/

[f.43v] En el pueblo de mi señora Santa Ana Juridici[on] / de la ciudad de San Salbador en sinco días / del mes de mayo de 1731 año se juntaron / los ermanos y cofrades de nuestro criador / santa Bera Crus fundada en esta santa er / mita ycieron sus cabildos y asuntos aco[m] / pañata nido y dieron sus botos cada... / de por ci con asistencia y pareser de su / el dicho señor maestro lisenciado Don Juan Silbes[tre] / Sanches de Leon cura beneficiado por Real patro / nato del dicho pueblo y sus v[olunta]d juntos fue[ron] [ec] / leciastico bicario probincial califi[ca] / dor del santo oficio de la hinquicición [ex] / saminador y sinodal de la Real obispado [es] / tando unanimes y conformes eligieron / por alcalde del primer boto_____/ Roque Jacobo – Lorenso Agustin [...] alcaldes y / Mayordomo Mateo Gomes y por mayordo / Mos menores _ Nicolas Martin_ Manuel / Trinida_ Agustin Flores_ Esteban Ramos_ / Matias – Xpbal Garcia diputados mayor... / Ypor oficiales Agustin Cimon- Blas de la Ca... / delaria – Pedro de la Candelaria –

[24] f.42 は欠番とする。

Bartasar... / Juan Ramon- Juan Jose- Fahinquin Ramos-... / Andres- Francisco Jabier – Bartolo Cortes- Jo / se Nicolas – Pascual Mestansa – y por mu[ni] / dores- Juan de la Trenida- Juan Bernarda/

[f.44 r][25] En el libro de bautismo de la Parroqui/ Al de dicha cabesera; y lo rubrico dega.../ Le que doi fe

Rúbrica

[f.45 r] En el pueblo de mi señora Santra Ana juridicion / de la ciudad de San Salvador en 2 días del mes / de mayo de 1736 años se juntaron los ermanos / y cofrades de nuestro criador santa Bera Crus jun / dada en esta santa iglecia de mi señora Santa Ana / ysieron sus cabildos y dieron sus botos cada uno / de por si con asistensia y pareser de su merced el dicho / señor maestro Don Joph Guillen Cura b[eneficia]do por Real pa / tronato del dicho pueblo y sus adjuntos jues e[c]le / siastico bicario probincial calificador del/ santo oficio de la hinquicicion y ecsaminador / y sinodal de este Real obispado estando unanimes / y conformes elegieron por alcaldes del primer bo / to- / Esteban Ramos-Diego Miguel Teotica alcaldes Bisente / Ferera mayordomo del Santo deposito y por mayor/ domos menores- Diego de Tores- Juan dela Crus y / por diputados Juan Jose- Francisco Javiel Lopes-Juan / Manuel Arias- Juan Baleriano- Simon Pablo y/ Por ofisiales – Mateo Gomes- Roque Xacobo –To / Mas Gomes – Juan Matias- Xp[Chris]tobal Manuel Sil / Bestre de la Crus- Agustin Flores / Andres Serafin- Xp[Chris]tobal Manuel Rodrigues- y por / Munidores- Juan Y[g]nasio- Juan Manuel – Lorenso / Basques- Pedro Pablo- Juan Jose- Juan Andres / Tomas de Aquino- y por capitanas – Sebastiana de / La Crus- Maria de la Nabidad- Sebastiana Fabiana/

[f.45v] Maria Josefa- y por tenasis menores- Sebastiana/ Fabiana- Ana de Tores- Tomasa de Aquino- Nico / Las Geronima-Maria Martina- Felisiana de la C... / Maria de la Candelaria- Maria Lucresia- Maria Sa... / lome- Lusia Basques- andrea Canpos – Maria de / Carmen- Maria de la Candelaria – Ana Maria – Antonia / Chamul- Maria de la Crus- Maria de la Natibida- / Maria Bitoria- Maria Marsela- Ysidra de L es[pi] / ritu Santo – Maria Blas- Juana Maria- Ma... / Julia- Maria Nicolasa- Ysabel Ernandes-... / bara Ramos – Maria de la Consision- Teresa de / sus – Maria de la Natibida- Maria de la Rosa / del Carme[n]- Maria Pasquala- Juana Asen... / Tenasis y su merced el dicho señor maestro firmo y confi[rmo] / Esta santa elecion.

[25] 洗礼記録のようである。

Rúbrica de Guillen

En el pueblo de mi señora Santa Ana Juridicion de la / ciudad de San Salvador en 18 días del mes de mayo de/ 1737 años se juntaron los hermanos y cofrades / nuestro criador Santa Bera Crus fundada en esta/ santa yglecia de mi señora Santa Ana ysieron / cabildos y dieron sus botos cada uno de por ci / asistencia y pareser de su merced el dicho señor m... / Don Jophe Guillen Cura B[eneficia]do por Real patronato / del dicho pueblo y sus adjuntos jues elcleciastico / bicario provincial calificador del santo oficio / de la hinquision y exsaminador y sinodal de este.../

[f.46r] obispado estando unanimes y conformes eligieron por / alcaldes de primer boto-- / Xc[Chris]tobal Manuel- Juan Matias alcaldes - y por mayordomo / Bisente Ferera y por mayordomos menores- Juan de la Crus /Nicolas Martin- Jose Ortis- Juan de la Trenidad- Juan / de otava- y por diputados- Silbestre de la Crus- Juan / Chacon Juan Lucas – Simon Pablo – Antonio Salvador/ y por oficiales – mayores- Esteban Ramon – Diego Miguel- / Tomas Gomes- Mateo de la Crus- Felipe Nerio- Xc[Chris]to / Bal manuel- Tomas de Billanueva- Juan Bautista- Lu/ Cas Ruis- y por monidores- Lorenso Basques – Juan Y[g]nacio / Xc[Chris]tobal Manuel- Pedro Jose- Pedro Martines- Juan / Bernardo- y por capitanas- Maria Josefa- Sebastiana / Fabiana- Clara Xasinta- Antonia Guineda- Y tenanzis / Menoras- Maria de Carmen – Juana Madrit- Ana San / tiago- Maria Martina – Maria Tomasa- Maria del / Carmen- Andrea Canpos- Maria Barba- Maria / Pasquala- Maria Callatana- Maria Manuela-Ma / riana de Jesus- Maria Manuela Maria Gregoria / Maria Manuela- Maria Cristina – Maria Ysabel- Maria / De la Natibidad- Maria Consisiona – Juana Santos- Maria / Asencia- Juana Asencia- Maria Natibidad- Maria del / Carmen- Maria Simona- Maria Rosario- y sumerced del dicho señor / Maestro firmo y confirmo esta santa elecion /

Juan de Ayala

[f.46.v] En el pueblo de mi señora Santa Ana jurisdicion de la ciu / dad de San Salvador en 3 días del mes de mayo / del 1738 años se juntaron los hermanos y cofra / des de nuestro criador Santa Bera Cruz jun / dada en esta santa yglecia de mi señora Santa A[na] / ysieron sus cabildos y dieron sus botos cada u / no de por si con asistencia y pareser de su m./ el dicho señor maestro Don Juna de Ayala cura y cua.../ tor de dicho pueblo y estando unanimes y con f[or] / mes eligieron por alcaldes de primer boto- / (kono keisen ha ittenn hasenn desu) / Christobal Manuel Juian Matias alcaldes y por

may[or] / domo Visente Ferera y por mayordomos menores / Juan de la Cruz- Jose Ortis—Nicolas Basques / y por diputados- Silbestre de la Cruz – Agust[in] / Nasario- Juan Lucas- Nicolas Martin-/ y por oficiales- Esteban Ramos – Diego Migu[el] / Juan Jose – Christobal Garcia Antonio Cham- / Christobal Manuel- Pasqual Tores- Felipe .../ tran- Nabaro- Gregorio Basques- Juan Bau[tis] / ta- Simón Pablo- Lorenso Basques- Pedro Ma.../ y por monidores – Juan Jose- Agustin de la Ro... / Pedro Jose- Francisco Ortis- Tomas de Aquino- Ch[risto] / bal Santiago- y por Capitanas- Maria --- / Natividad- Sebastiana Fabiana- Maria Ni[cola] / sa- Maria Fabiana- Barbara Maria- Brigidad... / ga- y por tenanzis menoras- Maria Blas- María... / lasa- Ysabel hernandes- Maria Juliana- Ma... / gregoria—

[f.47r] Barbara de la Cruz- Ana Maria- Juana Asencia- / Maria Asencia – Simona de los Santos- Maria Lucre / sia- Maria Tomasa- Maria Leonor- Maria de la Rosa / Catalina Antonia- Juana Mdrit- Maria de la Natibi- / dad- Antonia de la Cruz- Maria de la Natividad- Maria Calla / tana- Melchora de los Relles- Ana de Tores- Maria de / la Cruz- Maria Martina- Antonia de la Cruz- Maria Con / sisiona – Maria de la Natibidad – Nicolasa de la Cruz- An / tonia de la Cruz- / y su merced dicho señor maestro firmo y confirmo esta santa elec / cion----/

Rúbrica de Juan de Ayala

En el pueblo de mi señora Santa Ana jurisdicion de / la ciudad de San Salvador en dos días del / mes de mayo del 1739 años se juntaron los her / manos y cofrades de nuestro criador Santa / Vera Cruz jundada en esta santa yglecia de / mi señora Santa Ana ysieron sus cabildos y / dieron sus botos cada uno de por si con asis / tencia y pareser de su merced del dicho señor maestro / Don Joph Guillen Cura Beneficiado por el Real patro / nato del dicho pueblo y sus adjuntos jues ecle / siastico bicario probinsial calificador del / Santo oficio de la hinquicicion y exsamina / dor y sinodal de este Real obispado estando / unanimes y conformes elegieron por alcaldes---/ Christobal manuel- Juan Jose- y por mayordomo – es / teban Ramos- y por mayordomos menores- Christo / bal Garcia- Juan de Otaba- Cristobal Manuel / Juan Y[g]nasio – y por diputados Silbestre de la Crus

[f.47.v] Agustin Nasario – Nicolas Martin- Christo / Bal Manuel – y por oficiales – Lorenso Agustin –/ Francisco Xaviel- Nicolas Rodrigues- Simon Gon / sales – Francisco Xaviel – Y por munidores Vi/ sente Ferera- Lorenso Agustin- Juan Lucas/ Diego Lasaro-

y por capitanas- Maria de / La Natibidad – Sebastiana Fabiana- Maria/ Christina- Maria Candelaria- Fransis[co] / Xaviela- y por tenanzis menoras Juan[a A] / Sencia- Maria Asencia- Maria Marin / Maria Jusefa- Barbara Ramos- Sesilia H[er] / nandes- Maria de la Rosa – Lucia Ra... / Maria Manuela- Maria de la Rosa- M.../ Consisiona- Maria de Rosario- Maria / Manuela- Maria Bitoria- Juana a cu.../ Maria de la Consisiona- Maria Nicola[sa] / Maria de la Crus- Maria del Carmen- Ma.../ rita Ramos- Juana Lucrecia Melchi... / ra de los Reyes- Petrona Maritil- Ma... / del Carme[n] – Maria Gregoria- / y su merced dicho señor maestro firmo y confirmo [es] / ta santa elecion Rubrica de Guillen/

[f.48r.][26] Visitado en virira general en este pueblo de Nuestra Señora Santa Ana / en veinte y quatro de dic[iembr]e de mil setecientos y / treinta y nuebe años por el .....(...) don / Pedro Pardo de Figueroa de el orden de San Francisco de/ Paula por la gra de dios y de la / Obispo de Guath[emal]a y Vera Pas del consejo de su m/... mi por ... rubrico esta ....doy fe/

Ante mi Rúbrica

En el pueblo de mi señora Santa Ana juridición de / la ciudad de Saruador en siete d{ias del mes/ de mayo de 1740 a[ño]s se juntaron las herma / nos y cofrades de nuestro criador santa Ve/ ra Cruz fundada en esta santa yglecia de / mi señora Santa Ana ysieron sus cabildos y die/ ron sus botos cada uno de por ci con asistencia/ y pareser de su merced el dicho señor maestro Don Ysi/ dro Cura de este dicho pueblo y estando una / nimes y conformes eligieron por alcaldes de/ primer boto- - - / Mateo Gomes Diego Miguel y por mayordomo Es/ ban Ramos – y por mayordomos menores Christobal/ Garcia -Diego de Tores- y por diputados Juan / Matias- Juan Lucas-Juan Baleriano- Miguel Geronimo/

[f.48.v] Y por ofisales- Christobal Manuel- Juan Jose- Simon/ Gonsales- Nicolas Antonio- Bartasar de los Relles-/ Gregorio Basques- Juan Xaviel – Fran[cis]co Navare[te] / Pedro Jose – Y por monidores- Juan Santros- Fran[cisco] / de Barsa- Lorenso Agustin – Matias Pascasio- / y por capitanas- Maria Natividad- Sebastiana Favi/ ana- Maria Christina- Antonia Pineda- y por / tenansis menoras- Juana de Lemos – Maria de la / Petrona Albarado- Teresa Ortis- Maria Bitori[a] / María Teodora- Maria Consepsion – Maria Ma... / ta- Andrea Campos- Maria de la Rosa- Toma[sa] / Aquino- Francisca

[26] 書体が変わる。なめらかな書体である。

Leonarda- Maria Gutiana-/ Bastiana Marta- Maria Asencia- Juana As.../ Maria Dolores- Maria Torensa- Maria del Ro- / Mar{ia Nicolasa- Maria del Carme- Maria Nativi / dad- Maria Nicolasa- Mari Blas- Jusepa.../ Maria Tomasa- Petrona Maritil- Tomasa Mau.../ Y su merced dicho señor maestro firmo y confirmo / Ta santa elecion

Rúbrica　de Ysidro ..

[f.49 r] En el pueblo de mi señora Santa] Ana juridición de la ciu/ dad de Saluador en seis dias del mes de mayo / de 1741 a[ño]s se juntaron las hermanos y cofrades / de nuestro criador santa Bera Cruz fundada en es / ta santa yglecia ysieron sus sus cabildos y dieron / sus botos cada uno de por sir con asistencia y / pareser de su merced el dicho señor maestro Don Fransisco / Romualdo Cura de este partido y estando unani / mes y conformes eligieron por alcaldes de pri / mer boto- - -/ Matheo Gomes – Diego Miguel y por mayordomo-/ Agustin Nasario- Y por mayordomos menores Die / go de Tores- Lorenso Basques- y por diputados-/ Fransisco Javiel- Juan Lucas- Miguel Geroni / mo Jose Ortis- y por oficiales – Sebastian Olibares / Geronimo Rosales- Ysidro Mendis- Juan Matias / Juan Baleriano- Tomas Bianueva- Pedro Jose / Francisco de Borja y por monidores- Juan Bernar / do – Juan Manuel- Pedro Pablo- Diego Pablo- / Juan Martin- Juan Jose- y por capitanas Sebas / tiana Fabiana- Maria Christina- Ana Maria A / na Jacoba- Maria Natibida- Juana Cuña / y por tenanzis menoras- Sebatiana Fabiana Ju / ana Sensia – Maria sencia- Andrea Canpos Ma / ria Asension- Maria Blas- Ana Lusia- Antonia de / la Cruz- Maria Manuela Maria Galiana- An / tonia Pineda- Maria Consisiona- Teresa Cortes- / Felipa Neria- Maria Consisiona – Teresa Cortes-/ Malgarita Ramos- Maria Dolores- Ana Lucia / Magdalena Hernanes- Maria Lucresia

Rúbrica　de Romualdo Joph Velaseo?

[f.49 v]　En el pueblo de mi señora Santa　Ana juridición / de la siudad de Saluador en siete dias / del mes de mayo de 1742 años se juntaron las / hermanos cofrades de nuestro criador santi / sima Bera Cruz fundada en esta santa ygl / cia ysieron sus sus cabildos y dieron sus botos /cada uno de por si con asistensia y pareser / de su merced el dicho señor maestro Don Juan Jasinto / Cura de este partidoy estando unanimes y/ conformes eligieron por alcaldes de primer/ boto- - -/ Christoba Manuel – Juan Matias y por mayordo / mo Agustin Nasario- y por mayordomos me[nores] / Diego de Tores- Lorenso Basques y por diputa / dos- Fransisco Javier- Tomas de Via(Villa) Nueba / Bastiolibares- Juan Baleriano- y por ofi-[si]/ ales- Mateo Gomes- Visente Chamul- Luis-/ Fransia- Ysidro Mendis- Baltesar de los Relles.../ dro Bentura- Lorenso Agustin- Geronimo / les y

por monidores- Simon Ynasio- Fransisco [or] / tis- Matias Pas Casio- y por capitanas- Se.. / tiana Faviana Maria Juliana Maria Asen.../ Magalena Hernandes- Juana Bautista- / Masa Viviana- y por tenanzis menoras- / Juana Asensia Christina Leonor – Maria Lome- Andrea Canpos- MariaFelisia Na.../ Lipa Neria – Ana Lucia Petrona Martil-[Ma] / Ria Teresa- Maria Candelaria Maria Toma... / Maria Consisiona- Maria Nicolasa- Maria... / Tiana Ana Lucia- Fransisca Leonarda-/

[f.50 r] Sesilia Antonia- Maria Rita- Maria Encarna/ sion- Mareia Andrea- Antonia Pineda / y su merced dicho señor maestro firmo y con firmo esta santa / elesion

Rúbrica　de Joseph Guillermo

En el pueblo de i señora Santa Ana Juri/ dicion de la siudad de San Salvador en / siete dias del mes de mayo de 1743 años / se juntaron los hermano y cofrades de / nuestro criador y santisima Bera Cruz / jundada en esta santa yglecia y par / quial de este dicho pueblo ysieron sus ca / bildos y dieron sus botos cada uno de / por si con asistencia y pareser de su / mersed el dicho señor maestro Don Juan Ja / sinto Rodrigues Cura de este partido y / estando unanimes y conformes elige / ron por alcalde de primer boto- / Diego Miguel Silbestre de la Cruz alcal / des y por mayordomo Francisco Javiel Pablo / y su conpañero Diego de Tores- y por /diputados Francisco Javiel- Sebastian O / libares- Christobal Manuel- Juan Andres / y por oficiales Agustin Nasario – Christo / bal Manuel- Lorenso Agustin- Juan de Otaua.../

[f.50v] y por monidores- Francisco Martin- Felipe/ Santiago- Juan del Carme[n]- y por cap[i] / tanas- Sebastiana Fabiana- Maria Se.../ sia- Maria Josefa- Tomasa Bibiana- / Maria del Carme[n]- Maria [A]sension y por / Tenanzis menoras- Francisca Leonarda- .... / tronafil- Juana Manuela- Maria Ca[n] / delaria- Sebastiana Faviana- Mo[ni]/ dores: Maria Juliana- Maria del .../ me. Maria Nicolasa- Ma[g]dalena Co[n] / treras- Maria Natibidad- Maria Ma.../ la- Luisa Lorensa- Maria Rita- Ma.../ Manuela- Maria Marsela- Ana Lusi.../ Maria Ysabel- Maria Lucresia- Pe/　na　... Maria Dolores- /

Rúbrica de Romualdo Joseph...

En el pueblo de miseñora Santa Ana Juri / dicio de la siudad de san Salbador en [....] / dias del mes de mayo de 1744 años se ju[ta] / ron los hermanos y cofrades de nuestr/ criador de las Santisima bera Cruz [fun] / dada en esta santa yglecia paroquial / de este

dicho pueblo ysieron sus cabildo / dieron sus botos cada uno de por si / asistencia y pareser de su mersed/

[f.51r]　el dicho señor maestro Don Jaose Romualdo cu / ra de este partido y estando unanimes / y conformes yligeron por alcalde de / primer boto------/ Christobal Manuel – Agustin Nasario alcal/ des - y por mayordomo Francisco Javiel pablo / y su compañero – Sebastian Olibares y – /Juan　Y[g]nasio- y por diputados- Christo / bal Manuel- Lorenso Basques- Jose Or / tis Agustin Baraona- Y por oficiales / Diego Miguel- Silbestre de la Cruz- To/ Mas de Via Nueba – Mateo de la Rosa- Ge / Ronimo Rosales- y por nidores- Juan / Ynosente- Juan Martin- Juan Andres /y por capitanas- Sebastiana Faviana /　Ysabel Maria- Andrea Canpos- Maria / Asensiona- Melchora de los Relles y por / tenazis menoras – Maria Manuela- / Ana Manuela- Maria Asunsiana- Bar / bara de la Cruz- Maria Martina- Maria / Nicolasa- Maria Felisiana- Maria de la / Rosa- Ana Lusia- Maria Salome- Maria / Joseph- Petrona Catalan- Ana Lusia / Manuela Basques- Luysa Lorensa-/

[f.51v] Maria Dolores- Ana Faquina- Maria Do[lo] / Res- Maria del Carme- Maria Ysabel /Maria Asensia-/ Y su merced dicho maestro firmo y confir /Mo esta santa elecion- / Sebastian Gr.egorio/

Rúbrica　de Romualdo Velasco...

En el pueblo de mi señora Santa Ana pro[vin] / Sia de Salvador en dos días del mes de / Mayo de 1745 años se juntaron / Hermanos y cofrades de nuestro cria[dor] / y redentor de la Bera Cruz funda[da] / en esta santa yglecia paroquial de / dicho pueblo ysieron sus cabil[dos] / y dieron sus botos cada uno de por si / asistensia y pareser de su merced / dicho señor maestro Don Joseph Romualdo / cura de este partido y estando una / nimes y conformes y ligeron por a[l]/ cakde de primer boto- / Agustin Nasario- Christobal Manuel / Y por mayordomo – Francisco Javiel y su
Conpañero – sebastian de Oliba.../

[f.52r]　Francisco Martin y por diputados- Christobal / Manuel- Lorenso Basques Jose Ortis Agus / tin Baraona- Geronimo Rosales- Luys de Fra / nsia- y por oficiales- Pedro Pablo- Di / ego Lasaro Lucas Sabayos- Simon Ta / deos- Marias Pas Casio- y por moni/ dores Christobal Manuel- Blas de al Can / delaria Jose Domingo y por Capita / nas- Antonia Agustina-Maria Gus / man- Maria Consepsion- Maria de la / Natibidad- Luysa

Lorensa- Juana / Pineda- ypor tenanzis menoras / Ana Jacoba- Maria Jusefa- Ma / ria Natibidad- Marta Jacoba Ma / ria Guliana Maria Natibidad Ma/ ria Dolores- Ana Lucia Petro Ma / ria – Maria Nicolasa- Maria Consep / siona Maria Manuela Maria Pe / trona Petro Marta- (tachado) Lusi / maria de la Rosa- Maria Candelaria
Maria olores- Petrona Catalan / Manuela Basques- Juana Mendis / Marta Jacoba Maria Manuela / Ysabel Maria- Maria Antonia/

[f.52 v]
Maria Teodora y su merse dicho señor / maestro firmo y confirmo esta santa [ele] /sion

Rúbrica de Romualdo Velasco

[f.53r]　＊『リベラ訓令』（スペイン語版）写し（1753 年）
Nos el maestro Don Francisco Payo de Ribera, del orden de/San Augustin por la divina gracia de la Santa sede a/postolica, obispo de Guahemala y de la Bera Pas del con[se]/jo de su magestad per quanto- Por peticion que ante nos se pre/sento parte de los hindios naturales del pueblo de/Santa Anna, se nos iso relacion:diciendo que de lar/go tiempo a esta parte por la de mucho numero de /dichos fieles se ha bibido en hermandad la debosión /de la Santa Cruz sita en su hermita desde dicho pueblo y e/xercitado en el serbicio y sagrado culto de dicha su de/boción,y que de presente lo era, y para poderlo asi a/ser en debida forma, se nos pidio y suplico fuésemos /serbidos, erigirles dicha ermandad en Cofradía /consediéndoles por ordenansas de ella, la obserb/ancia del gobierno, y cuentas que ante nos thenian /presentadas, a bista de todo lo cual se obser/baría perpetuamente con las demas ordenanzas / que por nos les fuesemos consedidas y se acudiría los / gastos necesarios, para lo referido, consediendo/les, como lo suplicaban, juntamente nuestra lisen/cia para pedir lilmosna en dicho su pueblo unn dia / en cada semana, y las gracias indulgencias que a/yan de gosar, como en estas cosas se observan, y en todo como fuere nuestra voluntad, todo qual re/cibiran bien y mersed, y por nos bisto dicho pedimento / lo tubimos por bien y por bista de dichos recaudos y quan/tas presentados, mandamos se les vicitase y des/pachasen en forma conbeniente, y para el efecto de lo asi pedido, por los subsos dichos a dicha / fundación de dicha Cofradía dimos la presente / por tanto en dicha conformidad, desde luego eri/ximos y criamos y fundamos la dicha erman/dad en Cofradía en toda forma y con/

[f.53v] sedemos con calidad y obligación y aplicasión / mas sufragios de dicha Santa Cofradía, /por todos los Cofrades vibos y difuntos, de ella dara / su limosna y derechos

acostumbrados, confor/me por nos dispuesto en dihco Obispado con los de/mas estatutos y ordenansas siguientes____ /

Lo primero que por cada unn año se aga elección / de satisfaccion combeniente, con asistencia / del padre Cura Doctrinero, las cuales eleccio/nes se tendra un libro donde se rejistre aparte / los Cofrades que se fueren alistando en dicha / Cofradía.Y dichas elecsiones se firmara por dicho / padre Cura y todos los años se les tomen quenta / y si alguna debiere le cobren, y se ponga en la / Caxa de deposito de dicha Santa Cofradía./

Lo segundo que para le mejor guarda y custodia / el caudal de dicha Cofradía, se a de tener una / Caja con dos llabes diferentes y las cuales / ayan de estar la una, en poder de dicho Padre / Cura, y la otra en poder de mayordomo, / en dicha Caja se a de tener otro Libro donde / asienten todos los gastos y limosnas que / se recojieren firmando siempre el padre/ Cura y el escrivano de dicha Cofradía y Mayor/domo yabero asentando las limosnas que / se recojieron cada dos meses en la forma / dicha con el seguro que dicho padre Cura le pare/ciere combeniente.
Lo tercero que dicho Causal no se hayan de / gastar arriba de dies tostones sin nuestra /lisencia expresa y de nuestro sub[....] /

[f.54r] obispado pena de que no se les pasara en quenta lo que en otra / manera se gastare eseptos los gastos forsosos de limosnas y / misas y festibidades de dicha Santa Cofradía y le sera / necesaria para su celebrecion que dichos gastos se podran / aser siempre en lo Preciso y no en mas./

Lo quarto que siempre que dicha Santa Cofradía se allare con /algunos frutos o esquilmos como de otras cualesquier es/pecie de ganado o milpas sementeras o de otra mane/ra abiendose de bender los tales frutos aya de ser/ en almoneda publica señalando para la tal almo/neda en dia festivo procurando siempre a los tiempos / que el dicho Padre Cura doctrinero y Oficiales les pares/ca mas conbeniente y lo prosedido de dicha almo/neda se ponga siempre en la caja del deposito./

Lo quinto que para ser recividos en esta Santa Cofradía / ayan de ser examinados por el Padre Cura doctrinero de dicho / pueblo en la doctrina christiana y no sabiendolo / lo preciso por lo menos de dicha doctrina, no sean reci/vidos por Cofradías./

Lo sexto que si algun cofrade bibiere escandalosa/mente, se de quenta por dichos

cofrades a dicho padre Cura / para que lo corrija y reprehenda y abiendolo a/si echo y no se enemendare sea borrado de los libros / y escluido de dicha Santa Cofradía./

Lo septimo que tengan obligacion los Cofrades de en/señar a sus hijos y demas de sus familias la Doctrina /Christiana, y instruirlos en los ministerios de Nuestra Santa /Fe, y cada ves que asi lo isieren ganaran / quarenta dias de indulgencias, y en dicha con/formidad consedemos la dicha fundacion /con los estatutos, y ordenansas que quedan referidas / las cuales asi confiramos por tales ordenanzas / de dicha Santa Cofradia en toda forma./

[f.54v]　En el nombre del Padre y del dicho y del espí/ritu Santo; Y para la conserbacion y /ayuda a dichos gastos les consedemos Licencia /a los dichos mayordoos y oficiales para que pue/dan pedir limosna con la bara insignia de ella / los biernes de cada semana en dicho su pueblo. /Y para que en mayor forma se asienten a los e/jercicios de ordenanzas consederemos a todos / los cofrades que en todo tiempo fueren se/an capases de gosar las gracias indulgencias / y pribilejios que por participacion, o en otra / manera estan consedidas por los santos sumos / pontífises a semejantes confraternidades / y asi mismo por lo que toca a nuestro oficio y digni/dad episcopal, les consedemos que el dia que / se asentaren por hermano y por coofrades / quarenta días de hindulgencias, y las .... yndulgencias ganen las beses que bisitaren al/gun cofrade enfermo, y le socorran con al/guna Limosna para ayuda y consuelo de / su enfermedad y le histaren y solisitaren / el que reciva los santos sacramentos / y siempre que exercitaren alguna ca/ridad con algun Cofrade pobre, en orden al / aumento de dicha Santa Cofradia y mandamos / que esta Nuestra Lisensia y fundasion, se pon/ga por Cabeza del Libro, como queda dicho / de estar dentro de dicha caxa para que asi /guarde en debida forma y en todo tiempo / conste de dicha fundasion para que asi / de quenta de todo lo alla tocante siem/pre que por nos o nuestros subsesores /

[f.55r] les sea pedido, que así es nuestra voluntad y en /testimonio de lo qual dimos la presente / firmada de nuestro Nombre, sellada con nuestro / sello, y refrendadda de nuestro Secretario / de Camara en bista, en el pueblo de mi señora /Santa Anna en beinte y tres del mes de / febrero(tachado)/　de mill seis sientos y sesenta y sehis / años fray Paio de Ribera, Obispo de Guathemala. / por mandado del Obispo mi señor Don Francisco/　Ximenes, Secretario.Año de 1666. ____/ Digoro Bernabe Ante escribano de este pueblo de nuestra Señora Santa / Ana de la jurisdicion de San Salbador que trasunte tras/ lade esta Santa Ordenansa, en lengua castellana, sacado / punto, apunto

sin faltarle coza alguna y esthoen/ te pueblo de Santa Ana a los catorze dias del mes de / abril de mil setecientos y sinquenta y tres años utsap.../y fime—

Bernaue Aotn esno de Carillo
Y de dicha corfradia.. Rúbrica

(f.55v　は白紙)
f.56-59 「リベラ訓令」ピピル語版 第 5 章-3「テキストと形態統語論的分析と仮訳」参照
f.60-　「枝の主日（Domingo de Ramos）記録」 未解読。

資　料　3

ピピル語とナワトル語の比較表

（敦賀　2000: 282-294）

＊ピピル語

Tacuaba, Ahuachapán, El Salvador

Santo Domingo de Guzmán, Sonsonate, El Salvador

＊ナワトル語（Lastra 1986 より下記２村のデータを転記）

Pajapan, Veracruz, México (Lastra 1986: 419-423)

Amanalco, Estado de México, México (ibid:544-548)

資料 3 ピピル語とナワトル語の比較表（敦賀 2000: 282-294）

	Tacuba	S.D.de Guzman	Pajapan, Ver.	Amanalco, Mex.
1 agua(水)	at	at	a:t	a:tl
2 fuego(火)	tit	tit	tit	tlekontli
3 humo(煙)	pukti	pukti	pokhti	poktli
4 hollín（すす）	kaleuch	ahkuechi	galbi:s	tlili
5 ceniza（灰）	nexti	nexti	bane:x	tlekonextli
6 carbón（炭）	・・・	tegnal	tihlih	tekhuinali
7 tierra（土地、土）	tal	tal	tajlih	tla:li
8 arena（砂）	axal	axal	xahlih	xa:lli
9 cerro（小高い山）	tepet	tepet	tepe:t	tepetl
10 cerros（小高い山:複）	tepetz	tehtepet	tepe:me	tepeme
11 río(川)	apan	apan	wiat	apamitl
12 lama(泥)	・・・	lama	a:mox	poxkawi
13 cielo（空）	ilwigak	wilgal	sielo	sielo
14 luna（月）	metzti	metzti	me:sti	mektli
15 sol（太陽）	tunal	tunal	tonatih	tonalkontli
16 estrella（星）	sital	sital	sitalin	sitlali
17 luz（光）	tawil	tawilua	tawil	tlanextli
18 sombra（影）	yuhuaguili	・・・	sombra	・・・
19 viento（風）	kuejegat	ejegat	ejegat	yeyekatl
20 lluvia（雨）	athal	uetziat	a:wicilis	kiawitl
21 llovizna（小雨）	athtzintzin	axisxini	aciciligalis	kiawitl
22 relámpago（稲妻）	tagipini	tahuilua	tapeta:nih	tlapetlani
23 trueno（雷）	truenu	tikuini	tatibinih	tlaixtrun khuepuni
24 nube（雲）	mixti	mixti	mixti	mextli
25 neblina（霧）	mixti	pukti	a:pok	mextli
26 cabeza（頭）	tzuntegun	tzuntegu	kontego	kontekomatl
27 cabello（髪）	tzuncal	tzungal	kongal	konkali
28 cara（顔）	ixi	ixcalju	xayah	moxayak
29 frente（額）	koatapal	kuatapal	xayagapan	moxkwate
30 mi ojo（私の目）	nuixi	nuuix	noixtololoh	noxtelolo
31 ceja（眉）	tzungu ixpan nexi	ixtzungal	・・・	nixtohmi
32 mi nariz（私の鼻）	nuyac	nuuyac	noyek	noyekakol
33 oreja（耳）	nagaz	nagaz	nagas	nakas
34 mi boca（私の口）	nuten	nuten	noten	nokamak
35 boca（口）	iten	ten	te:n	kamatl
36 labio（唇）	tenxipal	tenxipal	notenegaxo	notenxipal
37 lengua（舌）	・・・	tennagayo	nenepil	nenepil
38 diente（歯）	iktan	tan	tantih	tlantli
39 encía（ﾊｸﾞｷ）	tankuich	nagayotan	・・・	mokiketol
40 cuello（首）	tuskak	gupak	gestan	mokwexkoch
41 hombro（肩）	majkul	guechitan	ahkol	moahkol
42 espalda（背）	lomo	teputsu	nopahgoh	moahkol
43 cintura（腰）	・・・	tzinguhku	tahko	motlakotia
44 seno（乳）	nupecho	guxun	chichiwal	chichi
45 barriga（腹）	ihti	ihti	ihtih	mohte
46 ombrigo（へそ）	ixik	xikti	xikti	xiktli
47 nalgas（尻）	tzinkuku	tzingamok	cintamal	mocin
48 mano（手）	mapipil	mei	ma:tih	ma:tl
49 tu mano（君の手）	numapi	mumei	moma:h	moman
50 uña（爪）	ixtit	itztit	i:sti	istetl
51 mi uña（私の爪）	nuixtit	nuitzxtit	noistih	noste
52 codo（肘）	majkul	kuelna	matolopoh	nomoleki
53 pierna（肢）	metzkuyo	metzkuyo	mec	mokes
54 rodilla（膝）	tankwak	tehwajka	tambah	motlankwa
55 mi pie（私の足）	nukxi	nukxi	noiksih	nokxi
56 corazón（心臓）	yulo	yulu	alma	moyolo
57 hígado（肝臓）	eltapach	eltapachi	・・・	・・・
58 mi hueso（私の骨）	nuumitl	numit	nomioh	noomiw
59 piel（皮膚）	kuetaxtli	kuetaxti	xoh	moyewayo
60 sangre（血）	esti	exti	estih	yestli
61 mi sangre（私の血）	nuesti	nuexti	noesoh	noyesyo
62 saliva（唾）	chihchal	chihchal	tixtih	mochichal
63 lágrima（涙）	ixayo	ixayu	ixayoh	mixayo
64 su cuerno（彼の角）	kacho	kacho	ibabah	ikwakwaw

65	pico（くちばし）	picuh	ten umio	yagapiko	chopik
66	ala（翼）	・・・	estapal	astagapal	moyeskatlapal
67	pluma（羽）	・・・	uhmiyu	kohmioh	ihwitl
68	huevo（卵）	tekxisti	tekxhisti	teksis	itew
69	mujer（女性）	ciuat	ciuat	sua:t	sowatl
70	mi esposa（私の妻）	nuciuah	nuciuat	nosua:t	nosowaw
71	hombre（男性）	tagat	tagat	ta:gat	tlakatl
72	marido（夫）	xulejin	sulejiu	tamial	motlakaw
73	papá（父）	tegu	tegu	ta:	papantli, tatahtli
74	mamá（母）	nunau, nai	nunan	naxh	mamantli, nanahtli
75	mi hijo（私の息子）	nupiltzin, nucesan	nuguneu	nopilci	nokonew
76	huerfano（孤児）	huehchul	iknutxin	iknot	iknotl
77	entenado(hijastro)（継子）	・・・	・・・	・・・	motlakpakonew
78	padrastro（義父）	・・・	・・・	・・・	totlakpapapan
79	madrastra（義母）	・・・	・・・	・・・	notlakpamaman
80	curandero（民間治療師）	tapastiani	tapahtiani	tapahtiani	tepatihki
81	brujo（祈祷師）	・・・	takubix	・・・	tetlapchiwi
82	animal（動物）	・・・	takualmet	animal	yolkatl
83	guajolote（七面鳥）	chonpipe	guaxulut, chonpipe	weweho, to:tolin	wexolotl
84	gallina（鶏）	・・・	tihlan	pioh, suapio	kuanaka
85	gavilán（ハイタカ）	kuixti	tuhti	tochin	tohtli
86	zapilote（コンドル）	zupilute	gusma	nopo	kohpilo:tl
87	tecolotes（梟：複）	tekult	tehtegulut	te:goto:t	tetekolo
88	pájaro carpintero（キツツキ）	tutul chiltotal	tutut chiguimult	chitih	kwahtohtopoki
89	iguana（イグアナ）	kuque	gugue	bagekpalin	・・・
90	lagartija（トカゲ）	kuxin	guegue	kowixin	kwekpali
91	conejos（兎：複）	tukxhti	tuhtuchin	konexome	totochiti
92	venados（鹿：複）	mazat	mahmazat	masame	mamasa
93	cerdo（豚）	cuyamet	guyamet	go:yame	lechon
94	mi borrego（私の羊）	・・・	nukahuax	・・・	nochkaw
95	armadillo（アルマジロ）	ayutuch	ayutuchi	ayotochin	ayotochtli
96	ardilla（リス）	kutzetzel	azulin	moto	techalotl
97	tlacuache（ハナグマ）	takuaxin	takuacin	・・・	tlakwatl
98	zorillo（キツネ）	・・・	・・・	epacin	yepatl
99	murcielago（コウモリ）	tzinagan	tzinagan	cina:ngas	kimichpapalo:tl
100	mariposa（蝶）	papalot	papalut	pa:palot	papalo:tl
101	pescado（魚）	michin	michin	to:poh	michi
102	ratón（雄の大型ネズミ）	kimichin	guimichin	raton	kimichi
103	rata（雌ネズミ）	kimichin	gumichin	chachawacin	chichawatl
104	perro（犬）	pelo	itzkuinti	peloh	chichi
105	mi perro（私の犬）	nupelo	nuitzcuinti	nopeloh	nochichiw
106	sapo（カエル）	sapo	galat, xuxukuna	・・・	sapo
107	caracol（巻き貝）	karacol	・・・	・・・	tekismama
108	gusano（イモムシ）	kuetan, kuilin	kuilin	obilin	okwili
109	alacrán（サソリ）	kulut	gulut	alakra	kolo:tl
110	pulga（蚤）	tekpin	tekpin	tekpi	tekpi
111	pulgas（蚤：複）	tehpintal	tehtekpin	・・・	tekpinti
112	cucaracha（ゴキブリ）	kuka	・・・	galachin	mimikitetl
113	hormiga（蟻）	tzigat	tzigat	cigat	aska
114	hormiguero（蟻の巣）	tzigatal	tzigatal	arriero	inchaaskanti
115	semilla de calabaza（カボチャの種）	ayujuachi	xinachi tegumat	iyolayo	ayohwachtli
116	raíz（根）	kunelguat	nelhuat	batakson	nelwatl
117	árbol（木）	kuawit	guyu, kuawit	bawit	xiwitl
118	hoja de árbol（木の葉）	ixhuat	isuguayo kuawit	baxiwit	mahtlapal in xiwitl
119	horqueta（二股に分かれた木の幹）	taguetzal	gutamahtzal	bamaxal	kwawitl mahxal
120	nopal（ウチワサボテン）	・・・	・・・	・・・	nohpali
121	plátano（バナナ）	guinea, pula	guinea, pula	kapot	platano
122	guayaba（グアバ）	chalugat	chalugut	xa:lxogot	gweyaba
123	guayabas（グアバ：複）	chalugat	chahchalugut	xa:lchogome	gweyaba
124	frijol（インゲン豆）	et	et	ajayoh	yekontli
125	chayote（ハヤトウリ）	guisquil	ayu	tagisloh	chayohtli
126	maguey（竜舌蘭）	ihchi	ichiti	・・・	metl
127	grano de maíz（トウモロコシの粒）	nextamal	nauiyal nextamal	tayol	tlaoli
128	planta de maíz	mil	guyumil	mihli	milli

	(トウモロコシ:植物全体)				
129	hoja de maíz	ixuat en mil	ixguayumil	・・・	mahtlapalimilli
	(トウモロコシの葉)				
130	olote(トウモロコシの芯)	ulot	ulut	olot	olo:tl
131	hoja de elote	tutumuchi	tutumuch	totomox	iswatl, totomochitli
	(トウモロコシの皮)				
132	basura(ごみ)	tasul	gupasul	tasol	tlahsolli
133	comida(食べ物)	tacua	tacual	tabal	tlakwali
134	pinole(黒砂糖)	pinul	pinul	pinol	pinoli
135	miel de aveja(蜂蜜)	necti	itzpelega tagayu	taganeh	・・・
136	grasa(油脂、脂肪)	mantega	tumahca	tomahka	chawak
137	masa(トルティーリャのタネ)	tixti	tixti	tixtih	textli
138	tortilla(トルティーリャ)	tamal	tamal	taxkal	tlaxkalli
139	mi tortilla(私のトルティーリャ)	nutamal	nutamal	notaxkal	notlaxkal
140	olla(鍋)	kumit	gumit	gomit	xoktli
141	jarro(壷)	tzutzugul	tzutzugul	・・・	xalo
142	molcajete(石製すり鉢)	・・・	・・・	chilmolero	molkaxitl
143	mano de metate	mano	imai metatl	imametat	metlatl
	(メンテ用石製すり鉢)				
144	metate	metat	metat	metat	metlatl
	(トウモロコシなどをすりつぶす石製の道具)				
145	mi petate(私のござ、むしろ)	nupetat	nupetat	nopetat	nopetlaw
146	escoba(ほうき)	uhuspanuas	uchipanguas	ichpawas	popohtli
147	cuna(ゆりかご)	kuna	guneltapech	bama	maka
148	chapopote	・・・	・・・	chapoh	chapopote
	(瀝青、アスファルト、コールタール)				
149	máscara(面)	nascara	tzahca	・・・	tlakasxayakatl
150	sonaja(マラカス)	pito	tzutzuna	basisingi	・・・
151	ropa(服)	kuachti	kuachiti	kokoh	kokohmahtli
152	gorro(帽子)	tzutzugul	tzuntzahca	・・・	kachucha
153	cobija(毛布)	nekuen	kuenyu	kohmit	tilmahtli
154	mi cobija(私の毛布)	nenukuen	nukuenyu	nokohmi	notilma
155	mecapal	mekapal	mekapal	megapal	mekapalli
	(額で支える荷物用背負い紐)				
156	mi peine(私の櫛)	tzihuaz	tziguhuax	pachoas	cikawastli
157	arete(耳飾り)	・・・	・・・	noastilo	pipilolli
158	mi collar(私の首飾り)	nuguz	nucuscat	・・・	nokoskawan
159	casa(家)	kal	gal	gahli	chiantli
160	mis casas(私の家:複)	nukakal	nugahgak	nogalwan	nochanwan
161	pared(壁)	・・・	tapepech	tepepechol	tepamitl
162	techo(屋根)	teja	tzungal	・・・	i:tlapacholka
163	camino(道)	uhti	uhti	ohti	ohtli
164	nuestro camino(私たちの道)	tuuhti	tuuhti	toohwih	tohwiw
165	cueva(洞窟)	・・・	guyuntuc	xapot	・・・
166	hoyo(穴)	xaput	guyuntuc	xapot	tlakoyoktli
167	nido(巣)	nidu	gupahtzungal	tapasol	tepahtli
168	sepulcro(墓)	ustut	xaput	・・・	tlamemeloli
169	rojo(赤)	chiltik	chiltik	tatawik	chichiltik
170	negro(黒)	tiltik	tiltik	pistik	tliltik
171	blanco(白)	ixtak	iztak	ista:k	ista:k
172	chico(小さい)	chupitzin	chiguitik	chichihtin	chichikito
173	chaparro(背の低い人)	・・・	chapachin	capoh	chachapahtli
174	alto(高い)	ahku	ahku	wehkapan	kuawtik
175	puntiagudo(先の尖った)	puntu	guisote	yapuntayo	・・・
176	filoso(鋭い)	・・・	tameh	tategit	tene
177	redondo(丸い)	・・・	mimilna	monso	yewaltik
178	vacío(空の)	uecu	tzuyauhtuc	pestik	ahmo itla kipia
179	frío(寒い)	cecek	cecek	se:sek	iktiki
180	caliente(熱い)	tutunik	tutunik	toto:nik	totonki
181	bueno(良い:人に対して)	iec	yec	yekti	kwali
182	bueno(良い:食べ物など)	ajiwak	ahuiyac	yewiak	welik
183	borracho(酔っ払い)	bolo	taguantuk	tawan	iwinti, tlauanki
184	sordo(聾者)	・・・	tesutagagui	・・・	konte
185	cansado(疲れた)	sutahtuk	tsutautuk	siato	siwtok
186	mano izquierdo(左手)	numal izquierdo	mei ixcuepti	yopox	・・・
187	sucio(汚い)	tzugiak	pukna	sogio	tekokwitlayo
188	nuevo(新しい)	yankuik	yanguik	yambik	yankwiki

189	rápido（早い）	neman	nemanga	nomiesen	sanweliwi
190	crudo（生の）	inteukcituk	xuxuik	xoxoyok	xoxohki
191	triste（悲しい）	・・・	kuacelut	・・・	tlakoya
192	débil（身体などが弱いこと）	kuguya	・・・	・・・	ahmo chichikawak
193	débil（弱い、もろい）	・・・	tesutetsilnos	・・・	ahmo chichikawak
194	delgado（細い）	pitzawak	ganawak	pica:k	kanawak
195	grueso（太い）	tumawac	chamawak	tomaktik	tomaktik, tik
196	duro（硬い）	takuanguak	takuahuak	tabaktik	tepik
197	derecho（まっすぐ）	・・・	melakna	ohkela	melak
198	acostado（倒れた）	mutegaktuk	wetztuk	wesok	kochtoki
199	sentado（座った）	muhtalihtok	muetuk	kogolihtok	yewatoki
200	parado（立った）	kaktuk	ehkatuk	ihkatok	ictihkaki
201	este（これ）	ajini	ini	hi:n	yehwi
202	ese（それ）	yahjaya	yahja	ho:n	yehon
203	aquel（あれ）	ajini	yahja	ho:nepa	yehon
204	así（そうして）	.ajini	kiuni	ihki:n, ihkon	ohkion
205	aquí（ここ）	nican	nigan	nigah	nika
206	cerca（近い）	nutech	unisan	・・・	・・・
207	hoy（今日）	saman	an	ama	axa
208	pasado mañana（あさって）	wepza	wipta	wipta	wiptla
209	anteayer（おととい）	…	yajyeptza	yalua	yawipta,yiwiptla
210	temprano（早い時間）	tahwisan	peina	isasan	kuakunko
211	tarde（遅い時間）	tiutak	tiutak	tiotak	tiotlak
212	mucho（多くの）	temoch	suhsu	gomati, miak	miak
213	muchos（多くの：複）	miak	suhsulmet	gomati, miak	miake
214	todo（全て）	・・・	muchi	nochi,	mochi
215	todos（全て：複）	・・・	muhmuchi	nochime	mochitin
216	qué（何：疑問詞）	tai	tai	te:	tleno
217	quién（誰：疑問詞）	cajuni	gah	a:ch	akin
218	por qué（なぜ：疑問詞）	tahine	taiga	tes	tleka
219	cuántos（いくつ：疑問詞）	・・・	gueski	gex	kexkich
220	yo（私）	naha	naha	ne, neha	nehwa
221	tú（君）	yaha	taha	te, teha	tehwa
222	usted（あなた）	taha	tahja	・・・	tehwakun
223	nosotros（私たち）	tahamet	tehemet	teame	tehwanke
224	ustedes（あなた方）	yahamet	amehemet	amehami	namehwanke
225	él（彼）	yaha	yaha	yi, yeha, yeh	yehwa
226	ellos（彼ら）	yahamet	yehemet	yihame, yehameh	yehwanke

注：
1、ナワ語の発音に対する正字法は以下のとおりにした。なお、それ以外はスペイン語と同様の表記とする。なお、パハパン及びアマナルコの単語についてはラストラ編『現代ナワトル語方言地域』(Las Áreas Dialectales del Nuhuatl Moderno, 1986年, メキシコ国立自治大学)を基に、下記規則に従って表記した。

h : /?/,/h/ 帯気音 （saltillo）
k : /k/
x : /sh/
w : 半母音 /u/
: : 長母音

2、「複」は複数形を示す。
3、アクセントは終わりから第2音節に位置する。